参考資料4－3

消　食　基　４００　号
令　和　８　年　９　月　３　日

食品衛生基準審議会
　会長　　曽根　智史　殿

内閣総理大臣　　高市　早苗
（　公　印　省　略　）

諮問書

食品衛生法（昭和 22 年法律第 233 号）第 13 条第１項の規定に基づき、下記の事項について、貴会の意見を求めます。

記

次に掲げる農薬の食品中の残留基準の設定について

農薬キャプタン
農薬スルホキサフロル
農薬フェンメゾジチアズ
農薬ベンゾビシクロン
農薬メフェントリフルコナゾール

以上

令和８年９月10日

農薬・動物用医薬品部会
　部会長　堤　　智昭　殿

食品衛生基準審議会
　会長　　曽根　智史

農薬の食品中の残留基準の設定について（付議）

標記について、下記のとおり内閣総理大臣から諮問があったので、食品衛生基準審議会規程第６条の規定に基づき、貴部会において審議方願いたい。

記

令和８年９月３日付け消食基第400号

次に掲げる農薬の食品中の残留基準の設定について

農薬キャプタン
農薬スルホキサフロル
農薬フェンメゾジチアズ
農薬ベンゾビシクロン
農薬メフェントリフルコナゾール

以上

メフェントリフルコナゾール

今般の残留基準の検討については、農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたこと及び関連企業から「国外で使用される農薬等に係る残留基準の設定及び改正に関する指針について」に基づく残留基準の設定要請がなされたことから、農薬・動物用医薬品部会（以下「本部会」という。）において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

なお、本報告では、今般提出された作物残留試験成績に基づき、前回審議からの変更点をとりまとめる。また、今般の基準値設定依頼に当たって、毒性や代謝に関する新たな知見の提出がなく、既存の食品健康影響評価の結果に影響はないと考えられることから、本部会での審議後に内閣総理大臣から食品安全委員会に対して食品健康影響評価の要請を行うこととしている。

１．概要

（１）品目名：メフェントリフルコナゾール[Mefentrifluconazole（ISO）]

（２）分　類（用途）：農薬（殺菌剤）

（３）化学名、CAS 番号、構造式及び物性：変更なし（添付資料１参照）

２．適用の範囲及び使用方法

本剤の国内及び海外における適用の範囲及び使用方法は、別紙1-1～1-4のとおり。なお、今般の基準値設定依頼に係る新たな適用の範囲及び使用方法は網掛けとしている。

３．代謝試験

変更なし（添付資料１参照）

JMPR「REPORT 2022、Pesticide residues in food」で設定された略称を追記した。

【代謝物略称一覧】

略称	JMPR評価書の略称	化学名
F001	M750F001	1*H*-1,2,4-トリアゾール
F016	M750F016	2-クロロ-5-{4-[2-ヒドロキシ-1-(1*H*-1,2,4-トリアゾール-1-イル)プロパン-2-イル]-3-(トリフルオロメチル)フェノキシ}フェノール
F022	M750F022	2-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]プロパン-1,2-ジオール
F023	M750F023	(9*Z*,11*E*)-オクタデカ-9,11-ジエン酸2-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-2-ヒドロキシプロピル
F024	M750F024	(9*Z*)-オクタデカ-9-エン酸2-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-2-ヒドロキシプロピル

【代謝物略称一覧】（つづき）

略称	JMPR評価書の略称	化学名
F025	M750F025	ヘキサデカン酸2-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-2-ヒドロキシプロピル
F029	M750F029	3-(1*H*-1,2,4-トリアゾール-1-イル)-L-アラニン
F030	M750F030	(1*H*-1,2,4-トリアゾール-1-イル)酢酸
F031	M750F031	2-ヒドロキシ-3-(1*H*-1,2,4-トリアゾール-1-イル)プロパン酸
F034	M750F034	L-γ-グルタミル-*S*-(5-クロロ-6-ヒドロキシ-2-{4-[2-ヒドロキシ-1-(1*H*-1,2,4-トリアゾール-1-イル)プロパン-2-イル]-3-(トリフルオロメチル)フェノキシ}シクロヘキサ-2,4-ジエン-1-イル) -L-システイニルグリシン
F038	M750F038	(2*R*)-2-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-2-ヒドロキシプロパン酸
F041	M750F041	3-クロロ-6-{4-[2-ヒドロキシ-1-(1*H*-1,2,4-トリアゾール-1-イル)プロパン-2-イル]-3-(トリフルオロメチル)フェノキシ}シクロヘキサ-3,5-ジエン-1,2-ジオール
F043	M750F043	硫酸水素2-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-2-ヒドロキシプロピル
F064	M750F064	構造未決定の代謝物
F068	M750F068	2-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-1-(1*H*-1,2,4-トリアゾール-1-イル)プロパン-2-イル ヘキソピラノシドウロン酸
F072	M750F072	硫酸水素2-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-2-ヒドロキシ-3-(1*H*-1,2,4-トリアゾール-1-イル)プロピル

４．作物残留試験

今回追加のあった分析法については以下のとおり。

（１）分析の概要

【国内】

①　分析対象物質

・メフェントリフルコナゾール
・代謝物F001
・代謝物F029
・代謝物F030

②　分析法の概要

ｉ）メフェントリフルコナゾール、代謝物F001、代謝物F029及び代謝物F030

試料からメタノール・水（4：1）混液で抽出し、メフェントリフルコナゾール、

代謝物F001及び代謝物F029はオクタデシルシリル化シリカゲル（C_{18}）カラムを用いて精製した後、代謝物F030は4級アミン修飾ジビニルベンゼン-*N*-ビニルピロリドン共重合体カラム又はC_{18}カラムを用いて精製した後、それぞれ液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計（LC-MS/MS）で定量する。

定量限界：メフェントリフルコナゾール　0.005 mg/kg
代謝物F001　0.05 mg/kg
代謝物F029　0.05 mg/kg
代謝物F030　0.05 mg/kg

【海外】

① 分析対象物質

・メフェントリフルコナゾール
・代謝物 F001
・代謝物 F029
・代謝物 F030
・代謝物 F031

② 分析法の概要

ⅰ）メフェントリフルコナゾール

試料からメタノール・水（4：1）混液で抽出し、LC-MS/MSで定量する。

または、試料からメタノール・水・2 mol/L塩酸（14：5：1）混液で抽出する。0.2 mol/L水酸化ナトリウム溶液で塩基性とした後、シクロヘキサンに転溶し、LC-MS/MSで定量する。

定量限界：0.01 mg/kg

ⅱ）代謝物F001、代謝物F029、代謝物F030及び代謝物F031

試料からメタノール・水（4：1）混液で抽出する。それぞれのトリアゾール系代謝物の安定同位体標識体を内部標準物質として添加し、C_{18}粉末を加えて固相分散処理、ジクロロメタンに転溶又はC_{18}カラムを用いて精製した後、液体クロマトグラフ・微分型イオン移動度・タンデム型質量分析計（LC-DMS-MS/MS）で定量する。

定量限界：代謝物F001　0.01 mg/kg
代謝物F029　0.01 mg/kg
代謝物F030　0.01 mg/kg
代謝物F031　0.01 mg/kg

（２）作物残留試験結果

国内作物残留試験については、トマト、きゅうり及びいちご等の試験成績を追加した。試験成績の概要を別紙2-1に示す。

海外作物残留試験については、ホップ及びオリーブの試験成績を追加した。試験成績の概要を別紙2-2及び2-3に示す。

５．畜産物における推定残留濃度

本剤については、飼料として給与した作物を通じ家畜の筋肉等への移行が想定されることから、飼料中の残留濃度及び動物飼養試験の結果を用い、以下のとおり畜産物中の推定残留濃度を算出した。

（１）分析の概要

①　分析対象物質

変更なし（添付資料１参照）

②　分析法の概要

変更なし（添付資料１参照）

（２）家畜残留試験（動物飼養試験）

①　乳牛を用いた残留試験

乳牛（体重502～770 kg、3頭/群）に対して、飼料中濃度として7.5、50及び150 ppmに相当する量のメフェントリフルコナゾールを含むカプセルを28日間にわたり強制経口投与し、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるメフェントリフルコナゾール、代謝物F001、代謝物F022、代謝物F029、代謝物F030及び代謝物F031の濃度を測定した。乳については、投与開始日から投与期間中毎日採取した乳に含まれる上記化合物の濃度を測定した。表1にメフェントリフルコナゾール、代謝物F022及びメフェントリフルコナゾール（抱合体を含む。）と代謝物F022（抱合体を含む。）の合計値を示した。その他に検出された主な代謝物は代謝物F001及び代謝物F029であり、代謝物F001は筋肉及び肝臓において、代謝物F029は筋肉において、それぞれメフェントリフルコナゾールと同程度の残留が認められた。

表1. 乳牛の試料中の残留濃度（mg/kg）

		7.5 ppm 投与群	50 ppm 投与群	150 ppm 投与群
筋肉	メフェントリフルコナゾール	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.11(最大) 0.07(平均)	0.22(最大) 0.16(平均)
	代謝物F022	－ －	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.02(最大) 0.02(平均)
	メフェントリフルコナゾール（抱合体を含む。）と代謝物F022（抱合体を含む。）の合計	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.12(最大) 0.08(平均)	0.24(最大) 0.18(平均)
脂肪	メフェントリフルコナゾール	0.08(最大) 0.05(平均)	0.90(最大) 0.65(平均)	2.29(最大) 1.71(平均)
	代謝物F022	0.01(最大) <0.01(平均)	0.10(最大) 0.09(平均)	0.24(最大) 0.18(平均)
	メフェントリフルコナゾール（抱合体を含む。）と代謝物F022（抱合体を含む。）の合計	0.09(最大) 0.06(平均)	1.00(最大) 0.75(平均)	2.52(最大) 1.85(平均)
肝臓	メフェントリフルコナゾール	0.18(最大) 0.15(平均)	1.40(最大) 0.99(平均)	3.58(最大) 3.03(平均)
	代謝物F022	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.02(最大) 0.02(平均)	0.05(最大) 0.04(平均)
	メフェントリフルコナゾール（抱合体を含む。）と代謝物F022（抱合体を含む。）の合計[注1)]	0.20(最大) 0.17(平均)	1.51(最大) 1.08(平均)	3.85(最大) 3.26(平均)
腎臓	メフェントリフルコナゾール	0.07(最大) 0.05(平均)	0.51(最大) 0.29(平均)	1.88(最大) 1.29(平均)
	代謝物F022	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.02(最大) 0.02(平均)	0.05(最大) 0.05(平均)
	メフェントリフルコナゾール（抱合体を含む。）と代謝物F022（抱合体を含む。）の合計[注1)]	0.13(最大) 0.09(平均)	0.95(最大) 0.60(平均)	3.34(最大) 2.37(平均)
乳[注3)]	メフェントリフルコナゾール	<0.01(平均)	0.06(平均)	0.20(平均)
	代謝物F022	－	0.01(平均)	0.02(平均)
	メフェントリフルコナゾール（抱合体を含む。）と代謝物F022（抱合体を含む。）の合計[注1)注2)]	<0.01(平均)	0.14(平均)	0.39(平均)

定量限界：0.01 mg/kg

－:分析せず

乳の代謝物F022の残留濃度は21日目のみ測定されている。

F022の分析値は、換算係数1.15を用いてメフェントリフルコナゾール濃度に換算した値として示した。

注1）JMPR「REPORT 2022、Pesticide residues in food」に従い、メフェントリフルコナゾール（抱合体を含む）及びF022（抱合体を含む）の合計濃度を下記の式により計算した。

肝臓：メフェントリフルコナゾール残留濃度×1.1＋F022残留濃度×1.15

腎臓：メフェントリフルコナゾール残留濃度×1.6＋F022残留濃度×5.6×1.15

乳　：メフェントリフルコナゾール残留濃度＋F022残留濃度×7.45×1.15

注2）JMPR「REPORT 2022、Pesticide residues in food」に従い、分析を行っていない場合は値を0として計算した。

注3）投与期間中に採取した乳中の濃度を1頭ずつ別々に算出し、その平均値を求めた。

上記の結果に関連して、JMPR は、乳牛及び肉牛の最大飼料由来負荷[注1)]をそれぞれ 67 及び 60 ppm、平均的飼料由来負荷[注2)]をそれぞれ 28 及び 22 ppm と評価している。また、米国では乳牛及び肉牛の最大理論的飼料由来負荷[注3)]を 59.82 及び 12.04 ppm と評価している。

注1）最大飼料由来負荷（Maximum dietary burden）：飼料の原料に農薬が最大まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大濃度。飼料中濃度として表示される。

注2）平均的飼料由来負荷（Mean dietary burden）：飼料の原料に農薬が平均的に残留していると仮定した場合に（作物残留試験から得られた残留濃度の中央値を試算に用いる）、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる平均濃度。飼料中濃度として表示される。

注3）最大理論的飼料由来負荷（Maximum theoretical dietary burden）：飼料として用いられる全ての飼料品目に農薬が残留基準まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大濃度。飼料中濃度として表示される。

② 産卵鶏を用いた残留試験

産卵鶏（体重1.5～2.1 kg、12羽/群）に対して飼料中濃度として1.7、5.1及び17.3 ppmに相当する量のメフェントリフルコナゾールを含むカプセルを33日間にわたり強制経口投与し、筋肉、脂肪及び肝臓に含まれるメフェントリフルコナゾール、代謝物F001、代謝物F022、代謝物F029、代謝物F030及び代謝物F031の濃度を測定した。鶏卵については、投与期間中毎日採卵した卵に含まれる上記化合物の濃度を測定した。表2にメフェントリフルコナゾール、代謝物F022及びメフェントリフルコナゾール（抱合体を含む。）と代謝物F022（抱合体を含む。）の合計値を示した。その他に検出された主な代謝物は代謝物F001及び代謝物F029であった。このうち、代謝物F001は筋肉においてメフェントリフルコナゾール残留量の最大5倍程度の残留が認められた。その他には、代謝物F001が肝臓において、代謝物F029が筋肉において、それぞれメフェントリフルコナゾールと同程度の残留が認められた。

表2. 産卵鶏の試料中の残留濃度（mg/kg）

		1.7 ppm 投与群	5.1 ppm 投与群	17.3 ppm 投与群
筋肉	メフェントリフルコナゾール	<0.01(最大) <0.01(平均)	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.03(最大) 0.02(平均)
	代謝物F022	<0.01(最大) <0.01(平均)	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.04(最大) 0.04(平均)
	メフェントリフルコナゾール（抱合体を含む。）と代謝物F022（抱合体を含む。）の合計[注)]	<0.01(最大) <0.01(平均)	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.07(最大) 0.05(平均)
脂肪	メフェントリフルコナゾール	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.03(最大) 0.02(平均)	0.25(最大) 0.17(平均)
	代謝物F022	0.05(最大) 0.04(平均)	0.08(最大) 0.08(平均)	0.41(最大) 0.36(平均)
	メフェントリフルコナゾール（抱合体を含む。）と代謝物F022（抱合体を含む。）の合計[注)]	0.06(最大) 0.05(平均)	0.11(最大) 0.10(平均)	0.66(最大) 0.53(平均)
肝臓	メフェントリフルコナゾール	0.02(最大) 0.01(平均)	0.02(最大) 0.02(平均)	0.20(最大) 0.10(平均)
	代謝物F022	0.02(最大) 0.02(平均)	0.04(最大) 0.03(平均)	0.23(最大) 0.17(平均)
	メフェントリフルコナゾール（抱合体を含む。）と代謝物F022（抱合体を含む。）の合計[注)]	0.10(最大) 0.07(平均)	0.13(最大) 0.10(平均)	1.13(最大) 0.61(平均)
卵	メフェントリフルコナゾール	<0.01(最大) <0.01(平均)	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.04(最大) 0.03(平均)
	代謝物F022	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.02(最大) 0.02(平均)	0.11(最大) 0.08(平均)
	メフェントリフルコナゾール（抱合体を含む。）と代謝物F022（抱合体を含む。）の合計[注)]	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.03(最大) 0.03(平均)	0.12(最大) 0.11(平均)

定量限界：0.01 mg/kg

F022の分析値は、換算係数1.15を用いてメフェントリフルコナゾール濃度に換算した値として示した。

注）JMPR「REPORT 2022、Pesticide residues in food」に従い、メフェントリフルコナゾール（抱合体を含む）及びF022（抱合体を含む）の合計濃度を下記の式により計算した。

メフェントリフルコナゾール残留濃度×4.5＋F022残留濃度×1.15

上記の結果に関連して、JMPRは、肉用鶏及び産卵鶏の最大飼料由来負荷をそれぞれ0.92及び12 ppm、平均的飼料由来負荷をそれぞれ0.92及び5 ppmと評価している。

（3）推定残留濃度

牛について、最大及び平均的飼料由来負荷並びに家畜残留試験結果から、畜産物中の

推定残留濃度を算出した。JMPR の飼料由来負荷を用いた推定残留濃度結果は表3-1、米国の飼料由来負荷を用いた推定残留濃度結果は表3-2を参照。最大残留濃度は、メフェントリフルコナゾールの推定濃度で示し、平均的な残留濃度は、メフェントリフルコナゾール及びその抱合体並びに代謝物 F022及びその抱合体をメフェントリフルコナゾールに換算した濃度の合計を示した。

表3-1. 畜産物中の推定残留濃度（JMPR）：牛(mg/kg)

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳
牛	0.129 (0.044)	1.136 (0.393)	1.771 (0.609)	0.743 (0.336)	0.084 (0.073)

上段：最大残留濃度　　下段括弧内：平均的な残留濃度＊

＊：平均的な残留濃度はメフェントリフルコナゾール及びその抱合体並びに代謝物 F022及びその抱合体を含む。

表3-2. 畜産物中の推定残留濃度（米国）：牛(mg/kg)

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳
牛	0.121 (0.090)	1.036 (0.858)	1.614 (1.294)	0.645 (0.774)	0.074 (0.165)

上段：最大残留濃度　　下段括弧内：平均的な残留濃度＊

＊：平均的な残留濃度はメフェントリフルコナゾール及びその抱合体並びに代謝物 F022及びその抱合体を含む。

鶏について、最大及び平均的飼料由来負荷並びに家畜残留試験結果から、畜産物中の推定残留濃度を算出した。結果は表3-3を参照。最大残留濃度は、メフェントリフルコナゾールの推定濃度を示し、平均的な残留濃度は、メフェントリフルコナゾール及びその抱合体、並びに代謝物 F022及びその抱合体をメフェントリフルコナゾールに換算した濃度の合計で示した。

表3-3. 畜産物中の推定残留濃度：鶏(mg/kg)

	筋肉	脂肪	肝臓	卵
鶏	0.021 (0.010)	0.154 (0.099)	0.122 (0.099)	0.027 (0.027)

上段：最大残留濃度　　下段括弧内：平均的な残留濃度＊

＊：平均的な残留濃度はメフェントリフルコナゾール及びその抱合体並びに代謝物 F022及びその抱合体を含む。

６．許容一日摂取量（ADI）及び急性参照用量（ARfD）の評価

先の審議の際に、食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたメフェントリフルコナゾールに係る食品健康影響評価において、メフェントリフルコナゾールのADIを0.035 mg/kg体重/日、ARfDは設定の必要なしと評価している。

７．諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価が行われ、2021年にADI及びARfDが設定されている。国際基準は、2023年及び2024年にレタス、小麦等に基準値が設定されている。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてさとうきび、たまねぎ等に、カナダにおいて大麦、りんご等に、EUにおいて小麦、ライ麦等に、豪州においてじゃがいも、ぶどう等に、ニュージーランドにおいて小麦、ぶどう等に基準値が設定されている。

８．残留規制

（１）残留の規制対象：変更なし

メフェントリフルコナゾールとする。

作物残留試験においては、メフェントリフルコナゾール、代謝物F001、代謝物F029、代謝物F030及び代謝物F031の分析が行われており、多くの作物においてメフェントリフルコナゾール及び代謝物F029が主として検出されているが、代謝物F029はトリアゾール系農薬の共通代謝物であることから、農産物の規制対象はメフェントリフルコナゾールのみとする。

家畜残留試験においてメフェントリフルコナゾール、代謝物F001、代謝物F022及び代謝物F029が主として検出されているが、代謝物F001及び代謝物F029はトリアゾール系農薬の共通代謝物であり特異的な代謝物でないこと、また、代謝物F022は鶏の一部組織でメフェントリフルコナゾールよりも多く検出されているものの、分析の指標として親化合物のみで十分と考えられることから、畜産物の規制対象はメフェントリフルコナゾールのみとする。

（２）基準値案

別紙３のとおりである。

９．暴露評価

（１）暴露評価対象

農産物にあってはメフェントリフルコナゾールとし、はちみつを除く畜産物にあってはメフェントリフルコナゾール（抱合体を含む。）及び代謝物F022（抱合体を含む。）とする。

農産物の作物残留試験においては、メフェントリフルコナゾール、代謝物F001、代謝物F029、代謝物F030及び代謝物F031の分析が行われており、多くの作物においてメフェントリフルコナゾール及び代謝物F029が主として検出されているが、食品安全委員会の評価において、代謝物F029の毒性はメフェントリフルコナゾールに比べ弱いことから、農産物の暴露評価対象はメフェントリフルコナゾールのみとする。

泌乳山羊の代謝試験において筋肉および脂肪組織では、大部分が親化合物であるメフェントリフルコナゾールであり、肝臓、腎臓、及び乳において、メフェントリフルコナゾール及びその抱合体並びに代謝物F022及びその抱合体であった。代謝物F001及び代謝物F029が検出されたが、代謝物F001及び代謝物F029はトリアゾール系農薬の共通代謝物であることから暴露評価対象に含めないこととする。そのほかに少量の代謝物F016が肝臓のみで検出された。鶏を用いた代謝試験において、主要代謝物は代謝物F022の抱合体（F023、F024及びF025）及びメフェントリフルコナゾールの抱合体F034であったことから、はちみつを除く畜産物にあってはメフェントリフルコナゾール（抱合体を含む。）及び代謝物F022（抱合体を含む。）とする。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物中の暴露評価対象物質をメフェントリフルコナゾール（親化合物のみ）、畜産物中の暴露評価対象物質をメフェントリフルコナゾール及び代謝物F022（抱合体を含む。）としている。

（２）暴露評価結果

①　長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙4参照。

	EDI／ADI(%)[注)]
国民全体（1 歳以上）	22.4
幼小児（1～6 歳）	48.0
妊婦	22.3
高齢者（65 歳以上）	25.2

注）各食品の平均摂取量は、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI試算法：作物残留試験成績の中央値（STMR）等×各食品の平均摂取量

（別紙1-1）

メフェントリフルコナゾールの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年7月29日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	メフェントリフルコナゾールを含む農薬の総使用回数
トマト	34.9% SC	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
ミニトマト	34.9% SC	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
なす	34.9% SC	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
ピーマン及びとうがらし類	34.9% SC	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
きゅうり	34.9% SC	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
すいか	34.9% SC	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
メロン	34.9% SC	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
りんご	34.9% SC	散布	8000倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
なし	34.9% SC	散布	8000倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
もも	34.9% SC	散布	8000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
ネクタリン	34.9% SC	散布	8000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
うめ	34.9% SC	散布	8000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
		無人航空機による散布	200倍		10 L/10 a		
おうとう	34.9% SC	散布	8000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
いちご	34.9% SC	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
ぶどう	34.9% SC	散布	8000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内

SC：フロアブル
今回基準値設定依頼のあった適用の範囲及び使用方法を網掛けで示した。

メフェントリフルコナゾールの適用の範囲及び使用方法（米国）

作物名	剤型	使用方法	使用時期	1回当たりの使用量	使用回数	栽培期間中の総使用量
小粒穀物類（大麦、オーツ麦、ライ麦、ライ小麦、小麦）Small Grains (barley, oats, rye, triticale, wheat)	40% WP	畝間散布	収穫21日前まで	38～146 g ai/ha	146 g ai/ha では年2回以内	292 g ai/ha
		茎葉散布	収穫21日前まで	73～146 g ai/ha		292 g ai/ha
	10% EC	畝間散布	収穫21日前まで	38～146 g ai/ha	146 g ai/ha では年2回以内	292 g ai/ha
		茎葉散布	収穫21日前まで	73～146 g ai/ha		292 g ai/ha
ソルガム及びきび類 Sorghum and Millet	40% WP	畝間散布	収穫21日前まで	38～146 g ai/ha	146 g ai/ha では年2回以内	292 g ai/ha
		茎葉散布	収穫21日前まで	73～146 g ai/ha		292 g ai/ha
		茎葉散布	収穫21日前まで	102～146 g ai/ha		292 g ai/ha
	10% EC	畝間散布	収穫21日前まで	38～146 g ai/ha	146 g ai/ha では年2回以内	292 g ai/ha
		茎葉散布	収穫21日前まで	73～146 g ai/ha		292 g ai/ha
		茎葉散布	収穫21日前まで	102～146 g ai/ha		292 g ai/ha
豆類（大豆及びえだまめを除く）Legume Vegetables (crop group 6) (except soybean and edamame)	40% WP	畝間散布	収穫21日前まで	38～146 g ai/ha	146 g ai/ha では年3回以内	438 g ai/ha
		茎葉散布	収穫21日前まで	73～146 g ai/ha		438 g ai/ha
	10% EC	畝間散布	収穫21日前まで	38～146 g ai/ha	146 g ai/ha では年3回以内	438 g ai/ha
		茎葉散布	収穫21日前まで	73～146 g ai/ha		438 g ai/ha
いも類 Tuberous and Corm Vegetables (including potato - subgroup 1C)	40% WP	畝間散布	収穫7日前まで	38～146 g ai/ha	146 g ai/ha では年3回以内	438 g ai/ha
		茎葉散布	収穫7日前まで	73～146 g ai/ha		438 g ai/ha
	10% EC	畝間散布	収穫7日前まで	38～146 g ai/ha	146 g ai/ha では年3回以内	438 g ai/ha
		茎葉散布	収穫7日前まで	73～146 g ai/ha		438 g ai/ha

メフェントリフルコナゾールの適用の範囲及び使用方法（米国）

作物名	剤型	使用方法	使用時期	1回当たりの使用量	使用回数	栽培期間中の総使用量
てんさい Sugar Beet	40% WP	畝間散布	収穫7日前まで	38～146 g ai/ha	146 g ai/haでは年2回以内	292 g ai/ha
		茎葉散布	収穫7日前まで	73～146 g ai/ha		292 g ai/ha
	10% EC	畝間散布	収穫7日前まで	38～146 g ai/ha	146 g ai/haでは年2回以内	292 g ai/ha
		茎葉散布	収穫7日前まで	73～146 g ai/ha		292 g ai/ha
根菜類 Root Vegetables (except sugar beet) (Subgroup 1B)	40% WP	茎葉散布	収穫7日前まで	88～146 g ai/ha	146 g ai/haでは年3回以内	438 g ai/ha
		茎葉散布	収穫7日前まで	117～146 g ai/ha		438 g ai/ha
葉菜類 Leafy Vegetables (Group 4-16)	40% WP	茎葉散布	収穫当日まで	88～146 g ai/ha	146 g ai/haでは年3回以内	438 g ai/ha
		茎葉散布	収穫当日まで	117～146 g ai/ha		438 g ai/ha
果菜類 Fruiting Vegetables (crop group 8-10)	40% WP	茎葉散布	収穫当日まで	88～146 g ai/ha	146 g ai/haでは年3回以内	438 g ai/ha
		茎葉散布	収穫当日まで	117～146 g ai/ha		438 g ai/ha
ベリー類 Berries (Subgroup 13-07A and 13-07B)	40% WP	茎葉散布	収穫当日まで	88～146 g ai/ha	146 g ai/haでは年3回以内	438 g ai/ha
		茎葉散布	収穫当日まで	117～146 g ai/ha		438 g ai/ha

WP：水和剤
EC：乳剤
ai：active ingredient （有効成分）

(別紙1-3)

メフェントリフルコナゾールの適用の範囲及び使用方法（エクアドル）

作物名	剤型	使用方法	使用時期	1回当たりの使用量	使用回数	栽培期間中の総使用量
バナナ	40% WP	茎葉散布	収穫当日まで	140 g ai/ha	4回まで推奨	560 g ai/ha 推奨

WP：水和剤
ai：active ingredient （有効成分）

メフェントリフルコナゾールの適用の範囲及び使用方法（EU）

作物名	剤型	使用方法	使用時期	1回当たりの使用量	使用回数	栽培期間中の総使用量
オリーブ	7.5% SC	散布	収穫21日前まで	150 g ai/ha	2回まで	300 g ai/ha
ホップ	7.5% SC	散布	収穫14日前まで	150 g ai/ha	2回まで	300 g ai/ha

SC：フロアブル
ai：active ingredient （有効成分）

今回基準値設定依頼のあった適用の範囲及び使用方法を網掛けで示した。

（別紙2-1）

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）[注1)] 【ﾒﾌｪﾝﾄﾘﾌﾙｺﾅｿﾞｰﾙ/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
トマト （果実）	1	34.9% SC	4000倍散布 278 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A：0.328/<0.05/<0.05/<0.05	◎
ミニトマト （果実）	6	34.9% SC	4000倍散布 240～300 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A：0.338/<0.05/<0.05/<0.05 圃場B：0.238/<0.05/*0.06/<0.05（*3回,7日） 圃場C：0.232/<0.05/<0.05/<0.05 圃場D：0.554/<0.05/<0.05/<0.05 圃場E：0.550/<0.05/<0.05/<0.05 圃場F：0.218/<0.05/<0.05/<0.05	◎
ピーマン （果実）	3	34.9% SC	4000倍散布 181～222 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A：0.394/<0.05/<0.05/<0.05 圃場B：0.897/<0.05/<0.05/<0.05 圃場C：0.480/<0.05/*0.25/<0.05(*3回,3日)	◎
なす （果実）	6	34.9% SC	4000倍散布 169～296 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A：0.083/<0.05/*0.06/<0.05（*3回,7日） 圃場B：0.187/<0.05/<0.05/<0.05 圃場C：0.185/<0.05/<0.05/<0.05 圃場D：0.214/<0.05/<0.05/<0.05 圃場E：0.195/<0.05/<0.05/<0.05 圃場F：0.094/<0.05/0.06/<0.05	
ししとう （種およびへたを含む）	2	34.9% SC	4000倍散布 181～243 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A：1.32/<0.05/<0.05/<0.05 圃場B：1.85/<0.05/<0.05/<0.05	◎
甘長とうがらし （へたを含む）	3	34.9% SC	4000倍散布 200～292 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A：1.06/<0.05/<0.05/<0.05 圃場B：1.28/<0.05/0.17/<0.05 圃場C：1.04/<0.05/0.16/<0.05	
きゅうり （果実）	6	34.9% SC	4000倍散布 200～280 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A：0.078/<0.05/*0.07/<0.05（*3回,3日） 圃場B：0.112/<0.05/0.13/<0.05 圃場C：0.210/<0.05/*0.08/<0.05（*3回,3日） 圃場D：0.050/<0.05/<0.05/<0.05 圃場E：0.083/<0.05/<0.05/<0.05 圃場F：0.115/<0.05/*0.16/<0.05（*3回,7日）	◎
すいか （果肉）	7	34.9% SC	4000倍散布 191～280 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A：<0.005/<0.05/*0.05/<0.05（*3回,3日） 圃場B：<0.005/<0.05/<0.05/<0.05 圃場C：<0.005/<0.05/*0.07/<0.05（*3回,7日） 圃場D：<0.005/<0.05/<0.05/<0.05 圃場E：<0.005/<0.05/<0.05/<0.05 圃場F：<0.005/<0.05/0.05/<0.05	
					1, 3, 7, 14	圃場G：0.006/<0.05/*0.12/<0.05（*3回,14日）	
すいか （果実）	7	34.9% SC	4000倍散布 191～280 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A：0.058/<0.05/<0.05/<0.05 圃場B：0.150/<0.05/<0.05/<0.05 圃場C：*0.057/<0.05/**0.05/<0.05（*3回,3日 **3回,7日） 圃場D：*0.124/<0.05/<0.05/<0.05（*3回,7日） 圃場E：*0.136/<0.05/<0.05/<0.05（*3回,3日） 圃場F：0.085/<0.05/0.06/<0.05	
					1, 3, 7, 14	圃場G：0.110/<0.05/*0.16/<0.05（*3回,7日）	
メロン （果肉）	3	34.9% SC	4000倍散布 221～294 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A：<0.005/<0.05/<0.05/<0.05 圃場B：<0.005/<0.05/<0.05/<0.05 圃場C：<0.005/<0.05/0.08/<0.05	
メロン （果実）	3	34.9% SC	4000倍散布 221～294 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A：0.112/<0.05/<0.05/<0.05 圃場B：0.270/<0.05/<0.05/<0.05 圃場C：0.345/<0.05/0.06/<0.05	◎
りんご （果実）	6	*7.5% SC*	1500倍散布 429, 450 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A：0.182/<0.05/<0.05/<0.05（#） 圃場B：0.372/<0.05/<0.05/<0.05（#） 圃場C：0.246/<0.05/<0.05/<0.05（#） 圃場D：0.244/<0.05/<0.05/<0.05（#） 圃場E：0.098/<0.05/<0.05/<0.05（#） 圃場F：0.188/<0.05/<0.05/<0.05（#）	
日本なし （果実）	6	*7.5% SC*	1500倍散布 438～480 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A：0.078/<0.05/<0.05/<0.05（#） 圃場B：*0.106/<0.05/<0.05/<0.05（*3回,21日）(#) 圃場C：*0.176/<0.05/<0.05/<0.05（*3回,28日）(#)	
			1500倍散布 407, 433 L/10 a			圃場D：0.188/<0.05/<0.05/<0.05（#） 圃場E：0.163/<0.05/<0.05/<0.05（#） 圃場F：0.200/<0.05/<0.05/<0.05（#）	

（別紙2-1）

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）[注1)] 【ﾒﾌｪﾝﾄﾘﾌﾙｺﾅｿﾞｰﾙ/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
もも（果肉）	4	*7.5% SC*	1500倍散布 400～469 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A：*0.020/<0.05/<0.05/<0.05(*3回,3日)(#)	
						圃場B：0.009/<0.05/<0.05/<0.05 (#)	
						圃場C：0.011/<0.05/<0.05/<0.05 (#)	
						圃場D：*0.014/<0.05/<0.05/<0.05(*3回,7日)(#)	
もも（果皮）	4	*7.5% SC*	1500倍散布 400～469 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A：2.04/<0.05/<0.05/<0.05 (#)	
						圃場B：*1.07/<0.05/<0.05/<0.05(*3回,3日)(#)	
						圃場C：2.62/<0.05/<0.05/<0.05 (#)	
						圃場D：*1.24/<0.05/<0.05/<0.05(*3回,3日)(#)	
もも（果実）	4	*7.5% SC*	1500倍散布 400～469 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A：0.358/<0.05/<0.05/<0.05 (#)[注2)]	
						圃場B：*0.160/<0.05/<0.05/<0.05[注2)](*3回,3日)(#)	
						圃場C：0.346/<0.05/<0.05/<0.05 (#)[注2)]	
						圃場D：0.241/<0.05/<0.05/<0.05 (#)[注2)]	
ネクタリン（果実）	2	*7.5% SC*	1500倍散布 350, 400 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：0.203/<0.05/<0.05/0.06 (#)	
						圃場B：0.280/<0.05/<0.05/<0.05 (#)	
うめ（果実）	3	*7.5% SC*	1500倍散布 300～400 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A：0.765/<0.05/*0.09/<0.05(*3回,3日)(#)	
						圃場B：0.558/<0.05/<0.05/<0.05 (#)	
						圃場C：0.324/<0.05/0.10/<0.05 (#)	
おうとう（果実）	2	*7.5% SC*	1500倍散布 350, 367 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A：0.692/<0.05/<0.05/<0.05 (#)	
						圃場B：*0.832/<0.05/0.42/<0.05(*3回,3日)(#)	
いちご（果実）	3	34.9% SC	4000倍散布 179～182 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A：*1.17/<0.05/<0.05/<0.05 (*3回,3日)	◎
						圃場B：0.762/<0.05/<0.05/<0.05	
						圃場C：1.21/<0.05/0.06/<0.05	
小粒ぶどう（果実）	4	*7.5% SC*	1500倍散布 325, 363 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A：*1.50/<0.05/<0.05/<0.05 (*3回,3日)(#)	◎
						圃場B：0.802/<0.05/<0.05/<0.05 (#)	
大粒ぶどう（果実）			1500倍散布 353, 357 L/10 a			圃場C：0.574/<0.05/<0.05/<0.05 (#)	
						圃場D：1.24/<0.05/<0.05/<0.05 (#)	

SC：フロアブル

今回、新たに提出された作物残留試験成績を網掛けで示した。

(#) 印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。なお、剤型は異なるものの、使用量及び使用回数は適用の範囲内で行われている。

基準値の設定根拠及び暴露評価に使用されているものを◎で示した。

注1）当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

注2）果肉、果皮及び種子の重量比から果実の残留濃度を算出した。

代謝物F001、代謝物F029及び代謝物F030の残留濃度は、メフェントリフルコナゾール当量換算を行っていない値で示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件にアンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度(mg/kg) 注1) 【ﾒﾌｪﾝﾄﾘﾌﾙｺﾅｿﾞｰﾙ/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030/代謝物F031】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
大麦 （玄麦）	10	10% EC	0.289～0.309 kg ai/ha散布	2	21	圃場A:0.20/<0.01/0.15/0.09/<0.01	◎
						圃場B:0.56/<0.01/0.76/0.18/<0.01	
						圃場C:0.37/<0.01/0.31/0.03/<0.01	
						圃場D:0.25/<0.01/0.06/0.01/<0.01	
						圃場E:0.80/<0.01/0.13/0.02/<0.01	
						圃場F:0.48/<0.01/0.25/0.06/<0.01	
						圃場G:1.67/<0.01/0.59/0.17/<0.01	
						圃場H:0.71/<0.01/0.88/0.27/0.02	
						圃場I:0.34/<0.01/0.12/0.04/<0.01	
					14, 21, 28, 35	圃場J:<0.01/<0.01/0.62/0.15/0.02	
ソルガム （脱穀粒）	9	10% EC	0.296～0.311 kg ai/ha散布	2	22	圃場A:0.42/<0.01/0.05/0.05/0.04	◎
					21	圃場B:<0.01/<0.01/<0.01/0.02/0.02	
						圃場C:0.44/<0.01/<0.01/0.02/0.02	
						圃場D:0.31/0.02/0.07/0.11/0.01	
						圃場E:0.78/<0.01/0.10/0.09/<0.01	
						圃場F:0.24/<0.01/0.02/0.02/<0.01	
						圃場G:0.52/<0.01/0.08/0.04/<0.01	
						圃場H:0.18/<0.01/0.06/0.02/<0.01	
					14, 21, 28, 35	圃場I:*1.17/<0.01/*0.02/*0.01/*<0.01 （*2回,28日）	
えんどう （乾燥子実）	8	10% EC	0.449～0.460 kg ai/ha散布	3	21	圃場A:0.02/<0.01/1.00/<0.01/<0.01	◎
						圃場B:0.09/<0.01/2.29/<0.01/0.05	
						圃場C:0.01/<0.01/3.71/<0.01/0.04	
						圃場D:0.02/<0.01/1.77/<0.01/0.02	
						圃場E:0.01/<0.01/0.92/<0.01/0.02	
						圃場F:0.01/<0.01/1.77/<0.01/0.02	
						圃場G:0.02/<0.01/1.65/<0.01/<0.01	
					7, 14, 21, 28	圃場H:<0.01/<0.01/1.91/<0.01/<0.01	
いんげんまめ （乾燥子実）	10	10% EC	0.436～0.461 kg ai/ha散布	3	21	圃場A:<0.01/<0.01/0.16/<0.01/<0.01	◎
						圃場B:0.02/<0.01/0.04/<0.01/<0.01	
						圃場C:0.02/0.02/0.28/<0.01/<0.01	
						圃場D:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
						圃場E:<0.01/<0.01/0.10/<0.01/<0.01	
						圃場F:<0.01/<0.01/0.03/<0.01/<0.01	
						圃場G:<0.01/<0.01/0.13/<0.01/<0.01	
						圃場H:<0.01/<0.01/0.10/<0.01/<0.01	
						圃場I:0.05/<0.01/0.03/<0.01/<0.01	
					7, 14, 21, 28	圃場J:0.01/<0.01/*0.16/<0.01/<0.01 （*3回,28日）	
ばれいしょ （塊茎）	19	10% EC	0.442～0.467 kg ai/ha散布	3	6	圃場A:<0.01/<0.01/0.07/<0.01/<0.01	◎
						圃場B:<0.01/<0.01/0.04/<0.01/<0.01	
						圃場C:<0.01/<0.01/0.01/<0.01/<0.01	
					7	圃場D:<0.01/<0.01/0.03/<0.01/<0.01	
						圃場E:<0.01/<0.01/0.05/<0.01/<0.01	
						圃場F:<0.01/<0.01/0.02/<0.01/<0.01	
						圃場G:<0.01/<0.01/0.03/<0.01/<0.01	
						圃場H:<0.01/<0.01/0.02/<0.01/<0.01	
						圃場I:<0.01/<0.01/0.04/<0.01/<0.01	
						圃場J:<0.01/<0.01/0.04/<0.01/<0.01	
						圃場K:<0.01/<0.01/0.11/<0.01/<0.01	
						圃場L:<0.01/<0.01/0.23/<0.01/<0.03	
						圃場M:<0.01/<0.01/0.07/<0.01/<0.01	
						圃場N:<0.01/<0.01/0.04/<0.01/<0.01	
						圃場O:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
						圃場P:<0.01/<0.01/0.17/<0.01/<0.01	
						圃場Q:<0.01/<0.01/0.04/<0.01/<0.01	
					3, 6, 10, 14	圃場R:*<0.01/*<0.01/**0.15/*<0.01/*<0.01 （*3回,10日、**3回,14日）	
					3, 7, 10, 14	圃場S:*0.04/**<0.01/**0.09/**<0.01/**<0.01 （*3回,14日、**3回,10日）	
てんさい （根部）	13	10% EC	0.298～0.318 kg ai/ha散布	2	21	圃場A:0.15/<0.01/0.01/<0.01/<0.01	◎
						圃場B:0.12/<0.01/0.05/<0.01/<0.01	
						圃場C:0.03/<0.01/0.03/<0.01/<0.01	
						圃場D:0.02/<0.01/0.02/<0.01/<0.01	
						圃場E:0.05/<0.01/0.02/<0.01/<0.01	
						圃場F:0.09/<0.01/0.04/<0.01/<0.01	
						圃場G:0.28/<0.01/0.02/<0.01/<0.01	
						圃場H:0.08/<0.01/0.01/<0.01/<0.01	
						圃場I:0.04/<0.01/0.02/<0.01/<0.01	
						圃場J:0.06/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
						圃場K:0.04/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
					14, 21, 28	圃場L:0.58/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 （2回,14日）	
						圃場M:0.08/<0.01/0.02/<0.01/<0.01 （2回,14日）	

（別紙2-2）

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度(mg/kg) 注1) 【ﾒﾌｪﾝﾄﾘﾌﾙｺﾅｿﾞｰﾙ/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030/代謝物F031】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
ラディッシュ （根部）	7	*10% EC*	0.438～0.457 kg ai/ha散布	3	7	圃場A:0.034/<0.01/0.014/<0.01/<0.01 (#)	◎
						圃場B:0.03/<0.01/0.021/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場C:0.13/<0.01/0.074/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場D:0.082/<0.01/0.016/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場E:0.38/<0.01/0.014/<0.01/<0.01 (#)	
					8	圃場F:0.11/<0.01/0.018/<0.01/<0.01 (#)	
					3, *5*, 7, 10, 14	圃場G:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	
ラディッシュ （葉部）	7	*10% EC*	0.438～0.457 kg ai/ha散布	3	7	圃場A:3.3/<0.01/0.014/<0.01/<0.01 (#)	◎
						圃場B:8.0/<0.01/0.018/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場C:4.9/<0.01/0.022/<0.01/0.012 (#)	
						圃場D:1.1/<0.01/0.014/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場E:5.1/<0.01/0.012/<0.01/<0.01 (#)	
					8	圃場F:3.2/<0.01/0.024/<0.01/<0.01 (#)	
					3, *5*, 7, 10, 14	圃場G:0.37/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01(#)	
かぶ （葉部）	5	*10% EC*	0.451～0.457 kg ai/ha散布	3	7	圃場A:3.2/<0.01/0.043/<0.01/<0.01 (#)	◎
						圃場B:7.0/<0.01/0.054/<0.01/0.023 (#)	
						圃場C:7.2/<0.01/0.015/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場D:5.6/<0.01/0.038/<0.01/0.028 (#)	
					3, *5*, 7, 10, 14	圃場E:10/<0.01/*0.087/<0.01/*0.028(*3回,14日) (#)	
マスタードグリーン （茎葉部）	4	40% WP	0.437～0.455 kg ai/ha散布	3	0	圃場A:12/<0.01/0.080/<0.01/0.014	◎
						圃場B:5.0/<0.01/0.068/<0.01/<0.01	
						圃場C:4.1/<0.01/0.14/<0.01/<0.01	
						圃場D:8.2/<0.01/0.054/<0.01/0.011	
非結球レタス （茎葉部）	8	40% WP	0.447～0.466 kg ai/ha散布	3	0	圃場A:3.0/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	◎
						圃場B:6.4/<0.01/<0.01/<0.01/0.014	
						圃場C:4.4/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
						圃場D:4.2/<0.01/<0.01/<0.01/0.013	
						圃場E:2.4/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
						圃場F:2.2/<0.01/<0.01/<0.01/0.028	
						圃場G:7.2/<0.01/<0.01/<0.01/0.026	
						圃場H:2.6/<0.01/<0.01/<0.01/0.015	
にんじん （根部）	11	*10% EC*	0.451～0.465 kg ai/ha散布	3	6	圃場A:0.16/<0.01/0.076/<0.01/<0.01(#)	◎
					7	圃場B:0.22/<0.01/0.014/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場C:0.14/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場D:0.12/<0.01/0.018/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場E:0.098/<0.01/0.014/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場F:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場G:<0.01/<0.01/0.016/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場H:0.11/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場I:0.059/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場J:0.052/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	
					3, *5*, 7, 10, 14	圃場K:*0.24/<0.01/*0.022/<0.01/<0.01 (*3回,14日) (#)	
チェリートマト （果実）	3	*10% EC*	0.417～0.446 kg ai/ha散布	3	0	圃場A:0.360/<0.01/0.0374/<0.01/0.0421 (#)	◎
						圃場B:0.125/<0.01/0.0102/<0.01/<0.01 (#)	
					0, 3, 5, 7, 10	圃場C:0.405/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	
トマト （果実）	16	*10% EC*	0.443～0.468 kg ai/ha散布	3	0	圃場A:0.145/<0.01/0.0195/<0.01/<0.01 (#)	◎
						圃場B:0.142/<0.01/0.0314/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場C:0.145/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場D:0.248/<0.01/0.0180/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場E:0.0255/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場F:0.0500/<0.01/0.0276/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場G:0.190/<0.01/0.0182/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場H:0.110/<0.01/0.0208/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場I:0.0950/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場J:0.078/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場K:0.0470/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場L:0.042/<0.01/0.0116/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場M:0.171/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場N:0.0850/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)	
						圃場O:0.370/<0.01/0.0141/<0.01/<0.01 (#)	
					0, 3, 5, 7, 10	圃場P:0.228/<0.01/*0.0140/<0.01/<0.01 (*3回,7日) (#)	

（別紙2-2）

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度(mg/kg) 注1) 【ﾒﾌｪﾝﾄﾘﾌﾙｺﾅｿﾞｰﾙ/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030/代謝物F031】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
ピーマン （果実）	9	*10% EC*	0.445～0.454 kg ai/ha散布	3	0	圃場A:0.202/<0.01/0.0436/<0.01/<0.01 (#) 圃場B:0.049/<0.01/0.0435/<0.01/<0.01 (#) 圃場C:0.062/<0.01/0.0383/<0.01/<0.01 (#) 圃場D:0.044/<0.01/0.0120/<0.01/<0.01 (#) 圃場E:0.222/<0.01/0.0764/<0.01/<0.01 (#) 圃場F:0.428/<0.01/0.0136/<0.01/<0.01 (#) 圃場G:0.297/<0.01/0.0340/<0.01/<0.01 (#) 圃場H:0.729/<0.01/0.0968/<0.01/<0.01 (#)	◎
					0, 3, 5, 7, 10	圃場I:0.064/<0.01/*0.0561/<0.01/<0.01 (*3回, 10日)(#)	
とうがらし （果実）	3	*10% EC*	0.445～0.446 kg ai/ha散布	3	0	圃場A:0.265/<0.01/0.120/<0.01/0.0199 (#) 圃場B:0.602/<0.01/0.0392/<0.01/<0.01 (#)	◎
					0, 3, 5, 7, 10	圃場C:*0.238/<0.01/**0.0712/<0.01/*0.0131 (*3回, 3日、**3回, 10日) (#)	
ほうれんそう （茎葉部）	8	40% WP	0.449～0.458 kg ai/ha散布	3	0	圃場A:12/<0.01/0.012/<0.01/0.013 圃場B:5.2/<0.01/0.030/<0.01/0.019 圃場C:17/<0.01/0.016/<0.01/<0.01 圃場D:12/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場E:3.8/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場F:4.6/<0.01/0.018/<0.01/0.023 圃場G:4.8/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	◎
					0, 3, 5, 6, 9	圃場H:11/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	
未成熟えんどう （さや付き）	9	10% EC	0.444～0.459 kg ai/ha散布	3	21	圃場A:<0.01/<0.01/0.84/<0.01/<0.01 圃場B:<0.01/<0.01/0.38/<0.01/<0.01 圃場C:<0.01/<0.01/0.49/<0.01/<0.01 圃場D:0.03/<0.01/0.61/<0.01/<0.01 圃場E:<0.01/<0.01/0.33/<0.01/<0.01 圃場F:<0.01/<0.01/0.29/<0.01/<0.01 圃場G:0.03/<0.01/0.15/<0.01/<0.01 圃場H:0.02/<0.01/0.61/<0.01/<0.01	◎
					7, 14, 21, 28	圃場I:0.08/<0.01/0.11/<0.01/<0.01	
未成熟えんどう （さやなし）	9	10% EC	0.444～0.459 kg ai/ha散布	3	21	圃場A:<0.01/<0.01/0.93/<0.01/0.02 圃場B:<0.01/<0.01/0.58/<0.01/<0.01 圃場C:<0.01/<0.01/1.34/<0.01/<0.01 圃場D:<0.01/<0.01/0.78/<0.01/<0.01 圃場E:<0.01/<0.01/0.37/<0.01/<0.01 圃場F:<0.01/<0.01/0.71/<0.01/<0.01 圃場G:<0.01/<0.01/0.88/<0.01/<0.01 圃場H:<0.01/<0.01/0.13/<0.01/<0.01	◎
					7, 14, 21, 28	圃場I:<0.01/<0.01/*0.29/<0.01*<0.01 (*2回, 28日)	
未成熟いんげん （さや付き）	6	10% EC	0.449～0.467 kg ai/ha散布	3	21	圃場A:<0.01/<0.01/0.08/<0.01/<0.01 圃場B:<0.01/<0.01/0.20/<0.01/<0.01 圃場C:<0.01/<0.01/0.05/<0.01/<0.01 圃場D:<0.01/<0.01/0.05/<0.01/<0.01 圃場E:<0.01/<0.01/0.04/<0.01/<0.01	◎
					7, 14, 21, 28	圃場F:*0.03/<0.01/0.05/<0.01/<0.01 (*3回, 28日)	
未成熟いんげん （さやなし）	6	10% EC	0.445～0.456 kg ai/ha散布	3	21	圃場A:<0.01/<0.01/0.51/<0.01/<0.01 圃場B:<0.01/<0.01/0.29/<0.01/<0.01 圃場C:<0.01/<0.01/0.05/<0.01/<0.01 圃場D:<0.01/<0.01/0.06/<0.01/<0.01 圃場E:<0.01/<0.01/0.12/<0.01/<0.01	◎
					7, 14, 21, 28	圃場F:<0.01/<0.01/1.33/*<0.01/*0.04 (*3回, 28日)	
ブルーベリー （果実）	9	40% WP	0.437～0.464 kg ai/ha散布	3	0	圃場A:0.58/<0.01/<0.01/<0.01/0.01 圃場B:0.76/<0.01/<0.01/<0.01/0.01 圃場C:0.68/<0.01/0.02/<0.01/0.08 圃場D:0.51/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場E:0.06/<0.01/<0.01/<0.01/0.01 圃場F:0.18/<0.01/<0.01/<0.01/0.03 圃場G:0.56/<0.01/<0.01/<0.01/0.01 圃場H:3.16/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01	◎
					0, 1, 3, 7, 10	圃場I:0.74/<0.01/<0.01/<0.01/*0.02 (*3回, 7日)	

（別紙2-2）

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度(mg/kg) 注1) 【ﾒﾌｪﾝﾄﾘﾌﾙｺﾅｿﾞｰﾙ/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030/代謝物F031】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
バナナ注2) （果肉、袋なし）	10	40% WP	0.700 kg ai/ha散布	5	0,1,3,7	圃場A:*0.65/<0.01/*0.024/<0.01/**0.027 (*5回,1日、**5回,7日) (#)	◎
						圃場B:0.74/<0.01/*0.038/<0.01/*0.017 (*5回,7日) (#)	
						圃場C:*0.54/<0.01/0.013/<0.01/<0.01 (*5回,7日) (#)	
						圃場D:*0.57/<0.01/**0.027/<0.01/0.018 (*5回,3日、**5回,7日) (#)	
						圃場E:*0.24/<0.01/*0.015/<0.01/**0.015 (*5回,1日、**5回,3日) (#)	
					0	圃場F:0.47/<0.01/0.018/<0.01/0.012 (#)	
						圃場G:0.026/<0.01/0.018/<0.01/0.01 (#)	
						圃場H:0.35/<0.01/0.030/<0.01/0.029 (#)	
						圃場I:0.16/<0.01/0.012/<0.01/0.017 (#)	
						圃場J:0.12/<0.01/0.021/<0.01/0.028 (#)	

EC：乳剤
WP：水和剤
(#) 印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。なお、剤型は異なるものの、使用量及び使用回数は適用の範囲内で行われている。
　基準値の設定根拠及び暴露評価に使用されているものを◎で示した。
注1) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。
注2) バナナの作物残留試験は、エクアドルの登録剤を用いてブラジル、エクアドル及びコロンビアで実施されている。

代謝物F001、代謝物F029、代謝物F030及び代謝物F031の残留濃度は、メフェントリフルコナゾール当量換算を行っていない値で示した。
表中、最大使用条件下の作物残留試験条件にアンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

（別紙2-3）

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表（EU）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注) 【メフェントリフルコナゾール/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030/代謝物F031】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
オリーブ（果実）	8	7.5% SC	0.149～0.159 kg ai/ha 散布	2	*0*,*14*,22,28	圃場A:*0.200/<0.01/0.44/<0.01/<0.01(*2回,28日)	◎
					0,*14*,21,28	圃場B:*0.380/<0.01/0.36/<0.01/0.011(*2回,28日)	
					0,*14*,21,28	圃場C:1.200/<0.01/*0.64/<0.01/<0.01(*2回,28日)	
					0,*14*,21,28	圃場D:*0.230/<0.01/0.30/<0.01/<0.01(*2回,28日)	
					0,*14*,21,27	圃場E:1.400/<0.01/*0.63/<0.01/<0.01(*2回,27日)	
					0,*14*,21,27	圃場F:0.330/<0.01/*0.65/<0.01/<0.01(*2回,27日)	
					0,*13*,21,28	圃場G:*0.600/<0.01/0.16/<0.01/<0.01(*2回,28日)	
					0,*14*,21,28	圃場H:0.320/<0.01/*0.28/<0.01/<0.01(*2回,28日)	
ホップ（毬花）	4	7.5% SC	0.14～ 0.16 kg ai/ha 散布	2	13	圃場A:*3.200/<0.01/*0.27/<0.01/*0.17(*2回,13日)	◎
					13	圃場B:*4.300/*0.16/*0.092/<0.01/*0.14(*2回,13日)	
					15	圃場C:*5.000/<0.01/*0.75/*0.016/*0.31(*2回,15日)	
					13	圃場D:*4.700/*0.015/*0.43/<0.01/*0.18(*2回,13日)	

SC：フロアブル

今回、新たに提出された作物残留試験成績を網掛けで示した。

適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

基準値の設定根拠及び暴露評価に使用されているものを◎で示した。

注）当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

代謝物F001、代謝物F029、代謝物F030及び代謝物F031の残留濃度は、メフェントリフルコナゾール当量換算を行っていない値で示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件にアンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

農薬名　メフェントリフルコナゾール

（別紙3）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 国/地域基準値 ppm		作物残留試験成績等 ppm
米（玄米をいう。）	2			1.5			
小麦	0.4	0.3		0.4			
大麦	4	4		3	4	米国	【<0.01～1.67(n=10)（米国大麦）、<0.01～1.17(n=9)（米国ソルガム）】
ライ麦	4	4		0.4	4	米国	【大麦参照】
とうもろこし	0.04	0.03		0.04			
そば	4	4			4	米国	【大麦参照】
その他の穀類	4	4		3	4	米国	【大麦参照】
大豆	0.4	0.4		0.4			
小豆類	2	2		1.5			
えんどう	0.2	0.2		0.15			
そら豆	0.2	0.2		0.07	0.15	米国	【<0.01～0.05(n=22)（米国いんげん類）、<0.01～0.09(n=26)（米国えんどう類）】
らっかせい	0.01	0.01		0.01			
その他の豆類	0.2	0.2		0.15			
ばれいしょ	0.05	0.04		0.05			
さといも類（やつがしらを含む。）	0.05	0.04		0.05			
かんしょ	0.05	0.04		0.05			
やまいも（長いもをいう。）	0.05	0.04		0.05			
こんにゃくいも	0.05			0.05			
その他のいも類	0.05	0.04		0.05			
てんさい	0.6	0.6			0.6	米国	【0.02～0.58(n=13)（米国）】
さとうきび	2	2		1.5			
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.7	0.7		0.5	0.7	米国	【<0.01～0.24(#)(n=11)（米国にんじん）、<0.01～0.38(#)(n=7)（米国ラディッシュ(根)）】
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	20	20			20	米国	【0.37～8.0(#)(n=7)（米国ラディッシュ(葉)）、3.2～10(#)(n=5)（米国かぶ(葉)）】
かぶ類の根	0.7	0.7		0.5	0.7	米国	【だいこん類（ラディッシュを含む。）の根参照】
かぶ類の葉	20	20			20	米国	【だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉参照】
西洋わさび	0.7	0.7		0.5	0.7	米国	【だいこん類（ラディッシュを含む。）の根参照】
クレソン	30	30			30	米国	【2.2～7.2(n=8)（米国非結球レタス）、3.8～17(n=8)（米国ほうれんそう）、4.1～12(n=4)（米国マスタードグリーン）】
その他のあぶらな科野菜	30	30		0.5	30	米国	【クレソン参照】
ごぼう	0.7	0.7		0.5	0.7	米国	【だいこん類（ラディッシュを含む。）の根参照】
サルシフィー	0.7	0.7		0.5	0.7	米国	【だいこん類（ラディッシュを含む。）の根参照】
チコリ	20	20			20	米国	【だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉参照】
エンダイブ	30	30			30	米国	【クレソン参照】
しゅんぎく	30	30			30	米国	【クレソン参照】
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	30	30		5	30	米国	【クレソン参照】
その他のきく科野菜	30	30		0.5	30	米国	【クレソン参照】

農薬名　メフェントリフルコナゾール

（別紙3）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 国/地域基準値 ppm		作物残留試験成績等 ppm
たまねぎ	0.2	0.2		0.2			
ねぎ(リーキを含む。)	4	4		4			
にんにく	0.2	0.2		0.2			
にら	4	4		4			
わけぎ	4	4		4			
その他のゆり科野菜	4	4		4			
にんじん	0.7	0.7		0.5	0.7	米国	【だいこん類(ラディッシュを含む。)の根参照】
パースニップ	0.7	0.7		0.5	0.7	米国	【だいこん類(ラディッシュを含む。)の根参照】
パセリ	30	30			30	米国	【クレソン参照】
その他のせり科野菜	30	30		0.5	30	米国	【クレソン参照】
トマト	1	0.9	申	0.7			0.218～0.554(n=6)(ミニトマト)、0.328(トマト)
ピーマン	2	0.9	申	1.5			0.394,0.480,0.897
なす	2	0.9	○	1.5			
その他のなす科野菜	4	0.9	申	1.5			1.32,1.85(ししとう)、1.04,1.06,1.28(甘長とうがらし)
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.4	0.2	申	0.15			0.050～0.210(n=6)
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.5	0.2		0.5			
しろうり	0.5	0.5		0.5			
すいか(果皮を含む。)	0.5	0.5	○	0.5			
メロン類果実(果皮を含む。)	0.8	0.5	申	0.5			0.112,0.270,0.345
まくわうり(果皮を含む。)	0.5	0.5		0.5			
その他のうり科野菜	0.5	0.2		0.5			
ほうれんそう	30	30			30	米国	【クレソン参照】
オクラ	0.9	0.9			0.9	米国	【0.125,0.360,0.405(#)(米国チェリートマト)、0.0255～0.370(#)(n=16)(米国トマト)、0.044～0.729(#)(n=9)(米国ピーマン)、0.238,0.265,0.602(#)(米国とうがらし)】
しょうが	0.04	0.04			0.04	米国	【<0.01～0.04(n=19)(米国)ばれいしょ】
未成熟えんどう	0.2	0.2		0.15			
未成熟いんげん	0.2	0.2		0.05	0.15	米国	【そら豆参照】
えだまめ	0.2	0.2		0.05	0.15	米国	【そら豆参照】
その他の野菜	30	30		0.05	30	米国	【クレソン参照】
みかん(外果皮を含む。)	2	0.6		1.5			
なつみかんの果実全体	0.5	0.5		0.5			
レモン	2	1		1.5			
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	1	0.6		1			
グレープフルーツ	0.5	0.5		0.5			
ライム	2	1		1.5			
その他のかんきつ類果実	2	1		1.5			
りんご	2	2	○	1.5			
日本なし	2	2	○	1.5			
西洋なし	2	2	○	1.5			
マルメロ	2	2		1.5			
びわ(果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	2	2		1.5			

農薬名　メフェントリフルコナゾール

（別紙3）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 国/地域基準値 ppm		作物残留試験成績等 ppm
もも(果皮及び種子を含む。)	2	2	○	2			
ネクタリン	2	2	○	2			
あんず(アプリコットを含む。)	2	2		2			
すもも(プルーンを含む。)	2	2		1.5			
うめ	2	2	○	2			
おうとう(チェリーを含む。)	5	4	○	5			
いちご	4	2	申	2			0.762,1.17,1.21
ラズベリー	3	3		3			
ブラックベリー	3	3		3			
ブルーベリー	5	5		5			
クランベリー	5	5		2	5	米国	【0.06～3.16(n=9)(米国ブルーベリー)】
ハックルベリー	5	5		5			
その他のベリー類果実	5	5		5			
ぶどう	3	3	○	2			0.574,1.24(#)(大粒ぶどう) 0.802,1.5(#)(小粒ぶどう)
バナナ	2	2			1.5	米国	【0.026～0.74(n=10)(#)(袋なし)(ブラジル、コロンビア、エクアドル)】
パパイヤ	0.5			0.5			
アボカド	1			1			
マンゴー	0.6			0.6			
パッションフルーツ		2					
その他の果実	3	2	IT	1.5	3	EU	【0.20～1.40(n=8)(EUオリーブ)】
ひまわりの種子	0.2	0.2		0.15			
ごまの種子	1	1		1			
べにばなの種子	0.2	0.2		0.15			
綿実	0.2	0.2		0.2			
なたね	1	1		1			
その他のオイルシード	1	1		1			
ぎんなん	0.06			0.06			
くり	0.06	0.06		0.06			
ペカン	0.06	0.06		0.06			
アーモンド	0.06	0.06		0.06			
くるみ	0.06	0.06		0.06			
その他のナッツ類	0.06	0.06		0.06			
コーヒー豆	0.4	0.4		0.4			
ホップ	15		IT		15	EU	【3.2～5.0(n=4)(EU)】
その他のスパイス	5	1		5			
その他のハーブ	30	30		4	30	米国	【クレソン参照】
牛の筋肉	0.2	0.2		0.15 §			※1
豚の筋肉	0.2	0.01		0.15 §			※1
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.2	0.2		0.15 §			※1

農薬名　メフェントリフルコナゾール

（別紙3）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 国/地域基準値 ppm		作物残留試験成績等 ppm
牛の脂肪	2	1		1.5§			※1
豚の脂肪	2	0.02		1.5§			※1
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	2	1		1.5§			※1
牛の肝臓	2	2		2§			※1
豚の肝臓	2	0.03		2§			※1
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	2	2		2§			※1
牛の腎臓	2	2		2§	1.5	米国	【推:1.614(米国牛の肝臓)】
豚の腎臓	1	0.03		2§			※1
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	2	2		2§			【牛の腎臓参照】
牛の食用部分	2	2		2§			※1
豚の食用部分	2	0.03		2§			※1
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	2	2		2§			※1
乳	0.2	0.2		0.1§	0.15	米国	【推:0.074(米国)】
鶏の筋肉	0.03	0.02		0.03§			※1
その他の家きんの筋肉	0.03	0.02		0.03§			※1
鶏の脂肪	0.2	0.02		0.2§			※1
その他の家きんの脂肪	0.2	0.02		0.2§			※1
鶏の肝臓	0.2	0.02		0.7§			※1
その他の家きんの肝臓	0.2	0.02		0.7§			※1
鶏の腎臓	0.2	0.02		0.7§			※1
その他の家きんの腎臓	0.2	0.02		0.7§			※1
鶏の食用部分	0.2	0.02		0.7§			※1
その他の家きんの食用部分	0.2	0.02		0.7§			※1
鶏の卵	0.04	0.01		0.04§			※1
その他の家きんの卵	0.04	0.01		0.04§			※1
はちみつ	0.05	0.05					※2
トマト(乾燥させたもの)				7			※3
とうがらし(乾燥させたもの)				15			※3
すもも(乾燥させたもの)				7			※3

太枠:本基準(暫定基準以外の基準)を見直した基準値

斜線:食品区分を別途新設すること等に伴い、削除した食品区分、もしくは加工食品につき基準値を設定しないもの

○:既に、国内において登録等がされているもの

申:農薬の登録申請等に伴い基準値設定依頼がなされたもの

IT:海外で設定されている基準値を参照するようインポートトレランス申請されたもの

(#):適用の範囲内で試験が行われていない作物残留試験成績

推:推定される残留濃度

§:規制対象はメフェントリフルコナゾールとその抱合体を含む

※1)国内及び米国の規制対象は畜産物にあってはメフェントリフルコナゾール(遊離体)とされているのに対し、国際基準の規制対象はメフェントリフルコナゾール(抱合体を含む。)とされている。これらを踏まえ、国際基準を参照する食品については、JMPRの評価書(2022年)より換算係数を引用し、国際基準の値に換算係数を除してそれぞれの基準値を算出した。各換算係数は以下のとおり。
牛については筋肉、脂肪及び乳が1、肝臓が1.1、腎臓が1.6並びに鶏及びその他の家きんについては筋肉、脂肪及び卵が1、肝臓が4.5。なお、豚及びその他の陸棲哺乳類に属する動物の換算係数は牛の換算係数を用いた。

※2)「食品中の農薬の残留基準設定の基本原則について」(令和元年7月30日農薬・動物用医薬品部会(令和5年3月31日一部改訂))の別添3「はちみつ中の農薬等の基準設定の方法について」に基づき設定。

※3)加工食品である「トマト(乾燥させたもの)」、「とうがらし(乾燥させたもの)」及び「すもも(乾燥させたもの)」について、国際基準が設定されているが、加工係数を用いて原材料中の濃度に換算した値が当該原材料の基準値案を超えないことから、基準値を設定しないこととする。なお、本物質について、JMPRはトマト(乾燥させたもの)、とうがらし(乾燥させたもの)及びすもも(乾燥させたもの)の加工係数を9.17、10及び4.1と算出している。

（別紙4）

メフェントリフルコナゾールの推定摂取量　（単位：μg／人／日）

食品名	基準値案（ppm）	暴露評価に用いた数値（ppm）	国民全体（1歳以上）EDI	幼小児（1～6歳）EDI	妊婦EDI	高齢者（65歳以上）EDI
米（玄米をいう。）	2	0.11	18.1	9.4	11.6	19.8
小麦	0.4	0.09	5.4	4.0	6.2	4.5
大麦	4	0.37	2.0	1.6	3.3	1.6
ライ麦	4	0.37	0.0	0.0	0.2	0.0
とうもろこし	0.04	0.01	0.0	0.1	0.1	0.0
そば	4	0.37	0.4	0.2	0.7	0.4
その他の穀類	4	0.37	0.1	0.0	0.0	0.1
大豆	0.4	0.01	0.4	0.2	0.3	0.5
小豆類	2	0.22	0.5	0.2	0.2	0.9
えんどう	0.2	0.015	0.0	0.0	0.0	0.0
そら豆	0.2	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
らっかせい	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の豆類	0.2	0.015	0.0	0.0	0.0	0.0
ばれいしょ	0.05	0.01	0.4	0.3	0.4	0.4
さといも類（やつがしらを含む。）	0.05	0.01	0.1	0.0	0.0	0.1
かんしょ	0.05	0.01	0.1	0.1	0.1	0.1
やまいも（長いもをいう。）	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
こんにゃくいも	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のいも類	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
てんさい	0.6	0.08	2.6	2.2	3.3	2.7
さとうきび	2	0.37	36.3	30.9	45.9	37.1
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.7	0.104	3.4	1.2	2.1	4.8
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	20	5	8.5	3.0	15.5	14.0
かぶ類の根	0.7	0.104	0.3	0.1	0.0	0.5
かぶ類の葉	20	5	1.5	0.5	0.5	3.0
西洋わさび	0.7	0.104	0.0	0.0	0.0	0.0
クレソン	30	4.9	0.5	0.5	0.5	0.5
その他のあぶらな科野菜	30	4.9	16.7	2.9	3.9	23.5
ごぼう	0.7	0.104	0.4	0.2	0.4	0.5
サルシフィー	0.7	0.104	0.0	0.0	0.0	0.0
チコリ	20	5	0.5	0.5	0.5	0.5
エンダイブ	30	4.9	0.5	0.5	0.5	0.5
しゅんぎく	30	4.9	7.4	1.5	12.7	12.3
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	30	4.9	47.0	21.6	55.9	45.1
その他のきく科野菜	30	4.9	7.4	0.5	2.9	12.7
たまねぎ	0.2	0.05	1.6	1.1	1.8	1.4
ねぎ（リーキを含む。）	4	0.39	3.7	1.4	2.7	4.2
にんにく	0.2	0.05	0.0	0.0	0.1	0.0
にら	4	0.39	0.8	0.4	0.7	0.8
わけぎ	4	0.39	0.1	0.0	0.0	0.1
その他のゆり科野菜	4	0.39	0.2	0.0	0.1	0.5
にんじん	0.7	0.104	2.0	1.5	2.3	1.9
パースニップ	0.7	0.104	0.0	0.0	0.0	0.0
パセリ	30	4.9	0.5	0.5	0.5	1.0
その他のせり科野菜	30	4.9	1.0	0.5	1.5	1.5
トマト	1	0.328	10.5	6.2	10.5	12.0
ピーマン	2	0.48	2.3	1.1	3.6	2.4
なす	2	0.25	3.0	0.5	2.5	4.3
その他のなす科野菜	4	1.28	1.4	0.1	1.5	1.5
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.4	0.098	2.0	0.9	1.4	2.5
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.5	0.15	1.4	0.6	1.2	2.0
しろうり	0.5	0.15	0.1	0.0	0.0	0.1
すいか（果皮を含む。）	0.5	0.15	1.1	0.8	2.2	1.7
メロン類果実（果皮を含む。）	0.8	0.27	0.9	0.7	1.2	1.1
まくわうり（果皮を含む。）	0.5	0.15	0.0	0.0	0.0	0.1
その他のうり科野菜	0.5	0.15	0.4	0.2	0.1	0.5

（別紙4）

メフェントリフルコナゾールの推定摂取量 （単位：μg／人／日）

食品名	基準値案（ppm）	暴露評価に用いた数値（ppm）	国民全体（1歳以上）EDI	幼小児（1～6歳）EDI	妊婦EDI	高齢者（65歳以上）EDI
ほうれんそう	30	4.9	62.7	28.9	69.6	85.3
オクラ	0.9	0.145	0.2	0.2	0.2	0.2
しょうが	0.04	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
未成熟えんどう	0.2	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
未成熟いんげん	0.2	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
えだまめ	0.2	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の野菜	30	4.9	65.7	30.9	49.5	69.1
みかん（外果皮を含む。）	2	0.37	6.6	6.1	0.2	9.7
なつみかんの果実全体	0.5	0.16	0.2	0.1	0.8	0.3
レモン	2	0.37	0.2	0.0	0.1	0.2
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	1	0.215	1.5	3.1	2.7	0.9
グレープフルーツ	0.5	0.16	0.7	0.4	1.4	0.6
ライム	2	0.37	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のかんきつ類果実	2	0.37	2.2	1.0	0.9	3.5
りんご	2	0.39	9.4	12.1	7.3	12.6
日本なし	2	0.39	2.5	1.3	3.5	3.0
西洋なし	2	0.39	0.2	0.1	0.0	0.2
マルメロ	2	0.39	0.0	0.0	0.0	0.0
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	2	0.39	0.2	0.1	0.7	0.2
もも（果皮及び種子を含む。）	2	0.56	1.9	2.1	3.0	2.5
ネクタリン	2	0.56	0.1	0.1	0.1	0.1
あんず（アプリコットを含む。）	2	0.56	0.1	0.1	0.1	0.2
すもも（プルーンを含む。）	2	0.26	0.3	0.2	0.2	0.3
うめ	2	0.56	0.8	0.2	0.3	1.0
おうとう（チェリーを含む。）	5	1.1	0.4	0.8	0.1	0.3
いちご	4	1.17	6.3	9.1	6.1	6.9
ラズベリー	3	0.96	0.1	0.1	0.1	0.1
ブラックベリー	3	0.96	0.1	0.1	0.1	0.1
ブルーベリー	5	0.58	0.6	0.4	0.3	0.8
クランベリー	5	0.58	0.1	0.1	0.1	0.1
ハックルベリー	5	0.58	0.1	0.1	0.1	0.1
その他のベリー類果実	5	0.58	0.1	0.1	0.1	0.1
ぶどう	3	1.021	8.9	8.4	20.6	9.2
バナナ	2	0.41	5.4	6.2	6.7	7.7
パパイヤ	0.5	0.07	0.0	0.0	0.0	0.0
アボカド	1	0.36	0.1	0.0	0.0	0.1
マンゴー	0.6	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の果実	3	0.355	0.4	0.1	0.3	0.6
ひまわりの種子	0.2	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
ごまの種子	1	0.06	0.1	0.1	0.1	0.0
べにばなの種子	0.2	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
綿実	0.2	0.04	0.0	0.0	0.0	0.0
なたね	1	0.06	0.4	0.2	0.3	0.3
その他のオイルシード	1	0.06	0.0	0.0	0.0	0.0
ぎんなん	0.06	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
くり	0.06	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
ペカン	0.06	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
アーモンド	0.06	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
くるみ	0.06	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のナッツ類	0.06	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
コーヒー豆	0.4	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
ホップ	15	4.5	0.5	0.5	0.5	0.5
その他のスパイス	5	0.58	0.1	0.1	0.1	0.1
その他のハーブ	30	4.9	4.4	1.5	0.5	6.9

（別紙4）

メフェントリフルコナゾールの推定摂取量 （単位：μg／人／日）

食品名	基準値案（ppm）	暴露評価に用いた数値（ppm）	国民全体（1歳以上）EDI	幼小児（1～6歳）EDI	妊婦 EDI	高齢者（65歳以上）EDI
陸棲哺乳類の肉類	2	筋肉　0.04 脂肪　0.39	6.3	4.7	7.1	4.5
陸棲哺乳類の食用部分（肉類除く）	2	1.294	1.8	1.0	6.2	1.2
陸棲哺乳類の乳類	0.2	0.165	43.6	54.8	60.2	35.6
家きんの肉類	0.2	0.124	2.7	1.9	2.8	2.0
家きんの卵類	0.04	0.032	1.3	1.1	1.5	1.2
はちみつ	0.05	● 0.05	0.0	0.0	0.1	0.1
計			432.8	277.1	456.2	494.1
ADI比（%）			22.4	48.0	22.3	25.2

EDI：推定一日摂取量（Estimated Daily Intake）
EDI試算法：作物残留試験成績の中央値（STMR）等×各食品の平均摂取量

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてEDI試算を行った。
「陸棲哺乳類の肉類」については、EDI試算では、畜産物中の平均的な残留農薬濃度を用い、摂取量の筋肉及び脂肪の比率をそれぞれ80%、20%として試算した。

●：個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値（案）の数値を用いた。

（参考）

これまでの経緯

平成３１年　３月　１日	インポートトレランス申請（小麦、大麦等）
令和　元年　５月２２日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和　２年　１月１４日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和　２年　４月　３日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和　２年１１月１６日	残留基準告示
令和　３年　５月２５日	薬事・食品衛生審議会へ諮問（基本原則の一部改訂に伴う残留基準設定）
令和　３年　６月１６日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和　３年　６月２２日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和　３年　７月　７日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和　３年１２月１７日	残留基準告示
令和　４年　４月２７日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（新規：ぶどう、りんご等）
令和　４年　５月２４日	インポートトレランス申請（さとうきび、たまねぎ等）
令和　４年　８月２４日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和　４年１０月２６日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和　５年　２月１０日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和　５年１０月１８日	残留基準告示
令和　７年　６月３０日	農林水産省から消費者庁へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：トマト、きゅうり等）
令和　８年　６月　８日	インポートトレランス申請（その他の果実、ホップ）
令和　８年　９月　３日	食品衛生基準審議会へ諮問
令和　８年　９月１６日	食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

● 食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

［委員］

	大山　和俊	一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長
○	折戸　謙介	学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部教授
	加藤　くみ子	国立医薬品食品衛生研究所薬品部長
	近藤　麻子	日本生活協同組合連合会執行役員組織推進本部本部長
	須恵　雅之	東京農業大学応用生物科学部教授
	瀧本　秀美	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事
	田口　貴章	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
◎	堤　智昭	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
	中島　美紀	金沢大学ナノ生命科学研究所（薬学系兼任）教授
	野田　隆志	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問

（◎：部会長、○：部会長代理）

答申（案）

メフェントリフルコナゾールについては、以下のとおり食品中の農薬の残留基準を設定することが適当である。

メフェントリフルコナゾール

今回残留基準を設定する「メフェントリフルコナゾール」の規制対象は、メフェントリフルコナゾールとする。

食品名	残留基準値 ppm
米（玄米をいう。）	2
小麦	0.4
大麦	4
ライ麦	4
とうもろこし	0.04
そば	4
その他の穀類[注1)]	4
大豆	0.4
小豆類[注2)]	2
えんどう	0.2
そら豆	0.2
らっかせい	0.01
その他の豆類[注3)]	0.2
ばれいしょ	0.05
さといも類（やつがしらを含む。）	0.05
かんしょ	0.05
やまいも（長いもをいう。）	0.05
こんにゃくいも	0.05
その他のいも類[注4)]	0.05
てんさい	0.6
さとうきび	2
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.7
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	20
かぶ類の根	0.7
かぶ類の葉	20
西洋わさび	0.7
クレソン	30

食品名	残留基準値 ppm
その他のあぶらな科野菜[注5)]	30
ごぼう	0.7
サルシフィー	0.7
チコリ	20
エンダイブ	30
しゅんぎく	30
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	30
その他のきく科野菜[注6)]	30
たまねぎ	0.2
ねぎ（リーキを含む。）	4
にんにく	0.2
にら	4
わけぎ	4
その他のゆり科野菜[注7)]	4
にんじん	0.7
パースニップ	0.7
パセリ	30
その他のせり科野菜[注8)]	30
トマト	1
ピーマン	2
なす	2
その他のなす科野菜[注9)]	4
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.4
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.5
しろうり	0.5
すいか（果皮を含む。）	0.5
メロン類果実（果皮を含む。）	0.8
まくわうり（果皮を含む。）	0.5
その他のうり科野菜[注10)]	0.5
ほうれんそう	30
オクラ	0.9
しょうが	0.04
未成熟えんどう	0.2
未成熟いんげん	0.2

食品名	残留基準値 ppm
えだまめ	0.2
その他の野菜[注11)]	30
みかん（外果皮を含む。）	2
なつみかんの果実全体	0.5
レモン	2
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	1
グレープフルーツ	0.5
ライム	2
その他のかんきつ類果実[注12)]	2
りんご	2
日本なし	2
西洋なし	2
マルメロ	2
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	2
もも（果皮及び種子を含む。）	2
ネクタリン	2
あんず（アプリコットを含む。）	2
すもも（プルーンを含む。）	2
うめ	2
おうとう（チェリーを含む。）	5
いちご	4
ラズベリー	3
ブラックベリー	3
ブルーベリー	5
クランベリー	5
ハックルベリー	5
その他のベリー類果実[注13)]	5
ぶどう	3
バナナ	2
パパイヤ	0.5
アボカド	1
マンゴー	0.6
その他の果実[注14)]	3
ひまわりの種子	0.2
ごまの種子	1

食品名	残留基準値 ppm
べにばなの種子	0.2
綿実	0.2
なたね	1
その他のオイルシード[注15)]	1
ぎんなん	0.06
くり	0.06
ペカン	0.06
アーモンド	0.06
くるみ	0.06
その他のナッツ類[注16)]	0.06
コーヒー豆	0.4
ホップ	15
その他のスパイス[注17)]	5
その他のハーブ[注18)]	30
牛の筋肉	0.2
豚の筋肉	0.2
その他の陸棲哺乳類に属する動物[注19)] の筋肉	0.2
牛の脂肪	2
豚の脂肪	2
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	2
牛の肝臓	2
豚の肝臓	2
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	2
牛の腎臓	2
豚の腎臓	1
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	2
牛の食用部分[注20)]	2
豚の食用部分	2
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	2
乳	0.2
鶏の筋肉	0.03
その他の家きん[注21)] の筋肉	0.03
鶏の脂肪	0.2

食品名	残留基準値 ppm
その他の家きんの脂肪	0.2
鶏の肝臓 その他の家きんの肝臓	0.2 0.2
鶏の腎臓 その他の家きんの腎臓	0.2 0.2
鶏の食用部分 その他の家きんの食用部分	0.2 0.2
鶏の卵 その他の家きんの卵	0.04 0.04
はちみつ	0.05

注1）「その他の穀類」とは、穀類のうち、米（玄米をいう。）、小麦、大麦、ライ麦、とうもろこし及びそば以外のものをいう。

注2）「小豆類」には、いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズ豆を含む。

注3）「その他の豆類」とは、豆類のうち、大豆、小豆類、えんどう、そら豆、らっかせい及びスパイス以外のものをいう。

注4）「その他のいも類」とは、いも類のうち、ばれいしょ、さといも類（やつがしらを含む。）、かんしょ、やまいも（長いもをいう。）及びこんにゃくいも以外のものをいう。

注5）「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類（ラディッシュを含む。）の根、だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

注6）「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）及びハーブ以外のものをいう。

注7）「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ（リーキを含む。）、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。

注8）「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注9）「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

注10）「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり（ガーキンを含む。）、かぼちゃ（スカッシュを含む。）、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

注11）「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注12）「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。

注13）「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー及びハックルベリー以外のものをいう。

注14）「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず（アプリコットを含む。）、すもも（プルーンを含む。）、うめ、おうとう（チェリーを含む。）、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウィー、パパイヤ、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。

注15）「その他のオイルシード」とは、オイルシードのうち、ひまわりの種子、ごまの種子、べにばなの種子、綿実、なたね及びスパイス以外のものをいう。

注16）「その他のナッツ類」とは、ナッツ類のうち、ぎんなん、くり、ペカン、アーモンド及びくるみ以外のものをいう。

注17）「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）の果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。

注18）「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。

注19）「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。

注20）「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。

注21）「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。

添付資料１

メフェントリフルコナゾール

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく新規の農薬登録申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたこと及び関連企業から「国外で使用される農薬等に係る残留基準の設定及び改正に関する指針について」に基づく残留基準の設定要請がなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

１．概要

（１）品目名：メフェントリフルコナゾール[Mefentrifluconazole (ISO)]

（２）分　類：農薬

（３）用　途：殺菌剤

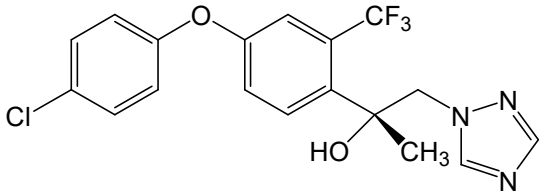
トリアゾール系の殺菌剤である。病原菌の細胞膜のステロール生合成阻害剤の一種で、ステロール生合成におけるC14位の脱メチル化を阻害してエルゴステロールの生合成を阻止させることによって、殺菌作用を示すと考えられている。

（４）化学名及びCAS番号

(2*RS*)-2-[4-(4-Chlorophenoxy)-2-(trifluoromethyl)phenyl]-1-(1*H*-1,2,4-triazol-1-yl)propan-2-ol (IUPAC)

1*H*-1,2,4-Triazole-1-ethanol, α-[4-(4-chlorophenoxy)-2-(trifluoromethyl)phenyl]-α-methyl- (CAS：No. 1417782-03-6)

（５）構造式及び物性



（ラセミ体、*R*体：*S*体＝1：1）

分 子 式	$C_{18}H_{15}ClF_3N_3O_2$
分 子 量	397.78
水溶解度	6.6×10^{-4} g/L (20℃, pH 4)
	7.1×10^{-4} g/L (20℃, pH 7)
分配係数	$\log_{10}$Pow ＝ 3.4 (pH 4緩衝液)

3.4（pH 9緩衝液）
3.3（pH 7緩衝液）

２．適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

（１）国内での使用方法

①　40.0%メフェントリフルコナゾール水和剤

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ﾒﾌｪﾝﾄﾘﾌﾙｺﾅｿﾞｰﾙを含む農薬の総使用回数
りんご	モニリア病 黒星病 赤星病 斑点落葉病 褐斑病 黒点病	8000倍	200～700 L/10 a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
なし	うどんこ病 赤星病 黒星病 黒斑病						
もも	灰星病 黒星病			収穫前日まで	2回以内		2回以内
ネクタリン							
おうとう	灰星病				3回以内		3回以内
うめ	黒星病						
ぶどう	灰色かび病 黒とう病						

（2）海外での使用方法

さとうきび、たまねぎ等に係る残留基準の設定について今回インポートトレランス申請がなされており、作物名となっているものは、今回の申請にかかる作物を示している。

① 40.0%(W/V)メフェントリフルコナゾール水和剤（米国）

作物名	適用	1回当たりの使用量	使用方法	使用時期	総使用量	使用回数
豆類（大豆及びえだまめを除く）	Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot*, Seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布	収穫21日前まで	437 g ai/ha	146 g ai/haでは年3回以内
	Alternaria leaf and pod spot Ascochyta blight Asian soybean rust Cercospora leaf spot Mycosphaerella blight Powdery mildew Rust	78～146 g ai/ha	茎葉散布			
かんきつ類	Alternaria brown spot Anthracnose Blackspot Greasy spot Melanose Postbloom fruit drop Scab	112～146 g ai/ha		収穫当日まで		
とうもろこし	Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot* Seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布	収穫21日前まで	291 g ai/ha (ｽｲｰﾄｺｰﾝは437 g ai/ha)	146 g ai/haでは年2回以内 (ｽｲｰﾄｺｰﾝは3回以内)
	Anthracnose Eyespot Gray leaf spot Northern corn leaf blight Northern corn leaf spot Southern corn leaf blight Tar spot	78～146 g ai/ha	茎葉散布			
	Common rust* Southern rust*	101～146 g ai/ha				

ai： active ingredient（有効成分）

*：抑制のみ

**: 茎葉散布も併せて3回437 g ai/haまで

① 40.0%(W/V)メフェントリフルコナゾール水和剤（米国）（つづき）

作物名	適用	1回当たりの使用量	使用方法	使用時期	総使用量	使用回数
らっかせい	Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot* Seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布	収穫14日前まで	605 g ai/ha	202 g ai/haでは年3回以内
	Early leaf spot Late leaf spot Rust	78～202 g ai/ha	茎葉散布			
	Rhizoctonia limb rot* Peg rot* Pod rot* Sclerotium rot* Southern blight* Southern stem rot* White mold	146～202 g ai/ha				
いも類	Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot* Seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布	収穫7日前まで	437 g ai/ha	146 g ai/haでは年3回以内
	Black dot Black pit Brown spot Early blight	90～146 g ai/ha	茎葉散布			
なたね	Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot* Seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布	収穫21日前まで	291 g ai/ha	146 g ai/haでは年2回以内
	Blackleg Blackspot	78～146 g ai/ha	茎葉散布			
小粒穀物類（大麦、オーツ麦、ライ麦、ライ小麦、小麦）	Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot* Seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布			
	Leaf rust Net blotch Septoria leaf blotch Stripe rust	78～146 g ai/ha	茎葉散布			
ソルガム及びきび類	Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot* Seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布			
	Bipolaris leaf spot Southern leaf blight Cercospora leaf spot Gray leaf spot Northern leaf blight	78～146 g ai/ha	茎葉散布			
	Rust*	101～146 g ai/ha				

① 40.0%(W/V)メフェントリフルコナゾール水和剤（米国）（つづき）

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用</th><th>1回当たりの使用量</th><th>使用方法</th><th>使用時期</th><th>総使用量</th><th>使用回数</th></tr>
<tr><td rowspan="2">大豆及びえだまめ</td><td>Rhizoctonia seed and seedling rot
Fusarium seed rot*
Seeding blight*</td><td>34～146 g ai/ha</td><td>畝間散布</td><td rowspan="2">収穫21日前まで</td><td rowspan="2">大豆は291 g ai/haえだまめは437 g ai/ha</td><td rowspan="2">146 g ai/haでは年2回以内（えだまめは3回以内）</td></tr>
<tr><td>Alternaria leaf spot
Asian soybean rust
Brown spot
Cercospora blight
Frogeye leaf spot
Rhizoctonia aerial blight</td><td>78～146 g ai/ha</td><td>茎葉散布</td></tr>
<tr><td rowspan="2">てんさい</td><td>Rhizoctonia seed and seedling rot
Fusarium seed rot*
Seedling blight*</td><td>34～146 g ai/ha</td><td>畝間散布</td><td rowspan="2">収穫7日前まで</td><td rowspan="2">291 g ai/ha</td><td rowspan="2">146 g ai/haでは年2回以内</td></tr>
<tr><td>Cercospora leaf spot
Powdery mildew*</td><td>78～146 g ai/ha</td><td rowspan="8">茎葉散布</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ぶどう（ワイン用）</td><td>Black rot</td><td rowspan="2">112 g ai/ha</td><td rowspan="2">収穫14日前まで</td><td rowspan="8">437 g ai/ha</td><td rowspan="8">146 g ai/haでは年3回以内</td></tr>
<tr><td>Phomopsis cane and leaf spot
Powdery mildew</td></tr>
<tr><td rowspan="2">仁果類</td><td>Alternaria blotch
Apple scab
Black rot/Frogeye leaf spot
Cedar apple rust
Flyspeck
Marssonina leaf blotch
Apple blotch
Pear scab
Sooty blotch
White rot
Quince rust*</td><td>112～146 g ai/ha</td><td rowspan="6">収穫当日まで</td></tr>
<tr><td>Powdery mildew</td><td>146 g ai/ha</td></tr>
<tr><td rowspan="3">核果類</td><td>Blossom blight
Brown rot</td><td>90～146 g ai/ha</td></tr>
<tr><td>Alternaria leaf spot
Leaf spot
Ripe fruit rot
Rust
Scab
Shothole</td><td>112～146 g ai/ha</td></tr>
<tr><td>Powdery mildew*</td><td>146 g ai/ha</td></tr>
</table>

① 40.0%(W/V)メフェントリフルコナゾール水和剤（米国）（つづき）

作物名	適用	1回当たりの使用量	使用方法	使用時期	総使用量	使用回数
ナッツ類	Brown rot blossom blight	90～146 g ai/ha	茎葉散布	収穫14日前まで	437 g ai/ha	146 g ai/haでは年3回以内
	Alternaria leaf spot Anthracnose Eastern filbert blight Leaf rust Panicle and shoot blight Scab Shothole	112～146 g ai/ha				
ベリー類	Monilinia blight and mummy berry	90～146 g ai/ha		収穫当日まで		
	Alternaria leaf spot and fruit rot Anthracnose Leaf spot and blotch Phomopsis leaf spot, twig blight and fruit rot Spur blight	112～146 g ai/ha				
鱗茎野菜	Purple blotch and leaf blight	90～146 g ai/ha		収穫7日前まで		
	Powdery mildew	113～146 g ai/ha				
うり科野菜	Gummy stem blight Powdery mildew	90～146 g ai/ha		収穫当日まで		
	Alternaria leaf blight Anthracnose	112～146 g ai/ha				
果菜類	Anthracnose Black mold Early blight Powdery mildew	90～146 g ai/ha				
	Septoria leaf spot	112～146 g ai/ha				

① 40.0%(W/V)メフェントリフルコナゾール水和剤（米国）（つづき）

作物名	適用	1回当たりの使用量	使用方法	使用時期	総使用量	使用回数
葉菜類	Alternaria leaf spot Powdery mildew	90～146 g ai/ha	茎葉散布	収穫当日まで	437 g ai/ha	146 g ai/haでは年3回以内
	Anthracnose Ascochyta leaf spot Cercospora leaf spot Septoria leaf spot	112～146 g ai/ha				
根菜類	Alternaria leaf spot Cerocospora leaf spot Powdery mildew	90～146 g ai/ha		収穫7日前まで		
	Anthracnose Ascochyta leaf spot Septoria leaf spot	112～146 g ai/ha				
いちご	Anthracnose Powdery mildew			収穫当日まで		
棉実	Phymatotrichopsis root rot Rhizoctonia seed and seedlng rot Fusarium seed rot, seedling blight*	78～146 g ai/ha	畝間散布	収穫30日前まで		146 g ai/haでは年1回以内**
オイルシード類	Alternaria leaf spot Blackleg Blackspot Cercospora leaf spot Pasmo Septoria leaf spot	90～146 g ai/ha	茎葉散布	収穫21日前まで	291 g ai/ha	146 g ai/haでは年2回以内
さとうきび	Sugarcane pineapple disease Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot*, Seedling blight*	112～146 g ai/ha	畝間散布	収穫14日前まで		
	Brown rust Orange rust		茎葉散布			

② 10%メフェントリフルコナゾール乳剤（米国）

作物名	適用	1回当たりの使用量	使用方法	使用時期	総使用量	使用回数
豆類（大豆及びえだまめを除く）	Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot* Seedling blight*	38～146 g ai/ha	畝間散布	収穫21日前まで	437 g ai/ha	146 g ai/haでは年3回以内
	Alternaria leaf and pod spot Ascochyta blight Asian soybean rust Cercospora leaf spot Mycosphaerella blight Powdery mildew Rust	78～146 g ai/ha	茎葉散布			
かんきつ類	Alternaria brown spot Anthracnose Blackspot Greasy spot Melanose Postbloom fruit drop Scab	67～146 g ai/ha		収穫当日まで		
とうもろこし	Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot* Seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布	収穫21日前まで	291 g ai/ha（ｽｲｰﾄｺｰﾝは437 g ai/ha）	146 g ai/haでは年2回以内（ｽｲｰﾄｺｰﾝは3回以内）
	Anthracnose Eyespot Gray leaf spot Northern corn leaf blight Northern corn leaf spot Southern corn leaf blight Tar spot	67～146 g ai/ha	茎葉散布			
	Common rust* Southern rust*	101～146 g ai/ha				

② 10.0%(W/V)メフェントリフルコナゾール乳剤（米国）（つづき）

作物名	適用	1回当たりの使用量	使用方法	使用時期	総使用量	使用回数
らっかせい	Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot* Seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布	収穫14日前まで	605 g ai/ha	202 g ai/haでは年3回以内
	Early leaf spot Late leaf spot Rust	67～202 g ai/ha	茎葉散布			
	Rhizoctonia limb rot* Peg rot* Pod rot* Sclerotium rot* Southern blight* Southern stem rot* White mold	146～202 g ai/ha				
いも類	Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot* Seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布	収穫7日前まで	437 g ai/ha	146 g ai/haでは年3回以内
	Black dot Black pit Brown spot Early blight	67～146 g ai/ha	茎葉散布			
なたね	Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot* Seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布	収穫21日前まで	291 g ai/ha	146 g ai/haでは年2回以内
	Blackleg Blackspot	67～146 g ai/ha	茎葉散布			
小粒穀物類（大麦、オーツ麦、ライ麦、ライ小麦、小麦）	Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot* Seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布			
	Leaf rust Net blotch Septoria leaf blotch Stripe rust	78～146 g ai/ha	茎葉散布			

② 10.0% (W/V)メフェントリフルコナゾール乳剤（米国）（つづき）

作物名	適用	1回当たりの使用量	使用方法	使用時期	総使用量	使用回数
ソルガム及びキビ類	Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot* Seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布	収穫21日前まで	291 g ai/ha	146 g ai/haでは年2回以内
	Bipolaris leaf spot Southern leaf blight Cercospora leaf spot Gray leaf spot Northern leaf blight	67～146 g ai/ha	茎葉散布			
	Rust*	101～146 g ai/ha				
大豆	Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot* Seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布		大豆は291 g ai/haえだまめは437 g ai/ha	146 g ai/haでは年2回以内(えだまめは3回以内)
	Alternaria leaf spot Asian soybean rust Brown spot Cercospora blight Frogeye leaf spot Rhizoctonia aerial blight	78～146 g ai/ha	茎葉散布			
てんさい	Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot* Seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布	収穫7日前まで	291 g ai/ha	146 g ai/haでは年2回以内
	Cercospora leaf spot Powdery mildew	67～146 g ai/ha	茎葉散布			
棉実	Phymatotrichopsis root rot Rhizoctonia seed and seedlng rot Fusarium seed rot seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布	収穫30日前まで	146 g ai/ha	146 g ai/haでは年1回以内**
オイルシード類	Alternaria leaf spot Blackleg Blackspot Cercospora leaf spot Pasmo Septoria leaf spot	67～146 g ai/ha	茎葉散布	収穫21日前まで	291 g ai/ha	146 g ai/haでは年2回以内

② 10.0%(W/V)メフェントリフルコナゾール乳剤（米国）（つづき）

作物名	適用	1回当たりの使用量	使用方法	使用時期	総使用量	使用回数
さとうきび	Sugarcane pineapple disease Rhizoctonia seed and seedling rot Fusarium seed rot*, Seedling blight*	34～146 g ai/ha	畝間散布	収穫14日前まで	291 g ai/ha	146 g ai/haでは年2回以内
	Brown rust Orange rust	67～146 g ai/ha	茎葉散布			

③ 40%メフェントリフルコナゾール水和剤（エクアドル）

作物名	適用	1回当たりの使用量	使用方法	使用時期	総使用量	使用回数
バナナ	Black Sigatoka	140 g ai/ha	茎葉散布	収穫当日まで	560 g ai/ha推奨	4回まで推奨

④ 20%メフェントリフルコナゾール・20%ピラクロストロビン水和剤（エクアドル、ブラジル）

作物名	適用	1回当たりの使用量	使用方法	使用時期	総使用量	使用回数
コーヒー豆	Rust	160 g ai/ha	茎葉散布	収穫45前日まで	480 g ai/ha	3回まで

⑤ 13.3%メフェントリフルコナゾール・17.8%ピラクロストロビン水和剤（ブラジル）

作物名	適用	1回当たりの使用量	使用方法	使用時期	総使用量	使用回数
コーヒー豆	Rust	106.6 g ai/ha	茎葉散布	収穫45前日まで	320 g ai/ha	3回まで

３．代謝試験

（１）植物代謝試験

植物代謝試験が、小麦、大豆及びぶどうで実施されており、可食部で10%TRR[注)]以上認められた代謝物は、代謝物F029（小麦及び大豆）及び代謝物F030（小麦）であった。

注）%TRR：総放射性残留物（TRR：Total Radioactive Residues）濃度に対する比率（%）

（２）家畜代謝試験

家畜代謝試験が、泌乳山羊及び産卵鶏で実施されており、可食部で10%TRR以上認められた代謝物は、代謝物F001（泌乳山羊の肝臓、腎臓、筋肉、乳汁、乳脂肪及び無脂肪乳並びに産卵鶏の肝臓、腎臓、筋肉、脂肪、卵黄及び卵白）、代謝物F016（泌乳山羊の肝臓）、代謝物F022（泌乳山羊の腎臓、産卵鶏の肝臓、腎臓、筋肉、脂肪及び卵黄）、代謝物F023（産卵鶏の脂肪）、代謝物F024（産卵鶏の脂肪及び卵黄）、代謝物F025（産卵鶏の脂肪）、代謝物F023/代謝物F024/代謝物F025（産卵鶏の卵黄）、代謝物F024/代謝物F025（産卵鶏の筋肉、脂肪及び卵黄）、代謝物F034（産卵鶏の肝臓）、代謝物F038（泌乳山羊の肝臓及び腎臓）、代謝物F041（泌乳山羊の無脂肪乳）、代謝物F043（泌乳山羊の乳汁、乳脂肪及び無脂肪乳）、代謝物F038/代謝物F064（泌乳山羊の腎臓）、代謝物F068（泌乳山羊の腎臓）、代謝物F072（泌乳山羊の無脂肪乳）であった。

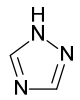
【代謝物略称一覧】

略称	JMPR評価書の略称	化学名
F001	－	1*H*-1,2,4-トリアゾール
F016	－	2-クロロ-5-{4-[2-ヒドロキシ-1-(1*H*-1,2,4-トリアゾール-1-イル)プロパン-2-イル]-3-(トリフルオロメチル)フェノキシ}フェノール
F022	－	2-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]プロパン-1,2-ジオール
F023	－	2-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-2-ヒドロキシプロピル(9*Z*,11*E*)-オクタデカ-9,11-ジエノアート
F024	－	2-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-2-ヒドロキシプロピル(9*Z*)-オクタデカ-9-エノアート
F025	－	2-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-2-ヒドロキシプロピルヘキサデカノアート

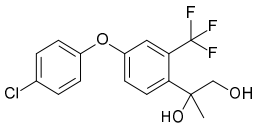
【代謝物略称一覧】（つづき）

略称	JMPR評価書の略称	化学名
F029	－	3-(1*H*-1,2,4-トリアゾール-1-イル)-L-アラニン
F030	－	(1*H*-1,2,4-トリアゾール-1-イル)酢酸
F031	－	2-ヒドロキシ-3-(1*H*-1,2,4-トリアゾール-1-イル)プロピオン酸
F034	－	γ-グルタミル-*S*-(5-クロロ-6-ヒドロキシ-2-{4-[2-ヒドロキシ-1-(1*H*-1,2,4-トリアゾール-1-イル)プロパン-2-イル]-3-(トリフルオロメチル)フェノキシ}シクロヘキサ-2,4-ジエン-1-イル)システイニルグリシン
F038	－	(2*R*)-2-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-2-ヒドロキシプロパン酸
F041	－	3-クロロ-6-{4-[2-ヒドロキシ-1-(1*H*-1,2,4-トリアゾール-1-イル)プロパン-2-イル]-3-(トリフルオロメチル)フェノキシ}シクロヘキサ-3,5-ジエン-1,2-ジオール
F043	－	2-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-2-ヒドロキシプロピル硫酸水素
F064	－	構造未決定の代謝物
F068	－	2-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-1-(1*H*-1,2,4-トリアゾール-1-イル)プロパン-2-イル ヘキソピラノシドウロン酸
F072	－	2-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-2-ヒドロキシ-3-(1*H*-1,2,4-トリアゾール-1-イル)プロピル硫酸水素

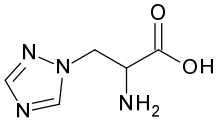
－：JMPR評価書にはない。



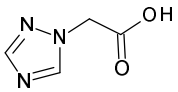
代謝物F001



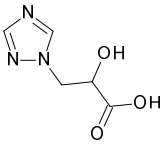
代謝物F022



代謝物F029



代謝物F030



代謝物F031

注）残留試験の分析対象及び暴露評価対象となっている代謝物について構造式を明記した。

4．作物残留試験

（1）分析の概要

【国内】

① 分析対象物質

・メフェントリフルコナゾール
・代謝物F001
・代謝物F029
・代謝物F030

② 分析法の概要

試料からメタノール・水（4：1）混液で抽出し、C_{18}カラムを用いて精製した後、液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計（LC-MS/MS）で定量する。

または、試料からメタノール・水（4：1）混液で抽出し、メフェントリフルコナゾールはC_{18}カラムを用いて精製した後、代謝物F001及び代謝物F029はスルホン酸塩修飾ジビニルベンゼン-*N*-ビニルピロリドン共重合体カラムを用いて精製した後、代謝物F030は4級アンモニウム塩修飾ジビニルベンゼン-*N*-ビニルピロリドン共重合体カラムを用いて精製した後、それぞれLC-MS/MSで定量する。

定量限界：	メフェントリフルコナゾール	0.005 mg/kg
	代謝物F001	0.05 mg/kg
	代謝物F029	0.05 mg/kg
	代謝物F030	0.05 mg/kg

【海外】

① 分析対象物質

・メフェントリフルコナゾール
・代謝物F001
・代謝物F029
・代謝物F030
・代謝物F031

② 分析法の概要

ⅰ）メフェントリフルコナゾール

試料からメタノール・水（4：1）混液で抽出し、LC-MS/MSで定量する。

または、試料からメタノール・水・2 mol/L塩酸（14：5：1）混液で抽出する。0.2 mol/L水酸化ナトリウム溶液で塩基性とした後、シクロヘキサンに転溶し、LC-MS/MSで定量する。

定量限界：0.01 mg/kg

ⅱ）代謝物F001、代謝物F029、代謝物F030及び代謝物F031

試料からメタノール・水（4：1）混液で抽出する。それぞれのトリアゾール系代謝物の安定同位体標識体を内部標準物質として添加し、C_{18}粉末を加えて固相分散処理、またはジクロロメタンに転溶、もしくはC_{18}カラムを用いて精製した後、LC-MS/MSで定量する。

定量限界：代謝物F001　0.01 mg/kg
代謝物F029　0.01～0.4 mg/kg
代謝物F030　0.01 mg/kg
代謝物F031　0.01 mg/kg

（２）作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1-1、海外で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1-2を参照。

５．畜産物における推定残留濃度

本剤については、飼料として給与された作物を通じ家畜の筋肉等への移行が想定されることから、飼料中の残留農薬濃度及び動物飼養試験の結果を用い、以下のとおり畜産物中の推定残留濃度を算出した。

（１）分析の概要

①　分析対象物質

・メフェントリフルコナゾール
・代謝物F001
・代謝物F022
・代謝物F029
・代謝物F030
・代謝物F031

②　分析法の概要

ⅰ）メフェントリフルコナゾール

筋肉、肝臓、腎臓及び卵については、試料からメタノール・水・2 mol/L塩酸（14：5：1）混液で抽出する。0.2 mol/L水酸化ナトリウム溶液で塩基性とした後、シクロヘキサンに転溶し、LC-MS/MSで定量する。

脂肪及び乳については、試料からアセトニトリル・イソヘキサン（5：2）混液で

抽出する。イソヘキサンで洗浄した後、LC-MS/MSで定量する。

定量限界：0.01 mg/kg

ⅱ）代謝物F022

筋肉、肝臓、腎臓及び卵については、試料からメタノール・水・2 mol/L塩酸（14：5：1）混液で抽出する。0.2 mol/L水酸化ナトリウム溶液で塩基性とした後、筋肉及び肝臓はシクロヘキサンに、腎臓及び卵はジクロロメタンに転溶し、スチレンジビニルベンゼン共重合体カラムを用いて精製した後、ガスクロマトグラフ・質量分析計（GC-MS）で定量する。

脂肪及び乳については、試料からアセトニトリル・イソヘキサン（5：2）混液で抽出する。イソヘキサンで洗浄し、スチレンジビニルベンゼン共重合体カラムを用いて精製した後、GC-MSで定量する。

なお、代謝物F022の分析値は、換算係数1.15を用いてメフェントリフルコナゾール濃度に換算した値として示した。

定量限界：0.01 mg/kg（メフェントリフルコナゾール換算濃度）

ⅲ）代謝物F001、代謝物F029、代謝物F030及び代謝物F031

試料からメタノール・水（4：1）混液で抽出する。オクタデシルシリル化シリカゲル（C_{18}）カラムで精製した後、トリアゾール酢酸、トリアゾールアラニン及びトリアゾール乳酸はそれぞれのトリアゾール系代謝物の安定同位体（トリアゾール環のすべての炭素と窒素をそれぞれ^{13}C及び^{15}Nで標識）を内部標準物質として添加し、LC-MS/MSで定量する。

定量限界：0.01 mg/kg

（２）家畜残留試験（動物飼養試験）

①　乳牛を用いた残留試験

乳牛（体重502～770 kg、3頭/群）に対して、飼料中濃度として1.5、7.5、50及び150 ppmに相当する量のメフェントリフルコナゾールを含むカプセルを28日間にわたり強制経口投与し、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるメフェントリフルコナゾール、代謝物F001、代謝物F022、代謝物F029、代謝物F030及び代謝物F031の濃度を測定した。乳については、投与開始日から投与期間中毎日採取した乳に含まれる上記化合物の濃度を測定した。表1にメフェントリフルコナゾール及び代謝物F022の残留濃度、並びにその合計値を示した。その他に検出された主な代謝物は代謝物F001及び代謝物F029であり、代謝物F001は筋肉及び肝臓において、代謝物F029は筋肉において、それ

ぞれメフェントリフルコナゾールと同程度の残留が認められた。

表1. 乳牛の試料中の残留濃度（mg/kg）

		1.5 ppm 投与群	7.5 ppm 投与群	50 ppm 投与群	150 ppm 投与群
筋肉	ﾒﾌｪﾝﾄﾘﾌﾙｺﾅｿﾞｰﾙ	<0.01(最大) <0.01(平均)	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.11(最大) 0.07(平均)	0.22(最大) 0.16(平均)
	代謝物F022	－ －	－ －	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.02(最大) 0.02(平均)
	合計[注1)]	<0.02(最大) <0.02(平均)	<0.02(最大) <0.02(平均)	0.12(最大) 0.08(平均)	0.24(最大) 0.18(平均)
脂肪	ﾒﾌｪﾝﾄﾘﾌﾙｺﾅｿﾞｰﾙ	0.02(最大) 0.02(平均)	0.08(最大) 0.05(平均)	0.90(最大) 0.65(平均)	2.29(最大) 1.71(平均)
	代謝物F022	－ －	0.01(最大) <0.01(平均)	0.10(最大) 0.09(平均)	0.24(最大) 0.18(平均)
	合計[注1)]	0.03(最大) 0.03(平均)	0.09(最大) 0.06(平均)	1.00(最大) 0.74(平均)	2.53(最大) 1.89(平均)
肝臓	ﾒﾌｪﾝﾄﾘﾌﾙｺﾅｿﾞｰﾙ	0.03(最大) 0.03(平均)	0.18(最大) 0.15(平均)	1.40(最大) 0.99(平均)	3.58(最大) 3.03(平均)
	代謝物F022	－ －	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.02(最大) 0.02(平均)	0.05(最大) 0.04(平均)
	合計[注1)]	0.04(最大) 0.04(平均)	0.19(最大) 0.16(平均)	1.42(最大) 1.01(平均)	3.63(最大) 3.07(平均)
腎臓	ﾒﾌｪﾝﾄﾘﾌﾙｺﾅｿﾞｰﾙ	0.01(最大) 0.01(平均)	0.07(最大) 0.05(平均)	0.51(最大) 0.29(平均)	1.88(最大) 1.29(平均)
	代謝物F022	－ －	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.02(最大) 0.02(平均)	0.05(最大) 0.05(平均)
	合計[注1)]	0.02(最大) 0.02(平均)	0.08(最大) 0.06(平均)	0.53(最大) 0.31(平均)	1.93(最大) 1.34(平均)
乳[注2)]	ﾒﾌｪﾝﾄﾘﾌﾙｺﾅｿﾞｰﾙ	<0.01(平均)	0.01(平均)	0.06(平均)	0.20(平均)
	代謝物F022	－	－	0.01(平均)	0.02(平均)
	合計[注1)]	<0.02	0.02	0.07	0.20

定量限界：0.01 mg/kg

－:分析せず

乳の代謝物F022の残留濃度は21日目のみ測定値されている。

注1）分析を行っていない場合は、定量限界値を用いて合計した。

注2）投与期間中に採取した乳中の濃度を1頭ずつ別々に算出し、その平均値を求めた。

上記の結果に関連して、米国では乳牛、肉牛及び豚の、最大理論的飼料由来負荷[注)]を、それぞれ59.82、12.04及び0.93 ppmと評価している。

注）最大理論的飼料由来負荷（Maximum theoretical dietary burden）：飼料の原料に農薬が最大まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大濃度。飼料中残留濃度として表示される。

② 産卵鶏を用いた残留試験

産卵鶏（体重1.5～2.1 kg、12羽/群）に対して飼料中濃度として0.18、1.7、5.1及び17.3 ppmに相当する量のメフェントリフルコナゾールを含むカプセルを34日間にわたり強制経口投与し、筋肉、脂肪及び肝臓に含まれるメフェントリフルコナゾール、代謝物F001、代謝物F022、代謝物F029、代謝物F030及び代謝物F031の濃度を測定した。鶏卵については、投与期間中毎日採卵した卵に含まれる上記化合物の濃度を測定した。表2にメフェントリフルコナゾール及び代謝物F022の残留濃度、並びにその合計値を示した。その他に検出された主な代謝物は代謝物F001及び代謝物F029であった。このうち、代謝物F001は筋肉においてメフェントリフルコナゾール残留量の最大5倍程度の残留が認められた。その他には、代謝物F001が肝臓において、代謝物F029が筋肉において、それぞれメフェントリフルコナゾールと同程度の残留が認められた。

表2. 産卵鶏の試料中の残留濃度（mg/kg）

		0.18 ppm 投与群	1.7 ppm 投与群	5.1 ppm 投与群	17.3 ppm 投与群
筋肉	ﾒﾌｪﾝﾄﾘﾌﾙｺﾅｿﾞｰﾙ	<0.01(最大) <0.01(平均)	<0.01(最大) <0.01(平均)	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.03(最大) 0.02(平均)
	代謝物F022	<0.01(最大) <0.01(平均)	<0.01(最大) <0.01(平均)	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.04(最大) 0.04(平均)
	合計	<0.02(最大) <0.02(平均)	<0.02(最大) <0.02(平均)	0.02(最大) 0.02(平均)	0.07(最大) 0.06(平均)
脂肪	ﾒﾌｪﾝﾄﾘﾌﾙｺﾅｿﾞｰﾙ	<0.01(最大) <0.01(平均)	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.03(最大) 0.02(平均)	0.25(最大) 0.17(平均)
	代謝物F022	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.05(最大) 0.04(平均)	0.08(最大) 0.08(平均)	0.41(最大) 0.36(平均)
	合計	<0.02(最大) <0.02(平均)	0.06(最大) 0.05(平均)	0.11(最大) 0.10(平均)	0.66(最大) 0.53(平均)

表2. 産卵鶏の試料中の残留濃度（mg/kg）（つづき）

		0.18 ppm 投与群	1.7 ppm 投与群	5.1 ppm 投与群	17.3 ppm 投与群
肝臓	ﾒﾌｪﾝﾄﾘﾌﾙｺﾅｿﾞｰﾙ	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.02(最大) 0.01(平均)	0.02(最大) 0.02(平均)	0.20(最大) 0.10(平均)
	代謝物F022	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.02(最大) 0.02(平均)	0.04(最大) 0.03(平均)	0.23(最大) 0.17(平均)
	合計	0.02(最大) 0.02(平均)	0.04(最大) 0.03(平均)	0.06(最大) 0.05(平均)	0.43(最大) 0.27(平均)
卵	ﾒﾌｪﾝﾄﾘﾌﾙｺﾅｿﾞｰﾙ	－ －	<0.01(最大) <0.01(平均)	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.04(最大) 0.03(平均)
	代謝物F022	<0.01(最大) <0.01(平均)	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.02(最大) 0.02(平均)	0.11(最大) 0.08(平均)
	合計[注)]	0.02(最大) 0.02(平均)	<0.02(最大) <0.02(平均)	0.03(最大) 0.03(平均)	0.15(最大) 0.11(平均)

定量限界：0.01 mg/kg

－:分析せず

注）分析を行っていない場合は、定量限界値を用いて合計した。

上記の結果に関連して、米国では家きんの最大理論的飼料由来負荷[7]を0.9 ppmと評価している。

（3）推定残留濃度

牛、豚及び家きんについて、最大及び平均的飼料由来負荷と家畜残留試験結果から、畜産物中の推定残留濃度を算出した。結果は表3を参照。最大残留濃度は、メフェントリフルコナゾールの推定濃度を示し、平均的な残留濃度は、メフェントリフルコナゾール及び代謝物F022をメフェントリフルコナゾールに換算した濃度の合計濃度で示した。

表3. 畜産物中の推定残留濃度：牛、豚及び家きん（mg/kg）

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳	卵
乳牛	0.121 (0.090)	1.036 (0.853)	1.614 (1.212)	0.644 (0.411)	0.074 (0.085)	
豚	0.006 (0.012)	0.012 (0.019)	0.019 (0.025)	0.006 (0.012)		
産卵鶏	0.010 (0.020)	0.010 (0.034)	0.015 (0.025)	－		0.010 (0.020)

上段：最大残留濃度※　　下段括弧内：平均的な残留濃度※※

※：最大残留濃度は、メフェントリフルコナゾールを含む。
※※：平均的な残留濃度は、メフェントリフルコナゾール及び代謝物F022を含む。
－：分析せず
豚については、牛の家畜残留試験の結果を豚の最大理論的飼料由来負荷にて算出した。
乳は最大理論的飼料由来負荷のみを用いて計算した。

６．ADI及びARfDの評価

食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたメフェントリフルコナゾールに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

（１）ADI

無毒性量：3.5 mg/kg 体重/day（発がん性は認められなかった。）
（動物種）　雄マウス
（投与方法）　混餌
（試験の種類）発がん性試験
（期間）　18か月間
安全係数：100
ADI：0.035 mg/kg 体重/day

（２）ARfD　　設定の必要なし

メフェントリフルコナゾールの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量又は最小毒性量のうち最小値は、ラットを用いた急性神経毒性試験における無毒性量600 mg/kg 体重/日であり、カットオフ値(500 mg/kg 体重)以上であったことから、急性参照用量（ARfD）設定は必要ないと判断した。

７．諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価が行われ、2021年にADI及びARfDが設定されている。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてさとうきび、たまねぎ等に、EUにおいて小麦、ライ麦等に、豪州においてりんご、ぶどう等に基準値が設定されている。

８．基準値案

（１）残留の規制対象

メフェントリフルコナゾールとする。

農産物の作物残留試験においては、メフェントリフルコナゾール、代謝物F001、代

謝物F029、代謝物F030及び代謝物F031の分析が行われており、多くの作物においてメフェントリフルコナゾール及び代謝物F029が主として検出されているが、代謝物F029はトリアゾール系農薬の共通代謝物であることから、農産物中の規制対象はメフェントリフルコナゾールのみとする。動物飼養試験においてメフェントリフルコナゾール、代謝物F001、代謝物F022及び代謝物F029が主として検出されているが、代謝物F001及び代謝物F029はトリアゾール系農薬の共通代謝物であり特異的な代謝物でないこと、代謝物F022については、推定残留量が一部臓器を除き定量限界に近いことから畜産物中の規制対象はメフェントリフルコナゾールのみとする。

（２）基準値案

別紙2のとおりである。

９．暴露評価

（１）暴露評価対象

農産物にあってはメフェントリフルコナゾールとし、畜産物中にあってはメフェントリフルコナゾール及び代謝物F022とする。

農産物の作物残留試験においては、メフェントリフルコナゾール、代謝物F001、代謝物F029、代謝物F030及び代謝物F031の分析が行われており、多くの作物においてメフェントリフルコナゾール及び代謝物F029が主として検出されているが、代謝物F029はフェントリフルコナゾールと比較して毒性が低いことから、農産物中の暴露評価対象はメフェントリフルコナゾールのみとする。畜産物の飼養試験において、メフェントリフルコナゾール、代謝物F001、代謝物F022及び代謝物F029が主として検出されているが、代謝物F001及び代謝物F029はトリアゾール系農薬の共通代謝物であることから暴露評価対象に含めないこととする。代謝物F022については、鶏の一部組織においてメフェントリフルコナゾールより高い濃度で認められたため、畜産物中の暴露評価対象はメフェントリフルコナゾール及び代謝物F022とする。代謝物F022の抱合体については、脂肪組織において、F022脂肪酸抱合体がF022より高濃度で検出されたものの、その他の臓器ではF022と比較して微量であることから暴露評価対象に含めないものとする。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物中の暴露評価対象物質をメフェントリフルコナゾール（親化合物のみ）、畜産物中の暴露評価対象物質をメフェントリフルコナゾール及び代謝物F022（抱合体を含む）としている。

（２）暴露評価結果

①　長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬等の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

	EDI／ADI(%)注)
国民全体（1歳以上）	24.1
幼小児（1～6歳）	46.3
妊婦	23.7
高齢者（65歳以上）	27.4

注）各食品の平均摂取量は、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI試算法：作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

（別紙1-1）

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）[注1)] 【ﾒﾌｪﾝﾄﾘﾌﾙｺﾅｿﾞｰﾙ/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
りんご（果実）	6	*7.5%フロアブル*	1500倍散布 450 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A：0.182/<0.05/<0.05/<0.05（#）
						圃場B：0.372/<0.05/<0.05/<0.05（#）
						圃場C：0.246/<0.05/<0.05/<0.05（#）
						圃場D：0.244/<0.05/<0.05/<0.05（#）
			1500倍散布 429 L/10 a			圃場E：0.098/<0.05/<0.05/<0.05（#）
						圃場F：0.188/<0.05/<0.05/<0.05（#）
日本なし（果実）	6	*7.5%フロアブル*	1500倍散布 480 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A：0.078/<0.05/<0.05/<0.05（#）
			1500倍散布 462 L/10 a			圃場B：*0.106/<0.05/<0.05/<0.05（*3回,21日）（#）
			1500倍散布 438 L/10 a			圃場C：*0.176/<0.05/<0.05/<0.05（*3回,28日）（#）
			1500倍散布 433 L/10 a			圃場D：0.188/<0.05/<0.05/<0.05（#）
			1500倍散布 407 L/10 a			圃場E：0.163/<0.05/<0.05/<0.05（#）
						圃場F：0.200/<0.05/<0.05/<0.05（#）
もも（果肉）	4	*7.1%フロアブル*	1500倍散布 469 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A：*0.020/<0.05/<0.05/<0.05（*3回,3日）（#）
			1500倍散布 420 L/10 a			圃場B：0.009/<0.05/<0.05/<0.05（#）
			1500倍散布 400 L/10 a			圃場C：0.011/<0.05/<0.05/<0.05（#）
						圃場D：*0.014/<0.05/<0.05/<0.05（*3回,7日）（#）
もも（果皮）	4	*7.5%フロアブル*	1500倍散布 469 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A：2.04/<0.05/<0.05/<0.05（#）
			1500倍散布 420 L/10 a			圃場B：*1.07/<0.05/<0.05/<0.05（*3回,3日）（#）
			1500倍散布 400 L/10 a			圃場C：2.62/<0.05/<0.05/<0.05（#）
						圃場D：*1.24/<0.05/<0.05/<0.05（*3回,3日）（#）
もも（果実）	4	*7.5%フロアブル*	1500倍散布 469 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A：0.358/<0.05/<0.05/<0.05（#）[注2)]
			1500倍散布 420 L/10 a			圃場B：*0.160/<0.05/<0.05/<0.05[注2)]（*3回,3日）（#）
			1500倍散布 400 L/10 a			圃場C：0.346/<0.05/<0.05/<0.05（#）[注2)]
						圃場D：0.241/<0.05/<0.05/<0.05（#）[注2)]
ネクタリン（果実）	2	*7.5%フロアブル*	1500倍散布 400 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：0.203/<0.05/<0.05/0.06（#）
			1500倍散布 350 L/10 a			圃場B：0.280/<0.05/<0.05/<0.05（#）
おうとう（果実）	2	*7.5%フロアブル*	1500倍散布 367 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A：0.692/<0.05/<0.05/<0.05（#）
			1500倍散布 350 L/10 a			圃場B：*0.832/<0.05/0.42/<0.05（*3回,3日）（#）
うめ（果実）	3	*7.5%フロアブル*	1500倍散布 400 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A：0.765/<0.05/*0.09/<0.05（*3回,3日）（#）
			1500倍散布 375 L/10 a			圃場B：0.558/<0.05/<0.05/<0.05（#）
			1500倍散布 300 L/10 a			圃場C：0.324/<0.05/0.10/<0.05（#）
小粒ぶどう（果実） 大粒ぶどう（果実）	4	*7.5%フロアブル*	1500倍散布 363 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A：*1.50/<0.05/<0.05/<0.05（*3回,3日）（#）
			1500倍散布 325 L/10 a			圃場B：0.802/<0.05/<0.05/<0.05（#）
			1500倍散布 357 L/10 a			圃場C：0.574/<0.05/<0.05/<0.05（#）
			1500倍散布 353 L/10 a			圃場D：1.24/<0.05/<0.05/<0.05（#）

（#）印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。なお、剤型は異なるものの使用量及び使用回数は適用の範囲内で行われている。

注1）当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2）果肉、果皮及び種子の重量比から果実全体の残留濃度を算出した。

（別紙1-2）

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）[注1)] 【ﾒﾌｪﾝﾄﾘﾌﾙｺﾅｿﾞｰﾙ/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030/代謝物F031】
		剤型	使用量 使用方法	回数	経過日数	
稲 （種子）	12	10.0%乳剤 (W/V)	294～307 g ai/ha 茎葉散布	2	21	圃場A:1.66/<0.01/0.04/0.05/<0.01 圃場B:1.84/<0.01/0.02/0.03/<0.01 圃場C:1.67/<0.01/0.09/0.03/<0.01 圃場D:0.85/<0.01/0.07/0.09/<0.01 圃場E:0.38/<0.01/0.06/0.05/<0.01 圃場F:0.63/<0.01/0.15/0.09/0.01 圃場G:1.74/<0.01/0.05/0.03/<0.01 圃場H:1.16/<0.01/0.20/0.24/<0.01 圃場I:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場J:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
					23	圃場K:1.12/<0.01/0.05/0.07/<0.01
					14,21,28,35	圃場L:*0.43/<0.01/0.07/0.10/<0.01（*2回,28日）
小麦	24	10.0%乳剤 (W/V)	295～305 g ai/ha 茎葉散布	2	21	圃場A:0.06/<0.01/0.17/0.06/<0.01 圃場B:<0.01/<0.01/0.07/0.02/<0.01 圃場C:0.03/<0.01/0.24/0.07/<0.01 圃場D:0.10/<0.01/0.23/0.06/<0.01 圃場E:0.13/<0.01/0.05/0.01/<0.01 圃場F:0.10/<0.01/0.12/0.07/<0.01 圃場G:0.04/<0.01/0.25/0.18/<0.01 圃場H:0.14/<0.01/0.35/0.13/<0.01 圃場I:0.04/<0.01/0.26/0.06/<0.01 圃場J:0.27/<0.01/0.86/0.24/<0.01 圃場K:0.08/<0.01/0.08/0.03/<0.01 圃場L:0.02/<0.01/0.06/0.02/<0.01 圃場M:0.03/<0.01/0.12/0.03/<0.01 圃場N:0.12/<0.01/0.10/0.02/<0.01 圃場O:0.11/<0.01/0.10/0.02/<0.01 圃場P:0.09/<0.01/0.07/0.01/<0.01 圃場Q:0.12/<0.01/0.09/0.02/<0.01 圃場R:0.09/<0.01/0.67/0.24/<0.01 圃場S:0.11/<0.01/0.35/0.11/<0.01 圃場T:0.09/<0.01/0.07/0.02/<0.01 圃場U:0.08/<0.01/0.07/0.02/<0.01
					20	圃場V:0.07/<0.01/0.31/0.09/<0.01 圃場W:0.04/<0.01/0.03/0.01/<0.01
					14,21.28,35	圃場X:*0.12/*<0.01/**0.16/**0.10/*<0.01（*2回,28日,**2回,35日）
大麦	10	10.0%乳剤 (W/V)	289～309 g ai/ha 茎葉散布	2	21	圃場A:0.20/<0.01/0.15/0.09/<0.01 圃場B:0.56/<0.01/0.76/0.18/<0.01 圃場C:0.37/<0.01/0.31/0.03/<0.01 圃場D:0.25/<0.01/0.06/0.01/<0.01 圃場E:0.80/<0.01/0.13/0.02/<0.01 圃場F:0.48/<0.01/0.25/0.06/<0.01 圃場G:1.67/<0.01/0.59/0.17/<0.01 圃場H:0.71/<0.01/0.88/0.27/0.02 圃場I:0.34/<0.01/0.12/0.04/<0.01
					14,21.28,35	圃場J:<0.01/<0.01/0.62/0.15/0.02
とうもろこし	20	10.0%乳剤 (W/V)	295～305 g ai/ha 茎葉散布	2	19 20	圃場A:<0.01/<0.01/0.20/<0.01/0.02 圃場B:<0.01/<0.01/0.09/<0.01/0.02
					21	圃場C:<0.01/<0.01/0.08/<0.01/<0.01 圃場D:<0.01/<0.01/0.14/<0.01/<0.01 圃場E:<0.01/<0.01/0.37/<0.01/0.05 圃場F:<0.01/<0.01/0.02/<0.01/<0.01 圃場G:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場H:<0.01/<0.01/0.13/<0.01/0.03 圃場I:<0.01/<0.01/0.36/<0.01/0.09 圃場J:<0.01/<0.01/0.14/<0.01/<0.01 圃場K:<0.01/<0.01/0.32/<0.01/0.02 圃場L:<0.01/<0.01/0.07/<0.01/<0.01 圃場M:<0.01/<0.01/0.03/<0.01/<0.01 圃場N:<0.01/<0.01/0.08/<0.01/<0.01 圃場O:<0.01/<0.01/0.09/<0.01/0.01 圃場P:<0.01/<0.01/0.11/<0.01/<0.01 圃場Q:0.01/<0.01/0.20/<0.01/0.01
					22	圃場R:<0.01/<0.01/0.17/<0.01/0.06 圃場S:<0.01/<0.01/0.12/<0.01/0.03
					14,21,28,35	圃場T:<0.01/<0.01/*0.09/<0.01/<0.01（*2回,35日）
スイートコーン	13	10.0%乳剤 (W/V)	448～480 g ai/ha 茎葉散布	3	20	圃場A:<0.01/<0.01/0.30/<0.01/0.03 圃場B:<0.01/<0.01/0.15/<0.01/<0.01 圃場C:<0.01/<0.01/0.18/<0.01/<0.01 圃場D:<0.01/<0.01/0.19/<0.01/0.03
					21	圃場E:<0.01/<0.01/0.06/<0.01/<0.01 圃場F:<0.01/<0.01/0.09/<0.01/<0.01 圃場G:<0.01/<0.01/0.05/<0.01/<0.01 圃場H:<0.01/<0.01/0.13/<0.01/<0.01 圃場I:<0.01/<0.01/0.08/<0.01/<0.01 圃場J:0.02/<0.01/0.08/<0.01/<0.01 圃場K:<0.01/<0.01/0.11/<0.01/0.01
					22	圃場L:<0.01/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
					14,21.28,35	圃場M:<0.01/<0.01/*0.05/<0.01/<0.01（*2回,28日）

（別紙1-2）

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）[注1)] 【ﾒﾌｪﾝﾄﾘﾌﾙｺﾅｿﾞｰﾙ/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030/代謝物F031】
		剤型	使用量 使用方法	回数	経過日数	
ソルガム	9	10.0%乳剤 (W/V)	296～311 g ai/ha 茎葉散布	2	22	圃場A:0.42/<0.01/0.05/0.05/0.04
					21	圃場B:<0.01/<0.01/<0.01/0.02/0.02
						圃場C:0.44/<0.01/<0.01/0.02/0.02
						圃場D:0.31/0.02/0.07/0.11/0.01
						圃場E:0.78/<0.01/0.10/0.09/<0.01
						圃場F:0.24/<0.01/0.02/0.02/<0.01
						圃場G:0.52/<0.01/0.08/0.04/<0.01
						圃場H:0.18/<0.01/0.06/0.02/<0.01
					14, 21, 28, 35	圃場I:*1.17/<0.01/*0.02/*0.01/*<0.01 (*2回, 28日)
大豆	20	10.0%乳剤 (W/V)	298～309 g ai/ha 茎葉散布	2	21	圃場A:0.01/<0.01/0.32/0.04/0.08
						圃場B:0.06/<0.01/0.12/0.01/0.01
						圃場C:0.31/<0.01/0.35/<0.01/0.03
						圃場D:<0.01/<0.01/0.03/0.02/0.02
						圃場E:0.05/<0.01/0.15/<0.01/0.02
						圃場F:0.03/<0.01/0.27/0.02/0.03
						圃場G:<0.01/<0.01/0.10/<0.01/<0.01
						圃場H:<0.01/<0.01/0.04/0.02/0.02
						圃場I:<0.01/<0.01/0.03/<0.01/0.02
						圃場J:<0.01/<0.01/0.07/0.04/0.07
						圃場K:<0.01/<0.01/0.03/<0.01/0.01
						圃場L:<0.01/<0.01/0.04/<0.01/0.01
						圃場M:<0.01/<0.01/0.04/0.01/0.02
						圃場N:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場O:<0.01/<0.01/0.06/0.01/0.02
						圃場P:<0.01/<0.01/0.05/0.02/0.03
						圃場Q:<0.01/<0.01/0.07/0.06/0.06
						圃場R:<0.01/<0.01/0.09/<0.01/0.02
					7, *14*, 21, 28	圃場S:<0.01/<0.01/*0.16/0.04/*0.09 (*2回, 28日)
						圃場T:<0.01/<0.01/*0.13/<0.01/<0.01 (*2回, 28日)
いんげんまめ (種子)	10	10.0%乳剤 (W/V)	436～461 g ai/ha 茎葉散布	3	21	圃場A:<0.01/<0.01/0.16/<0.01/<0.01
						圃場B:0.02/<0.01/0.04/<0.01/<0.01
						圃場C:0.02/0.02/0.28/<0.01/<0.01
						圃場D:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場E:<0.01/<0.01/0.10/<0.01/<0.01
						圃場F:<0.01/<0.01/0.03/<0.01/<0.01
						圃場G:<0.01/<0.01/0.13/<0.01/<0.01
						圃場H:<0.01/<0.01/0.10/<0.01/<0.01
						圃場I:0.05/<0.01/0.03/<0.01/<0.01
					7, *14*, 21, 28	圃場J:0.01/<0.01/*0.16/<0.01/<0.01 (*3回, 28日)
未成熟いんげん (さや付き)	6	10.0%乳剤 (W/V)	449～467 g ai/ha 茎葉散布	3	21	圃場A:<0.01/<0.01/0.08/<0.01/<0.01
						圃場B:<0.01/<0.01/0.20/<0.01/<0.01
						圃場C:<0.01/<0.01/0.05/<0.01/<0.01
						圃場D:<0.01/<0.01/0.05/<0.01/<0.01
						圃場E:<0.01/<0.01/0.04/<0.01/<0.01
					7, *14*, 21, 28	圃場F:*0.03/<0.01/0.05/<0.01/<0.01 (*3回, 28日)
未成熟いんげん (さやなし)	6	10.0%乳剤 (W/V)	445～456 g ai/ha 茎葉散布	3	21	圃場A:<0.01/<0.01/0.51/<0.01/<0.01
						圃場B:<0.01/<0.01/0.29/<0.01/<0.01
						圃場C:0.02/<0.01/0.12/<0.01/<0.01
						圃場D:<0.01/<0.01/0.06/<0.01/<0.01
						圃場E:<0.01/<0.01/0.12/<0.01/<0.01
					7, *14*, 21, 28	圃場F:<0.01/<0.01/1.33/*<0.01/*0.04 (*3回, 28日)
レンズ豆	3	10.0%乳剤 (W/V)	447～453 g ai/ha 茎葉散布	3	*7*, *14*, 21, 28	圃場A:0.68/<0.01/*0.85/<0.01/*0.02 (*3回, 28日)
					21	圃場B:0.14/<0.01/0.90/<0.01/0.01
						圃場C:0.06/<0.01/2.30/0.01/0.04
えんどう	8	10.0%乳剤 (W/V)	449～460 g ai/ha 茎葉散布	3	21	圃場A:0.02/<0.01/1.00/<0.01/<0.01
						圃場B:0.09/<0.01/2.29/<0.01/0.05
						圃場C:0.01/<0.01/3.71/<0.01/0.04
						圃場D:0.02/<0.01/1.77/<0.01/0.02
						圃場E:0.01/<0.01/0.92/<0.01/0.02
						圃場F:0.01/<0.01/1.77/<0.01/0.02
						圃場G:0.02/<0.01/1.65/<0.01/<0.01
					7, *14*, 21, 28	圃場H:<0.01/<0.01/1.91/<0.01/<0.01
未成熟えんどう (さや付き)	9	10.0%乳剤 (W/V)	444～459 g ai/ha 茎葉散布	3	21	圃場A:<0.01/<0.01/0.84/<0.01/<0.01
						圃場B:<0.01/<0.01/0.38/<0.01/<0.01
						圃場C:<0.01/<0.01/0.49/<0.01/<0.01
						圃場D:0.03/<0.01/0.61/<0.01/<0.01
						圃場E:<0.01/<0.01/0.33/<0.01/<0.01
						圃場F:<0.01/<0.01/0.29/<0.01/<0.01
						圃場G:0.03/<0.01/0.15/<0.01/<0.01
						圃場H:0.02/<0.01/0.61/<0.01/<0.01
					7, *14*, 21, 28	圃場I:0.08/<0.01/0.11/<0.01/<0.01
未成熟えんどう (さやなし)	9	10.0%乳剤 (W/V)	444～459 g ai/ha 茎葉散布	3	21	圃場A:<0.01/<0.01/0.93/<0.01/0.02
						圃場B:<0.01/<0.01/0.58/<0.01/<0.01
						圃場C:<0.01/<0.01/1.34/<0.01/<0.01
						圃場D:<0.01/<0.01/0.78/<0.01/<0.01
						圃場E:<0.01/<0.01/0.37/<0.01/<0.01
						圃場F:<0.01/<0.01/0.71/<0.01/<0.01
						圃場G:<0.01/<0.01/0.88/<0.01/<0.01
						圃場H:<0.01/<0.01/0.13/<0.01/<0.01
					7, *14*, 21, 28	圃場I:<0.01/<0.01/*0.29/<0.01*<0.01 (*2回, 28日)

（別紙1-2）

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）[注1)] 【ﾒﾌｪﾝﾄﾘﾌﾙｺﾅｿﾞｰﾙ/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030/代謝物F031】
		剤型	使用量 使用方法	回数	経過日数	
らっかせい	12	10.0%乳剤 (W/V)	588～601 g ai/ha 茎葉散布	3	13	圃場A:<0.01/<0.01/3.96/0.12/0.50
					14	圃場B:<0.01/<0.01/4.57/0.10/0.46
						圃場C:<0.01/<0.01/4.18/0.17/0.46
						圃場D:<0.01/<0.01/0.36/0.01/0.08
						圃場E:<0.01/<0.01/0.22/<0.01/0.04
						圃場F:<0.01/<0.01/0.47/<0.01/0.22
						圃場G:<0.01/<0.01/<0.25/<0.01/0.05
						圃場H:<0.01/<0.01/1.40/0.03/0.14
						圃場I:<0.01/<0.01/0.28/<0.01/0.03
						圃場J:<0.01/<0.01/<0.25/<0.01/0.12
					15	圃場K:<0.01/<0.01/0.63/<0.01/0.06
					8, 10, 14, 17, 22	圃場L:<0.01/<0.01/*3.59/0.04/*0.44（*3回, 22日）
ばれいしょ	19	10.0%乳剤 (W/V)	442～467 g ai/ha 茎葉散布	3	6	圃場A:<0.01/<0.01/0.07/<0.01/<0.01
						圃場B:<0.01/<0.01/0.04/<0.01/<0.01
						圃場C:<0.01/<0.01/0.01/<0.01/<0.01
					7	圃場D:<0.01/<0.01/0.03/<0.01/<0.01
						圃場E:<0.01/<0.01/0.05/<0.01/<0.01
						圃場F:<0.01/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
						圃場G:<0.01/<0.01/0.03/<0.01/<0.01
						圃場H:<0.01/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
						圃場I:<0.01/<0.01/0.04/<0.01/<0.01
						圃場J:<0.01/<0.01/0.04/<0.01/<0.01
						圃場K:<0.01/<0.01/0.11/<0.01/<0.01
						圃場L:<0.01/<0.01/0.23/<0.01/<0.03
						圃場M:<0.01/<0.01/0.07/<0.01/<0.01
						圃場N:<0.01/<0.01/0.04/<0.01/<0.01
						圃場O:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場P:<0.01/<0.01/0.17/<0.01/<0.01
						圃場Q:<0.01/<0.01/0.04/<0.01/<0.01
					3, 6, 10, 14	圃場R:*<0.01/*<0.01/**0.15/*<0.01/*<0.01（*3回, 10日, **3回, 14日）
					3, 7, 10, 14	圃場S:*0.04/**<0.01/**0.09/**<0.01/**<0.01（*3回, 14日, **3回, 10日）
てんさい	13	10.0%乳剤 (W/V)	298～318 g ai/ha 茎葉散布	2	21	圃場A:0.15/<0.01/0.01/<0.01/<0.01
						圃場B:0.12/<0.01/0.05/<0.01/<0.01
						圃場C:0.03/<0.01/0.03/<0.01/<0.01
						圃場D:0.02/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
						圃場E:0.05/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
						圃場F:0.09/<0.01/0.04/<0.01/<0.01
						圃場G:0.28/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
						圃場H:0.08/<0.01/0.01/<0.01/<0.01
						圃場I:0.04/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
						圃場J:0.06/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場K:0.04/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
					14, 21, 28	圃場L:0.58/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01（2回, 14日）
						圃場M:0.08/<0.01/0.02/<0.01/<0.01（2回, 14日）
オレンジ	24	10.0%乳剤 (W/V)	443～462 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:0.14/<0.01/0.13/0.01/0.03
						圃場B:0.17/<0.01/0.10/0.01/0.03
						圃場C:0.15/<0.01/0.04/<0.01/0.01
						圃場D:0.18/<0.01/0.05/<0.01/0.01
						圃場E:0.19/<0.01/0.01/<0.01/<0.01
						圃場F:0.15/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場G:0.19/<0.01/0.06/<0.01/0.02
						圃場H:0.15/<0.01/0.10/0.01/0.03
						圃場I:0.17/<0.01/0.09/0.01/0.04
						圃場J:0.21/<0.01/0.11/0.02/0.05
						圃場K:0.19/<0.01/0.01/<0.01/<0.01
						圃場L:0.20/<0.01/0.02/<0.01/0.01
						圃場M:0.46/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
						圃場N:0.16/<0.01/0.01/<0.01/<0.01
						圃場O:0.33/<0.01/0.03/<0.01/<0.01
						圃場P:0.17/<0.01/0.03/<0.01/<0.01
						圃場Q:0.24/<0.01/0.01/<0.01/<0.01
						圃場R:0.13/<0.01/0.01/<0.01/<0.01
						圃場S:0.23/<0.01/0.03/<0.01/<0.01
						圃場T:0.16/<0.01/0.03/<0.01/<0.01
						圃場U:0.14/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場V:0.15/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
					0, 7, 14, 21, 28	圃場W:*0.38/<0.01/**0.03/<0.01/*0.02（*3回, 14日, **3回, 28日）
						圃場X:0.23/<0.01/*0.02/<0.01/**0.01（*3回, 14日, **3回, 28日）
グレープフルーツ	12	10.0%乳剤 (W/V)	443～462 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:0.19/<0.01/0.07/0.01/0.02
						圃場B:0.24/<0.01/0.08/<0.01/0.02
						圃場C:0.13/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
						圃場D:0.10/<0.01/0.02/<0.01/0.01
						圃場E:0.18/<0.01/0.13/0.01/0.03
						圃場F:0.11/<0.01/0.13/0.02/0.03
						圃場G:0.12/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
						圃場H:0.07/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場I:0.07/<0.01/<0.02/<0.01/<0.01
						圃場J:0.16/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
					0, 7, 14, 21, 28	圃場K:0.20/<0.01/*<0.01/<0.01/<0.01（*3回, 7日）
						圃場L:0.14/<0.01/*0.01/<0.01/<0.01（*3回, 7日）

（別紙1-2）

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注1) 【ﾒﾌｪﾝﾄﾘﾌﾙｺﾅｿﾞｰﾙ/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030/代謝物F031】
		剤型	使用量 使用方法	回数	経過日数	
レモン	12	10.0%乳剤 (W/V)	445～456 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:0.27/<0.01/0.05/<0.01/0.02
						圃場B:0.32/<0.01/0.04/<0.01/0.01
						圃場C:0.33/<0.01/0.02/<0.01/0.02
						圃場D:0.28/<0.01/0.02/<0.01/0.02
						圃場E:0.30/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
						圃場F:0.21/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
						圃場G:0.44/<0.01/0.01/<0.01/<0.01
						圃場H:0.33/<0.01/0.01/<0.01/<0.01
						圃場I:0.60/<0.01/0.01/<0.01/<0.01
						圃場J:0.22/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
					0, 7, 14, 21, 28	圃場K:0.37/*0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (*3回, 21日)
						圃場L:0.17/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
りんご	30	40.0%フロアブル (W/V)	428～459 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:0.46/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
						圃場B:0.28/<0.01/0.04/<0.01/0.02
						圃場C:<0.01/<0.01/0.01/<0.01/<0.01
						圃場D:<0.01/<0.01/0.02/<0.01/0.01
						圃場E:0.30/<0.01/0.05/<0.01/0.01
						圃場F:0.27/<0.01/0.08/<0.01/0.02
						圃場G:0.47/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場H:0.47/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場I:0.23/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場J:0.15/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場K:0.26/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場L:0.43/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場M:0.39/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場N:0.31/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場O:0.55/<0.01/0.04/<0.01/<0.01
						圃場P:0.35/<0.01/0.03/<0.01/<0.01
						圃場Q:0.26/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場R:0.17/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場S:0.45/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場T:0.31/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場U:0.43/<0.01/0.12/0.01/0.04
						圃場V:0.30/<0.01/0.17/0.02/0.05
						圃場W:0.37/<0.01/0.08/<0.01/0.05
						圃場X:0.30/<0.01/0.03/<0.01/0.03
						圃場Y:0.16/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場Z:0.15/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
					0, 3, 7, 14, 21	圃場AA:0.30/<0.01/0.04/<0.01/0.01
						圃場AB:0.22/<0.01/*0.04/<0.01/<0.01 (*3回, 3日)
						圃場AC:0.42/<0.01/*0.08/<0.01/0.03 (*3回21日)
						圃場AD:0.35/<0.01/*0.08/<0.01/0.03 (*3回, 7日)
なし	18	40.0%フロアブル (W/V)	435～457 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:0.30/<0.01/0.01/<0.01/<0.01
						圃場B:0.27/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
						圃場C:0.34/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場D:0.25/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場E:0.32/<0.01/<0.01/<0.01/0.01
						圃場F:0.30/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場G:<0.01/<0.01/0.02/<0.01/0.01
						圃場H:0.01/<0.01/0.02/<0.01/<0.01
						圃場I:0.34/<0.01/0.05/<0.01/0.02
						圃場J:0.23/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場K:0.76/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場L:0.52/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場M:0.40/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場N:0.25/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場O:0.73/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場P:0.92/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
					0, 3, 7, 14, 21	圃場Q:*0.52/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (*3回, 14日)
						圃場R:*0.68/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (*3回, 14日)

（別紙1-2）

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）[注1)] 【ﾒﾌｪﾝﾄﾘﾌﾙｺﾅｿﾞｰﾙ/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030/代謝物F031】
		剤型	使用量 使用方法	回数	経過日数	
もも	26	40.0%フロアブル（W/V）	444～459 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:0.38/<0.01/0.19/0.01/0.03 圃場B:0.48/<0.01/0.14/<0.01/0.02 圃場C:0.35/<0.01/0.10/0.01/0.02 圃場D:0.38/<0.01/0.19/0.01/0.02 圃場E:0.32/<0.01/0.12/0.01/0.02 圃場F:0.42/<0.01/0.17/0.01/0.02 圃場G:0.29/<0.01/2.23/0.11/0.18 圃場H:0.60/<0.01/1.71/0.09/0.14 圃場I:0.29/<0.01/0.03/<0.01/<0.01 圃場J:0.72/<0.01/0.04/<0.01/<0.01 圃場K:0.50/<0.01/0.04/<0.01/<0.01 圃場L:0.96/<0.01/0.05/<0.01/0.01 圃場M:0.27/<0.01/0.04/<0.01/<0.01 圃場N:0.36/<0.01/0.04/<0.01/<0.01 圃場O:0.39/<0.01/0.29/0.02/0.04 圃場P:0.52/<0.01/0.08/<0.01/0.01 圃場Q:0.35/<0.01/1.22/0.06/0.11 圃場R:0.47/<0.01/0.89/0.06/0.09 圃場S:0.55/<0.01/0.54/0.01/0.04 圃場T:0.70/<0.01/0.43/0.02/0.05 圃場U:0.22/<0.01/0.05/<0.01/<0.01 圃場V:0.96/<0.01/0.07/<0.01/<0.01
					0, 3, 7, 14	圃場W:0.41/<0.01/0.14/<0.01/<0.01 圃場X:0.34/<0.01/*0.14/<0.01/<0.01（*3回, 3日）
					0, 5	圃場Y:*1.34/<0.01/*2.74/*0.24/*0.14（*3回, 5日） 圃場Z:0.63/<0.01/0.61/0.02/*0.04（*3回, 5日）
プラム	20	40.0%フロアブル（W/V）	437～461 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:0.32/<0.01/0.23/<0.01/0.01 圃場B:0.26/<0.01/0.12/<0.01/<0.01 圃場C:<0.01/<0.01/0.04/<0.01/<0.01 圃場D:0.01/<0.01/0.04/<0.01/<0.01 圃場E:0.03/<0.01/0.11/<0.01/0.02 圃場F:0.03/<0.01/0.13/<0.01/0.03 圃場G:0.21/<0.01/0.06/<0.01/0.01 圃場H:0.30/<0.01/0.05/<0.01/<0.01 圃場I:0.07/<0.01/0.42/<0.01/<0.01 圃場J:0.13/<0.01/0.32/<0.01/<0.01 圃場K:0.26/<0.01/0.27/<0.01/<0.01 圃場L:0.19/<0.01/0.19/<0.01/<0.01 圃場M:0.90/<0.01/0.09/<0.01/<0.01 圃場N:0.98/<0.01/0.09/<0.01/<0.01 圃場O:0.75/<0.01/0.06/<0.01/<0.01 圃場P:0.98/<0.01/0.06/<0.01/<0.01 圃場Q:0.26/<0.01/0.19/<0.01/<0.01 圃場R:0.37/<0.01/0.23/<0.01/<0.01
					0, 3, 7, 14, 21	圃場S:*0.21/<0.01/**0.25/<0.01/0.02（*3回, 3日, **3回, 21日） 圃場T:*0.16/<0.01/**0.16/<0.01/<0.01（*3回, 3日, **3回, 21日）
おうとう	8	40.0%フロアブル（W/V）	445～456 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:0.96/<0.01/0.05/<0.01/<0.01 圃場B:1.05/<0.01/0.04/<0.01/<0.01 圃場C:0.45/<0.01/0.11/0.01/<0.01 圃場D:1.08/<0.01/0.10/0.01/<0.01 圃場E:1.00/<0.01/0.25/<0.01/<0.01 圃場F:0.92/<0.01/0.31/<0.01/<0.01
					0, 3, 7, 14, 21	圃場G:0.63/<0.01/1.10/0.03/0.06 圃場H:0.94/<0.01/1.29/*0.04/0.06（*3回, 14日）
タルトチェリー	8	40.0%フロアブル（W/V）	448～462 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:1.45/<0.01/0.01/<0.01/<0.01 圃場B:2.05/<0.01/0.01/<0.01/<0.01 圃場C:0.95/<0.01/0.29/0.04/0.17 圃場D:1.39/<0.01/0.34/0.05/0.15 圃場E:0.04/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場F:0.03/<0.01/0.01/<0.01/<0.01 圃場G:1.55/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場H:2.25/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01

（別紙1-2）

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）[注1)] 【ﾒﾌｪﾝﾄﾘﾌﾙｺﾅｿﾞｰﾙ/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030/代謝物F031】
		剤型	使用量 使用方法	回数	経過日数	
ぶどう （ワイン用）	26	40.0%フロアブル（W/V）	441～468 g ai/ha 茎葉散布	3	14, 21	圃場A:*0.75/<0.01/*0.06/<0.01/*0.07（*3回,21日）
						圃場B:0.83/<0.01/*0.05/<0.01/*0.05（*3回,21日）
						圃場C:0.67/<0.01/0.03/<0.01/0.04
						圃場D:0.45/<0.01/0.04/<0.01/0.03
						圃場E:0.23/<0.01/*0.02/<0.01/*0.01（*3回,21日）
						圃場F:0.72/<0.01/0.03/<0.01/*0.02（*3回,21日）
						圃場G:0.69/<0.01/*0.04/<0.01/*0.06（*3回,21日）
						圃場H:*0.41/<0.01/*0.04/<0.01/0.04（*3回,21日）
						圃場I:0.36/<0.01/0.02/0.03/0.07
						圃場J:0.38/<0.01/0.01/*0.03/*0.02（*3回,21日）
						圃場K:*0.63/<0.01/0.02/<0.01/0.05（*3回,21日）
						圃場L:1.03/<0.01/0.03/0.01/0.11
						圃場M:*0.41/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01（*3回,21日）
						圃場N:0.28/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場O:0.48/<0.01/0.03/<0.01/*0.04（*3回,21日）
						圃場P:0.46/<0.01/0.03/<0.01/*0.04（*3回,21日）
						圃場Q:0.11/<0.01/<0.01/<0.01/0.03
						圃場R:0.34/<0.01/<0.01/<0.01/0.02
						圃場S:1.07/<0.01/*0.03/<0.01/0.02（*3回,21日）
						圃場T:0.90/<0.01/*0.05/<0.01/*0.02（*3回,21日）
						圃場U:*0.28/<0.01/*0.04/<0.01/*0.09（*3回,21日）
						圃場V:0.41/<0.01/0.05/<0.01/0.09
					3, 7, 14, 21	圃場W:0.16/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場X:0.33/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場Y:0.20/<0.01/*0.03/<0.01/*0.05（*3回,21日）
						圃場Z:0.25/<0.01/0.03/<0.01/*0.05（*3回,21日）
なたね	13	10.0%乳剤 (W/V)	294～327 g ai/ha 茎葉散布	2	20	圃場A:0.06/<0.01/0.73/<0.01/0.01
					21	圃場B:0.15/<0.01/0.85/<0.01/0.02
						圃場C:0.04/<0.01/0.37/<0.01/0.02
						圃場D:0.01/<0.01/0.37/<0.01/0.03
						圃場E:0.06/<0.01/0.37/<0.01/<0.01
						圃場F:0.12/<0.01/1.05/0.01/0.07
						圃場G:0.01/<0.01/0.15/<0.01/<0.01
						圃場H:0.04/0.02/0.24/<0.01/<0.01
						圃場I:<0.01/<0.01/1.19/0.01/0.04
						圃場J:0.25/0.01/1.28/0.02/0.20
						圃場K:0.25/0.02/0.58/<0.01/0.02
					22	圃場L:0.05/<0.01/0.71/<0.01/0.03
					7, 10, 14, 21, 28	圃場M:0.74/<0.01/0.88/0.02/*0.03（*2回,28日）
ペカン	10	40.0%水和剤 (W/V)	446～456 g ai/ha 茎葉散布	3	13	圃場A:<0.01/<0.01/0.52/0.06/0.13
						圃場B:<0.01/<0.01/0.84/0.06/0.16
						圃場C:<0.01/<0.01/0.16/0.02/0.04
						圃場D:<0.01/<0.01/0.10/0.02/0.04
					14	圃場E:<0.01/<0.01/0.04/<0.01/0.01
						圃場F:<0.01/<0.01/0.03/<0.01/0.01
					15	圃場G:<0.01/<0.01/0.04/<0.01/0.01
						圃場H:<0.01/<0.01/0.07/<0.01/0.02
					3, 7, 15, 21	圃場I:*<0.01/*<0.01/**0.67/**0.06/**0.14（*3回,15日,**3回,21日）
						圃場J:*<0.01/*<0.01/*0.64/**0.07/*0.18（*3回,15日,**3回,21日）
ピスタチオ	6	40.0%水和剤 (W/V)	444～458 g ai/ha 茎葉散布	3	14	圃場A:0.04/<0.01/<0.2/<0.01/<0.01
						圃場B:0.01/<0.01/<0.2/<0.01/0.01
						圃場C:0.01/<0.01/<0.2/<0.01/0.02
						圃場D:0.01/<0.01/0.21/<0.01/0.03
					3, 7, 14, 21	圃場E:0.01/<0.01/0.37/<0.01/0.05
						圃場F:*0.01/<0.01/*0.38/<0.01/*0.05（*3回,21日）
アーモンド	10	40.0%水和剤 (W/V)	445～462 g ai/ha 茎葉散布	3	14	圃場A:<0.01/<0.01/<0.4/<0.01/0.01
						圃場B:<0.01/<0.01/<0.4/<0.01/0.01
						圃場C:<0.01/<0.01/<0.4/<0.01/<0.01
						圃場D:<0.01/<0.01/<0.4/<0.01/<0.01
						圃場E:<0.01/<0.01/1.35/0.02/0.02
						圃場F:0.02/<0.01/1.76/0.03/0.03
					15	圃場G:<0.01/<0.01/<0.4/<0.01/<0.01
						圃場H:<0.01/<0.01/<0.4/<0.01/<0.01
					3, 7, 14, 21	圃場I:<0.01/0.01/*2.02/0.03/0.03（*3回,21日）
						圃場J:<0.01/<0.01/*2.96/*0.04/*0.04（*3回,21日）
にんじん	11	*10%乳剤* *(W/V)*	451～465 g ai/ha 茎葉散布	3	6	圃場A:0.16/<0.01/0.076/<0.01/<0.01(#)
					7	圃場B:0.22/<0.01/0.014/<0.01/<0.01（#）
						圃場C:0.14/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01（#）
						圃場D:0.12/<0.01/0.018/<0.01/<0.01（#）
						圃場E:0.098/<0.01/0.014/<0.01/<0.01（#）
						圃場F:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01（#）
						圃場G:<0.01/<0.01/0.016/<0.01/<0.01（#）
						圃場H:0.11/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01（#）
						圃場I:0.059/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01（#）
						圃場J:0.052/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01（#）
					3, 5, 7, 10, 14	圃場K:*0.24/<0.01/*0.022/<0.01/<0.01（*3回,14日）（#）

（別紙1-2）

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）[注1)] 【ﾒﾌｪﾝﾄﾘﾌﾙｺﾅｿﾞｰﾙ/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030/代謝物F031】
		剤型	使用量 使用方法	回数	経過日数	
ラディッシュ（根）	7	*10.0%乳剤 (W/V)*	438～457 g ai/ha 茎葉散布	3	7	圃場A:0.034/<0.01/0.014/<0.01/<0.01 (#) 圃場B:0.03/<0.01/0.021/<0.01/<0.01 (#) 圃場C:0.13/<0.01/0.074/<0.01/<0.01 (#) 圃場D:0.082/<0.01/0.016/<0.01/<0.01 (#) 圃場E:0.38/<0.01/0.014/<0.01/<0.01 (#)
					8	圃場F:0.11/<0.01/0.018/<0.01/<0.01 (#)
					3, 5, 7, 10, 14	圃場G:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)
ラディッシュ（葉）	7	*10.0%乳剤 (W/V)*	438～457 g ai/ha 茎葉散布	3	7	圃場A:3.3/<0.01/0.014/<0.01/<0.01 (#) 圃場B:8.0/<0.01/0.018/<0.01/<0.01 (#) 圃場C:4.9/<0.01/0.022/<0.01/0.012 (#) 圃場D:1.1/<0.01/0.014/<0.01/<0.01 (#) 圃場E:5.1/<0.01/0.012/<0.01/<0.01 (#)
					8	圃場F:3.2/<0.01/0.024/<0.01/<0.01 (#)
					3, 5, 7, 10, 14	圃場G:0.37/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01(#)
かぶ（葉）	5	*10.0%乳剤 (W/V)*	451～457 g ai/ha 茎葉散布	3	7	圃場A:3.2/<0.01/0.043/<0.01/<0.01 (#) 圃場B:7.0/<0.01/0.054/<0.01/0.023 (#) 圃場C:7.2/<0.01/0.015/<0.01/<0.01 (#) 圃場D:5.6/<0.01/0.038/<0.01/0.028 (#)
					3, 5, 7, 10, 14	圃場E:10/<0.01/*0.087/<0.01/*0.028 (*3回, 14日) (#)
たまねぎ	13	40.0%水和剤 (W/V)	448～465 g ai/ha 茎葉散布	3	6	圃場A:0.032/<0.01/0.020/<0.01/<0.01
					7	圃場B:0.09/<0.01/0.028/<0.01/<0.01 圃場C:0.10/<0.01/0.018/<0.01/<0.01 圃場D:0.047/<0.01/0.082/<0.01/<0.01 圃場E:0.013/<0.01/0.018/<0.01/<0.01 圃場F:0.012/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場G:<0.01/<0.01/0.052/<0.01/<0.01 圃場H:0.052/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場I:0.034/<0.01/0.043/<0.01/<0.01
					8	圃場J:0.088/<0.01/0.014/<0.01/<0.01 圃場K:0.094/<0.01/0.092/<0.01/<0.01 圃場L:0.021/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
					0, 3, 7, 10, 15	圃場M:0.11/<0.01/*0.055/<0.01/<0.01 (*3回, 15日)
ねぎ	5	40.0%水和剤 (W/V)	448～498 g ai/ha 茎葉散布	3	7	圃場A:0.28/<0.01/0.032/<0.01/0.034 圃場B:0.42/<0.01/0.022/<0.01/<0.01 圃場C:2.0/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場D:0.11/<0.01/0.042/<0.01/<0.01
					0, 3, 7, 10, 14	圃場E:0.39/<0.01/0.069/<0.01/0.068
結球レタス（外葉付き）	8	40.0%水和剤 (W/V)	447～466 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:2.0/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場B:0.32/<0.01/0.013/<0.01/<0.01 圃場C:1.5/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場D:0.88/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場E:1.3/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場F:0.27/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場G:0.12/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
					0, 3, 7, 10	圃場H:2.2/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
結球レタス（外葉なし）	4	40.0%水和剤 (W/V)	449～466 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:1.6/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場B:<0.01/<0.01/0.020/<0.01/<0.01 圃場C:0.090/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場D:0.046/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
非結球レタス	8	40.0%水和剤 (W/V)	447～466 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:3.0/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場B:6.4/<0.01/<0.01/<0.01/0.014 圃場C:4.4/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場D:4.2/<0.01/<0.01/<0.01/0.013 圃場E:2.4/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場F:2.2/<0.01/<0.01/<0.01/0.028 圃場G:7.2/<0.01/<0.01/<0.01/0.026 圃場H:2.6/<0.01/<0.01/<0.01/0.015
ほうれんそう	8	40.0%水和剤 (W/V)	449～458 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:12/<0.01/0.012/<0.01/0.013 圃場B:5.2/<0.01/0.030/<0.01/0.019 圃場C:17/<0.01/0.016/<0.01/<0.01 圃場D:12/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場E:3.8/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場F:4.6/<0.01/0.018/<0.01/0.023 圃場G:4.8/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
					0, 3, 5, 6, 9	圃場H:11/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
マスタードグリーン	4	40.0%水和剤 (W/V)	437～455 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:12/<0.01/0.080/<0.01/0.014 圃場B:5.0/<0.01/0.068/<0.01/<0.01 圃場C:4.1/<0.01/0.14/<0.01/<0.01 圃場D:8.2/<0.01/0.054/<0.01/0.011
チェリートマト	3	*10.0%乳剤 (W/V)*	417～446 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:0.360/<0.01/0.0374/<0.01/0.0421 (#)
					0, 3, 5, 7, 10	圃場B:0.125/<0.01/0.0102/<0.01/<0.01 (#) 圃場C:0.405/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)

（別紙1-2）

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）[注1)] 【ﾒﾌｪﾝﾄﾘﾌﾙｺﾅｿﾞｰﾙ/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030/代謝物F031】
		剤型	使用量 使用方法	回数	経過日数	
トマト	16	*10.0%乳剤 (W/V)*	443～468 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:0.145/<0.01/0.0195/<0.01/<0.01 (#) 圃場B:0.142/<0.01/0.0314/<0.01/<0.01 (#) 圃場C:0.145/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#) 圃場D:0.248/<0.01/0.0180/<0.01/<0.01 (#) 圃場E:0.0255/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#) 圃場F:0.0500/<0.01/0.0276/<0.01/<0.01 (#) 圃場G:0.190/<0.01/0.0182/<0.01/<0.01 (#) 圃場H:0.110/<0.01/0.0208/<0.01/<0.01 (#) 圃場I:0.0950/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#) 圃場J:0.078/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#) 圃場K:0.0470/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#) 圃場L:0.042/<0.01/0.0116/<0.01/<0.01 (#) 圃場M:0.171/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#) 圃場N:0.0850/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#) 圃場O:0.370/<0.01/0.0141/<0.01/<0.01 (#)
					0, 3, 5, 7, 10	圃場P:0.228/<0.01/*0.0140/<0.01/<0.01(*3回, 7日) (#)
ピーマン	9	*10.0%乳剤 (W/V)*	445～454 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:0.202/<0.01/0.0436/<0.01/<0.01 (#) 圃場B:0.049/<0.01/0.0435/<0.01/<0.01 (#) 圃場C:0.062/<0.01/0.0383/<0.01/<0.01 (#) 圃場D:0.044/<0.01/0.0120/<0.01/<0.01 (#) 圃場E:0.222/<0.01/0.0764/<0.01/<0.01 (#) 圃場F:0.428/<0.01/0.0136/<0.01/<0.01 (#) 圃場G:0.297/<0.01/0.0340/<0.01/<0.01 (#) 圃場H:0.729/<0.01/0.0968/<0.01/<0.01 (#)
					0, 3, 5, 7, 10	圃場I:0.064/<0.01/*0.0561/<0.01/<0.01 (*3回, 10日)(#)
とうがらし	3	*10.0%乳剤 (W/V)*	445～446 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:0.265/<0.01/0.120/<0.01/0.0199 (#) 圃場B:0.602/<0.01/0.0392/<0.01/<0.01 (#)
					0, 3, 5, 7, 10	圃場C:*0.238/<0.01/**0.0712/<0.01/*0.0131 (*3回, 3日, **3回, 10日) (#)
きゅうり	9	40.0%水和剤 (W/V)	446～467 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:0.028/<0.01/0.107/<0.01/<0.01 圃場B:0.034/<0.01/0.138/<0.01/<0.01 圃場C:0.096/<0.01/0.137/<0.01/0.011 圃場D:0.020/<0.01/0.079/<0.01/<0.01 圃場E:0.012/<0.01/0.107/<0.01/<0.01 圃場F:0.024/<0.01/0.116/<0.01/<0.01 圃場G:0.042/<0.01/0.023/<0.01/<0.01 圃場H:0.032/<0.01/0.040/<0.01/<0.01
					0, 3, 7, 10	圃場I:0.030/<0.01/*0.272/<0.01/**0.012 (*3回, 7日, **3回, 10日)
サマースカッシュ	8	40.0%水和剤 (W/V)	449～460 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:0.052/<0.01/0.111/<0.01/0.013 圃場B:0.046/<0.01/0.044/<0.01/<0.01 圃場C:0.084/<0.01/0.060/<0.01/<0.01 圃場D:0.048/<0.01/0.027/<0.01/<0.01 圃場E:0.088/<0.01/0.022/<0.01/<0.01 圃場F:0.040/<0.01/0.020/<0.01/<0.01 圃場G:<0.01/<0.01/0.016/<0.01/<0.01
					0, 3, 7, 10	圃場H:<0.01/<0.01/*0.018/<0.01/**0.032 (*3回, 10日, **3回, 7日)
マスクメロン	8	40.0%水和剤 (W/V)	447～457 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:0.160/<0.01/0.044/<0.01/0.01 圃場B:0.104/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場C:0.217/<0.01/0.020/<0.01/<0.01 圃場D:0.108/<0.01/0.049/<0.01/0.020 圃場E:0.112/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場F:0.143/<0.01/0.024/<0.01/<0.01 圃場G:0.208/<0.01/0.018/<0.01/<0.01
					0, 3, 7, 10	圃場H:0.164/<0.01/*0.012/<0.01/<0.01 (*3回, 10日)
ブラックベリー	6	40.0%水和剤 (W/V)	445～454 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:0.25/<0.01/0.01/<0.01/0.01 圃場B:0.71/<0.01/0.02/<0.01/<0.01 圃場C:1.22/<0.01/0.02/<0.01/<0.01 圃場D:1.32/<0.01/0.02/<0.01/<0.01 圃場E:1.30/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
					0, 1, 3, 7, 10	圃場F:0.35/<0.01/*0.04/<0.01/<0.01 (*3回, 1日)
ブルーベリー	9	40.0%水和剤 (W/V)	437～464 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:0.58/<0.01/<0.01/<0.01/0.01 圃場B:0.76/<0.01/<0.01/<0.01/0.01 圃場C:0.68/<0.01/0.02/<0.01/0.08 圃場D:0.51/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場E:0.06/<0.01/<0.01/<0.01/0.01 圃場F:0.18/<0.01/<0.01/<0.01/0.03 圃場G:0.56/<0.01/<0.01/<0.01/0.01 圃場H:3.16/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
					0, 1, 3, 7, 10	圃場I:0.74/<0.01/<0.01/<0.01/*0.02 (*3回, 7日)
いちご	11	40.0%水和剤 (W/V)	445～468 g ai/ha 茎葉散布	3	0	圃場A:0.14/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場B:0.44/<0.01/0.02/<0.01/0.01 圃場C:0.50/<0.01/0.04/<0.01/<0.01 圃場D:0.08/<0.01/0.02/<0.01/<0.01 圃場E:<0.01/<0.01/0.02/<0.01/<0.01 圃場F:0.43/<0.01/0.04/<0.01/<0.01 圃場G:0.62/<0.01/0.03/<0.01/<0.01 圃場H:1.05/-/-/-/- 圃場I:0.29/<0.01/0.02/<0.01/<0.01 圃場J:0.24/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
					0, 1, 3, 7, 10	圃場K:<0.01/<0.01/*0.02/<0.01/<0.01 (*3回, 3日)

（別紙1-2）

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）[注1)] 【ﾒﾌｪﾝﾄﾘﾌﾙｺﾅｿﾞｰﾙ/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030/代謝物F031】
		剤型	使用量 使用方法	回数	経過日数	
ひまわり	10	10.0%乳剤 (W/V)	295～307 g ai/ha 茎葉散布	2	18	圃場A:0.012/<0.01/0.055/0.060/<0.01
					20	圃場B:0.056/<0.01/0.32/0.52/0.014
						圃場C:0.047/<0.01/0.26/0.23/<0.01
					21	圃場D:0.010/<0.01/0.015/0.012/<0.01
						圃場E:<0.01/<0.01/0.018/0.018/<0.01
						圃場F:<0.01/<0.01/0.016/0.018/<0.01
						圃場G:0.062/<0.01/0.050/0.066/<0.01
						圃場H:0.041/<0.01/0.056/0.046/<0.01
					22	圃場I:<0.01/<0.01/0.054/0.041/<0.01
					14, 22, 28, 35	圃場J:<0.01/<0.01/*0.12/0.18/<0.01（*3回, 35日, **3回, 22日）
綿実	12	10.0%乳剤 (W/V)	438～458 g ai/ha 茎葉散布	3	28	圃場A:0.052/<0.01/0.20/<0.01/0.074
					29	圃場B:0.030/<0.01/0.70/<0.01/0.13
						圃場C:0.098/<0.01/0.096/<0.01/<0.01
						圃場D:0.050/<0.01/0.086/<0.01/0.012
					30	圃場E:0.053/<0.01/0.25/<0.01/0.051
						圃場F:<0.01/<0.01/0.73/<0.01/0.18
						圃場G:0.032/<0.01/0.092/<0.01/0.033
						圃場H:0.12/<0.01/0.13/<0.01/0.028
						圃場I:<0.01/<0.01/0.26/<0.01/0.032
					31	圃場J:0.10/<0.01/0.27/<0.01/0.068
						圃場K:0.042/<0.01/0.72/<0.01/0.16
					33	圃場L:0.035/<0.01/3.22/0.024/0.46
さとうきび	8	10.0%乳剤 (W/V)	298～324 g ai/ha 茎葉散布	2	13	圃場A:0.48/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
					14	圃場B:0.38/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場C:0.97/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場D:0.42/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場E:0.36/<0.01/0.016/<0.01/<0.01
						圃場F:0.25/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場G:0.097/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
					4, 9, 14, 19, 24	圃場H:0.30/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01
バナナ[注2)] （全果、袋あり）	10	40.0%水和剤 (W/V)	700 g ai/ha 茎葉散布	*5*	0, 1, 3, 7	圃場A:<0.01/<0.01/*0.028/<0.01/*0.024（*5回, 7日）（#）
						圃場B:<0.01/<0.01/*0.030/<0.01/**0.028（*5回, 1日, **5回, 3日）（#）
						圃場C:0.015/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01（#）
						圃場D:<0.01/<0.01/*0.013/<0.01/0.014（*5回, 7日）（#）
						圃場E:0.16/<0.01/0.013/<0.01/0.014（#）
					0	圃場F:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01（#）
						圃場G:<0.01/<0.01/0.025/<0.01/0.01（#）
						圃場H:<0.01/<0.01/0.018/<0.01/0.011（#）
						圃場I:0.012/<0.01/<0.01/<0.01/0.01（#）
						圃場J:0.043/<0.01/0.011/<0.01/0.020（#）
					0（室温で7日間保存）	圃場F:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01（#）
						圃場G:<0.01/<0.01/0.026/<0.01/0.01（#）
						圃場H:<0.01/<0.01/0.012/<0.01/0.018（#）
						圃場I:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01（#）
						圃場J:0.014/<0.01/0.011/<0.01/0.021（#）
バナナ[注2)] （全果、袋なし）	10	40.0%水和剤 (W/V)	700 g ai/ha 茎葉散布	*5*	0, 1, 3, 7	圃場A:*0.65/<0.01/*0.024/<0.01/**0.027（*5回, 1日, **5回, 7日）（#）
						圃場B:0.74/<0.01/*0.038/<0.01/*0.017（*5回, 7日）（#）
						圃場C:*0.54/<0.01/0.013/<0.01/<0.01（*5回, 7日）（#）
						圃場D:*0.57/<0.01/**0.027/<0.01/0.018（*5回, 3日, **5回, 7日）（#）
						圃場E:*0.24/<0.01/*0.015/<0.01/**0.015（*5回, 1日, **5回, 3日）（#）
					0	圃場F:0.47/<0.01/0.018/<0.01/0.012（#）
						圃場G:0.026/<0.01/0.018/<0.01/0.01（#）
						圃場H:0.35/<0.01/0.030/<0.01/0.029（#）
						圃場I:0.16/<0.01/0.012/<0.01/0.017（#）
						圃場J:0.12/<0.01/0.021/<0.01/0.028（#）
					0（室温で7日間保存）	圃場F:0.28/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01（#）
						圃場G:0.042/<0.01/0.018/<0.01/0.01（#）
						圃場H:0.19/<0.01/0.018/<0.01/0.027（#）
						圃場I:0.11/<0.01/0.011/<0.01/0.013（#）
						圃場J:0.053/<0.01/0.025/<0.01/0.037（#）
バナナ[注2)] （果肉、袋あり）	10	40.0%水和剤 (W/V)	700 g ai/ha 茎葉散布	*5*	0, 1, 3, 7	圃場A:*0.035/<0.01/0.043/<0.01/0.022（*5回, 3日）（#）
						圃場B:<0.01/<0.01/*0.038/<0.01/**0.021（*5回, 3日, **5回, 7日）（#）
						圃場C:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01（#）
						圃場D:<0.01/<0.01/0.021/<0.01/<0.01（#）
						圃場E:0.033/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01（#）
					0	圃場F:<0.01/<0.01/0.010/<0.01/<0.01（#）
						圃場G:<0.01/<0.01/0.019/<0.01/<0.01（#）
						圃場H:<0.01/<0.01/0.017/<0.01/<0.01（#）
						圃場I:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01（#）
						圃場J:0.094/<0.01/0.011/<0.01/0.012（#）
					0（室温で7日間保存）	圃場F:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01（#）
						圃場G:<0.01/<0.01/0.016/<0.01/0.01（#）
						圃場H:<0.01/<0.01/0.025/<0.01/<0.01（#）
						圃場I:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01/<0.01（#）
						圃場J:<0.01/<0.01/0.013/<0.01/0.012（#）

（別紙1-2）

メフェントリフルコナゾールの作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）[注1)] 【ﾒﾌｪﾝﾄﾘﾌﾙｺﾅｿﾞｰﾙ/代謝物F001/代謝物F029/代謝物F030/代謝物F031】
		剤型	使用量 使用方法	回数	経過日数	
バナナ[注2)]（果肉、袋なし）	10	40.0%水和剤 (W/V)	700 g ai/ha 茎葉散布	*5*	0,1,3,7	圃場A:*0.21/<0.01/*0.037/<0.01/*0.020 （*5回,7日）(#) 圃場B:0.21/<0.01/*0.025/<0.01/<0.01 （*5回,3日） (#) 圃場C:*0.052/<0.01/**0.013/<0.01/<0.01 （*5回,3日,**5回,7日）(#) 圃場D:*0.053/<0.01/*0.036/<0.01/<0.01 （*5回,1日） (#) 圃場E:*0.14/<0.01/*0.023/<0.01/*0.012 （*5回,7日） (#)
					0	圃場F:0.040/<0.01/0.015/<0.01/<0.01 (#) 圃場G:<0.01/<0.01/0.027/<0.01/0.01 (#) 圃場H:0.047/<0.01/0.016/<0.01/0.010 (#) 圃場I:0.039/<0.01/0.012/<0.01/<0.01 (#) 圃場J:<0.01/<0.01/0.029/<0.01/0.015 (#)
					0（室温で7日間保存）	圃場F:0.015/<0.01/0.011/<0.01/<0.01 (#) 圃場G:<0.01/<0.01/0.017/<0.01/<0.01 (#) 圃場H:0.091/<0.01/0.043/<0.01/0.014 (#) 圃場I:0.057/<0.01/0.014/<0.01/<0.01 (#) 圃場J:0.011/<0.01/0.033/<0.01/0.020 (#)
コーヒー豆[注3)]	5	13.3%乳剤 (W/V)	399 g ai/ha 茎葉散布	3	*15, 30*, 45, 60	圃場A:*0.016/<0.01/0.33/<0.01/*0.019 （*3回,60日） 圃場B:<0.01/<0.01/0.41/<0.01/0.022 圃場C:0.069/<0.01/*0.37/0.041/0.038 （*3回,60日） 圃場D:<0.01/<0.01/*0.30/<0.01/0.015 （*3回,60日） 圃場E:<0.01/<0.01/*0.29/<0.01/0.014 (*3回,60日)
	5	20.0%乳剤 (W/V)	480 g ai/ha 茎葉散布	3	*15, 30*, 45, 60	圃場A:<0.01/-/-/-/- 圃場B:<0.01/-/-/-/- 圃場C:<0.01/-/-/-/- 圃場D:<0.01/-/-/-/- 圃場E:<0.01/-/-/-/-
	5	20.0%乳剤 (W/V)	450 g ai/ha 茎葉散布	3	*15, 30*, 45, 60	圃場A:0.014/-/-/-/- 圃場B:0.020/-/-/-/- 圃場C:*0.018/-/-/-/- (*3回,60日) 圃場D:*0.017/-/-/-/- (*3回,60日)
					15, 30, 45	圃場E:0.012/-/-/-/-
	2	20.0%乳剤 (W/V)	480 g ai/ha 茎葉散布	3	*15, 30*, 45, 60	圃場A:*0.330/<0.01/*0.280/<0.01/*0.061 (*3回,60日) 圃場B:*0.140/<0.01/0.340/<0.01/0.050 (*3回,60日)
	2	20.0%乳剤 (W/V)	*480 g ai/ha* *茎葉散布*		*15, 30*, 45, 60	圃場A:<0.01/<0.01/*0.022/<0.01/<0.01 (*3回,60日) (#) 圃場B:<0.01/<0.01/0.021/<0.01/<0.01 (#)

-:分析せず

(#) 印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。なお、剤型は異なるものの使用量及び使用回数は適用の範囲内で行われている。

今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

注1) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

農薬名　メフェントリフルコナゾール

（別紙２）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 外国基準値 ppm		作物残留試験成績等 ppm
小麦	0.3	0.3			0.3	米国	【<0.01～0.27(n=24)(米国)】
大麦	4	4			4	米国	【米国大麦(<0.01～1.67(n=10))、稲(<0.01～1.84(n=12))、ソルガム(<0.01～1.17(n=9))】
ライ麦	4	4			4	米国	【米国大麦、稲、ソルガム参照】
とうもろこし	0.03	0.03			0.03	米国	【米国とうもろこし(<0.01～0.01(n=20))、スイートコーン(<0.01～0.02(n=13))】
そば	4	4			4	米国	【米国大麦、稲、ソルガム参照】
その他の穀類	4	4			4	米国	【米国大麦、稲、ソルガム参照】
大豆	0.4	0.4			0.4	米国	【<0.01～0.31(n=20)(米国)】
小豆類	2	2			2	米国	【米国レンズ豆(0.06～0.68(n=3))】
えんどう	0.2	0.2			0.15	米国	【米国いんげん類(<0.01～0.05(n=22))、えんどう類(<0.01～0.09(n=26))】
そら豆	0.2	0.2			0.15	米国	【米国いんげん類、えんどう類参照】
らっかせい	0.01	0.01			0.01	米国	【<0.01(n=12)(米国)】
その他の豆類	0.2	0.2			0.15	米国	【米国いんげん類、えんどう類参照】
ばれいしょ	0.04	0.04			0.04	米国	【<0.01～0.04(n=19)(米国)】
さといも類(やつがしらを含む。)	0.04	0.04			0.04	米国	【米国ばれいしょ参照】
かんしょ	0.04	0.04			0.04	米国	【米国ばれいしょ参照】
やまいも(長いもをいう。)	0.04	0.04			0.04	米国	【米国ばれいしょ参照】
その他のいも類	0.04	0.04			0.04	米国	【米国ばれいしょ参照】
てんさい	0.6	0.6			0.6	米国	【0.02～0.58(n=13)(米国)】
さとうきび	2		IT		1.5	米国	【0.097～0.97(n=8)(米国)】
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根	0.7		IT		0.7	米国	【米国にんじん(<0.01～0.24(#)(n=11))、ラディッシュ(根)(<0.01～0.38(#)(n=7))】
だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉	20		IT		20	米国	【米国ラディッシュ(葉)(0.37～8.0(#)(n=7))、かぶ(葉)(3.2～10(#)(n=5))】
かぶ類の根	0.7		IT		0.7	米国	【米国にんじん、ラディッシュ(根)参照】
かぶ類の葉	20		IT		20	米国	【米国ラディッシュ(葉)、かぶ(葉)参照】
西洋わさび	0.7		IT		0.7	米国	【米国にんじん、ラディッシュ(根)参照】
クレソン	30		IT		30	米国	【米国非結球レタス(2.2～7.2(n=8)、ほうれんそう(3.8～17(n=8)、マスタードグリーン(4.1～12(n=4))】
その他のあぶらな科野菜	30		IT		30	米国	【米国非結球レタス、ほうれんそう、マスタードグリーン参照】
ごぼう	0.7		IT		0.7	米国	【米国にんじん、ラディッシュ(根)参照】
サルシフィー	0.7		IT		0.7	米国	【米国にんじん、ラディッシュ(根)参照】
チコリ	20		IT		20	米国	【米国ラディッシュ(葉)、かぶ(葉)参照】
エンダイブ	30		IT		30	米国	【米国非結球レタス、ほうれんそう、マスタードグリーン参照】
しゅんぎく	30		IT		30	米国	【米国非結球レタス、ほうれんそう、マスタードグリーン参照】
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	30		IT		30	米国	【米国非結球レタス、ほうれんそう、マスタードグリーン参照】
その他のきく科野菜	30		IT		30	米国	【米国非結球レタス、ほうれんそう、マスタードグリーン参照】
たまねぎ	0.2		IT		0.2	米国	【<0.01～0.11(n=13)(米国)】
ねぎ(リーキを含む。)	4		IT		4	米国	【0.11～2.0(n=5)(米国)】
にんにく	0.2		IT		0.2	米国	【米国たまねぎ参照】
にら	4		IT		4	米国	【米国ねぎ参照】
わけぎ	4		IT		4	米国	【米国ねぎ参照】
その他のゆり科野菜	4		IT		4	米国	【米国ねぎ参照】
にんじん	0.7		IT		0.7	米国	【米国にんじん、ラディッシュ(根)参照】
パースニップ	0.7		IT		0.7	米国	【米国にんじん、ラディッシュ(根)参照】
パセリ	30		IT		30	米国	【米国非結球レタス、ほうれんそう、マスタードグリーン参照】
その他のせり科野菜	30		IT		30	米国	【米国非結球レタス、ほうれんそう、マスタードグリーン参照】

農薬名　メフェントリフルコナゾール

（別紙２）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 外国基準値 ppm		作物残留試験成績等 ppm
トマト	0.9		IT		0.9	米国	【米国チェリートマト(0.125～0.405(#)(n=3))、トマト(0.0255～0.370(#)(n=16))、ピーマン(0.044～0.729(#)(n=9))、トウガラシ(0.238～
ピーマン	0.9		IT		0.9	米国	【米国チェリートマト、トマト、ピーマン、トウガラシ参照】
なす	0.9		IT		0.9	米国	【米国チェリートマト、トマト、ピーマン、トウガラシ参照】
その他のなす科野菜	0.9		IT		0.9	米国	【米国チェリートマト、トマト、ピーマン、トウガラシ参照】
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.2		IT		0.2	米国	【米国きゅうり(0.012～0.096(n=9))、スカッシュ(<0.01～0.088(n=8))】
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.2		IT		0.2	米国	【米国きゅうり、スカッシュ参照】
しろうり	0.5		IT		0.5	米国	【米国マスクメロン(0.104～0.217(n=8))】
すいか(果皮を含む。)	0.5		IT		0.5	米国	【米国マスクメロン参照】
メロン類果実(果皮を含む。)	0.5		IT		0.5	米国	【米国マスクメロン参照】
まくわうり(果皮を含む。)	0.5		IT		0.5	米国	【米国マスクメロン参照】
その他のうり科野菜	0.2	0.04	IT		0.2	米国	【米国きゅうり、スカッシュ参照】
ほうれんそう	30		IT		30	米国	【米国非結球レタス、ほうれんそう、マスタードグリーン参照】
オクラ	0.9		IT		0.9	米国	【米国トマト、ピーマン、トウガラシ参照】
しょうが	0.04	0.04			0.04	米国	【米国ばれいしょ参照】
未成熟えんどう	0.2	0.2			0.15	米国	【米国いんげん類、えんどう類参照】
未成熟いんげん	0.2	0.2			0.15	米国	【米国いんげん類、えんどう類参照】
えだまめ	0.2	0.2			0.15	米国	【米国いんげん類、えんどう類参照】
その他の野菜	30	1	IT		30	米国	【米国非結球レタス、ほうれんそう、マスタードグリーン参照】
みかん(外果皮を含む。)	0.6	0.6			0.6	米国	【米国オレンジ参照】
なつみかんの果実全体	0.5	0.5			0.5	米国	【米国グレープフルーツ参照】
レモン	1	1			1	米国	【0.17～0.6(n=12)(米国)】
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	0.6	0.6			0.6	米国	【0.13～0.46(n=24)(米国)】
グレープフルーツ	0.5	0.5			0.5	米国	【0.07～0.24(n=12)(米国)】
ライム	1	1			1	米国	【米国レモン参照】
その他のかんきつ類果実	1	1			1	米国	【米国レモン参照】
りんご	2	2	申		1.5	米国	【米国りんご(<0.01～0.55(n=30))、なし(<0.01～0.92(n=18))】
日本なし	2	2	申		1.5	米国	【米国りんご、なし参照】
西洋なし	2	2	申		1.5	米国	【米国りんご、なし参照】
マルメロ	2	2			1.5	米国	【米国りんご、なし参照】
びわ(果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	2	2			1.5	米国	【米国りんご、なし参照】
もも(果皮及び種子を含む。)	2	2	申		1.5	米国	【0.22～1.34(n=26)(米国)】
ネクタリン	2	2	申		1.5	米国	【米国もも参照】
あんず(アプリコットを含む。)	2	2			2	米国	【米国すもも参照】
すもも(プルーンを含む。)	2	2			2	米国	【<0.01～0.98(n=20)(米国)】
うめ	2	2	申				0.324、0.558、0.765 (#)
おうとう(チェリーを含む。)	4	4	申		4	米国	【米国おうとう(0.45～1.08(n=8))、タルトチェリー(0.03～2.25(n=8))】
いちご	2		IT		2	米国	【<0.01～1.05(n=11)(米国)】
ラズベリー	3		IT		3	米国	【米国ブラックベリー参照】
ブラックベリー	3		IT		3	米国	【0.25～1.32(n=6)(米国)】
ブルーベリー	5		IT		5	米国	【0.06～3.16(n=9)(米国)】
クランベリー	5		IT		5	米国	【米国ブルーベリー参照】
ハックルベリー	5		IT		5	米国	【米国ブルーベリー参照】
その他のベリー類果実	5	2	IT		5	米国	【米国ブルーベリー参照】
ぶどう	3	2	申				0.574,1.24(#)(大粒ぶどう) 0.802,1.5(#)(小粒ぶどう)
かき		2					
バナナ	2		IT		1.5	米国	【0.026～0.74(n=10)(#)(袋なし)(ブラジル、コロンビア、エクアドル)】
パッションフルーツ	2	2			1.5	米国	【米国ぶどう(0.11～1.07(n=26))】
その他の果実	2	2			1.5	米国	【米国ぶどう参照】

農薬名　メフェントリフルコナゾール

（別紙２）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 外国基準値 ppm		作物残留試験成績等 ppm
ひまわりの種子	0.2		IT		0.15	米国	【<0.01～0.062(n=10)(米国)】
ごまの種子	1	1			1	米国	【米国なたね参照】
べにばなの種子	0.2		IT		0.15	米国	【米国ひまわり参照】
綿実	0.2		IT		0.2	米国	【<0.01～0.12(n=12)(米国)】
なたね	1	1			1	米国	【<0.01～0.74(n=13)(米国)】
その他のオイルシード	1	1			1	米国	【米国なたね参照】
くり	0.06	0.06			0.06	米国	【米国ペカン(<0.01(n=10)),ピスタチオ(0.01～0.04(n=6)),アーモンド(<0.01～0.02(n=10))】
ペカン	0.06	0.06			0.06	米国	【米国ペカン、ピスタチオ、アーモンド参照】
アーモンド	0.06	0.06			0.06	米国	【米国ペカン、ピスタチオ、アーモンド参照】
くるみ	0.06	0.06			0.06	米国	【米国ペカン、ピスタチオ、アーモンド参照】
その他のナッツ類	0.06	0.06			0.06	米国	【米国ペカン、ピスタチオ、アーモンド参照】
コーヒー豆	0.4		IT		0.4	米国	【<0.01～0.330(#)(n=19)(ブラジル、エクアドル、コロンビア)】
その他のスパイス	1	1			1	米国	【米国なたね参照】
その他のハーブ	30	1	IT		30	米国	【米国非結球レタス、ほうれんそう、マスタードグリーン参照】
牛の筋肉	0.2	0.03	IT		0.15	米国	【推:0.121(米国)】
豚の筋肉	0.01	0.01			0.01	米国	【推:0.006(米国)】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.2	0.03	IT		0.15	米国	【米国牛の筋肉参照】
牛の脂肪	1	0.2	IT		1	米国	【推:1.036(米国)】
豚の脂肪	0.02	0.02			0.015	米国	【推:0.012(米国)】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	1	0.2	IT		1	米国	【米国牛の脂肪参照】
牛の肝臓	2	0.3	IT		1.5	米国	【推:1.614(米国)】
豚の肝臓	0.03	0.03			0.03	米国	【推:0.019(米国)】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	2	0.3	IT		1.5	米国	【米国牛の肝臓参照】
牛の腎臓	2	0.3	IT		1.5	米国	【米国牛の肝臓参照】
豚の腎臓	0.03	0.03			0.03	米国	【米国豚の肝臓参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	2	0.3	IT		1.5	米国	【米国牛の肝臓参照】
牛の食用部分	2	0.3	IT		1.5	米国	【米国牛の肝臓参照】
豚の食用部分	0.03	0.03			0.03	米国	【米国豚の肝臓参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	2	0.3	IT		1.5	米国	【米国牛の肝臓参照】
乳	0.2	0.03	IT		0.15	米国	【推:0.074(米国)】
鶏の筋肉	0.02	0.01	IT		0.015	米国	【推:0.010(米国)】
その他の家きんの筋肉	0.02	0.01	IT		0.015	米国	【米国鶏の筋肉参照】
鶏の脂肪	0.02	0.02			0.015	米国	【推:0.010(米国)】
その他の家きんの脂肪	0.02	0.02			0.015	米国	【米国鶏の脂肪参照】
鶏の肝臓	0.02	0.01	IT		0.015	米国	【推:0.015(米国)】
その他の家きんの肝臓	0.02	0.01	IT		0.015	米国	【米国鶏の肝臓参照】
鶏の腎臓	0.02	0.01	IT		0.015	米国	【米国鶏の肝臓参照】
その他の家きんの腎臓	0.02	0.01	IT		0.015	米国	【米国鶏の肝臓参照】
鶏の食用部分	0.02	0.01	IT		0.015	米国	【米国鶏の肝臓参照】
その他の家きんの食用部分	0.02	0.01	IT		0.015	米国	【米国鶏の肝臓参照】
鶏の卵	0.01	0.01			0.01	米国	【推:0.010(米国)】
その他の家きんの卵	0.01	0.01			0.01	米国	【米国鶏の卵参照】
はちみつ	0.05	0.05					※

本基準（暫定基準以外の基準）を見直す基準値案については、太枠線で囲んで示した。

「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、国内で農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

「登録有無」の欄に「IT」の記載があるものは、ｲﾝﾎﾟｰﾄﾄﾚﾗﾝｽ申請に基づく基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

(#)これらの作物残留試験は、登録又は申請の適用の範囲内で試験が行われていない。

「作物残留試験」欄に「推」の記載のあるものは、推定残留濃度であることを示している。

※）「食品中の農薬の残留基準設定の基本原則について」（令和元年７月30日農薬・動物用医薬品部会（令和３年３月11日　一部改訂））の別添３「はちみつ中の農薬等の基準設定の方法について」に基づき設定。

（別紙３）

メフェントリフルコナゾールの推定摂取量　（単位：μg／人／day）

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) TMDI	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) TMDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
小麦	0.3	0.087	17.9	5.2	13.3	3.9	20.7	6.0	15.0	4.3
大麦	4	0.68	21.2	3.6	17.6	3.0	35.2	6.0	17.6	3.0
ライ麦	4	0.68	0.4	0.1	0.4	0.1	2.0	0.3	0.4	0.1
とうもろこし	0.03	0.01	0.1	0.0	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.0
そば	4	0.68	4.4	0.7	2.0	0.3	7.2	1.2	4.4	0.7
その他の穀類	4	0.68	0.8	0.1	0.4	0.1	0.4	0.1	1.2	0.2
大豆	0.4	0.03	15.6	1.2	8.2	0.6	12.5	0.9	18.4	1.4
小豆類	2	0.29	4.8	0.7	1.6	0.2	1.6	0.2	7.8	1.1
えんどう	0.2	0.016	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
そら豆	0.2	0.016	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0
らっかせい	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の豆類	0.2	0.016	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ばれいしょ	0.04	0.012	1.5	0.5	1.4	0.4	1.7	0.5	1.4	0.4
さといも類（やつがしらを含む。）	0.04	0.012	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.3	0.1
かんしょ	0.04	0.012	0.3	0.1	0.3	0.1	0.5	0.1	0.4	0.1
やまいも（長いもをいう。）	0.04	0.012	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2	0.1
その他のいも類	0.04	0.012	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
てんさい	0.6	0.12	19.5	3.9	16.6	3.3	24.7	4.9	19.9	4.0
さとうきび	2	0.41	196.4	40.3	167.2	34.3	248.2	50.9	200.4	41.1
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.7	0.11	23.1	3.6	8.0	1.3	14.4	2.3	32.0	5.0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	20	4.91	34.0	8.3	12.0	2.9	62.0	15.2	56.0	13.7
かぶ類の根	0.7	0.11	2.0	0.3	0.6	0.1	0.1	0.0	3.5	0.6
かぶ類の葉	20	4.91	6.0	1.5	2.0	0.5	2.0	0.5	12.0	2.9
西洋わさび	0.7	0.11	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
クレソン	30	6.6	3.0	0.7	3.0	0.7	3.0	0.7	3.0	0.7
その他のあぶらな科野菜	30	6.6	102.0	22.4	18.0	4.0	24.0	5.3	144.0	31.7
ごぼう	0.7	0.11	2.7	0.4	1.1	0.2	2.7	0.4	3.2	0.5
サルシフィー	0.7	0.11	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
チコリ	20	4.91	2.0	0.5	2.0	0.5	2.0	0.5	2.0	0.5
エンダイブ	30	6.6	3.0	0.7	3.0	0.7	3.0	0.7	3.0	0.7
しゅんぎく	30	6.6	45.0	9.9	9.0	2.0	78.0	17.2	75.0	16.5
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	30	6.6	288.0	63.4	132.0	29.0	342.0	75.2	276.0	60.7
その他のきく科野菜	30	6.6	45.0	9.9	3.0	0.7	18.0	4.0	78.0	17.2
たまねぎ	0.2	0.054	6.2	1.7	4.5	1.2	7.1	1.9	5.6	1.5
ねぎ（リーキを含む。）	4	0.64	37.6	6.0	14.8	2.4	27.2	4.4	42.8	6.8
にんにく	0.2	0.054	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.1	0.0
にら	4	0.64	8.0	1.3	3.6	0.6	7.2	1.2	8.4	1.3
わけぎ	4	0.64	0.8	0.1	0.4	0.1	0.4	0.1	0.8	0.1
その他のゆり科野菜	4	0.64	2.4	0.4	0.4	0.1	0.8	0.1	4.8	0.8
にんじん	0.7	0.11	13.2	2.1	9.9	1.6	15.8	2.5	13.1	2.1
パースニップ	0.7	0.11	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
パセリ	30	6.6	3.0	0.7	3.0	0.7	3.0	0.7	6.0	1.3
その他のせり科野菜	30	6.6	6.0	1.3	3.0	0.7	9.0	2.0	9.0	2.0
トマト	0.9	0.2	28.9	6.4	17.1	3.8	28.8	6.4	32.9	7.3
ピーマン	0.9	0.2	4.3	1.0	2.0	0.4	6.8	1.5	4.4	1.0
なす	0.9	0.2	10.8	2.4	1.9	0.4	9.0	2.0	15.4	3.4
その他のなす科野菜	0.9	0.2	1.0	0.2	0.1	0.0	1.1	0.2	1.1	0.2
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.2	0.041	4.1	0.8	1.9	0.4	2.8	0.6	5.1	1.0
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.2	0.041	1.9	0.4	0.7	0.2	1.6	0.3	2.6	0.5
しろうり	0.5	0.15	0.3	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.5	0.1
すいか（果皮を含む。）	0.5	0.15	3.8	1.1	2.8	0.8	7.2	2.2	5.7	1.7
メロン類果実（果皮を含む。）	0.5	0.15	1.8	0.5	1.4	0.4	2.2	0.7	2.1	0.6
まくわうり（果皮を含む。）	0.5	0.15	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.3	0.1
その他のうり科野菜	0.2	0.041	0.5	0.1	0.2	0.0	0.1	0.0	0.7	0.1
ほうれんそう	30	6.6	384.0	84.5	177.0	38.9	426.0	93.7	522.0	114.8
オクラ	0.9	0.2	1.3	0.3	1.0	0.2	1.3	0.3	1.5	0.3
しょうが	0.04	0.012	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
未成熟えんどう	0.2	0.016	0.3	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0
未成熟いんげん	0.2	0.016	0.5	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.6	0.1
えだまめ	0.2	0.016	0.3	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0	0.5	0.0
その他の野菜	30	6.6	402.0	88.4	189.0	41.6	303.0	66.7	423.0	93.1
みかん（外果皮を含む。）	0.6	0.203	10.7	3.6	9.8	3.3	0.4	0.1	15.7	5.3
なつみかんの果実全体	0.5	0.14	0.7	0.2	0.4	0.1	2.4	0.7	1.1	0.3
レモン	1	0.32	0.5	0.2	0.1	0.0	0.2	0.1	0.6	0.2
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	0.6	0.203	4.2	1.4	8.8	3.0	7.5	2.5	2.5	0.9
グレープフルーツ	0.5	0.14	2.1	0.6	1.2	0.3	4.5	1.2	1.8	0.5
ライム	1	0.32	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
その他のかんきつ類果実	1	0.32	5.9	1.9	2.7	0.9	2.5	0.8	9.5	3.0
りんご	2	0.339	48.4	8.2	61.8	10.5	37.6	6.4	64.8	11.0
日本なし	2	0.339	12.8	2.2	6.8	1.2	18.2	3.1	15.6	2.6
西洋なし	2	0.339	1.2	0.2	0.4	0.1	0.2	0.0	1.0	0.2
マルメロ	2	0.339	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	2	0.339	1.0	0.2	0.6	0.1	3.8	0.6	0.8	0.1
もも（果皮及び種子を含む。）	2	0.508	6.8	1.7	7.4	1.9	10.6	2.7	8.8	2.2
ネクタリン	2	0.508	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1
あんず（アプリコットを含む。）	2	0.322	0.4	0.1	0.2	0.0	0.2	0.0	0.8	0.1
すもも（プルーンを含む。）	2	0.322	2.2	0.4	1.4	0.2	1.2	0.2	2.2	0.4
うめ	2	0.549	2.8	0.8	0.6	0.2	1.2	0.3	3.6	1.0
おうとう（チェリーを含む。）	4	1.046	1.6	0.4	2.8	0.7	0.4	0.1	1.2	0.3
いちご	2	0.346	10.8	1.9	15.6	2.7	10.4	1.8	11.8	2.0
ラズベリー	3	0.86	0.3	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1
ブラックベリー	3	0.86	0.3	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1
ブルーベリー	5	0.8	5.5	0.9	3.5	0.6	2.5	0.4	7.0	1.1
クランベリー	5	0.8	0.5	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1

（別紙３）

メフェントリフルコナゾールの推定摂取量　（単位：μg／人／day）

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) TMDI	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) TMDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
ハックルベリー	5	0.8	0.5	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1
その他のベリー類果実	5	0.8	0.5	0.1	0.5	0.1	1.0	0.2	0.5	0.1
ぶどう	3	1.029	26.1	9.0	24.6	8.4	60.6	20.8	27.0	9.3
バナナ	2	0.3866	26.4	5.1	30.4	5.9	32.6	6.3	37.8	7.3
パッションフルーツ	2	0.49	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0
その他の果実	2	0.49	2.4	0.6	0.8	0.2	1.8	0.4	3.4	0.8
ひまわりの種子	0.2	0.027	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ごまの種子	1	0.138	0.9	0.1	0.9	0.1	0.9	0.1	0.8	0.1
べにばなの種子	0.2	0.027	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
綿実	0.2	0.0525	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
なたね	1	0.138	5.9	0.8	3.7	0.5	5.4	0.7	4.6	0.6
その他のオイルシード	1	0.138	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
くり	0.06	0.012	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ペカン	0.06	0.012	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アーモンド	0.06	0.012	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
くるみ	0.06	0.012	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のナッツ類	0.06	0.012	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
コーヒー豆	0.4	0.039	1.3	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	1.0	0.1
その他のスパイス	1	0.138	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0
その他のハーブ	30	6.6	27.0	5.9	9.0	2.0	3.0	0.7	42.0	9.2
陸棲哺乳類の肉類	1	筋肉　0.09 脂肪　0.853	57.7	14.0	43.1	10.5	64.4	15.6	41.0	9.9
陸棲哺乳類の食用部分（肉類除く）	2	1.212	2.8	1.7	1.6	1.0	9.6	5.8	1.8	1.1
陸棲哺乳類の乳類	0.2	0.085	52.8	22.4	66.4	28.2	72.9	31.0	43.2	18.4
家きんの肉類	0.02	0.034	0.4	0.7	0.3	0.5	0.5	0.8	0.3	0.5
家きんの卵類	0.01	0.02	0.4	0.8	0.3	0.7	0.5	1.0	0.4	0.8
はちみつ	0.05	● 0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1
計			2087.6	464.8	1166.7	267.6	2127.0	485.8	2440.4	538.1
ADI比（%）			108.2	24.1	202.0	46.3	103.9	23.7	124.3	27.4

TMDI：理論最大1日摂取量（Theoretical Maximum Daily Intake）
TMDI試算法：基準値案×各食品の平均摂取量
EDI：推定1日摂取量（Estimated Daily Intake）
EDI試算法：作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量
●：個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値（案）の数値を用いた。
「陸棲哺乳類の肉類」については、TMDI計算では、牛・豚・その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉及び脂肪の摂取量にその範囲の基準値案で最も高い値を乗じた。また、EDI計算では、畜産物中の平均的な残留農薬濃度を用い、摂取量の筋肉及び脂肪の比率をそれぞれ80%及び20%として試算した。

（参考）

これまでの経緯

平成３１年　３月　１日	インポートトレランス申請（小麦、大麦等）
令和　元年　５月２２日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和　２年　１月１４日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和　２年　３月２４日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
令和　２年　４月　３日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和　２年１１月１６日	残留農薬基準告示
令和　４年　４月２７日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（新規：ぶどう、りんご等）
令和　４年　５月２４日	インポートトレランス申請（さとうきび、たまねぎ等）
令和　４年　８月２４日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和　４年１０月２６日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和　５年　１月２７日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
令和　５年　２月１０日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

［委員］

◎穐山	浩	学校法人星薬科大学薬学部薬品分析化学研究室教授
井之上	浩一	学校法人立命館立命館大学薬学部薬学科臨床分析化学研究室教授
大山	和俊	一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長
○折戸	謙介	学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部生理学教授
加藤	くみ子	学校法人北里研究所北里大学薬学部分析化学教室教授
神田	真軌	東京都健康安全研究センター食品化学部残留物質研究科主任研究員
魏	民	公立大学法人大阪大阪公立大学大学院医学研究科 環境リスク評価学准教授
佐藤	洋	国立大学法人岩手大学農学部共同獣医学科比較薬理毒性学研究室教授
佐野	元彦	国立大学法人東京海洋大学学術研究院海洋生物資源学部門教授
須恵	雅之	学校法人東京農業大学応用生物科学部農芸化学科 生物有機化学研究室教授
瀧本	秀美	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所栄養疫学・食育研究部長
田口	貴章	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
中島	美紀	国立大学法人金沢大学ナノ生命科学研究所 薬物代謝安全性学研究室教授
根本	了	国立医薬品食品衛生研究所食品部主任研究官
野田	隆志	一般社団法人日本植物防疫協会信頼性保証室付技術顧問
二村	睦子	日本生活協同組合連合会常務理事

（◎：部会長、○：部会長代理）

答申（案）

メフェントリフルコナゾール

今回残留基準値を設定する「メフェントリフルコナゾール」の規制対象は、メフェントリフルコナゾールのみとする。

食品名	残留基準値 ppm
小麦	0.3
大麦	4
ライ麦	4
とうもろこし	0.03
そば	4
その他の穀類[注1)]	4
大豆	0.4
小豆類[注2)]	2
えんどう	0.2
そら豆	0.2
らっかせい	0.01
その他の豆類[注3)]	0.2
ばれいしょ	0.04
さといも類（やつがしらを含む。）	0.04
かんしょ	0.04
やまいも（長いもをいう。）	0.04
その他のいも類[注4)]	0.04
てんさい	0.6
さとうきび	2
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.7
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	20
かぶ類の根	0.7
かぶ類の葉	20
西洋わさび	0.7
クレソン	30
その他のあぶらな科野菜[注5)]	30
ごぼう	0.7
サルシフィー	0.7
チコリ	20
エンダイブ	30
しゅんぎく	30
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	30
その他のきく科野菜[注6)]	30
たまねぎ	0.2
ねぎ（リーキを含む。）	4
にんにく	0.2
にら	4
わけぎ	4
その他のゆり科野菜[注7)]	4

食品名	残留基準値 ppm
にんじん	0.7
パースニップ	0.7
パセリ	30
その他のせり科野菜[注8)]	30
トマト	0.9
ピーマン	0.9
なす	0.9
その他のなす科野菜[注9)]	0.9
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.2
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.2
しろうり	0.5
すいか（果皮を含む。）	0.5
メロン類果実（果皮を含む。）	0.5
まくわうり（果皮を含む。）	0.5
その他のうり科野菜[注10)]	0.2
ほうれんそう	30
オクラ	0.9
しょうが	0.04
未成熟えんどう	0.2
未成熟いんげん	0.2
えだまめ	0.2
その他の野菜[注11)]	30
みかん（外果皮を含む。）	0.6
なつみかんの果実全体	0.5
レモン	1
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	0.6
グレープフルーツ	0.5
ライム	1
その他のかんきつ類果実[注12)]	1
りんご	2
日本なし	2
西洋なし	2
マルメロ	2
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	2
もも（果皮及び種子を含む。）	2
ネクタリン	2
あんず（アプリコットを含む。）	2
すもも（プルーンを含む。）	2
うめ	2
おうとう（チェリーを含む。）	4
いちご	2
ラズベリー	3
ブラックベリー	3
ブルーベリー	5

食品名	残留基準値 ppm
クランベリー ハックルベリー その他のベリー類果実[注13)]	5 5 5
ぶどう	3
バナナ パッションフルーツ	2 2
その他の果実[注14)]	2
ひまわりの種子 ごまの種子 べにばなの種子 綿実 なたね その他のオイルシード[注15)]	0.2 1 0.2 0.2 1 1
くり ペカン アーモンド くるみ その他のナッツ類[注16)]	0.06 0.06 0.06 0.06 0.06
コーヒー豆	0.4
その他のスパイス[注17)]	1
その他のハーブ[注18)]	30
牛の筋肉 豚の筋肉 その他の陸棲哺乳類[注19)]に属する動物の筋肉	0.2 0.01 0.2
牛の脂肪 豚の脂肪 その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	1 0.02 1
牛の肝臓 豚の肝臓 その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	2 0.03 2
牛の腎臓 豚の腎臓 その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	2 0.03 2
牛の食用部分[注20)] 豚の食用部分 その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	2 0.03 2
乳	0.2
鶏の筋肉 その他の家きん[注21)]の筋肉	0.02 0.02
鶏の脂肪	0.02

食品名	残留基準値 ppm
その他の家きんの脂肪	0.02
鶏の肝臓 その他の家きんの肝臓	0.02 0.02
鶏の腎臓 その他の家きんの腎臓	0.02 0.02
鶏の食用部分 その他の家きんの食用部分	0.02 0.02
鶏の卵 その他の家きんの卵	0.01 0.01
はちみつ	0.05

注1）「その他の穀類」とは、穀類のうち、米（玄米をいう。）、小麦、大麦、ライ麦、とうもろこし及びそば以外のものをいう。

注2）「小豆類」には、いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズ豆を含む。

注3）「その他の豆類」とは、豆類のうち、大豆、小豆類、えんどう、そら豆、らっかせい及びスパイス以外のものをいう。

注4）「その他のいも類」とは、いも類のうち、ばれいしょ、さといも類（やつがしらを含む。）、かんしょ、やまいも（長いもをいう。）及びこんにゃくいも以外のものをいう。

注5）「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類（ラディッシュを含む。）の根、だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

注6）「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）及びハーブ以外のものをいう。

注7）「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ（リーキを含む。）、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。

注8）「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注9）「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

注10）「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり（ガーキンを含む。）、かぼちゃ（スカッシュを含む。）、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

注11）「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注12）「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。

注13）「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー及びハックルベリー以外のものをいう。

注14）「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず（アプリコットを含む。）、すもも（プルーンを含む。）、うめ、おうとう（チェリーを含む。）、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウィー、パパイヤ、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。

注15）「その他のオイルシード」とは、オイルシードのうち、ひまわりの種子、ごまの種子、べにばなの種子、綿実、なたね及びスパイス以外のものをいう。

注16）「その他のナッツ類」とは、ナッツ類のうち、ぎんなん、くり、ペカン、アーモンド及びくるみ以外のものをいう。

注17）「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）の果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。

注18）「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。

注19）「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。
注20）「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。
注21）「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。

別　添

農薬評価書

メフェントリフル
コナゾール

（第２版）

令和４年（２０２２年）１０月

食品安全委員会

目　次

頁
○　審議の経緯 3
○　食品安全委員会委員名簿 3
○　食品安全委員会農薬専門調査会専門委員名簿 4
○　要　約 5

Ⅰ．評価対象農薬の概要 6
１．用途 6
２．有効成分の一般名 6
３．化学名 6
４．分子式 6
５．分子量 6
６．構造式 6
７．開発の経緯 7

Ⅱ．安全性に係る試験の概要 8
１．動物体内運命試験 8
（１）ラット 8
（２）マウス 20
（３）ヤギ 21
（４）ニワトリ 24
２．植物体内運命試験 28
（１）小麦 28
（２）だいず 29
（３）ぶどう 30
３．土壌中運命試験 31
（１）好気的土壌中運命試験 31
（２）土壌吸脱着試験 33
４．水中運命試験 34
（１）加水分解試験 34
（２）水中光分解試験 34
５．土壌残留試験 36
６．作物等残留試験 36
（１）作物残留試験 36
（２）畜産物残留試験 37
（３）推定摂取量 38
７．一般薬理試験 38

８．急性毒性試験 39
（１）急性毒性試験 39
（２）急性神経毒性試験（ラット） 39
９．眼・皮膚に対する刺激性及び皮膚感作性試験 40
１０．亜急性毒性試験 40
（１）90 日間亜急性毒性試験（ラット） 40
（２）90 日間亜急性毒性試験（マウス） 41
（３）90 日間亜急性毒性試験（イヌ） 42
（４）28 日間亜急性経皮毒性試験（ラット） 43
（５）28 日間亜急性毒性試験（マウス、代謝物 F022） 43
１１．慢性毒性試験及び発がん性試験 44
（１）１年間慢性毒性試験（イヌ） 44
（２）２年間慢性毒性/発がん性併合試験（ラット） 45
（３）18 か月間発がん性試験（マウス） 46
１２．生殖発生毒性試験 47
（１）２世代繁殖試験（ラット） 47
（２）発生毒性試験（ラット） 48
（３）発生毒性試験（ウサギ） 48
１３．遺伝毒性試験 49

Ⅲ．食品健康影響評価 52
・別紙１：代謝物/分解物略称 59
・別紙２：検査値等略称 62
・別紙３：作物残留試験成績（国内） 63
・別紙４：作物残留試験成績（海外） 67
・別紙５：畜産物残留試験成績 168
・別紙６：推定摂取量 174

＜審議の経緯＞

－第 1 版関係－

2019 年　3 月　 1 日 インポートトレランス設定の要請（小麦、大麦等）
2019 年　5 月 22 日 厚生労働大臣から残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請（厚生労働省発生食 0522 第 9 号）
2019 年　5 月 23 日 関係書類の接受（参照 1～60）
2019 年　5 月 28 日 第 743 回食品安全委員会（要請事項説明）
2019 年　9 月 30 日 第 64 回農薬専門調査会評価第四部会
2019 年 10 月 25 日 第 176 回農薬専門調査会幹事会
2019 年 11 月 12 日 第 763 回食品安全委員会（報告）
2019 年 11 月 13 日 から 12 月 12 日まで　国民からの意見・情報の募集
2020 年　1 月　 8 日 農薬専門調査会座長から食品安全委員会委員長へ報告
2020 年　1 月 14 日 第 769 回食品安全委員会（報告）
（同日付け厚生労働大臣へ通知）（参照 65）
2020 年 11 月 16 日 残留農薬基準告示（参照 66）

－第 2 版関係－

2022 年　4 月 27 日 農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（新規：ぶどう、りんご等）
2022 年　5 月 24 日 インポートトレランス設定の要請（さとうきび、たまねぎ等）
2022 年　8 月 24 日 厚生労働大臣から残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請（厚生労働省発生食 0824 第 8 号）、関係書類の接受（参照 67～96）
2022 年　8 月 30 日 第 872 回食品安全委員会（要請事項説明）
2022 年 10 月 25 日 第 877 回食品安全委員会（審議）
（10 月 26 日付け厚生労働大臣へ通知）

＜食品安全委員会委員名簿＞

（2021 年 6 月 30 日まで）
佐藤　洋（委員長）
山本茂貴（委員長代理）
川西　徹
吉田　緑
香西みどり
堀口逸子
吉田　充

（2021 年 7 月 1 日から）
山本茂貴（委員長）
浅野　哲（委員長代理　第一順位）
川西　徹（委員長代理　第二順位）
脇　昌子（委員長代理　第三順位）
香西みどり
松永和紀
吉田　充

＜食品安全委員会農薬専門調査会専門委員名簿＞

（2018 年 4 月 1 日から）

・幹事会

西川秋佳（座長）	代田眞理子	本間正充
納屋聖人（座長代理）	清家伸康	松本清司
赤池昭紀	中島美紀	森田　健
浅野　哲	永田　清	與語靖洋
小野　敦	長野嘉介	

・評価第一部会

浅野　哲（座長）	篠原厚子	福井義浩
平塚　明（座長代理）	清家伸康	藤本成明
堀本政夫（座長代理）	豊田武士	森田　健
赤池昭紀	中塚敏夫	吉田　充*
石井雄二		

・評価第二部会

松本清司（座長）	栗形麻樹子	山手丈至
平林容子（座長代理）	中島美紀	山本雅子
義澤克彦（座長代理）	本多一郎	若栗　忍
小澤正吾	増村健一	渡邉栄喜
久野壽也		

・評価第三部会

小野　敦（座長）	佐藤　洋	中山真義
納屋聖人（座長代理）	杉原数美	八田稔久
美谷島克宏（座長代理）	高木篤也	藤井咲子
太田敏博	永田　清	安井　学
腰岡政二		

・評価第四部会

本間正充（座長）	加藤美紀	玉井郁巳
長野嘉介（座長代理）	川口博明	中島裕司
與語靖洋（座長代理）	代田眞理子	西川秋佳
乾　秀之	髙橋祐次	根岸友惠

*：2018 年 6 月 30 日まで

＜第 176 回農薬専門調査会幹事会専門参考人名簿＞

三枝　順三	林　　真

要　約

トリアゾール骨格を有する「メフェントリフルコナゾール」（CAS No. 1417782-03-6）について、各種資料を用いて食品健康影響評価を実施した。第 2 版の改訂に当たっては、厚生労働省から、土壌吸脱着試験、土壌残留試験、作物残留試験（国内：ぶどう、りんご等、海外：さとうきび、たまねぎ等）の成績等が新たに提出された。

評価に用いた試験成績は、動物体内運命（ラット、ヤギ、ニワトリ等）、植物体内運命（小麦、だいず等）、作物等残留、亜急性毒性（ラット、マウス及びイヌ）、慢性毒性（イヌ）、慢性毒性/発がん性併合（ラット）、発がん性（マウス）、2 世代繁殖（ラット）、発生毒性（ラット及びウサギ）、遺伝毒性等である。

各種毒性試験結果から、メフェントリフルコナゾール投与による影響は体重（増加抑制）及び肝臓（肝細胞肥大、肝細胞壊死：マウス）に認められた。神経毒性、発がん性、催奇形性及び遺伝毒性は認められなかった。

ラットを用いた 2 世代繁殖試験成績において、F_1 親動物の着床数が僅かに減少し、産児数の減少が認められた。

各種試験結果から、農産物中のばく露評価対象物質をメフェントリフルコナゾール（親化合物のみ）、畜産物中のばく露評価対象物質をメフェントリフルコナゾール及び代謝物 F022（抱合体を含む。）と設定した。

各試験で得られた無毒性量のうち最小値は、マウスを用いた 18 か月間発がん性試験の 3.5 mg/kg 体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数 100 で除した 0.035 mg/kg 体重/日を許容一日摂取量（ADI）と設定した。

また、メフェントリフルコナゾールの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量又は最小毒性量のうち最小値は、ラットを用いた急性神経毒性試験の 600 mg/kg 体重であり、カットオフ値（500 mg/kg 体重）以上であったことから、急性参照用量（ARfD）は設定する必要がないと判断した。

Ⅰ．評価対象農薬の概要

１．用途

殺菌剤

２．有効成分の一般名

和名：メフェントリフルコナゾール

英名：mefentrifluconazole（ISO 名）

３．化学名

IUPAC

和名：(2*RS*)-2-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-1-(1,2,4-トリアゾール-1-イル）プロパン-2-オール

英名：(2*RS*)- 2-[4-(4-chlorophenoxy)-2-(trifluoromethyl)phenyl]-1- (1*H*-1,2,4 -triazol-1-yl)propan-2-ol

CAS（No. 1417782-03-6）

和名：α-[4-(4-クロロフェノキシ)-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-α-メチル-1*H*-1,2,4-トリアゾール-1-エタノール

英名：alpha-[4-(4-chlorophenoxy)-2-(trifluoromethyl)phenyl]-alpha-methyl-1*H*-1,2,4-triazol-1-ethanol

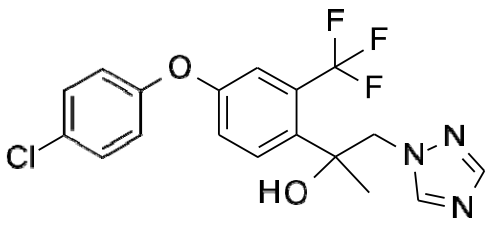
４．分子式

$C_{18}H_{15}ClF_3N_3O_2$

５．分子量

397.8

６．構造式



７．開発の経緯

メフェントリフルコナゾールは、BASF 社により開発されたトリアゾール骨格を有する殺菌剤であり、病原菌の細胞膜のステロール生合成阻害剤の一種で、エルゴステロールの生合成の過程において C14 位の脱メチル化を阻害することにより、菌類の正常な生育を阻害すると考えられている。

国内での農薬登録はなされていない。海外においては EU、米国等で登録されている。

第 2 版では、農薬取締法に基づく農薬登録申請（新規：ぶどう、りんご等）及びインポートトレランス設定の要請（さとうきび、たまねぎ等）がなされている。

Ⅱ．安全性に係る試験の概要

各種運命試験［Ⅱ．１～４］は、メフェントリフルコナゾールのクロロフェニル環の炭素を ^{14}C で均一に標識したもの（以下「[chl-^{14}C]メフェントリフルコナゾール」という。）、トリフルオロメチルフェニル環の炭素を ^{14}C で均一に標識したもの（以下「[tfm-^{14}C]メフェントリフルコナゾール」という。）又はトリアゾール環の 3 位若しくは 5 位の炭素を ^{14}C で標識したもの（以下「[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾール」という。）を用いて実施された。放射能濃度及び代謝物濃度は、特に断りがない場合は比放射能（質量放射能）からメフェントリフルコナゾールの濃度（mg/kg 又は μg/g）に換算した値として示した。

代謝物/分解物略称及び検査値等略称は、別紙 1 及び 2 に示されている。

１．動物体内運命試験

（１）ラット

①　吸収

a.　血中濃度推移

Wistar Hannover ラット（一群雌雄各 3 匹）に[chl-^{14}C]メフェントリフルコナゾールを 5 mg/kg 体重（以下［１.（１）］において「低用量」という。）若しくは 180 mg/kg 体重（以下［１.（１）］において「高用量」という。）で単回経口投与又は [taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾールを 5、40、120 若しくは 360 mg/kg 体重で単回経口投与（一群雌雄各 4 匹）若しくは 0.4 mg/kg 体重で単回静脈内投与（一群雌雄各 6 匹）して、血中濃度推移が検討された。

血漿中薬物動態学的パラメータは表 1 及び表 2 に示されている。

経口投与後の[chl-^{14}C]メフェントリフルコナゾールは速やかに吸収され、血漿中放射能濃度は投与 0.5～5.5 時間後に C_{max} に達した。雄は雌に比べて T_{max}、$T_{1/2}$ 及び C_{max} が大きく、AUC は雌のほぼ 2 倍であり、性差が認められた。高用量投与群における C_{max} は低用量投与群に対して用量比以下の増加であったが、AUC は用量比と同等以上の増加であった。[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾール投与群においても、雄は雌に比べて C_{max} 及び AUC が大きく、性差が認められた。また、血漿中放射能濃度の推移に標識体による顕著な差は認められなかった。

[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾールの静脈内投与及び経口投与試験の結果から、5 mg/kg 体重投与後のバイオアベイラビリティは雄で 80%、雌で 111%と算出された。（参照 2～4）

表１　血漿中薬物動態学的パラメータ

標識体		[chl-^{14}C]メフェントリフルコナゾール			
投与方法		単回経口			
投与量		5 mg/kg 体重		180 mg/kg 体重	
性別		雄	雌	雄	雌
T_{max}(hr)		1.2	0.5	5.5	0.7
C_{max}(μg/g)		2.04	1.67	62.5	49.9
$T_{1/2}$ (hr)	分布相	7.68	2.56[1)]	12.9	3.99[1)]
	最終消失相	85.7[1)]	62.1[1)、2)]	87.7[1)]	78.3[1)、3)]
$AUC_{0\text{-}168}$(hr・μg /g)		34.9	15.7	1,650	845
$AUC_{0\text{-}\infty}$(hr・μg /g)		39.6[1)]	15.3[1)、2)]	1,810[1)]	807[1)、3)]

注）数値は 3 匹の平均値。ただし、[1)]は概算値、[2)]は 1 匹の値、[3)]は 2 匹の平均値。

表２　血漿中薬物動態学的パラメータ

標識体	[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾール									
投与方法	単回静脈内		単回経口							
投与量	0.4 mg/kg 体重		5 mg/kg 体重		40 mg/kg 体重		120 mg/kg 体重		360 mg/kg 体重	
性別	雄	雌	雄	雌	雄	雌	雄	雌	雄	雌
C_{max}(μg/g)*	1.35	1.17	3.04	2.07	23.1	13.8	53.7	34.4	57.1	20.3
								20.4	56.0	29.2
T_{max}(hr)*	投与直後	投与直後	1	1	1	1	1	1	1	1
								8	24	8
$T_{1/2}$(hr)	12.5	10.0	43.8	34.1	20.4	41.9	17.4	58.4	30.1	38.7
$AUC_{0\text{-}\infty}$ (hr・μg /g)	3.60	1.29	38	17	296	119	886	467	2,630	1,150

*：上段は第 1 ピーク、下段は第 2 ピーク

b.　吸収率

胆汁中排泄試験［１.（１）④b.］において得られた胆汁、尿、ケージ洗浄液及び組織中の放射能の合計から、投与後 72～168 時間の吸収率は、低用量投与群で 77.5%～84.8%、高用量投与群で 49.8%～70.6%と算出された。

②　分布

Wistar Hannover ラット（一群雌雄各 3～4 匹）に[chl-^{14}C]メフェントリフルコナゾール若しくは[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾールを低用量若しくは高用量で単回経口投与又は高用量で 14 日間反復投与して体内分布試験が実施された。また、[tfm-^{14}C]メフェントリフルコナゾールを高用量で単回経口投与し、体内分布試験が実施された。

主要臓器及び組織における残留放射能濃度は表 3 及び表 4 に示されている。

残留放射能濃度は、いずれの投与群においても、T_{max} 付近では消化管、肝臓、副腎及び腎臓で比較的高く認められた。残留放射能の分布に、標識体及び投与量による顕著な差は認められなかったが、いずれの投与群においても雌に比べて雄の残留放射能の減少速度が遅かった。投与 168 時間後の臓器及び組織における残留放射能は、主に肝臓とカーカス[1]に、[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾール投与群では皮膚にも比較的高濃度で分布していたが、臓器及び組織における合計はいずれの投与群においても 1.18%TAR 以下であった。（参照 2～4）

表３　主要臓器及び組織における残留放射能濃度（μg/g）

標識体	投与量 (投与方法)	性別	T_{max} 付近 [a]	最終測定時間 [b]
[chl-^{14}C]メフェントリフルコナゾール	5 mg/kg 体重 (単回経口)	雄	胃(22.4)、肝臓(12.7)、腸管(4.80)、血漿(2.00)、腎臓(1.52)、副腎(1.31)、全血(1.21)	肝臓(1.03*)、腸管(0.626*)、血漿(0.241*)、腎臓(0.189*)、全血(0.134*)
		雌	胃(15.6)、肝臓(9.72)、腸管(7.39)、副腎(3.32)、腎臓(1.93)、血漿(1.40)、肺(1.07)、心臓(1.04)、卵巣(1.04)、膵臓(0.986) 、全血(0.948)	腸管(1.83)、肝臓(1.29)、腎臓(0.234)、血漿(0.155)、胃(0.132)、全血(0.096)
	180 mg/kg 体重 (単回経口)	雄	胃(323)、肝臓(207)、腸管(178)、副腎(99.0)、筋肉(64.9)、膵臓(61.6)、血漿(58.8)、腎臓(51.7)、全血(42.7)	腸管(24.6)、肝臓(21.0)、血漿(11.2)、全血(6.94)
		雌	胃(683*)、肝臓(212)、副腎(136)、腸管(120)、膵臓(64.0)、腎臓(62.8)、血漿(57.0)、甲状腺(50.0)、心臓(47.7)、卵巣(46.3)、肺(44.0)、脳(39.6)、全血(35.1)	腸管(78.7)、肝臓(30.1)、胃(20.4)、血漿(5.50)、腎臓(4.99)、脂肪(3.66)、副腎(3.59)、全血(3.20)
[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾール	5 mg/kg 体重 (単回経口)	雄	肝臓(16.4)、胃(14.2)、腸管(6.42)、副腎(4.68)、血漿(2.99)、甲状腺(2.71)、腎臓(1.98)、肺(1.47)、膵臓(1.36)、心臓(1.29)、骨髄(1.07)、血球(0.88)	肝臓(1.07)、腸管(1.00)、甲状腺(0.68)、胃(0.67)、副腎(0.50)、腎臓(0.49)、骨髄(0.34)、血漿(0.29)、肺(0.29)、皮膚(0.27)、脾臓(0.26)、精巣(0.26)、筋肉(0.26)、心臓(0.25)、膵臓(0.24)、カーカス(0.24)、脳(0.22)、血球(0.20)
		雌	胃(19.7)、腸管(15.5)、肝臓(9.13)、副腎(3.72)、甲状腺(2.53)、腎臓(1.66)、血漿(1.53)、膵臓(1.33)、子宮(0.64)、脳(0.59)、脾臓(0.55)、脂肪(0.54)、カーカス(0.52)、皮膚(0.48)、筋肉(0.41)、血球(0.30)	腸管(2.08)、肝臓(0.68)、胃(0.30)、腎臓(0.26)、副腎(0.18)、脂肪(0.17)、子宮(0.14)、甲状腺(0.14)、肺(0.11)、卵巣(0.11)、骨髄(0.10)、カーカス(0.10)、血漿(0.09)、膵臓(0.09)、脾臓(0.08)、心臓(0.07)、筋肉(0.07)、皮膚(0.07)、脳(0.06)、血球(0.04)

[1] 組織・臓器を取り除いた残渣のことをカーカスという（以下同じ。）。

標識体	投与量 (投与方法)	性別	T_{max} 付近 [a]	最終測定時間 [b]
	180 mg/kg 体重 (単回経口)	雄	胃(671)、肝臓(267)、腸管(202)、副腎(124)、血漿(71.0)、甲状腺(70.8)、腎臓(65.4)、膵臓(59.5)、肺(47.9)、心臓(45.9)、脳(37.4)、骨髄(35.1)、脾臓(31.4)、カーカス(24.9)、脂肪(22.8)、筋肉(22.7)、精巣(22.0)、血球(21.6)	腸管(24.8)、胃(22.9)、心臓(18.6)、カーカス(18.2)、肝臓(17.1)、甲状腺(17.1)、腎臓(13.5)、副腎(13.2)、皮膚(12.6)、骨髄(11.3)、肺(11.2)、血漿(10.4)、精巣(9.61)、膵臓(9.60)、血球(8.98)
		雌	胃(1,370)、腸管(400)、肝臓(221)、副腎(144)、膵臓(76.6)、甲状腺(74.5)、肺(70.5)、腎臓(69.8)、血漿(52.9)、卵巣(52.2)、心臓(48.2)、脳(47.8)、脂肪(40.5)、脾臓(34.8)、皮膚(34.5)、骨髄(34.2)、子宮(31.2)、カーカス(28.6)、筋肉(23.1)、血球(17.1)	腸管(38.9)、肝臓(13.8)、胃(6.01)、甲状腺(5.76)、副腎(4.70)、腎臓(4.13)、カーカス(3.64)、肺(3.15)、骨髄(3.15)、血漿(2.85)、子宮(2.79)、膵臓(2.58)、血球(2.57)

注）・数値は 3 例の平均値。ただし、* は 2 例の平均値。
・胃及び腸管はいずれも内容物を除く。

[a]：[chl-^{14}C] メフェントリフルコナゾール投与群では、雄の低用量群で投与 1 時間後、高用量群で投与 2 時間後、雌では低、高用量群とも投与 0.5 時間後、[taz-^{14}C] メフェントリフルコナゾール投与群では投与 1 時間後。

[b]：[chl-^{14}C]メフェントリフルコナゾール投与群では、雄の低用量群で投与 34 時間後、高用量群で投与 53 時間後、雌では低、高用量群とも投与 24 時間後、[taz-^{14}C] メフェントリフルコナゾール投与群では低用量群の雄 28 時間後、雌 24 時間後、高用量群の雄 48 時間後、雌 34 時間後。

表４　168 時間後の主要臓器及び組織における残留放射能(%TAR)

標識体	投与量 (投与方法)	性別	168 時間後
[chl-^{14}C]メフェントリフルコナゾール	5 mg/kg 体重 (単回経口)	雄	肝臓(0.165)、カーカス(0.161)、全血(0.018)、血漿(0.013)
		雌	カーカス(0.119)、肝臓(0.067)、腎臓(0.007)、全血(0.005)、腸管(0.004)、血漿(0.003)
	180 mg/kg 体重 (単回経口)	雄	カーカス(0.118)、肝臓(0.049)、全血(0.017)、血漿(0.011)
		雌	カーカス(0.180)、肝臓(0.035)、全血(0.005)、腎臓(0.004)、腸管(0.003)、血漿(0.003)
	180 mg/kg 体重/日 (反復経口)	雄	カーカス(0.073)、肝臓(0.040)、全血(0.020)、血漿(0.013)
		雌	カーカス(0.075)、肝臓(0.027)、全血(0.005)、脂肪(0.004)、腎臓(0.003)、血漿(0.003)
[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾール	5 mg/kg 体重 (単回経口)	雄	カーカス(0.76)、皮膚(0.30)、肝臓(0.07)、腸管(0.01)、血球(0.01)、血漿(0.00)
		雌	カーカス(0.15)、肝臓(0.09)、皮膚(0.06)、腸管(0.01)、血球(0.01)、血漿(0.00)
	180 mg/kg 体重 (単回経口)	雄	皮膚(0.11)、カーカス(0.09)、肝臓(0.01)、腸管(0.01)、血球(0.00)、血漿(0.00)
		雌	カーカス(0.08)、皮膚(0.04)、肝臓(0.02)、腸管(0.01)、血球(0.00)、血漿(0.00)
	180 mg/kg 体重/日 (反復経口)	雄	皮膚(0.18)、カーカス(0.09)、肝臓(0.01)、腸管(0.01)、血球(0.00)、血漿(0.00)
		雌	皮膚(0.13)、カーカス(0.08)、肝臓(0.02)、腸管(0.01)、血球(0.00)、血漿(0.00)
[tfm-^{14}C]メフェントリフルコナゾール	180 mg/kg 体重 (単回経口)	雄	カーカス(0.107)、肝臓(0.023)、全血(0.013)、血漿(0.008)
		雌	カーカス(0.096)、肝臓(0.031)、全血(0.006)、血漿(0.004)

注）数値は 4 例の平均値。胃及び腸管はいずれも内容物を除く。

③　代謝

分布試験[１.（１）②]で得られた血漿、肝臓、腎臓及び脂肪、排泄試験[１.（１）④a. 及び b.]で得られた尿、糞及び胆汁並びに[chl-^{14}C]メフェントリフルコナゾール及び[tfm-^{14}C]メフェントリフルコナゾールを低用量又は高用量で単回経口投与し、168 又は 170 時間後に採取した尿、糞又は血漿、肝臓、腎臓及び脂肪を試料として、代謝物同定・定量試験が実施された。

血漿、肝臓、腎臓及び脂肪中の主要代謝物は表 5 に、尿、糞及び胆汁中の主要代謝物は表 6 に示されている。

血漿、肝臓及び腎臓中における主要成分として、未変化のメフェントリフルコナゾールのほか、代謝物 F015 及び F016/F017 が認められた。

尿及び胆汁中において、未変化のメフェントリフルコナゾールは検出されず、主要代謝物として、尿中では、[chl-^{14}C]メフェントリフルコナゾール投与群ではF049、F050及びF063が、[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾール投与群ではF001、F054及びF071が、[tfm-^{14}C]メフェントリフルコナゾール投与群ではF003/F049、F054及びF063が、それぞれ認められた。一方、胆汁中では、全ての標識体投与群で、F035、F044、F045等が認められた。

糞中では、全ての標識体投与群で、未変化のメフェントリフルコナゾールのほか、F015及びF016/F017が認められた。

糞中の未変化のメフェントリフルコナゾールの立体異性体(*S*-及び*R*-エナンチオマー)の存在比(以下「*R*:*S*比」という。)は約1:1であり、投与液中とほぼ同様であったが、肝臓、腎臓及び血漿中では*R*:*S*比は7:3～8:2であり、*R*体の増加が認められた。

ラットにおけるメフェントリフルコナゾールの主要代謝経路は、①クロロフェニル環の塩素転移及び水酸化によるF015の生成並びに水酸化によるF016及びF017の生成とそれに続くグルクロン酸抱合体の生成、②トリアゾール環の脱離によるF001(1,2,4-トリアゾール)の生成と考えられた。そのほか、芳香環のジ及びトリ水酸化、クロロフェニル環塩素基置換、エーテル結合の開裂、メチル化等と、それらに続く抱合により多数の代謝物が生成すると考えられた。(参照2、5)

表5　血漿、肝臓、腎臓及び脂肪中の主要代謝物(%TAR)

標識体	投与量 (投与方法)	性別	試料	総残留放射能 (μg/g)	メフェントリフルコナゾール	代謝物
[chl-^{14}C]メフェントリフルコナゾール	5 mg/kg体重 (単回経口)	雄	血漿	2.70	0.030	ND
			肝臓	11.2	1.66	F015/F055/F067/F078(3.60)、 F016/F017/F061/F078/F089(1.61)、 F049(0.463)
			腎臓	1.70	0.112	F015/F055/F078/その他(0.055)
			脂肪	0.41		
		雌	血漿	1.96	0.007	ND
			肝臓	8.62	1.01	F015/F055/F067/F078(2.36)、 F016/F017/F061/F078/F089(2.07)
			腎臓	2.14	0.106	F015/F055/F078/その他(0.063)、 F016/F017/F061/F078/F089(0.030)
			脂肪	0.95		
	180 mg/kg体重 (単回経口)	雄	血漿	97.4	0.052	ND
			肝臓	262	1.88	F015/F055/F067/F078(1.73)、 F016/F017/F061/F078/F089(0.608)
			腎臓	75.8	0.188	F015/F055/F078/その他(0.046)
			脂肪	30.7	0.135	ND

標識体	投与量 (投与方法)	性別	試料	総残留放射能 (μg/g)	メフェントリフルコナゾール	代謝物
		雌	血漿	94.5	0.067	ND
			肝臓	211	2.03	F015/F055/F067/F078(1.83)、 F016/F017/F061/F078/F089(0.884)、 F049(0.131)
			腎臓	71.4	0.237	F015/F055/F078/その他(0.042)、 F016/F017/F061/F078/F089(0.015)
			脂肪	36.8	0.224	ND
[taz-^{14}C] メフェントリフルコナゾール	5 mg/kg 体重 (単回経口)	雄	血漿	1.94	0.016	F001(0.037)、F015(0.009)
			肝臓	12.2	1.41	F049(0.513)、F015(3.25)、 F016/F017(1.66)
			腎臓	1.73	0.082	F001(0.049)、F015(0.037)、 F049(0.016)、F016/F017(0.012)
			脂肪	0.36		
		雌	血漿	1.36	0.003	F015(0.003)、F001(0.002)
			肝臓	9.48	1.24	F015(2.66)、F016/F017(2.20)
			腎臓	1.83	0.092	F015(0.040)、F016/F017(0.032)、 F054(0.008)
			脂肪	0.49		
	180 mg/kg 体重 (単回経口)	雄	血漿	47.6	0.025	F001(0.014)、F015(0.003)
			肝臓	163	1.08	F015(0.948)、F016/F017(0.438)
			腎臓	41.9	0.130	F015(0.017)、F001(0.007)、 F049(0.005)
			脂肪	10.5		
		雌	血漿	36.1	0.026	F001(0.006)、F015(0.006)
			肝臓	132	1.23	F015(0.907)、F016/F017(0.509)
			腎臓	39.5	0.144	F015(0.024)
			脂肪	18.0		

ND：検出されず、/：該当なし
組織採取は投与 1 時間後(T_{max} 付近)

表６　尿、糞及び胆汁中の主要代謝物（%TAR）

標識体	投与量 (投与方法)	性別	採取時間 [a] (hr)	試料	メフェントリフルコナゾール	代謝物
[chl-^{14}C] メフェントリフルコナゾール	5 mg/kg 体重 (単回経口)	雄	0-48	尿	ND	F049(2.60)、F058/F081(0.902)
			0-72	糞	4.55	F016/F017(32.1)、F015(25.3)、 F062(3.97)
			0-24	胆汁	ND	F044/F049*/F087*/F035/F045(53.2)、 F084(2.48)、F049/F104(2.39)、 F075*(2.11)、F091(1.90)、F060(0.578)、 F105(0.445)

標識体	投与量 (投与方法)	性別	採取時間[a] (hr)	試料	メフェントリフルコナゾール	代謝物
		雌	0-48	尿	ND	F063*(2.36)、F049(2.16)、F059(1.52)、F098* (1.31)、 F016/F017/F057-異性体 2(0.769)
			0-72	糞	5.44	F015(26.8)、F016/F017(23.6)、F062(3.66)
			0-24	胆汁	ND	F044/F049*/F087*/F035/F045(49.1) 、F084(4.01) 、F049/F104(3.07)
	180 mg/kg体重 (単回経口)	雄	0-48	尿	ND	F049(0.951)、F083(0.858)、F050(0.725)、F017(0.596)、F058/F081(0.500)、F052(0.139)、F079(0.099)
			0-168	尿[b]	ND	F058(0.760)、F049(0.640)、F050/F076(0.501)、F016/F017/F078(0.312)、F015/F055/F078(0.203) F081(0.067)
			0-72	糞	27.9	F016/F017(23.8)、F015(12.8)
			0-72	糞[b]	12.7	F016/F017(28.5)、F015(16.7)、F062(3.03)
			0-24	胆汁	ND	F044/F049*/F087*/F035/F045(22.0)、F069/F091(4.93)、F049/F104/ F075* (3.15)、F084(2.28)、F105(0.673)、F060(0.652)
		雌	0-48	尿	ND	F016/F017/F059(1.05)、F083(0.988)、F058(0.634)、F015/F057-異性体 1 (0.619)、F050(0.468)、F079(0.338)、F059/F066*/ F098/F099-異性体 1 (0.092)
			0-168	尿[b]	ND	F044/F045/F087*(1.01)、F016/F017/F061/F078/F089(0.920)、F057/F066/F073(0.849)、F049(0.530)、F057/F059/F066/F100(0.529) 、F058/その他(0.383)、F015/F055/F078(0.330)、F052/F049(0.228)
			0-72	糞	21.1	F015(23.4)、F016/F017(17.9)
			0-72	糞[b]	7.56	F015(26.5)、F016/F017(20.7)、F062(3.77)
			0-24	胆汁 1	ND	F044/F049*/F087*/F035/F045(37.5) 、F084(1.16)、F069(0.392)、F015(0.139)
				胆汁 2	ND	F044/F049*/F087*/F035/F045(45.4) 、F069(5.48)、F084(0.929)、F075*(0.563) 、F049/F104(0.532)

標識体	投与量 (投与方法)	性別	採取時間 [a] (hr)	試料	メフェントリフルコナゾール	代謝物
	180 mg/kg 体重/日 (反復経口)	雄	0-48	尿	ND	F082/F083(1.10)、F016/F017(0.715)、F050(0.675)、F052(0.476)、F049(0.450)、F015/F058/F067(0.369)、F079(0.231)
			0-72	糞	19.6	F016/F017(31.7)、F015(21.0)
		雌	0-48	尿	ND	F059*/F066*/F082/F098/F099*(2.59)、F063/F079/F087(2.22)、F052/F049(0.906)、F038/F066/F083/F098(0.763)、F050(0.661)、F016/F017/その他(0.656)、F043(0.298)
			0-72	糞	15.5	F015(30.2)、F016/F017(29.1)
[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾール	5 mg/kg 体重 (単回経口)	雄	0-48	尿	ND	F001(20.0)、F071(6.70)、F054(4.34)、F003/F049(3.12)
			0-72	糞	3.08	F016/F017(21.7)、F015(10.2)、F062*(6.85)、F003(4.32)
			0-15	胆汁	ND	F016/F017(12.3)、F035/F045/F049(12.2)、F075* (10.5)、F044/F049(10.4)、F015(9.49)、F003/F049(7.04)、F091(3.32)、F054(1.49)、F001(0.203)
		雌	0-48	尿	ND	F049(3.74)、F001(3.19)、F054(2.71)、F063*(1.76)、F016/F017(1.32)、F059(0.596)、F015(0.412)、F098*(0.359)
			0-72	糞	1.38	F015(41.0)、F016/F017(26.5)、F062*(6.19)、F003(4.31)
			0-21	胆汁	ND	F044/F49/F087(24.0)、F035/F045/FF049*(17.5)、F015(9.97)、F016/F017(6.51)、F003/F049(5.50)、F075*(5.19)、F091(3.31)、F084(1.57)、F054(0.71)、F001(0.040)
	180 mg/kg 体重 (単回経口)	雄	0-48	尿	ND	F001(9.58)、F071(2.06)、F003(1.53)、F054(1.13)
			0-170	尿 [b]	ND	F001(10.5)、F054(2.28)、F071(2.02)、F049(0.962)、
			0-72	糞	25.8	F016/F017(23.8)、F015(13.9)、F003(1.80)
			0-72	糞 [b]	35.2	F016/F017(20.0)、F015(11.3)、F003(1.37)

標識体	投与量 (投与方法)	性別	採取時間[a] (hr)	試料	メフェントリフルコナゾール	代謝物
			0-24	胆汁	ND	F044/F049/F087(13.0)、 F035/F045/F049*(12.1)、F075*(5.45)、 F091(3.96)、F016/F017(3.13)、 F015(3.02)、F003/F049(1.82)、 F054(0.609)、F001(0.232)
		雌	0-48	尿	ND	F001(3.10)、F054(1.46)、 F003/F049(1.10)、 F016/F017/F059(1.06)、 F063/F087(0.733)、F059(0.601)、 F098*(0.505)、F015(0.402)
			0-168	尿[b]	ND	F001(3.32)、F054(1.84)、 F044/F087*/F045(1.22)、F073(1.01)、 F049(0.777)、F016/F017(0.649)、 F015(0.309)
			0-72	糞	29.9	F015(25.5)、F016/F017(18.1)、 F003(3.45)
			0-72	糞[b]	30.1	F015(20.4)、F016/F017(15.5)、 F003(1.16)
			0-24	胆汁	ND	F044/F049*/F087*/F035/F045(30.7)、 F075*(5.44)、F015(3.81)、 F016/F017(2.31)、F091(0.146)、 F001(0.024)
	180 mg/kg 体重/ 日 (反復経口)	雄	0-48	尿	ND	F001(13.8)、F003(1.86)、F071(1.59)、 F054(0.748)
			0-72	糞	28.9	F016/F017(20.4)、F015(10.9)、 F003(1.29)
		雌	0-48	尿	ND	F001(7.70)、F054(1.58)、 F003/F049(1.37)、F016/F017(1.04)、 F015(0.380)、F098*(0.349)
			0-72	糞	23.9	F016/F017(20.0)、F015(19.9)、 F003(1.09)
[tfm-^{14}C] メフェントリフルコナゾール	180 mg/kg 体重 (単回経口)	雄	0-72	尿	ND	F063(2.66)、F063/F087(2.57)、 F016/F017(1.91)、F015(1.16)、 F091(0.841)、F054(0.410)
			0-168	尿	ND	F071*(3.05)、F003/F049(2.84)、 F054(1.65)、F015(0.680)、 F016/F017(0.400)
			0-72	糞	17.2	F016/F017(29.0)、F015(14.7)、 F003(2.45)
			0-24	胆汁	ND	F044/F087(21.5)、 F035/F045/F049(18.8)、 F069/F085(6.93)、F084(2.07)、 F049(1.81)、F015(1.45)、F075*(1.30)、 F069(0.606)、F054(0.551)

標識体	投与量 (投与方法)	性別	採取時間[a] (hr)	試料	メフェントリフルコナゾール	代謝物
		雌	0-72	尿	ND	F035/F044/F045/F065/F087*(4.25)、F016/F017/F089(1.89)、F015/F067(0.974)、F091(0.779)、F003/F049/F108(0.609)、F054(0.479)
			0-168	尿	ND	F054(2.07)、F003/F049(2.07)、F059/F098(1.95)、F016/F017(1.45)、F098(0.845)、F015(0.680)、F063*/F087(0.632)
			0-72	糞	21.1	F015(30.2)、F016/F017(21.8)、F003(2.58)
			0-24	胆汁	ND	F044/F049*/F087/F035/F045(47.6)、F069*/F085(3.62)、F049(3.26)、F110(1.64)、F075(0.484)

ND：検出されず、*：異性体を含む
[a]：反復経口投与群では最終投与後
[b]：排泄試験[1. (1)④a.]で得られた試料

④ 排泄

a. 尿及び糞中排泄

Wistar Hannover ラット（一群雌雄各 4 匹）に[chl-^{14}C]メフェントリフルコナゾール若しくは[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾールを低用量若しくは高用量で単回経口投与又は高用量で 14 日間反復投与した。また、[tfm-^{14}C]メフェントリフルコナゾールを高用量で単回経口投与し、尿及び糞中排泄試験が実施された。

単回及び反復経口投与後 168 時間の尿及び糞中排泄率は、表 7 に示されている。

いずれの投与群においても排泄は速やかで、投与放射能は投与後 48 時間で糞中には 49.0%TAR～80.6%TAR が、尿中には 3.97%TAR～34.9%TAR が排泄された。（参照 2～4）

表７　経口投与後 168 時間の尿及び糞中排泄率（%TAR）

標識体	試料	単回経口投与						反復経口投与	
		5 mg/kg 体重		180 mg/kg 体重				180 mg/kg 体重	
		雄	雌	雄	雌	雄[b]	雌[b]	雄	雌
[chl-^{14}C]メフェントリフルコナゾール	尿	8.95	12.2	6.22	8.06	4.59	6.70	5.05	10.6
	糞	88.9	87.7	86.9	85.5	78.0	70.0	86.3	80.4
	ケージ洗浄液	0.320	0.674	0.432	0.924	0.38	0.79	0.280	0.629
	組織[a]	0.381	0.206	0.222	0.232			0.164	0.119
[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾール	尿	41.0	15.3	18.7	10.6	16.0	9.87	22.6	16.6
	糞	58.8	87.0	81.3	90.1	82.7	82.5	73.8	82.1
	ケージ洗浄液	0.60	0.18	0.11	0.55	1.36	1.28	0.47	0.30
	組織[a]	1.15	0.32	0.22	0.15			0.29	0.24
[tfm-^{14}C]メフェントリフルコナゾール	尿			9.61	10.2				
	糞			75.7	84.5				
	ケージ洗浄液			1.07	1.60				
	組織[a、b]			0.165	0.144				

/：該当なし
[a]：消化管の内容物を除く。
[b]：排泄試料調製試験として雌雄各 10 匹で実施された。

b.　胆汁中排泄

胆管カニューレを挿入した Wistar Hannover ラット（雌雄各 2～7 匹）に[chl-^{14}C]メフェントリフルコナゾール若しくは[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾールを低用量若しくは高用量で単回経口投与又は[tfm-^{14}C] メフェントリフルコナゾールを高用量で単回経口投与して、胆汁中排泄試験が実施された。

投与後 72 又は 168 時間の胆汁、尿及び糞中排泄率は表 8 に示されている。

胆汁排泄率は、低用量群で 61.4%TAR～73.5%TAR、高用量群で 31.9%TAR～59.6%TAR であり、標識体及び性別による差は認められなかった。

本試験並びに尿及び糞中排泄試験［１.（１）④a.］における糞中排泄率から、投与放射能は主に胆汁を介して糞中に排泄されると考えられた。（参照 2～4）

表８　経口投与後 72 又は 168 時間の尿及び糞中排泄率（%TAR）

標識体	試料	単回経口投与			
		5 mg/kg 体重		180 mg/kg 体重	
		雄	雌	雄	雌
[chl-^{14}C]メフェントリフルコナゾール[a]	胆汁	67.0	61.4	31.9	40.0/53.6*
	尿	10.1	18.4	34.4	15.5/10.2*
	糞	6.83	6.43	11.4	4.39/16.7*
	ケージ洗浄液	0.220	0.287	0.492	0.246/ 0.191*
	組織#	0.195	0.158	0.177	0.054/ 0.074*
[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾール[b]	胆汁	71.0	73.5	41.6	46.1
	尿	11.3	10.4	6.55	10.7
	糞	13.6	7.96	37.9	24.2
	ケージ洗浄液	0.51	0.26	0.30	0.72
	組織#	0.90	0.61	1.30	1.24
[tfm-^{14}C]メフェントリフルコナゾール[a]	胆汁	/	/	58.6	59.6
	尿	/	/	11.3	10.7
	糞	/	/	30.7	26.7
	ケージ洗浄液	/	/	0.575	0.250
	組織#	/	/	0.149	0.078

/：該当なし
試料採取時間は、[a]：経口投与後 168 時間、[b]：72 時間
#：消化管の内容物を除く
*：n=2 及び 3 で 2 回に分けて実施

（２）マウス

C57BL/6 マウス（一群雌雄各 4～5 匹）に[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾールを 10、50 及び 75 mg/kg 体重で単回経口投与して、血中濃度推移が検討された。

血漿中薬物動態学的パラメータは表 9 に示されている。

経口投与後の[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾールは速やかに吸収され、血漿中放射能はほとんどの群で投与 0.5～1 時間後に C_{max} に達した。一方、10 mg/kg 体重投与群の雄及び 50 mg/kg 体重投与群の雌では投与 8 時間で C_{max} に達した。10 mg/kg 体重投与群の雌、50 mg/kg 体重投与群の雄、75 mg/kg 体重投与群の雌雄で、投与後 3～8 時間に複数のピークが認められ、腸肝循環していると考えられた。

C_{max} 及び AUC は用量の増加に伴って増加したが、C_{max} の増加は用量比以下であった。$T_{1/2}$ は用量の増加に伴って短くなる傾向が認められた。また、顕著な性差は認められなかった。（参照 2、6）

表９　マウス血漿中薬物動態学的パラメータ

投与量	10 mg/kg 体重			50 mg/kg 体重			75 mg/kg 体重				
性別	雄	雌		雄		雌	雄 1)			雌	
T_{max}(hr)	8	1	4*	1	8*	8	0.5	3*	8**	0.5	8*
C_{max}(μg/g)	5.66	3.98	5.31*	19.8	19.2*	17.2	24.8	26.0*	26.9**	21.5	24.6*
$T_{1/2}$(hr) 最終消失相	80.4	54.2		65.2		40.1	31.8			34.6	
$AUC_{0\text{-}168}$ (hr・μg /g)	147	126		687		475	955			1,010	
$AUC_{0\text{-}\infty}$ (hr・μg /g)	151	127		694		478	958			1,010	

数値は 4 匹の平均、ただし、1)は 5 匹の平均値
*：第 2 ピーク、**第 3 ピーク

（３）ヤギ

泌乳ヤギ（ブリティッシュザーネン種、一群雌 1～2 頭）に[chl-^{14}C]メフェントリフルコナゾール、[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾール又は[tfm-^{14}C]メフェントリフルコナゾールを 20.7～21.2 mg/日/頭（12 mg/kg 飼料相当）の用量で 14 又は 12 日間カプセル経口投与して、動物体内運命試験が実施された。乳汁は 1 日 2 回、尿及び糞は 1 日 1 回、各臓器及び組織は最終投与 23 時間後に、それぞれ採取された。

臓器及び組織並びに乳汁中の残留放射能濃度は表 10 に、各試料中の代謝物は表 11 に示されている。

投与放射能は尿及び糞中に 73.8%TAR～76.5%TAR 排出された。乳汁中の残留放射能濃度は投与後 4～7 日で定常状態となり、乳汁への移行は 0.25%TAR～2.16%TAR であった。臓器及び組織中の残留放射能濃度は、肝臓で最も高く、0.650～1.33 μg/g 認められた。

乳汁、乳脂肪及び無脂肪乳中の主要成分として、[chl-^{14}C]メフェントリフルコナゾール及び[tfm-^{14}C]メフェントリフルコナゾール投与群では、未変化のメフェントリフルコナゾールのほか、10%TRR を超える代謝物として F041、F043 及び F072 が、[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾール投与群では代謝物 F001 が 10%TRR を超えて認められた。

臓器及び組織中の主要成分として、未変化のメフェントリフルコナゾールのほか、10%TRR を超える代謝物として、[chl-^{14}C] メフェントリフルコナゾール及び[tfm-^{14}C]メフェントリフルコナゾール投与群では、F016（肝臓）、F022（腎臓）、F038（肝臓及び腎臓）、F038/F064（腎臓）及び F068（腎臓）が、[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾール投与群では F001（筋肉、肝臓及び腎臓）及び F016（肝臓）が認められた。

尿、糞及び胆汁中の主要成分として、糞中で未変化のメフェントリフルコナゾールが認められたほか、代謝物 F001、F003、F015/F043、F016、F022、F038、F038/F042、F038/F064 及び F063 等が認められた。

また、臓器及び組織並びに乳脂肪中の未変化のメフェントリフルコナゾールの *R*：*S* 比は 7：3～8：2 であり、投与液中に比べて *R* 体の増加が認められた。

メフェントリフルコナゾールのヤギにおける主要代謝経路は、①クロロフェニル環の水酸化による F016 及び F017 の生成とそれに続く水酸化体又はグルクロン酸抱合体の生成、②クロロフェニル環の塩素転移及び水酸化による F015 の生成とそれに続くグルクロン酸抱合体の生成、③トリアゾール環の脱離による F022 及び F001（1,2,4-トリアゾール）の生成とそれに続く F022 のグルクロン酸抱合体及び硫酸抱合体の生成並びに酸化による F038 の生成と考えられた。(参照 2、7)

表 10　組織及び乳汁中の残留放射能濃度（μg/g）

試料		[chl-^{14}C]メフェントリフルコナゾール	[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾール	[tfm-^{14}C]メフェントリフルコナゾール
乳汁		0.029(0.25)	0.273(2.16)	0.062(0.35)
無脂肪乳		0.016	0.270	0.036
乳脂肪		0.207	0.289	0.521
筋肉	側腹部	(0.02)	(0.12)	(0.07)
	腰部	(0.01)	(0.06)	(0.03)
	合計 [a]	0.047	0.223	0.098
肝臓		1.09(0.40)	0.650(0.25)	1.33(0.52)
腎臓		0.352(0.01)	0.396(0.01)	0.429(0.02)
脂肪	皮下	(0.04)	(0.03)	(0.22)
	大網	(0.21)	(0.12)	(0.60)
	腎周囲	(0.09)	(0.03)	(0.16)
	合計 [b]	0.309	0.213	0.532
尿 [c]		4.15(25.9)	2.94(26.9)	5.33(40.2)
糞		5.17(47.9)	3.21(49.6)	5.54(34.5)
胆汁 [c]		7.39(0.02)	3.97(0.02)	11.7(0.22)
消化管内容物		(3.35)	(2.63)	(3.76)
消化管		(1.70)	(1.24)	(1.08)
全血		(<0.01)		(<0.01)
ケージ洗浄液		(0.94)	(0.53)	(0.87)

( )：%TAR 、/：該当なし

[a]：腰部と側腹部の筋肉を 2:1（w/w）の比でプールした試料

[b]：大網、皮下及び腎周囲の脂肪を 2:1:1（w/w/w）の比でプールした試料

[c]：直接分析又は燃焼法による測定値（その他は抽出法による計算値）

表 11　各試料中の代謝物（%TRR）

標識体	試料 [a]	総残留放射能 (μg/g)	メフェントリフルコナゾール [c]	代謝物	抽出残渣 [c]
[chl-^{14}C] メフェントリフルコナゾール	乳汁	0.029	47.5 (0.014)	F043(14.2)、F041(6.0)、F072(5.9)、F022(2.2)	3.5 (0.001)
	乳脂肪	0.207	75.6 (0.156)	F043(5.3)、F022(4.2)	1.6 (0.003)
	無脂肪乳	0.016	23.3 (0.004)	F043(35.9)、F041(11.2)、F072(10.4)	4.7 (0.001)
	筋肉	0.047	87.9 (0.042)	F022(6.7)	1.5 (0.001)
	肝臓	1.09	49.9 (0.541)	F016(11.8)、F038(6.5)、F022(4.8)、F068(3.0)	7.6 (0.083)
	腎臓	0.352	28.3 (0.100)	F038/F064(26.6)、F068(17.8)、F022(5.8)	2.6 (0.009)
	脂肪	0.307[b]	84.6 (0.260)	F022(4.5)	
	尿	4.15 [b]	3.0 (0.124)	F038/F042(28.1)、F022(25.4)、F015/F043(10.1)、F016(7.8)、F017(4.2)、F039(3.7)、F041(3.7)	
	糞	5.17	57.2 (2.96)	F022(5.5)、F015(4.7)、F016(3.8)、F038(3.6)、F017(1.5)、F039(0.7)	14.0 (0.723)
	胆汁	7.39 [b]	2.8 (0.206)	F063(26.3)、F038(11.3)、F022(7.5)、F016(6.3)、F015(5.5)、F091(3.3)、F039(3.0)、F017/F078(2.7)	
[taz-^{14}C] メフェントリフルコナゾール	乳汁	0.273	3.0 (0.008)	F001(78.4)	7.5 (0.020
	乳脂肪	0.289	15.8 (0.046)	F001(74.5)	2.9 (0.008)
	無脂肪乳	0.270	ND	F001(95.2)	1.3 (0.003)
	筋肉	0.223	11.9 (0.027)	F001(87.3)	0.7 (0.001)
	肝臓	0.650	26.2 (0.170)	F001(誘導体を含む)(31.8)、F016(10.0)、F068(4.4)	10.1 (0.066)
	腎臓	0.396	10.3 (0.041)	F001(68.1)	1.2 (0.005)
	脂肪	0.213	84.9 (0.180)	F001(4.7)	4.0 (0.008)
	尿	2.94 [b]	ND	F001(69.2)、F003(16.5)、F015(7.4)、F016(6.9)	
	糞	3.21	49.5 (1.59)	F015(8.9)、F016(8.3)、F003(5.2)、F001(4.6)、F039(2.8)、F017(2.5)	15.1 (0.486)
	胆汁	3.97 [b]	ND	F063(73.5)、F001(8.0)、F091(1.9)	

標識体	試料[a]	総残留放射能(μg/g)	メフェントリフルコナゾール[c]	代謝物	抽出残渣[c]
[tfm-^{14}C]メフェントリフルコナゾール	乳汁	0.062	44.5 (0.028)	F043(25.0)、F041(7.2)、F072(5.8)、F022(1.2)	1.9 (0.001)
	乳脂肪	0.521	80.3 (0.419)	F043(12.3)、F022(5.2)	0.3 (0.001)
	無脂肪乳	0.036	13.9 (0.005)	F043(36.8)、F041(12.4)、F072(9.8)	3.7 (0.001)
	筋肉	0.098	95.7 (0.094)	ND	1.2 (0.001)
	肝臓	1.33	46.7 (0.622)	F016(15.0)、F038(11.2)、F022(7.6)、F068(4.2)	6.5* (0.086)
	腎臓	0.429	46.0 (0.198)	F038(14.0)、F022(10.7)、F016(3.7)、F003(3.2)、F072(3.0)、F015(2.6)	1.8 (0.008)
	脂肪	0.532	88.1 (0.469)	F022(5.8)	0.5 (0.003)
	尿	5.33[b]	ND	F038/F064(47.1)、F063(26.6)、F016(3.5)、F015(2.3)	
	糞	5.54	26.6 (1.47)	F016(13.8)、F015(8.8)、F022(8.7)、F038(6.2)、F003(3.0)、F017(2.9)、F039(2.1)	15.7 (0.868)
	胆汁	11.7[b]	1.8 (0.213)	F063(58.3)、F091(2.7)、F016(0.7)、F015(0.5)	

ND：検出されず、/：該当なし又は測定ミス
[a]：脂肪は皮下、腎周囲及び大網脂肪の混合試料。尿及び糞は投与後 5 日のプール試料。乳汁及び乳脂肪は投与 72～96 時間後のプール試料。
[b]：直接分析又は燃焼法による測定値（その他は抽出法による計算値）
[c]：（）内は μg/g
*：溶媒抽出後の残渣の値が測定されていないため、プロテアーゼ処理後の残渣の値を記載

（4）ニワトリ

産卵鶏（ローマンブラウン種、一群雌 10 羽）に[chl-^{14}C]メフェントリフルコナゾール、[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾール又は[tfm-^{14}C]メフェントリフルコナゾールを 19.0～20.1 mg/日/羽（12 mg/kg 飼料相当）の用量で 14 日間カプセル経口投与して、動物体内運命試験が実施された。卵は 1 日 2 回、排泄物は 1 日 1 回、各臓器及び組織は最終投与 3～6 時間後に、それぞれ採取された。

臓器及び組織並びに卵（卵黄及び卵白）中の残留放射能濃度は表 12 に、各試料中の代謝物は表 13 に示されている。

投与放射能の 75.3%TAR～88.9%TAR が排泄物中に認められた。卵中並びに臓器及び組織中の残留放射能は、0.23%TAR～0.72%TAR 及び 0.23%TAR～0.29%TAR であった。卵白及び卵黄中の残留放射能濃度は、投与 7 日後に定常状態に達し、それぞれ最大で 0.012～0.415 μg/g 及び 0.322～0.666 μg/g であった。

卵中並びに臓器及び組織中で 10%TRR を超える代謝物として、[chl-^{14}C]メ

フェントリフルコナゾール及び[tfm-^{14}C]メフェントリフルコナゾール投与群では、F022（卵黄、筋肉、肝臓、腎臓及び脂肪）、F023（脂肪）、F023/F024/F025（卵黄）、F024（卵黄及び脂肪）、F024/F025（卵黄、筋肉及び脂肪）、F025（脂肪）及び F034（肝臓）が認められた。[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾール投与群では、いずれの試料においても F001 が 10%TRR を超えて認められた。

排泄物中の主要成分として、未変化のメフェントリフルコナゾールが認められた。

卵黄及び脂肪中の未変化のメフェントリフルコナゾールの *R* : *S* 比はいずれも約 1.32 : 1 で、投与液中に比べて *R* 体がやや増加する傾向が認められた。

ニワトリにおけるメフェントリフルコナゾールの主要代謝経路は、①トリアゾール環の離脱による F022 及び F001（1,2,4-トリアゾール）の生成、②F022 の脂肪酸抱合による F023、F024 及び F025 の生成、③クロロフェニル環の水酸化及びエポキシ化反応並びにそれに続くグルタチオン抱合による F034 の生成と考えられた。（参照 2、8）

表 12　組織及び卵中の残留放射能濃度（μg/g）

試料		投与開始後時間(hr)	[chl-^{14}C]メフェントリフルコナゾール		[tfm-^{14}C]メフェントリフルコナゾール		[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾール	
			卵白	卵黄	卵白	卵黄	卵白	卵黄
卵		0～24	0.004	0.001	0.003	0.001	0.119	0.052
		24～48	0.009	0.043	0.008	0.039	0.260	0.138
		96～120	0.012	0.334	0.013	0.384	0.314	0.234
		168～192	0.009	0.595	0.0014	0.622	0.363	0.301
		168～288	0.008 (0.01)	0.281 (0.22)	0.010 (0.02)	0.571 (0.28)	0.386 (0.55)	0.263 (0.17)
脂肪	皮下	最終投与3～6時間後	0.507(0.05)		1.17(0.02)		0.124(0.01)	
	大網		0.805(0.08)		1.07(0.08)		0.054(<0.00)	
	腎周囲		0.798(<0.00)		0.673(<0.00)		0.125(<0.00)	
	合計[a]		0.679		1.23		0.183	
肝臓			0.307(0.06)		0.611(0.13)		0.146(0.03)	
腎臓			0.431(0.01)		0.612(0.01)		0.590(0.01)	
筋肉	胸部		0.038(0.01)		0.046(0.02)		0.356(0.16)	
	腿部		0.091(0.02)		0.137(0.03)		0.306(0.07)	
	合計[a]		0.054		0.078		0.377	
胆汁			(0.01)		(0.02)		(<0.00)	
全血			(<0.00)		(<0.00)		(<0.00)	
部分形成卵			(0.08)		(0.14)		(0.09)	
消化管			(0.63)		(0.64)		(0.95)	
消化管内容物			(0.51)		(1.77)		(0.67)	
排泄物			(75.3)		(86.6)		(88.9)	
ケージ洗浄液			(2.53)		(2.61)		(2.37)	

( )：%TAR
[a]：各組織全体のプール試料

表 13　各試料中の代謝物（%TRR）

標識体	試料	総残留放射能(μg/g)	メフェントリフルコナゾール[b]	代謝物	抽出残渣[b]
[chl-^{14}C]メフェントリフルコナゾール	卵白[a]	0.009			
	卵黄①	0.477	6.5 (0.031)	F022(39.0)、F024/F025(11.4)、F024(10.6)、F023(2.6)、F025(0.7)	6.1 (0.029)
	卵黄②				9.1 (0.043)
	筋肉	0.050	5.6 (0.003)	F022(49.9)、F024/F025(11.5)、F023(8.0)	21.5 (0.011)
	肝臓①	0.320	7.2 (0.023)	F022(36.7)、F034(4.3)、F025(3.8)、F023(2.0)、F024(1.1)	14.6 (0.047)
	肝臓②				14.5

標識体	試料	総残留放射能(μg/g)	メフェントリフルコナゾール[b]	代謝物	抽出残渣[b]
					(0.046)
	腎臓①	0.427	4.0 (0.017)	F022(20.1)、F023(1.7)、F025(1.4)、F024(0.8)	14.5 (0.062)
	腎臓②				12.9 (0.055)
	脂肪	0.702	5.4 (0.038)	F024/F025(27.4)、F022(25.4)、F023(23.7)、F025(14.2)、F024(13.3)	0.7～1.4 (0.005～0.010)
	排泄物	2.92	28.6 (0.835)	F022(3.1)	29.0 (0.847)
[tfm-^{14}C]メフェントリフルコナゾール	卵白[a]	0.005			
	卵黄	0.618	11.5 (0.071)	F022(46.7)、F023/F024/F025 (10.4)、F024(9.0)、F023(5.3)、F025(0.6)	5.1 (0.032)
	筋肉①	0.066	7.4 (0.005)	F022(77.1)、F023(5.8)、F024/F025(4.0)	2.8 (0.002)
	筋肉②				3.5 (0.002)
	肝臓①	0.582	5.8 (0.034)	F022(29.3)、F034(20.1)、F024/F025(8.0)、F023(3.6)	5.6 (0.033)
	肝臓②				7.4 (0.043)
	腎臓	0.610	3.7 (0.022)	F022(20.1)	6.3 (0.038)
	脂肪①	0.893	11.7 (0.104)	F022(41.1)、F023(27.5)、F025(15.5)、F024(6.1)	0.1 (0.001)
	脂肪②				0.3 (0.002)
[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾール	卵白	0.357	ND	F001(83.2)	0.2 (0.001)
	卵黄	0.269	43.7 (0.117)	F001(41.4)	2.6 (0.007)
	筋肉	0.353	ND	F001(91.4)	1.4 (0.005)
	肝臓	0.480	3.7 (0.018)	F001(85.2)、F034(6.7)	3.3 (0.016)
	腎臓	0.565	ND	F001(65.6)	2.0 (0.011)
	脂肪	0.190	20.1 (0.038)	F001(73.1)	3.2 (0.006)
	排泄物	6.34			15.2 (0.962)

ND：検出されず、/：該当なし
[a]：放射能量が少ないため抽出・分析されず
[b]：（）内は μg/g

２．植物体内運命試験

（１）小麦

ポット栽培の小麦（品種：Thassos）に、乳剤に調製した[chl-^{14}C]メフェントリフルコナゾール又は[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾールを 150 g ai/ha の用量で、BBCH49 及び 69 にそれぞれ 1 回、計 2 回散布し、初回散布 15 日後（BBCH61）に未成熟茎葉部を、2 回目散布 35 日後（最終収穫時、BBCH89）にわら及び穀粒を採取して、植物体内運命試験が実施された。

小麦の各部位における放射能分布及び代謝物は表 14 に示されている。

残留放射能濃度は、わらで最も高く、穀粒への残留は僅かであった。未成熟茎葉及びわらにおける主要成分は未変化のメフェントリフルコナゾールであり、[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾール処理区の穀粒で、代謝物 F029 及び F030 が 10%TRR を超えて認められた。ほかに代謝物 F001、F009、F010、F012、F018、F019、F020 及び F021 が認められたが、いずれも 10%TRR 未満であった。また、未成熟茎葉及びわら中の未変化のメフェントリフルコナゾールの *R*：*S* 比は約 1：1 であり、処理溶液中とほぼ同様であった。（参照 2、9）

表 14　小麦の各部位における放射能分布及び代謝物（%TRR）

標識体	試料	総残留放射能 (mg/kg)	抽出液 [a]	抽出残渣 [a]	メフェントリフルコナゾール [a、b]	代謝物 [b]
[chl-^{14}C]メフェントリフルコナゾール	未成熟茎葉	2.38	95.2 (2.26)	4.8 (0.114)	84.4 (2.01)	F012/F021(2.0)、F018/F020(1.6)、F019* (0.1)
	わら	24.4	83.0 (20.2)	17.0 (4.14)	58.6 (14.3)	F018/F020(6.9)、F019* (5.8)、F012/F021(4.9)、F018(2.9)、F012(0.6)
	穀粒	0.062	43.9 (0.027)	56.1 (0.035)	ND	ND
[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾール	未成熟茎葉	2.31	96.0 (2.22)	4.0 (0.092)	89.3 (2.06)	F018/F020(1.6)、F012/F021(1.1)
	わら	14.0	86.4 (12.1)	13.6 (1.90)	68.4 (9.57)	F018(5.5)、F019* (4.8)、F018/F020(4.3)、F012/F021(3.4)、F009(1.2)、F010(1.3)、F012(0.1)
	穀粒	0.620	77.9 (0.483)	22.1 (0.137)	ND	F029(45.6)、F030(21.4)、F001(1.0)

ND：検出されず

[a]：（）内は mg/kg

[b]：未成熟茎葉及び穀粒は抽出液中の値、わらは抽出液及び抽出残渣中の合計値

*：異性体を含む

（２）だいず

ポット栽培のだいず（品種：Sultana）に、乳剤に調製した[chl-^{14}C]メフェントリフルコナゾール又は [taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾールを 125 g ai/ha の用量で、BBCH60、72 及び 77 にそれぞれ 1 回、計 3 回散布し、初回散布 19 日後（BBCH71～72）に未成熟茎葉部を、最終収穫時である 3 回目散布 47 日後（[chl-^{14}C]メフェントリフルコナゾール処理区）又は 48 日後（[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾール処理区）（BBCH89）に茎葉部（残部植物体）、さや（子実及び外皮）及び緑色さやを採取して、植物体内運命試験が実施された。

だいずの各部位における放射能分布及び代謝物は表 15 に示されている。

残留放射能濃度は残部植物体、緑色さや、未成熟茎葉及び外皮でそれぞれ 16.5～19.3 mg/kg、8.72～16.0 mg/kg、4.61～6.58 mg/kg 及び 3.84～4.12 mg/kg 認められた。子実中の残留放射能濃度は[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾール処理区試料では 3.06 mg/kg、[chl-^{14}C]メフェントリフルコナゾール処理区では 0.129 mg/kg と、標識体間で差が認められた。

子実を除く各試料において、主要成分として未変化のメフェントリフルコナゾールが認められた。ほかに代謝物 F012 及び F018/F020 が認められたが、いずれも 10%TRR 未満であった。

子実では、[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾール処理区において、代謝物 F029 が 10%TRR を超えて認められた。ほかに代謝物 F001 及び F031 が認められたが、いずれも 10%TRR 未満であった。また、未成熟茎葉、外皮及び残部植物体中の未変化のメフェントリフルコナゾールの R：S 比は約 1：1 であり、処理溶液中とほぼ同様であった。（参照 2、10）

表 15　だいずの各部位における放射能分布及び代謝物（%TRR）

標識体	試料	総残留放射能 (mg/kg)	抽出液 [a]	抽出残渣 [a]	メフェントリフルコナゾール [a、b]	代謝物 [b]
[chl-^{14}C]メフェントリフルコナゾール	未成熟茎葉	6.58	91.1 (5.99)	8.9 (0.587)	79.9 (5.26)	F012* (<4.0)、F018/F020(1.9)
	残部植物体	16.5	87.1 (14.3)	12.9 (2.13)	59.8 (9.85)	F012* (6.0)、F018/F020(4.5)
	緑色さや	8.72	83.4 (7.27)	16.6 (1.45)	68.5 (5.98)	F018/F020(3.9)、F012(2.2)
	外皮	3.84	68.7 (2.64)	31.3 (1.20)	82.8 (3.18)	F012* (0.4)、F018/F020(<0.1)
	子実	0.129	56.6 (0.073)	43.4 (0.056)	4.0 (0.005)	ND
[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾール	未成熟茎葉	4.61	93.3 (4.30)	6.7 (0.307)	79.1 (3.65)	F012* (3.6)、F018/F020(2.1)
	残部植物体	19.3	87.8 (16.9)	12.2 (2.34)	71.1 (13.7)	F018/F020(3.8)、F012* (3.1)
	緑色さや	16.0	78.0 (12.5)	22.0 (3.52)		
	外皮	4.12	74.2 (3.06)	25.8 (1.06)	79.0 (3.26)	F012* (1.2)
	子実	3.06	75.6 (2.32)	24.4 (0.747)	0.4 (0.013)	F029(47.7)、F031(1.3)、F001(0.3)

/：該当なし、ND：検出されず
[a]：（）内は mg/kg
[b]：抽出液及び抽出残渣中の合計値（ただし、緑色さやは抽出液中の値）
*：異性体を含む

（3）ぶどう

ぶどう（品種：Müller-Thurgau）に、乳剤に調製した[chl-^{14}C]メフェントリフルコナゾール又は [taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾールを 150 g ai/ha の用量で、10～11 日間隔で 3 回全面散布処理し、最終処理直前（第 1 回処理 21 日後）及び最終収穫時（BBCH89、第 3 回処理 12 日後）にぶどうの葉及び房（果実及び小果梗）を採取して、植物体内運命試験が実施された。

ぶどうの各部位における放射能分布及び代謝物は表 16 に示されている。

残留放射能濃度は葉で最も高く（7.31～7.37 mg/kg）、果実で最も低かった（0.349～0.428 mg/kg）。各試料中の主要成分として、未変化のメフェントリフルコナゾールのほか、葉において代謝物 F019（異性体を含む）が 10%TRR を超えて認められた。また、果実及び葉中の未変化のメフェントリフルコナゾールの R：S 比は約 1：1 であり、処理溶液中とほぼ同様であった。（参照 2、11）

表 16　ぶどうの各部位における放射能分布及び代謝物（%TRR）

標識体	試料	総残留放射能 (mg/kg)	抽出液	メフェントリフルコナゾール	F019*	F026	抽出残渣
[chl-^{14}C]メフェントリフルコナゾール	葉	7.37	89.0 (6.56)	60.1 (4.43)	21.1 (1.55)	1.3 (0.097)	11.0 (0.813)
	小果梗	0.648	94.1 (0.610)	85.8 (0.556)	2.3 (0.015)	ND	5.9 (0.038)
	果実[a]	0.349	88.7 (0.310)	64.1 (0.224)	7.0 (0.024)	ND	
			87.4 (0.332)				12.6 (0.048)
[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾール	葉	7.31	91.0 (6.66)	69.9 (5.11)	14.5 (1.06)	ND	9.0 (0.654)
	小果梗	1.14	92.6 (1.05)	91.5 (1.04)	ND	ND	7.4 (0.084)
	果実[a]	0.428	90.1 (0.385)	70.3 (0.301)	6.1 (0.026)	ND	
			87.5 (0.318)				12.5 (0.045)

( )：mg/kg、ND：検出されず、/：該当なし
[a]：1 回目抽出試料では抽出残渣量が少なく測定ができなかったため、2 回目の抽出を実施
*：異性体を含む

植物体内におけるメフェントリフルコナゾールの主要代謝経路は、①クロロフェニル環の水酸化及びトリアゾール環の脱離による F001（1,2,4-トリアゾール）の生成とそれに続く F029（トリアゾールアラニン）及び F030（トリアゾール酢酸）の生成、②クロロフェニル環の水酸化体のグルコース抱合による F019 の生成とそれに続くマロニル化体、水酸化体及び糖抱合体の生成、③プロピリアゾール部位の水酸基のグルコース抱合による F011 の生成とそれに続く糖抱合体の生成であると考えられた。

３．土壌中運命試験[2]

（１）好気的土壌中運命試験

砂壌土（ドイツ）及び壌土（米国）を最大容水量の約 40%となるよう水分含量を調整し、20±2℃の暗所条件下で 6～7 日間プレインキュベートした後、[chl-^{14}C]メフェントリフルコナゾール、[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾール又は[tfm-^{14}C]メフェントリフルコナゾールを 0.4 mg/kg 乾土（150 g ai/ha 相当）の用量で混合し、同条件下で 120～121 日間インキュベートして、好気的土壌中運命試験が実施された。

[2] 土性は USDA 分類に基づく。

好気的土壌における放射能分布及び分解物は表 17 に示されている。

土壌中の放射能は、処理直後の 99.0%TAR～99.5%TAR から処理 120～121 日後には 65.7%TAR～82.4%TAR となった。抽出残渣中の放射能は処理 120～121 日後に最大 12.7%TAR～26.7%TAR、$^{14}CO_2$ は最大 9.7%TAR 認められた。

主要成分は未変化のメフェントリフルコナゾールであり、分解物として F001 及び F003 が最大 5.1%TAR 及び 1.6%TAR 認められた。また、各土壌試料中の未変化のメフェントリフルコナゾールの R : S 比は約 1 : 1 であり、処理溶液中とほぼ同様であった。

好気的土壌におけるメフェントリフルコナゾールの分解は緩やかであり、推定半減期は砂壌土で 544～1,000 日以上、壌土で 202～475 日と算出された。

好気的土壌におけるメフェントリフルコナゾールの主要分解経路は、トリアゾール環の脱離による分解物 F001（1,2,4-トリアゾール）及びクロロフェニル環の脱離による F003 の生成であり、その後土壌残渣に結合又は CO_2 へ無機化されると考えられた。（参照 2、12、13）

表 17　好気的土壌における放射能分布及び分解物（%TAR）

標識体	供試土壌	処理後日数（日）	抽出画分	メフェントリフルコナゾール	F001	F003	$^{14}CO_2$	抽出残渣
[chl-^{14}C]メフェントリフルコナゾール	砂壌土	0	99.0	98.2	/	/	/	1.0
		14	94.3	93.4	/	/	0.8	4.9
		30	90.9	90.0	/	/	1.5	7.0
		62	86.9	86.1	/	/	2.6	10.0
		90	84.4	83.2	/	/	3.6	11.4
		121	82.4	80.8	/	/	4.7	12.7
	壌土	0	99.2	98.3	/	/	/	0.8
		14	89.2	88.0	/	/	1.7	6.8
		30	83.2	81.9	/	/	3.3	10.7
		90	71.6	69.6	/	/	7.6	17.0
		120	65.7	63.3	/	/	9.7	19.5
[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾール	砂壌土	0	99.1	98.9	0.1	ND	/	0.9
		14	93.7	93.0	0.1	0.6	0.1	5.5
		30	91.5	90.3	0.2	0.5	0.1	8.2
		90	84.8	84.0	0.4	0.2	0.2	14.9
		121	81.9	81.2	0.5	ND	0.2	17.9
	壌土	0	99.5	99.2	0.2	ND	/	0.5
		14	94.6	91.3	1.8	1.4	0.1	7.0
		30	86.9	83.1	2.6	1.2	0.2	12.6
		90	74.9	68.6	5.1	0.9	0.4	23.7
		120	73.3	67.4	4.9	0.8	0.5	26.7
[tfm-^{14}C]メフェントリフルコナゾール	壌土	0	99.5	97.7	/	ND	/	0.5
		14	92.6	88.6	/	1.4	0.6	8.2
		30	87.5	83.0	/	1.6	1.4	12.5
		90	74.1	68.6	/	1.3	4.5	21.2
		121	70.1	64.9	/	1.2	5.7	24.0

/：該当なし、ND：検出されず

（２）土壌吸脱着試験

8 種類の土壌［壌土①、壌土②（米国）、壌土・火山灰土（日本）、壌土（イタリア）、砂質埴壌土（スペイン）、壌質砂土、砂壌土、砂土（ともにドイツ）］を用いたメフェントリフルコナゾールの土壌吸脱着試験が実施された。

各土壌の Freundlich の吸着係数及び脱着係数は表 18 に示されている。（参照 68、69）

表 18　各土壌における Freundlich の吸着係数及び脱着係数

土壌	採取地	K^{ads}_{F}	K^{ads}_{Foc}	K^{des}_{F}	K^{des}_{Foc}
壌土①	米国	48.5	3,970	60.6 / 82.8	4,960 / 6,780
壌土②	米国	35.6	3,560	55.1 / 71.1	5,510 / 7,110
壌土・火山灰土	日本	126	3,710	183 / 301	5,380 / 8,850
壌土	イタリア	31.4	3,140	46.5 / 72.2	4,650 / 7,210
砂質埴壌土	スペイン	24.5	2,010	39.1 / 60.0	3,210 / 4,920
壌質砂土	ドイツ	36.3	3,820	44.6 / 61.0	4,700 / 6,420
砂壌土	ドイツ	35.8	3,250	46.6 / 60.2	4,230 / 5,460
砂土	ドイツ	29.6	4,930	45.9 / 66.1	7,640 / 11,000

K^{ads}_{F}：Freundlich の吸着係数、K^{ads}_{Foc}：有機炭素含有率により補正した吸着係数
K^{des}_{F}：Freundlich の脱着係数、K^{des}_{Foc}：有機炭素含有率により補正した脱着係数（1 回目 / 2 回目）

４．水中運命試験

（１）加水分解試験

pH 4（クエン酸/HCl 緩衝液）、pH 5（クエン酸/NaOH 緩衝液）、pH 7（リン酸緩衝液）及び pH 9（ホウ酸/KCl/NaOH 緩衝液）の各滅菌緩衝液に、[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾールを 0.3 mg/L の用量で添加し、25℃の暗所条件下で 30 日間インキュベートして、加水分解試験が実施された。

いずれの処理区においてもメフェントリフルコナゾールは安定で、試験終了時に加水分解は認められず、5%TAR を超える分解物は認められなかった。また、各試料中の未変化のメフェントリフルコナゾールの R：S 比は約 1：1 であり、処理溶液中とほぼ同様であった。（参照 2、14）

（２）水中光分解試験

pH 7 の滅菌ホウ酸緩衝液に[chl-^{14}C]メフェントリフルコナゾール又は[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾールを 0.7 mg/L の用量で添加し、キセノンランプ光（光強度：571 W/m^2、波長：290 nm 以下をフィルターでカット）を 25±1℃で最長 15 日間照射して、水中光分解試験が実施された。また、暗所対照区が設定された。

各光照射区における分解物は表 19 に示されている。

メフェントリフルコナゾールは速やかに分解され、光照射による主要分解物は F005、F006 及び F007 で、それぞれ最大 30.1%TAR～32.2%TAR、30.2%TAR～30.7%TAR 及び 36.1%TAR～43.9%TAR 認められた。ほかに微量成分として F002、F008 等が認められた。$^{14}CO_2$ は検出されなかった。また、未変化のメフェントリフルコナゾールの R：S 比は約 1：1 であり、処理溶液中とほぼ同様であった。

暗所対照区において、メフェントリフルコナゾールの顕著な分解は認められなかった。

メフェントリフルコナゾール、分解物 F005 及び F006 の半減期は、東京春の太陽光換算値でそれぞれ 2.3、34.8 及び 12.4 日であった。

水中におけるメフェントリフルコナゾールの主要光分解経路は、①プロピル部位の環化による F006 の生成及びクロロフェニル環塩素の水酸基置換による F005 の生成、②F006 のクロロフェニル環の塩素の水酸基置換又は転移による F007 又は F008 の生成、③F005 及び F007 のクロロフェニル環の脱離による F002 及び F003 の生成と考えられた。（参照 2、15）

表 19　各光照射区における分解物（%TAR）

標識体	試料採取時期	メフェントリフルコナゾール	分解物					
			F002	F003	F005	F006	F007	F008
[chl-^{14}C]メフェントリフルコナゾール	0 日	98.2	/	/	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ
	1 日	66.1	/	/	12.1	11.2	<LOQ	1.7
	3 日	41.1	/	/	23.3	21.8	3.5	2.9
	6 日	20.5	/	/	29.7	29.0	11.6	5.4
	9 日	9.7	/	/	30.1	30.7	18.5	5.4
	13 日	3.0	/	/	27.0	24.9	32.2	7.0
	15 日	1.8	/	/	28.6	21.7	36.1	5.7
[taz-^{14}C]メフェントリフルコナゾール	0 日	100	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ
	1 日	67.7	<LOQ	<LOQ	12.3	12.5	1.1	1.3
	3 日	35.7	0.5	1.2	25.4	24.1	5.0	4.1
	6 日	15.2	1.5	1.1	32.2	30.2	15.0	5.2
	9 日	5.3	1.8	1.3	30.8	28.9	25.1	6.2
	13 日	1.6	3.2	0.6	25.9	22.7	38.5	7.3
	15 日	0.9	3.3	1.5	24.6	21.0	43.9	6.1

/：該当なし、<LOQ：定量限界未満

５．土壌残留試験

メフェントリフルコナゾール並びに代謝物 F001、F005、F006 及び F007 を分析対象化合物とした土壌残留試験が実施された。

試験の概要及び結果は表 20 に示されている。（参照 68、70）

表 20　土壌残留試験成績（推定半減期）

試験	濃度	土壌	メフェントリフルコナゾール推定半減期	
			地表面からの深さ 0～10 cm	地表面からの深さ 0～20 cm
ほ場・畑地	300 g ai/ha[a]	沖積土・壌質砂土(茨城)	12.0 日	11.9 日
		沖積土・壌土(高知)	19.1 日	18.7 日
		洪積土・埴壌土(埼玉)	36.7 日	37.0 日

[a]：7.1%フロアブル製剤の 750 倍希釈液

・代謝物 F001、F005、F006 及び F007 は検出されなかった。

６．作物等残留試験

（１）作物残留試験

国内において、果実等を用いてメフェントリフルコナゾール並びに代謝物 F001、F029 及び F030 を分析対象化合物とした作物残留試験が実施された。

結果は別紙 3 に示されている。

メフェントリフルコナゾールの最大残留値は、最終散布 1 日後に収穫されたもも（果皮）の 2.62 mg/kg であった。また、可食部におけるメフェントリフルコナゾールの最大残留値は、最終散布 3 日後に収穫されたぶどう（果実）の 1.50 mg/kg であった。代謝物の最大残留値は、F029 では、最終散布 1 日後に収穫されたおうとう（果実）の 0.42 mg/kg であった。F001 及び F030 については、いずれも定量限界（0.05 mg/kg）未満であった。

海外において、米、大豆、りんご等を用いて、メフェントリフルコナゾール並びに代謝物 F001、F029、F030 及び F031 を分析対象化合物とした作物残留試験が実施された。

結果は別紙 4 に示されている。

メフェントリフルコナゾールの最大残留値は、最終散布当日に収穫されたほうれんそう（茎葉）の 18 mg/kg であった。代謝物の最大残留値は、F001 では、最終散布 21 日後に収穫されたソルガム（穀粒）、いんげんまめ（乾燥子実）、なたね（種子）及びレモン（果実）の 0.02 mg/kg、F029 では、最終散布 14 日後に収穫されたらっかせい（子実）の 8.88 mg/kg、F030 では、最終散布 21 日後に収穫された大麦（穀粒）の 0.27 mg/kg、F031 では、最終散布 14 日後に収穫されたらっかせい（子実）の 0.90 mg/kg であった。（参照 2、16～28、68、71～95）

（２）畜産物残留試験

①　ウシ

泌乳牛［ホルスタイン、フリージンアン及びエアシャーの交雑種、一群雌 3 頭］にメフェントリフルコナゾールを 1.57、7.49、49.0、141 及び 148 mg/kg 飼料の用量[3]で 1 日 1 回、28 日間カプセル経口投与して、メフェントリフルコナゾール並びに代謝物 F001、F022、F029、F030 及び F031 を分析対象化合物とした畜産物残留試験が実施された。

結果は別紙 5-①に示されている。

乳汁中において、メフェントリフルコナゾール及び代謝物 F001 はそれぞれ投与 3 及び 5 日で定常状態に達し、最大残留値は、それぞれ 148 mg/kg 飼料投与群における 0.37 μg/g 及び 141 mg/kg 飼料投与群における 0.33 μg/g であった。いずれの投与群においても、代謝物 F022、F029 及び F030 は定量限界（0.01 μg/g）付近又は未満であり、F031 は検出されなかった。

投与 21 日における乳脂肪及び無脂乳中の最大残留濃度は、メフェントリフルコナゾールでそれぞれ 148 mg/kg 飼料投与群における 2.16 μg/g 及び 141 mg/kg 飼料投与群における 0.10 μg/g、代謝物 F001 でそれぞれ 141 mg/kg 飼料投与群における 0.29 及び 0.31 μg/g、代謝物 F022 で 148 mg/kg 飼料投与群における 0.11 μg/g（乳脂肪）であった。代謝物 F030 及び F031 は全ての試料において検出されなかった。

臓器及び組織中におけるメフェントリフルコナゾール及び代謝物の最大残留値は、いずれも 141 mg/kg 飼料投与群で認められ、それぞれメフェントリフルコナゾールで 3.58 μg/g（肝臓）、代謝物 F001 で 0.39 μg/g（腎臓）、代謝物 F022 で 0.21 μg/g（腎周囲脂肪）、代謝物 F029 で 0.78 μg/g（肝臓）、代謝物 F030 で 0.04 μg/g（腎臓）であった。代謝物 F031 はいずれの試料においても検出されなかった。臓器及び組織中におけるメフェントリフルコナゾール及び代謝物の残留濃度は、筋肉、肝臓及び腎臓中の F029 を除き、休薬 14 日目には定量限界（0.01 μg/g）付近又は未満となった。（参照 2、29）

②　ニワトリ

産卵鶏［ISA brown、一群 12 羽（対照群のみ 9 羽）］にメフェントリフルコナゾールを 0.18、1.7、5.1、17.3 及び 17.2 mg/kg 飼料の用量[4]で 1 日 1 回、34 日間カプセル経口投与して、メフェントリフルコナゾール並びに代謝物 F001、F022、F029、F030 及び F031 を分析対象化合物とした畜産物残留試験が実施された。

---

[3] 148 mg/kg 投与群は最終投与 3、7 及び 14 日後にと殺され、乳汁並びに臓器及び組織が採取された。
[4] 17.2 mg/kg 投与群は最終投与 2、7 及び 14 日後にと殺され、卵並びに臓器及び組織が採取された。

結果は別紙 5-②に示されている。

卵中において、メフェントリフルコナゾール並びに代謝物 F001 及び F022 の残留濃度は投与 14 日で定常状態に達し、最大残留値はそれぞれ 17.3 mg/kg 飼料投与群における 0.04、0.10 及び 0.09 μg/g であった。代謝物 F029、F030 及び F031 は、いずれの投与群においても定量限界（0.01 μg/g）未満であった。投与 24 日における卵黄中の最大残留濃度は、いずれも 17.3 mg/kg 飼料投与群で認められ、メフェントリフルコナゾールで 0.09 μg/g、代謝物 F001 で 0.05 μg/g、代謝物 F022 で 0.02 μg/g であった。卵白中の最大残留濃度は、代謝物 F001 が 17.3 mg/kg 飼料投与群における 0.09 μg/g であり、メフェントリフルコナゾール及び他の代謝物はいずれも定量限界未満であった。

臓器及び組織中におけるメフェントリフルコナゾール及び代謝物の最大残留値は、いずれも 17.3 mg/kg 飼料投与群で認められ、それぞれメフェントリフルコナゾールで 0.25 μg/g（脂肪）、代謝物 F001 で 0.12 μg/g（肝臓）、代謝物 F022 で 0.36 μg/g（脂肪）、代謝物 F029 で 0.03 μg/g（肝臓）であった。代謝物 F030 及び F031 はいずれの試料においても定量限界（0.01 μg/g）未満であった。

卵並びに臓器及び組織中におけるメフェントリフルコナゾール及び代謝物の残留濃度は休薬 7 日目には定量限界（0.01 μg/g）付近又は未満となった。（参照 2、30）

（3）推定摂取量

別紙 3 の作物残留試験及び別紙 5 の畜産物残留試験の分析値を用いて、農産物についてはメフェントリフルコナゾール（親化合物のみ）、畜産物についてはメフェントリフルコナゾール及び代謝物 F022（抱合体を含む。）をばく露評価対象物質とした際に、食品中から摂取される推定摂取量が表 21 に示されている（別紙 6 参照）。

なお、本推定摂取量の算定は、申請された使用方法からメフェントリフルコナゾール及び代謝物 F022（抱合体を含む。）が最大の残留を示す使用条件で、全ての適用作物に使用され、加工・調理による残留農薬の増減が全くないとの仮定の下に行った。

表 21　食品中から摂取されるメフェントリフルコナゾールの推定摂取量

	国民平均 (体重：55.1 kg)	小児(1～6 歳) (体重：16.5 kg)	妊婦 (体重：58.5 kg)	高齢者(65 歳以上) (体重：56.1 kg)
推定摂取量 (μg/人/日)	271	256	351	214

7．一般薬理試験

一般薬理試験については、参照した資料に記載がなかった。

８．急性毒性試験

（１）急性毒性試験

メフェントリフルコナゾール（原体）を用いた急性毒性試験が実施された。
結果は表 22 に示されている。（参照 2、31～33）

表 22　急性毒性試験結果概要（原体）

投与経路	動物種	LD_{50}(mg/kg 体重)		観察された症状
		雄	雌	
経口 [a]	Wistar Hannover ラット 雌 6 匹	/	>2,000	投与量：2,000 mg/kg 体重 うずくまり、一般状態不良及び立毛 死亡例なし
経皮 [b]	Wistar Hannover ラット 雌雄各 5 匹	>5,000	>5,000	症状及び死亡例なし
吸入 [c]	Wistar Hannover ラット 雌雄各 5 匹	LC_{50}(mg/L)		努力呼吸、腹式呼吸、呼吸音、眼周囲の乾性分泌物、赤色及び無色鼻汁及び/又は鼻の赤色痂皮、一般状態不良、円背位、興奮性亢進、無排便及び立毛(ばく露 2 時間～11 日) 死亡例なし
		>5.31	>5.31	

/：該当なし
[a]：毒性等級法による評価。溶媒として、コーン油が用いられた。
[b]：24 時間閉塞貼付
[c]：4 時間ばく露（ダストエアロゾル）

代謝物 F022 を用いた急性経口毒性試験が実施された。
結果は表 23 に示されている。（参照 2、34）

表 23　急性経口毒性試験概要（代謝物 F022）

動物種	LD_{50}(mg/kg 体重)	観察された症状
	雌	
Wistar Hannover ラット 雌 6 匹	>2,000	投与量：2,000 mg/kg 体重 一般状態不良、立毛、うずくまり、無気力及び呼吸困難 死亡例なし

毒性等級法による評価。溶媒として、コーン油が用いられた。

（２）急性神経毒性試験（ラット）

Wistar Hannover ラット（一群雌雄各 10 匹）を用いた単回強制経口投与（原

体：0、200、600 及び 2,000 mg/kg 体重、溶媒：1%CMC 水溶液）による急性神経毒性試験が実施された。

神経病理組織学的検査において、検体投与による影響は認められなかった。

本試験において、2,000 mg/kg 体重投与群の雌雄で投与当日に協調性障害（不安定歩行）及び自発運動量減少が、同投与群の雄で前肢握力低下、着地時後肢間距離増加及び体重増加抑制（投与 1～8 日）が認められたことから、無毒性量は雌雄とも 600 mg/kg 体重であると考えられた。急性神経毒性は認められなかった。（参照 2、35）

９．眼・皮膚に対する刺激性及び皮膚感作性試験

メフェントリフルコナゾール（原体）の NZW ウサギを用いた眼及び皮膚刺激性試験が実施された。その結果、眼結膜における発赤、浮腫及び分泌物が認められたが、いずれも軽度で 48 時間又は 72 時間後までに回復した。皮膚刺激性は認められなかった。

Hartley モルモットを用いた皮膚感作性試験（Maximization 法）が実施され、結果は陽性であった。（参照 2、36～38）

１０．亜急性毒性試験

＜亜急性毒性試験におけるメフェントリフルコナゾールの血漿中濃度について＞

ラット及びイヌを用いた 90 日間亜急性毒性試験[７.（１）及び（３）]において、メフェントリフルコナゾールの血漿中濃度には、雌雄とも投与量比と同等又はそれ以上の増加が認められ、代謝酵素によるメフェントリフルコナゾールの代謝過程の飽和が考えられた。

（１）90 日間亜急性毒性試験（ラット）

Wistar Hannover ラット（一群雌雄各 10 匹）を用いた混餌投与（原体：0、400、1,200 及び 3,600 ppm：平均検体摂取量は表 24 参照）による 90 日間亜急性毒性試験が実施された。また、投与 25 日、46 日及び 67 日に全動物から眼窩静脈採血して、メフェントリフルコナゾールの血漿中濃度が測定された（血漿中濃度は表 25 参照）。

表 24　90 日間亜急性毒性試験（ラット）の平均検体摂取量

投与群		400 ppm	1,200 ppm	3,600 ppm
平均検体摂取量（mg/kg 体重/日）	雄	27.2	76.3	256
	雌	30.4	90.5	314

表 25　メフェントリフルコナゾールの血漿中濃度（ng/mL）

採取日（日）	雄			雌		
	400 ppm	1,200 ppm	3,600 ppm	400 ppm	1,200 ppm	3,600 ppm
25	110	740	4,470	182	1,030	7,940
46	119	546	2,650	116	1,140	6,930
67	53.9	320	1,700	136	722	4,750

数値は 10 匹の平均

各投与群で認められた毒性所見は表 26 に示されている。

本試験において、1,200 ppm 以上投与群の雌雄で ALP 増加等が認められたことから、無毒性量は雌雄とも 400 ppm（雄：27.2 mg/kg 体重/日、雌：30.4 mg/kg 体重/日）であると考えられた。（参照 2、39）

表 26　90 日間亜急性毒性試験（ラット）で認められた毒性所見

投与群	雄	雌
3,600 ppm	・体重増加抑制(投与 1 週以降)	・体重増加抑制(投与 1 週以降) ・T.Chol 増加 ・TP 及び Alb 減少 ・肝比重量増加 ・小葉中心性肝細胞肥大§
1,200 ppm 以上	・ALP 増加 ・肝比重量増加 ・小葉中心性肝細胞肥大§	・ALP 増加
400 ppm	毒性所見なし	毒性所見なし

§：統計学的検定は実施されていないが、検体投与の影響と考えられた。

（２）90 日間亜急性毒性試験（マウス）[5]

C57BL/6J マウス（一群雌雄各 10 匹）を用いた混餌投与（原体：0、10、50、250 及び 750 ppm：平均検体摂取量は表 27 参照）による 90 日間亜急性毒性試験が実施された。

表 27　90 日間亜急性毒性試験（マウス）の平均検体摂取量

投与群		10 ppm	50 ppm	250 ppm	750 ppm
平均検体摂取量（mg/kg 体重/日）	雄	2	11	58	174
	雌	3	15	67	211

各投与群で認められた毒性所見は表 28 に示されている。

本試験において、50 ppm 以上投与群の雄及び 250 ppm 以上投与群の雌で肝絶

[5] 18 か月間発がん性試験（マウス）[11.（３）]の予備試験として実施され、機能検査、尿検査及び眼科学的検査が行われていないが、動物数のほか、その他の検査項目はガイドラインを充足していることから、評価資料とした。

対及び比重量増加、小葉中心性/び漫性肝細胞肥大及び T.Chol 減少が認められたことから、無毒性量は雄で 10 ppm（2 mg/kg 体重/日）、雌で 50 ppm（15 mg/kg 体重/日）であると考えられた。（参照 2、40）

表 28　90 日間亜急性毒性試験（マウス）で認められた毒性所見

投与群	雄	雌
750 ppm	・体重増加抑制(投与 4 週以降) ・ALP 増加	・PLT 増加 ・肝細胞壊死(多巣性、被膜下)§
250 ppm 以上	・PLT 増加 ・肝単細胞壊死§及び細胞質変化§、a	・肝絶対及び比重量増加 ・び漫性肝細胞肥大§ ・T.Chol 減少
50 ppm 以上	・肝絶対及び比重量増加 ・小葉中心性肝細胞肥大§ ・T.Chol 減少	50 ppm 以下 毒性所見なし
10 ppm	毒性所見なし	

§：統計学的検定は実施されていないが、検体投与の影響と考えられた。
a：肝細胞の早期の変性を示唆する変化

（3）90 日間亜急性毒性試験（イヌ）

ビーグル犬（一群雌雄各 5 匹）を用いたカプセル経口投与（原体：0、15、90 及び 180 mg/kg 体重/日）による 90 日間亜急性毒性試験が実施された。また、投与 84 日の投与前及び投与 6 時間後に各投与群の全動物を採血して、メフェントリフルコナゾールの血漿中濃度が測定された（血漿中濃度は表 29 参照）。

表 29　投与 84 日のメフェントリフルコナゾールの血漿中濃度（ng/mL）

採取時期	性別及び投与量(mg/kg 体重/日)					
	雄			雌		
	15	90	180	15	90	180
投与前	202	2,640	5,550	145	985	7,450
投与 6 時間後	1,100	8,250	13,600	890	4,930	14,220

数値は 5 匹の平均

各投与群で認められた毒性所見は表 30 に示されている。

15 mg/kg 体重/日以上投与群の雄及び 90 mg/kg 体重/日以上投与群の雌で小葉中心性肝細胞好酸性変化が認められたが、15 mg/kg 体重/日投与群の雄及び 90 mg/kg 体重/日投与群の雌では、肝毒性を示唆する血液生化学的パラメータ及び病理組織学的変化が認められなかったことから、適応性変化であると考えられた。

本試験において、90 mg/kg 体重/日以上投与群の雄及び 180 mg/kg 体重/日投与群の雌で小葉中心性肝細胞好酸性変化、ALP 増加等が認められたことから、無毒性量は雄で 15 mg/kg 体重/日、雌で 90 mg/kg 体重/日であると考えられた。

（参照 2、41）

表 30　90 日間亜急性毒性試験（イヌ）で認められた毒性所見

投与群	雄	雌
180 mg/kg 体重/日	・嘔吐(投与 2 日)及び飼料摂取遅延(投与 3～10 日)(1 例) ・体重増加抑制(投与 1 週以降) ・TP 減少 ・肝比重量増加	・嘔吐(投与 1～2 日、2 例) ・体重増加抑制(投与 1 週以降)及び摂餌量減少(投与 1 週) ・ALP 増加 ・TP 減少 ・小葉中心性肝細胞好酸性変化 [a]
90 mg/kg 体重/日以上	・ALP 増加 ・肝絶対重量増加 ・小葉中心性肝細胞好酸性変化 [a]	90 mg/kg 体重/日以下 毒性所見なし
15 mg/kg 体重/日	毒性所見なし	

[a]：酵素誘導による初期変化と考えられた。

（4）28 日間亜急性経皮毒性試験（ラット）

Wistar Hannover ラット（一群雌雄各 10 匹）を用いた経皮投与（原体：0、100、300 及び 1,000 mg/kg 体重/日、6 時間/日）による 28 日間亜急性経皮毒性試験が実施された。

本試験において、いずれの投与群においても毒性影響は認められなかったことから、無毒性量は雌雄とも本試験の最高用量 1,000 mg/kg 体重/日であると考えられた。（参照 2、42）

（5）28 日間亜急性毒性試験（マウス、代謝物 F022）

C57BL/6J マウス（一群雌雄各 5 匹）を用いた混餌投与（代謝物 F022：0、87、872 及び 2,500 ppm：平均検体摂取量は表 31 参照）による 28 日間亜急性毒性試験が実施された。また、投与 15 日朝に各投与群の全動物を採血して、代謝物 F022 の血漿中濃度が測定された（血漿中濃度は表 32 参照）。

表 31　28 日間亜急性毒性試験（マウス、代謝物 F022）の平均検体摂取量

投与群		87 ppm	872 ppm	2,500 ppm
平均検体摂取量(mg/kg 体重/日)	雄	19.5	180	587
	雌	32.2	249	718

表 32　投与 15 日の代謝物 F022 の血漿中濃度（ng/mL）

投与群	87 ppm	872 ppm	2,500 ppm
雄	149	326	261
雌	180	304	641

数値は 5 匹の平均

代謝物 F022 の血漿中濃度について、投与量の増加と比較して増加の程度が小さく、吸収の飽和が考えられた。

各投与群で認められた毒性所見は表 33 に示されている。

872 ppm 投与群の雌で肝絶対及び比重量増加並びに小葉中心性肝細胞肥大が認められたが、肝毒性を示唆する血液生化学的パラメータの変化及び病理組織学的変化が認められなかったことから、適応性変化であると考えられた。

本試験において、872 ppm 以上投与群の雄及び 2,500 ppm 投与群の雌で肝細胞壊死等が認められたことから、無毒性量は雄で 87 ppm（19.5 mg/kg 体重/日）、雌で 872 ppm（249 mg/kg 体重/日）であると考えられた。（参照 2、43）

表 33　28 日間亜急性毒性試験（マウス、代謝物 F022）で認められた毒性所見

投与群	雄	雌
2,500 ppm	・体重増加抑制(投与 1 週以降) ・ALT 及び ALP 増加 ・TP、Alb 及び T.Chol 減少 ・肝絶対重量増加	・体重増加抑制（投与 1 週以降） ・摂餌量減少(投与 5～8 日)§ ・ALP 増加 ・肝絶対及び比重量増加 ・び漫性肝細胞肥大§ ・肝細胞壊死(多巣性、1 例)§
872 ppm 以上	・TG 減少 ・肝比重量増加 ・小葉中心性肝細胞肥大§、a ・肝細胞壊死(多巣性)§	872 ppm 以下 毒性所見なし
87 ppm	毒性所見なし	

§：統計学的検定は実施されていないが、検体投与の影響と考えられた。
a：2,500 ppm 投与群では、び漫性に認められた。

１１．慢性毒性試験及び発がん性試験

（１）１年間慢性毒性試験（イヌ）

ビーグル犬（一群雌雄各 5 匹）を用いたカプセル経口投与（原体：0、10、30 及び 150 mg/kg 体重/日）による 1 年間慢性毒性試験が実施された。

各投与群で認められた毒性所見は表 34 に示されている。

表 34　１年間亜急性毒性試験（イヌ）で認められた毒性所見

投与群	雄	雌
150 mg/kg 体重/日	・ALP 増加 ・Alb、TP 及び Ca 減少 ・肝絶対及び比重量増加 ・小葉中心性/び漫性肝細胞肥大§2 ・肝細胞好酸性変化 a	・体重増加抑制(投与 1 週以降) ・ALP 増加 ・Alb、TP§1 及び Ca 減少 ・肝絶対及び比重量増加§1 ・小葉中心性/び漫性肝細胞肥大§2 ・肝細胞好酸性変化 a
30 mg/kg 体重/日以下	毒性所見なし	毒性所見なし

§1：統計学的有意差はないが、検体投与の影響と考えられた。
§2：統計学的検定は実施されていないが、検体投与の影響と考えられた。
a：酵素誘導による初期変化と考えられた。

10 mg/kg 体重/日以上投与群の雌雄で肝細胞好酸性変化が、30 mg/kg 体重/日以上投与群の雌雄で小葉中心性肝細胞肥大が認められたが、10 及び 30 mg/kg 体重/日投与群では、肝毒性を示唆する血液生化学的パラメータ及び病理組織学的変化が認められなかったことから、適応性変化であると考えられた。

本試験において、150 mg/kg 体重/日投与群の雌雄で小葉中心性/び漫性肝細胞肥大、ALP 増加等が認められたことから、無毒性量は雌雄とも 30 mg/kg 体重/日であると考えられた。（参照 2、44）

（２）２年間慢性毒性/発がん性併合試験（ラット）

Wistar Hannover ラット（1 年間慢性毒性群：一群雌雄各 10 匹、発がん性群：一群雌雄各 50 匹）を用いた混餌投与（原体：0、100、600 及び 3,600 ppm：平均検体摂取量は表 35 参照）による 2 年間慢性毒性/発がん性併合試験が実施された。

表 35　２年間慢性毒性/発がん性併合試験（ラット）の平均検体摂取量

投与群			100 ppm	600 ppm	3,600 ppm
平均検体摂取量（mg/kg 体重/日）	1 年間慢性毒性群	雄	5.9	34.2	216
		雌	7.5	45.4	322
	発がん性群	雄	4.6	28.5	185
		雌	6.4	41.4	312

各投与群で認められた毒性所見は表 36 に示されている。

検体投与により発生頻度の増加した腫瘍性病変は認められなかった。

本試験において、600 ppm 以上投与群の雄及び 3,600 ppm 投与群の雌で ALP 増加等が認められたことから、無毒性量は雄で 100 ppm（4.6 mg/kg 体重/日）、雌で 600 ppm（41.4 mg/kg 体重/日）であると考えられた。発がん性は認められなかった。（参照 2、45）

表 36－１　２年間慢性毒性/発がん性併合試験（ラット）で認められた毒性所見（非腫瘍性病変）

投与群	雄	雌
3,600 ppm	・体重増加抑制(投与 1 週以降) ・PLT 減少 ・Glu 減少 ・肝比重量増加 ・小葉中心性肝細胞肥大	・体重増加抑制(投与 1 週以降) ・PTT 減少 ・ALP 及び T.Chol 増加 ・Glu、TP 及び Alb 減少 ・肝比重量増加 ・小葉中心性肝細胞肥大
600 ppm 以上	・PTT 減少 ・ALP 及び尿素増加	600 ppm 以下 毒性所見なし
100 ppm	毒性所見なし	

表 36－２　１年間慢性毒性群で認められた毒性所見（非腫瘍性病変）

投与群	雄	雌
3,600 ppm	・体重増加抑制(投与 1 週以降) ・PLT 減少 ・Glu 減少 ・肝比重量増加 ・小葉中心性肝細胞肥大§	・体重増加抑制(投与 1 週以降) ・PTT 減少 ・ALP 増加及び T.Chol 増加 ・Glu、TP 及び Alb 減少 ・肝比重量増加 ・小葉中心性肝細胞肥大§
600 ppm 以上	・PTT 減少 ・ALP 及び尿素増加	600 ppm 以下 毒性所見なし
100 ppm	毒性所見なし	

§：統計学的検定は実施されていないが、検体投与の影響と考えられた。

（３）18 か月間発がん性試験（マウス）

C56BL/6J マウス（一群雌雄各 50 匹）を用いた混餌投与（原体：0、20、50、200（雄）及び 250 ppm（雌）：平均検体摂取量は表 37 参照）による 18 か月間発がん性試験が実施された。

表 37　18 か月間発がん性試験（マウス）の平均検体摂取量

投与群		20 ppm	50 ppm	200 ppm	250 ppm
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	雄	3.5	9.1	36.0	
	雌	4.9	12.6		61.5

/：実施されず

各投与群で認められた毒性所見は表 38 に示されている。

検体投与により発生頻度の増加した腫瘍性病変は認められなかった。

本試験において、50 ppm 以上投与群の雄で肝細胞脂肪化（大滴性）等が、雌で体重増加抑制が認められたことから、無毒性量は雌雄とも 20 ppm（雄：3.5 mg/kg 体重/日、雌：4.9 mg/kg 体重/日）であると考えられた。発がん性は認め

られなかった。（参照 2、46）

表 38　18 か月間発がん性試験（マウス）で認められた毒性所見（非腫瘍性病変）

投与群	雄	雌
250 ppm		・摂餌量減少(投与 6 週以降) ・肝絶対及び比重量増加 ・副腎比重量増加 ・肝細胞脂肪化(大滴性) ・肝単細胞壊死 ・副腎細胞質好酸性化
200 ppm	・体重増加抑制(投与 13 週以降) ・副腎絶対及び比重量増加 ・甲状腺ろ胞細胞過形成(多巣性) ・肝小葉中心性好酸性封入体	
50 ppm 以上	・肝絶対及び比重量増加 ・肝細胞脂肪化(大滴性)	・体重増加抑制(50 ppm 投与群：投与 34 週以降、250 ppm 投与群：投与 7 週以降)
20 ppm	毒性所見なし	毒性所見なし

/：実施されず

１２．生殖発生毒性試験

（１）２世代繁殖試験（ラット）

Wistar Hannover ラット（一群雌雄各 25 匹）を用いた混餌投与（原体：0、25、75 及び 200 mg/kg 体重/日：平均検体摂取量は表 39 参照）による 2 世代繁殖試験が実施された。

表 39　２世代繁殖試験（ラット）の平均検体摂取量

投与群			25 mg/kg 体重/日	75 mg/kg 体重/日	200 mg/kg 体重/日
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	P 世代	雄	24.1	72.2	191
		雌	24.3	72.9	194
	F_1 世代	雄	23.9	72.1	192
		雌	24.1	72.2	193

各投与群で認められた毒性所見は表 40 に示されている。

200 mg/kg 体重/日投与群の F_1 雌で着床数が僅かに減少し、その結果、産児数が減少した。

本試験において、75 mg/kg 体重/日以上投与群の親動物で ALP 増加等、200 mg/kg 体重/日投与群の児動物で体重増加抑制等が認められたことから、一般毒性に対する無毒性量は、親動物で 25 mg/kg 体重/日（P 雄：24.1 mg/kg 体重/日、P 雌：24.3 mg/kg 体重/日、F_1 雄：23.9 mg/kg 体重/日、F_1 雌：24.1 mg/kg 体重/日）、児動物で 75 mg/kg 体重/日（P 雄：72.2 mg/kg 体重/日、P 雌：72.9mg/kg 体重/日、F_1 雄：72.1 mg/kg 体重/日、F_1 雌：72.2 mg/kg 体重/日）であると考え

られた。

また、200 mg/kg 体重/日投与群で着床数減少等が認められたことから、繁殖能に対する無毒性量は 75 mg/kg 体重/日（P 雄：72.2 mg/kg 体重/日、P 雌：72.9mg/kg 体重/日、F_1 雄：72.1 mg/kg 体重/日、F_1 雌：72.2 mg/kg 体重/日）であると考えられた。（参照 2、47）

表 40　２世代繁殖試験（ラット）で認められた毒性所見

投与群		親：P、児：F_1		親：F_1、児：F_2	
		雄	雌	雄	雌
親動物	200 mg/kg 体重/日	・体重増加抑制(投与 1～7 日以降) ・摂餌量減少(投与 1～7 日以降) ・小葉中心性肝細胞肥大§	・体重増加抑制(妊娠 1～8 日以降) ・摂餌量減少(投与 64～70 日以降)	・体重増加抑制 ・摂餌量減少 ・小葉中心性肝細胞肥大§	・体重増加抑制 ・摂餌量減少 ・ALP 及び TG 増加 ・肝比重量増加 ・着床数減少 ・産児数減少
	75 mg/kg 体重/日	・ALP 及び T.Chol 増加 ・肝比重量増加	・ALP 増加 ・肝絶対及び比重量増加	・ALP 増加 ・肝比重量増加	毒性所見なし
	25 mg/kg 体重/日	毒性所見なし	毒性所見なし	毒性所見なし	
児動物	200 mg/kg 体重/日	・低体重、体重増加抑制		・低体重、体重増加抑制	
	75 mg/kg 体重/日以下	毒性所見なし		毒性所見なし	

§：統計学的検定は実施されていないが、検体投与の影響と考えられた。

（２）発生毒性試験（ラット）

Wistar Hannover ラット（一群雌 25 匹）の妊娠 6～19 日に強制経口投与（原体：0、50、150 及び 400 mg/kg 体重/日、溶媒：1%CMC 水溶液）して、発生毒性試験が実施された。

本試験において、400 mg/kg 体重/日投与群の母動物で体重増加抑制（妊娠 10～13 日以降)及び摂餌量減少（妊娠 8～10 日以降）が認められ、胎児ではいずれの投与群でも検体投与の影響は認められなかったことから、無毒性量は母動物で 150 mg/kg 体重/日、胎児で本試験の最高用量 400 mg/kg 体重/日であると考えられた。催奇形性は認められなかった。（参照 2、48）

（３）発生毒性試験（ウサギ）

NZW ウサギ（一群雌 27～33 匹）の妊娠 6～28 日に強制経口投与（原体：0、

5、15 及び 25 mg/kg 体重/日[6]、溶媒：1%CMC 水溶液）して、発生毒性試験が実施された。

本試験において、5 mg/kg 体重/日投与群及び 15 mg/kg 体重/日投与群の母動物それぞれ 1 例で流産が認められたが、自然発生的な所見であり、検体投与による影響ではないと考えられた。

本試験において、母動物及び胎児とも検体投与の影響は認められなかったことから、無毒性量は本試験の最高用量 25 mg/kg 体重/日であると考えられた。催奇形性は認められなかった。（参照 2、49）

１３．遺伝毒性試験

メフェントリフルコナゾール（原体）の細菌を用いた復帰突然変異試験、マウスリンパ腫由来細胞（L5178Y TK$^{+/-}$）を用いた *in vitro* 遺伝子突然変異試験、チャイニーズハムスター肺由来細胞（V79）及びヒト末梢血リンパ球を用いた *in vitro* 小核試験並びにマウスを用いた *in vivo* 小核試験が実施された。

結果は表 41 に示されている。

全ての試験において陰性であったことから、メフェントリフルコナゾールに遺伝毒性はないものと考えられた。（参照 2、50～56）

[6] 非妊娠ウサギを用いた予備試験①において、50 mg/kg 体重/日以上投与群で体重及び摂餌量減少並びに無/低排便等が認められたこと、妊娠ウサギを用いた予備試験②において、妊娠 6～28 日に投与した結果、20 mg/kg 体重/日投与群で検体投与による影響が認められなかったことから、最高用量が 25 mg/kg 体重/日と設定された。

表 41　遺伝毒性試験結果概要（原体）

試験		対象	処理濃度・投与量	結果
in vitro	復帰突然変異試験①	*Salmonella typhimurium* (TA98、TA100、TA1535、TA1537 株) *Escherichia coli* (WP2 *uvrA* 株)	1.0～5,000 μg/プレート(+/-S9)	陰性
	復帰突然変異試験②	*S. typhimurium* (TA98、TA100、TA1535、TA1537 株) *E. coli* (WP2 *uvrA* 株)	1.0～5,000 μg/プレート(+/-S9)	陰性
	遺伝子突然変異試験①	マウスリンパ腫由来細胞 (L5178Y TK$^{+/-}$)	3.75～45 μg/mL (4 時間処理：+/-S9) 7.5～60.0 μg/mL(24 時間処理：-S9) (48 時間培養後標本作製)	陰性
	遺伝子突然変異試験②	マウスリンパ腫由来細胞 (L5178Y TK$^{+/-}$)	3.1～37.5 μg/mL(4 時間処理：-S9) 6.3～50.0 μg/mL (4 時間処理：+S9) 12.5～62.5 μg/mL (24 時間処理：-S9) (48 時間培養後標本作製)	陰性
	小核試験	チャイニーズハムスター肺由来細胞(V79)	1.56～50 μg/mL(+/-S9) (4 時間処理) 0.39～12.5 μg/mL(+/-S9) (24 時間処理)	陰性
	小核試験	ヒト末梢血リンパ球	2.0～8.2 μg/mL (4 時間処理：+/-S9、20 時間処理：-S9)	陰性
in vivo	小核試験	NMRI マウス(骨髄細胞) (一群雄各 5 匹)	375、750 及び 1,500 mg/kg 体重 (375 及び 750 mg/kg 体重投与群：単回経口投与 24 時間後に試料採取、1,500 mg/kg 体重投与群：単回経口投与 24 及び 48 時間後に試料採取)	陰性

注）+/-S9：代謝活性化系存在下及び非存在下

代謝物 F022（家畜由来）の細菌を用いた復帰突然変異試験、マウスリンパ腫由来細胞（L5178Y TK$^{+/-}$）を用いた遺伝子突然変異試験及びヒト末梢血リンパ球を用いた小核試験（*in vitro*）が実施された。

結果は表 42 に示されているとおり、全ての試験において陰性であった。（参照 2、57～59）

表 42　遺伝毒性試験結果概要（代謝物 F022）

試験		対象	処理濃度・投与量	結果
in vitro	復帰突然変異試験	*S. typhimurium* (TA98、TA100、TA1535、TA1537 株) *E. coli* (WP2 *uvrA* 株)	1.0～1,000 μg/プレート(+/-S9)	陰性
	遺伝子突然変異試験	マウスリンパ腫由来細胞 ($L5178Y\ TK^{+/-}$)	2.34～100 μg/mL(4 時間処理：+/-S9) 1.56～50.0 μg/mL(24 時間処理：-S9)	陰性
	小核試験	ヒト末梢血リンパ球	10.7～32.7 μg/mL(4 時間処理：+S9) 6.1～18.7 μg/mL(4、20 時間処理：-S9)	陰性

注）+/-S9：代謝活性化系存在下及び非存在下

Ⅲ．食品健康影響評価

参照に挙げた資料を用いて農薬「メフェントリフルコナゾール」の食品健康影響評価を実施した。第 2 版の改訂に当たっては、厚生労働省から土壌吸脱着試験、土壌残留試験、作物残留試験（国内：ぶどう、りんご等、海外：さとうきび、たまねぎ等）の成績が新たに提出された。

^{14}C で標識したメフェントリフルコナゾールのラットを用いた動物体内運命試験の結果、吸収率は少なくとも低用量群で 77.5%、高用量群で 49.8%と算出された。残留放射能濃度は、主に消化管、肝臓、副腎及び腎臓で比較的高く認められた。投与放射能は主に胆汁を介して糞中に排泄され、糞中の主要成分として未変化のメフェントリフルコナゾールのほか、代謝物 F015 及び F016/F017 が、胆汁中では代謝物 F035、F044、F045 等が認められた。尿中の主要成分として、代謝物 F001、F003/F049 及び F063 が認められた。血漿、肝臓及び腎臓中の主要成分として、未変化のメフェントリフルコナゾールのほか、代謝物 F015 及び F016/F017 が認められた。

^{14}C で標識したメフェントリフルコナゾールの畜産動物（ヤギ及びニワトリ）を用いた体内運命試験の結果、可食部における主要成分として未変化のメフェントリフルコナゾールのほか、10%TRR を超える代謝物として F001（1,2,4-トリアゾール）及び F022 のほか、ヤギでは F016、F038、F038/F064、F041、F043、F068 及び F072 が、ニワトリでは F023、F024、F025 及び F034 が、それぞれ認められた。

^{14}C で標識したメフェントリフルコナゾールを用いた植物体内運命試験の結果、主要成分として未変化のメフェントリフルコナゾールのほか、10%TRR を超える代謝物として F019（異性体を含む。）、F029（トリアゾールアラニン）及び F030（トリアゾール酢酸）が認められた。

国内におけるメフェントリフルコナゾール並びに代謝物 F001、F029 及び F030 を分析対象化合物とした作物残留試験の結果、メフェントリフルコナゾールの最大残留値は、もも（果皮）の 2.62 mg/kg であった。また、可食部におけるメフェントリフルコナゾールの最大残留値は、ぶどう（果実）の 1.50 mg/kg であった。代謝物の最大残留値は、F029 では、おうとう（果実）の 0.42 mg/kg であった。F001 及び F030 については、いずれも定量限界未満であった。

海外におけるメフェントリフルコナゾール並びに代謝物 F001、F029、F030 及び F031 を分析対象化合物とした作物残留試験の結果、メフェントリフルコナゾールの最大残留値はほうれんそう（茎葉）の 18 mg/kg、代謝物の最大残留値は、F001 では、ソルガム（穀粒）、いんげんまめ（乾燥子実）、なたね（種子）及びレモン（果実）の 0.02 mg/kg、F029 では、らっかせい（子実）の 8.88 mg/kg、F030 では、大麦（穀粒）の 0.27 mg/kg、F031 では、らっかせい（子実）の 0.90 mg/kg であった。

メフェントリフルコナゾール並びに代謝物 F001、F022、F029、F030 及び F031

を分析対象化合物とした畜産物残留試験（泌乳牛及び産卵鶏）の結果、泌乳牛の乳汁中におけるメフェントリフルコナゾール及び代謝物の最大残留値は、それぞれ148 mg/kg飼料投与群における0.37 μg/g及び141 mg/kg飼料投与群におけるF001の0.33 μg/g であった。臓器及び組織中ではいずれも141 mg/kg 飼料投与群におけるメフェントリフルコナゾールの3.58 μg/g 及びF029 の0.78 μg/g(いずれも肝臓)が最大であった。産卵鶏では、メフェントリフルコナゾール及び代謝物の最大残留値は、卵中ではいずれも17.3 mg/kg 飼料投与群における0.04 μg/g 及びF001 の0.10 μg/g であり、臓器及び組織中ではいずれも17.3 mg/kg 飼料投与群における0.25 μg/g 及びF022 の0.36 μg/g（いずれも脂肪）であった。

各種毒性試験結果から、メフェントリフルコナゾール投与による影響は体重（増加抑制）及び肝臓（肝細胞肥大、肝細胞壊死：マウス）に認められた。神経毒性、発がん性、催奇形性及び遺伝毒性は認められなかった。

ラットを用いた2 世代繁殖試験において、F_1 親動物の着床数が僅かに減少し、産児数の減少が認められた。

植物体内運命試験及び畜産動物を用いた体内運命試験の結果、10%TRR を超える代謝物として、植物では可食部及び家畜の飼料として供される部位においてF029 及び F030、畜産動物では可食部において F001、F016、F022（抱合体を含む。）、F038、F041 並びにメフェントリフルコナゾール及びその水酸化体の抱合体が認められた。代謝物F001、F016 及びF038 はラットにおいて認められ、代謝物 F041 はF016 を経由して生成されると考えられる。代謝物F029 及びF030 はラットにおいて認められず、植物及び畜産動物を用いた体内運命試験並びに残留試験の結果、メフェントリフルコナゾールよりも多く認められたが、毒性はメフェントリフルコナゾールに比べて弱い（参照61）。代謝物F022 について、ラットにおいて生成する可能性があると考えられたが、ラットを用いた急性毒性試験及びマウスを用いた亜急性毒性試験の結果から、毒性はメフェントリフルコナゾールと同程度又は弱く、メフェントリフルコナゾールに比べて畜産動物（産卵鶏）における残留値が高かった。

以上のことから、農産物中のばく露評価対象物質をメフェントリフルコナゾール（親化合物のみ）、畜産物中のばく露評価対象物質をメフェントリフルコナゾール及び代謝物F022（抱合体を含む。）と設定した。

各試験における無毒性量等は表43 に、単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響等は表44 に示されている。

食品安全委員会は、各試験で得られた無毒性量のうち最小値は、マウスを用いた90 日間亜急性毒性試験の2 mg/kg 体重/日であったが、より長期の18 か月発がん性試験での3.5 mg/kg 体重/日が、マウスにおける無毒性量としてより適切であると判断した。したがって、食品安全委員会は、これを根拠として、安全係数100 で除した0.035 mg/kg 体重/日を許容一日摂取量（ADI）と設定した。

また、メフェントリフルコナゾールの単回経口投与等により生ずる可能性のある

毒性影響に対する無毒性量又は最小毒性量のうち最小値は、ラットを用いた急性神経毒性試験の 600 mg/kg 体重であり、カットオフ値（500 mg/kg 体重）以上であったことから、急性参照用量（ARfD）は設定する必要がないと判断した。

ADI	0.035 mg/kg 体重/日
（ADI 設定根拠資料）	発がん性毒性試験
（動物種）	マウス
（期間）	18 か月間
（投与方法）	混餌
（無毒性量）	3.5 mg/kg 体重/日
（安全係数）	100
ARfD	設定の必要なし

＜参考＞

＜EFSA、2018 年＞

ADI	0.035 mg/kg 体重/日
（ADI 設定根拠資料）	発がん性試験
（動物種）	マウス
（期間）	18 か月間
（投与方法）	混餌
（無毒性量）	3.5 mg/kg 体重/日
（安全係数）	100
ARfD	0.15 mg/kg 体重
（ARfD 設定根拠資料）	発生毒性試験
（動物種）	ウサギ
（期間）	妊娠 6～28 日
（投与方法）	強制経口
（無毒性量）	15 mg/kg 体重/日
（安全係数）	100

（参照 62）

＜EPA、2019 年＞

cRfD	0.035 mg/kg 体重/日
（cRfD 設定根拠資料）	発がん性試験
（動物種）	マウス
（期間）	18 か月間

（投与方法）	混餌
（無毒性量）	3.5 mg/kg 体重/日
（不確実係数）	100
aRfD	設定の必要なし
（一般の集団）	
aRfD	0.73 mg/kg 体重
（13～49 歳の女性）	
（aRfD 設定根拠資料）	繁殖試験
（動物種）	ラット
（期間）	2 世代
（投与方法）	混餌
（無毒性量）	73 mg/kg 体重/日
（不確実係数）	100

（参照 63、64）

表 43　各試験における無毒性量等

動物種	試験	投与量 (mg/kg 体重/日)	無毒性量 (mg/kg 体重/日)	最小毒性量 (mg/kg 体重/日)	備考 1)
ラット	90 日間 亜急性 毒性試験	0、400、1,200、3,600 ppm 雄:0、27.2、76.3、256 雌:0、30.4、90.5、314	雄：27.2 雌：30.4	雄：76.3 雌：90.5	雌雄：ALP 増加等
	2 年間 慢性毒性 /発がん 性併合 試験	0、100、600、3,600 ppm 雄：0、4.6、28.5、185 雌：0、6.4、41.4、312	雄：4.6 雌：41.4	雄：28.5 雌：312	雌雄：ALP 増加等 (発がん性は認められない)
	2 世代 繁殖試験	0、25、75、200 P 雄：0、24.1、72.2、191 P 雌：0、24.3、72.9、194 F_1 雄：0、23.9、72.1、192 F_1 雌：0、24.1、72.2、193	親動物 P 雄：24.1 P 雌：24.3 F_1 雄：23.9 F_1 雌：24.1 児動物 P 雄：72.2 P 雌：72.9 F_1 雄：72.1 F_1 雌：72.2 繁殖能 P 雄：72.2 P 雌：72.9 F_1 雄：72.1 F_1 雌：72.2	親動物 P 雄：72.2 P 雌：72.9 F_1 雄：72.1 F_1 雌：72.2 児動物 P 雄：191 P 雌：194 F_1 雄：192 F_1 雌：193 繁殖能 P 雄：191 P 雌：194 F_1 雄：192 F_1 雌：193	親動物：ALP 増加等 児動物:体重増加抑制等 繁殖能:着床数減少等
	発生毒性 試験	0、50、150、400	母動物：150 胎児：400	母動物：400 胎児：－	母動物:体重増加抑制及び摂餌量減少 胎児：毒性所見なし (催奇形性は認められない)
マウス	90 日間 亜急性 毒性試験	0、10、50、250、750 ppm 雄:0、2、11、58、174 雌:0、3、15、67、211	雄：2 雌：15	雄：11 雌：67	雌雄:肝絶対及び比重量増加、小葉中心性/び漫性肝細胞肥大及び T.Chol 減少

動物種	試験	投与量 (mg/kg 体重/日)	無毒性量 (mg/kg 体重/日)	最小毒性量 (mg/kg 体重/日)	備考 1)
	18か月間発がん性試験	雄：0、20、50、200 ppm 雌：雄：0、20、50、250 ppm 雄：0、3.5、9.1、36.0 雌：0、4.9、12.6、61.5	雄：3.5 雌：4.9	雄：9.1 雌：12.6	雄：肝細胞脂肪化（大滴性）等 雌：体重増加抑制 (発がん性は認められない)
ウサギ	発生毒性試験	0、5、15、25	母動物：25 胎児：25	母動物：－ 胎児：－	母動物:毒性所見なし 胎児：毒性所見なし (催奇形性は認められない)
イヌ	90 日間亜急性毒性試験	0、15、90、180	雄：15 雌：90	雄：90 雌：180	雌雄:小葉中心性肝細胞好酸性変化、ALP 増加等
	1 年間慢性毒性試験	0、10、30、150	雄：30 雌：30	雄：150 雌：150	雌雄：小葉中心性/び漫性肝細胞肥大、ALP 増加等
ADI			NOAEL：3.5 SF：100 ADI：0.035		
ADI 設定根拠資料			マウス 18 か月間発がん性試験		

ADI：許容一日摂取量、NOAEL：無毒性量、SF：安全係数、
－：最小毒性量は設定できなかった。
1)：備考には最小毒性量で認められた毒性所見の概要を示した。

表 44　単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響等

動物種	試験	投与量 (mg/kg 体重)	無毒性量及び急性参照用量設定に関連するエンドポイント[1)] (mg/kg 体重)
ラット	急性毒性試験	雌：2,000	－ うずくまり、一般状態不良及び立毛
	急性神経毒性試験	0、200、600、2,000	雌雄：600 雌雄：協調性障害（不安定歩行）、自発運動量減少等
ARfD			設定の必要なし （カットオフ値（500 mg/kg 体重）以上）

ARfD：急性参照用量
－：無毒性量は設定できなかった。
1)：最小毒性量で認められた主な毒性所見を記した。

＜別紙１：代謝物/分解物略称＞

記号	化学名
F001	1,2,4-(1*H*)-triazol
F002	6-Hydroxy-3methyl-3-[(1*H*-1,2,4-triazol-1-yl)-2-benzofuran-1(3H)-one
F003	4-[2-Hydroxy-1-(1*H*-1,2,4-triazol-1-yl)propan-2-yl]-3-(trifluoromethyl)phenol
F005	4-{4-[2-Hydroxy-1-(1*H*-1,2,4-triazol-1-yl)propan-2-yl]-3-(trifluoromethyl) phenoxy}phenol
F006	6-(4-Chlorophenoxy)-3-methyl-3-(1*H*-1,2,4-triazol-1-ylmethyl)-2-benzofuran-1(3H)-one
F007	6-(4-Hydroxyphenoxy)-3-methyl-3-(1*H*-1,2,4-triazol-1-ylmethyl)-2-benzofuran-1(3H)-one
F008	6-(5-Chloro-2-hydroxyphenyl)-3-methyl-3-(1*H*-1,2,4-triazol-1-ylmethyl)-2-benzofuran-1(3H)-one
F009	(構造未決定の代謝物)
F010	(構造未決定の代謝物)
F011	2-[4-(4-Chlorophenoxy)-2-(trifluoromethyl)phenyl]-1-(1*H*-1,2,4-triazol-1-yl)propan-2-ylhexopyranoside
F012	2-[4-(4-Chlorophenoxy)-2-(trifluoromethyl)phenyl]-1-(1*H*-1,2,4-triazol-1-yl)propan-2-yl 6-O-(carboxyacetyl)hexopyranoside
F015	2-Chloro-4-{4-[2-hydroxy-1-(1*H*-1,2,4-triazol-1-yl)propan-2-yl]-3-(trifluoromethyl)phenoxy}phenol
F016	2-Chloro-5-{4-[2-hydroxy-1-(1*H*-1,2,4-triazol-1-yl)propan-2-yl]-3-(trifluoromethyl)phenoxy}phenol
F017	5-Chloro-2-{4-[2-hydroxy-1-(1*H*-1,2,4-triazol-1-yl)propan-2-yl]-3-(trifluoromethyl)phenoxy}phenol
F018	(構造未決定の代謝物)
F019	(構造未決定の代謝物)
F020	(構造未決定の代謝物)
F021	(構造未決定の代謝物)
F022	2-[4-(4-Chlorophenoxy)-2-(trifluoromethyl)phenyl] propane-1,2-diol
F023	2-[4-(4-Chlorophenoxy)-2-(trifluoromethyl)phenyl]-2-hydroxypropyl (9Z,11E)-octadeca-9,11-dienoate
F024	2-[4-(4-Chlorophenoxy)-2-(trifluoromethyl)phenyl]-2-hydroxypropyl (9Z)-octadeca-9-enoate
F025	2-[4-(4-Chlorophenoxy)-2-(trifluoromethyl)phenyl]-2-hydroxypropyl hexadecanoate
F026	(構造未決定の代謝物)
F029	2-Amino-3-(1*H*-1,2,4-triazol-1-yl)propionic acid
F030	(1*H*-1,2,4-triazol-1-yl)acetic acid
F031	2-Hydroxy-3-(1*H*-1,2,4-triazol-1-yl)propanoic acid

記号	化学名
F034	gamma-glutamyl-*S*-(5-Chloro-6-hydroxy-2-{4-[2-hydroxy-1-(1*H*-1,2,4-triazol-1-yl)propan-2-yl]-3-(trifluoromethyl)phenoxy} cyclohexa-2,4-dien-1-yl)cysteinylglycine
F035	5-Chloro-2-{4-[2-hydroxy-1-(1*H*-1,2,4-triazol-1-yl)propan-2-yl]-3-(trifluoromethyl)phenoxy}phenyl hexopyranosiduronic acid
F038	(2R)-2-[4-(4-Chlorophenoxy)-2-(trifluoromethyl)phenyl]-2-hydroxypropanoic acid
F039	(2S)-2-[4-(4-Chlorophenoxy)-2-(trifluoromethyl)phenyl]-3-(1*H*-1,2,4-triazol-1-yl)propane-1,2-diol
F041	3-Chloro-6-{4-[2-hydroxy-1-(1*H*-1,2,4-triazol-1-yl)propan-2-yl]-3- (trifluoromethyl)phenoxy}cyclohexa-3,5-diene-1,2-diol
F042	2-[4-(4-Chlorophenoxy)-2-(trifluoromethyl)phenyl]-2-hydroxy-3-(1*H*-1,2,4-triazol-1-yl)propanoic acid
F043	2-[4-(4-Chlorophenoxy)-2-(trifluoromethyl)phenyl]-2-hydroxypropyl hydrogen sulfate
F044	2-Chloro-4-{4-[2-hydroxy-1-(1*H*-1,2,4-triazol-1-yl)propan-2-yl]-3- (trifluoromethyl)phenoxy}phenyl hexopyranosiduronic acid
F045	2-Chloro-5-{4-[2-hydroxy-1-(1*H*-1,2,4-triazol-1-yl)propan-2-yl]-3- (trifluoromethyl)phenoxy}phenyl hexopyranosiduronic acid
F049	(構造未決定の代謝物)
F050	(構造未決定の代謝物)
F052	(構造未決定の代謝物)
F054	(構造未決定の代謝物)
F055	(構造未決定の代謝物)
F057	(構造未決定の代謝物)
F058	4-Chlorophenyl hydrogen sulfate
F059	(構造未決定の代謝物)
F060/F098	(構造未決定の代謝物) （M750F098 は、M750F060 の塩素転移異性体を含む）
F061	(構造未決定の代謝物)
F062	(構造未決定の代謝物)
F063	(構造未決定の代謝物)
F064	(構造未決定の代謝物)
F065	(構造未決定の代謝物)
F066	(構造未決定の代謝物)
F067	(構造未決定の代謝物)
F068	2-[4-(4-Chlorophenoxy)-2-(trifluoromethyl)phenyl]- 1-(1*H*-1,2,4-triazol-1-yl)propan-2-yl hexopyranosiduronic acid
F069	(構造未決定の代謝物)
F071	(構造未決定の代謝物)

記号	化学名
F072	2-[4-(4-Chlorophenoxy)-2-(trifluoromethyl)phenyl]-2-hydroxy 3-(1*H*-1,2,4-triazol-1-yl)propyl hydrogen sulfate
F073	2-Chloro-4-{4-[2-hydroxy-1-(1*H*-1,2,4-triazol-1-yl)propan-2-yl]-3-(trifluoromethyl)phenoxy}phenyl hydrogen sulfate
F075	(構造未決定の代謝物)
F076	(構造未決定の代謝物)
F078	(構造未決定の代謝物)
F079	(構造未決定の代謝物)
F081	(構造未決定の代謝物)
F082	(構造未決定の代謝物)
F083	(構造未決定の代謝物)
F084	(構造未決定の代謝物)
F085	(構造未決定の代謝物)
F087	(構造未決定の代謝物)
F089	(構造未決定の代謝物)
F091	(構造未決定の代謝物)
F099	(構造未決定の代謝物)
F100	(構造未決定の代謝物)
F104	(構造未決定の代謝物)
F105	(構造未決定の代謝物)
F108	(構造未決定の代謝物)
F110	(構造未決定の代謝物)

＜別紙２：検査値等略称＞

略称	名称
ai	有効成分量（active ingredient）
Alb	アルブミン
ALP	アルカリフォスファターゼ
ALT	アラニンアミノトランスフェラーゼ ［=グルタミン酸ピルビン酸トランスアミナーゼ（GPT）］
AUC	薬物濃度曲線下面積
BBCH	Biologische Bundesanstalt Bundessortenamt and CHemical industry 植物成長の段階を表す
C_{max}	最高濃度
CMC	カルボキシメチルセルロース
EFSA	欧州食品安全機関
EPA	米国環境保護庁
Glu	グルコース（血糖）
LC_{50}	半数致死濃度
LD_{50}	半数致死量
PHI	最終使用から収穫までの日数
PLT	血小板数
PTT	部分トロンボプラスチン時間
$T_{1/2}$	消失半減期
TAR	総投与（処理）放射能
T.Chol	総コレステロール
TG	トリグリセリド
T_{max}	最高濃度到達時間
TP	総タンパク
TRR	総残留放射能

＜別紙３：作物残留試験成績（国内）＞

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年度	使用量 (g ai/ha)	試験ほ場数	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)			
					メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030
りんご (露地) (果実) 2017 年度	213 SC	1	3	14 21 28	0.182 0.132 0.136	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05
りんご (露地) (果実) 2017 年度	203 SC	1		14 21 28	0.098 0.097 0.078	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05
りんご (露地) (果実) 2017 年度	213 SC	1		14 21 28	0.372 0.303 0.266	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05
りんご (露地) (果実) 2018 年度	213 SC	1		14 21 28	0.246 0.182 0.240	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05
りんご (露地) (果実) 2018 年度	203 SC	1		14 21 28	0.188 0.120 0.144	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05
りんご (露地) (果実) 2018 年度	213 SC	1		14 21 28	0.244 0.225 0.154	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05
日本なし (露地) (果実) 2017 年度	219 SC	1	3	14 21 28	0.169 0.175 0.176	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05
日本なし (露地) (果実) 2017 年度	227 SC	1		14 21 28	0.088 0.106 0.076	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05
日本なし (露地) (果実) 2017 年度	205 SC	1		14 21 28	0.163 0.132 0.083	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年度	使用量 (g ai/ha)	試験ほ場数	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)			
					メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030
日本なし (露地) (果実) 2017 年度	227 SC	1	3	14 21 28	0.078 0.048 0.033	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05
日本なし (露地) (果実) 2017 年度	207 SC	1		14 21 28	0.188 0.082 0.087	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05
日本なし (露地) (果実) 2017 年度	193 SC	1		14 21 28	0.200 0.180 0.161	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05
もも (露地) (果肉) 2017 年度	189 SC	1		1 3 7	0.011 0.006 0.005	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05
もも (露地) (果皮) 2017 年度				1 3 7	2.62 0.754 0.496	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05
もも (露地) (全果実 a) 2017 年度				1 3 7	0.346 0.203 0.145	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05
もも (露地) (果肉) 2017 年度	189 SC	1		1 3 7	0.014 0.008 0.016	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05
もも (露地) (果皮) 2017 年度				1 3 7	1.09 1.24 0.746	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05
もも (露地) (全果実 a) 2017 年度				1 3 7	0.241 0.207 0.224	<0.04 <0.04 <0.04	<0.04 <0.04 <0.04	<0.04 <0.04 <0.04

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年度	使用量 (g ai/ha)	試験ほ場数	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)			
					メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030
もも (露地) (果肉) 2017 年度	199 SC	1	3	1 3 7	0.009 0.006 0.006	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05
もも (露地) (果皮) 2017 年度				1 3 7	0.652 1.07 0.328	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05
もも (露地) (全果実 a) 2017 年度				1 3 7	0.156 0.160 0.076	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05
もも (露地) (果肉) 2017 年度	222 SC	1		1 3 7	0.016 0.020 0.016	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05
もも (露地) (果皮) 2017 年度				1 3 7	2.04 1.62 1.55	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05
もも (露地) (全果実 a) 2017 年度				1 3 7	0.358 0.270 0.266	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05
ネクタリン (露地) (果実) 2017 年度	166 SC	1	2	1 3 7	0.280 0.244 0.220	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05
ネクタリン (露地) (果実) 2017 年度	189 SC	1		1 3 7	0.203 0.147 0.168	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05	<0.05 <0.05 <0.05
おうとう (雨よけ施設)(果実) 2017 年度	166 SC	1	3	1 3 7	0.753 0.832 0.505	<0.05 <0.05 <0.05	0.42 0.38 0.30	<0.05 <0.05 <0.05

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年度	使用量 (g ai/ha)	試験ほ場数	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)			
					メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030
おうとう (雨よけ施設)(果実) 2017 年度	174 SC	1	3	1	0.692	<0.05	<0.05	<0.05
				3	0.624	<0.05	<0.05	<0.05
				7	0.486	<0.05	<0.05	<0.05
うめ (露地) (果実) 2018 年度	178 SC	1		1	0.558	<0.05	<0.05	<0.05
				3	0.426	<0.05	<0.05	<0.05
				7	0.310	<0.05	<0.05	<0.05
				14	0.186	<0.05	<0.05	<0.05
うめ (露地) (果実) 2018 年度	142 SC	1		1	0.324	<0.05	0.10	<0.05
				3	0.268	<0.05	0.08	<0.05
				7	0.142	<0.05	0.08	<0.05
				14	0.082	<0.05	0.08	<0.05
うめ (露地) (果実) 2018 年度	189 SC	1		1	0.765	<0.05	0.08	<0.05
				3	0.651	<0.05	0.09	<0.05
				7	0.416	<0.05	0.09	<0.05
				14	0.316	<0.05	0.09	<0.05
ぶどう (施設) (果実) 2017 年度	167 SC	1	3	1	1.24	<0.05	<0.05	<0.05
				3	1.04	<0.05	<0.05	<0.05
				7	1.02	<0.05	<0.05	<0.05
				14	0.980	<0.05	<0.05	<0.05
ぶどう (施設) (果実) 2017 年度	154 SC	1		1	0.802	<0.05	<0.05	<0.05
				3	0.700	<0.05	<0.05	<0.05
				7	0.573	<0.05	<0.05	<0.05
				14	0.480	<0.05	<0.05	<0.05
ぶどう (施設) (果実) 2017 年度	172 SC	1		1	1.44	<0.05	<0.05	<0.05
				3	1.50	<0.05	<0.05	<0.05
				7	1.32	<0.05	<0.05	<0.05
				14	1.24	<0.05	<0.05	<0.05
ぶどう (施設) (果実) 2017 年度	169 SC	1		1	0.574	<0.05	<0.05	<0.05
				3	0.478	<0.05	<0.05	<0.05
				7	0.544	<0.05	<0.05	<0.05
				14	0.344	<0.05	<0.05	<0.05

SC：7.1%フロアブル剤茎葉散布

a：果肉、果皮及び種子の重量比と果肉及び果皮の分析値から算出、種子は無残留と仮定。

＜別紙４：作物残留試験成績（海外）＞

作物名：稲

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2014年	CL152(露地)	穀粒	12	294EC	2	21	1.63	<0.01	0.04	0.05	<0.01
							1.68	<0.01	0.04	0.05	<0.01
	XL745 Hybrid(露地)	穀粒		295EC	2	23	1.13	<0.01	0.04	0.07	<0.01
							1.10	<0.01	0.05	0.06	<0.01
	Che-niere(露地)	穀粒		307EC	2	21	1.86	<0.01	0.02	0.03	<0.01
							1.81	<0.01	0.02	0.03	<0.01
	CL 111(露地)	穀粒		298EC	2	21	1.69	<0.01	0.09	0.03	<0.01
							1.64	<0.01	0.08	0.03	<0.01
	XL729(露地)	穀粒		301EC	2	21	0.88	<0.01	0.06	0.09	<0.01
							0.81	<0.01	0.07	0.09	<0.01
	CL XL745(露地)	穀粒		299EC	2	21	0.38	<0.01	0.06	0.05	<0.01
							0.37	<0.01	0.06	0.05	<0.01
					2	21	0.63	<0.01	0.22	0.09	<0.01
							0.63	<0.01	0.07	0.09	0.01
	Francis(露地)	穀粒		299EC	2	21	1.68	<0.01	0.05	0.03	<0.01
							1.80	<0.01	0.05	0.03	<0.01
	Pre-sidio(露地)	穀粒		300EC	2	0*	11.3	<0.01	0.05	0.06	0.09
							11.3	<0.01	0.05	0.06	0.06
						14*	0.45	<0.01	0.06	0.08	0.01
							0.48	<0.01	0.06	0.06	0.01
						21	0.23	<0.01	0.07	0.10	<0.01
							0.31	<0.01	0.06	0.09	<0.01
						28	0.41	<0.01	0.05	0.07	<0.01
							0.44	<0.01	0.07	0.09	<0.01
						35	0.33	<0.01	0.05	0.08	<0.01
							0.27	<0.01	0.05	0.08	<0.01
	LX745(露地)	穀粒		301EC	2	21	1.17	<0.01	0.21	0.26	<0.01
							1.14	<0.01	0.19	0.22	<0.01

実施場所 (国) 実施年	品種 (栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
	M205 (露地)	穀粒		296[EC]	2	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				298[EC]	2	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

EC：10%乳剤茎葉散布

・農薬の使用時期（PHI）が、申請された使用方法から逸脱している場合は、該当箇所に*を付した。

作物名：小麦

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2014年	Faller(露地)	穀粒	25	300[EC]	2	21	0.05	<0.01	0.16	0.06	<0.01
							0.06	<0.01	0.18	0.06	<0.01
	Oklee(露地)	穀粒		300[EC]	2	21	<0.01	<0.01	0.05	0.02	<0.01
							<0.01	<0.01	0.05	0.02	<0.01
							<0.01	<0.01	0.10	0.02	<0.01
	Prosper(露地)	穀粒		298[EC]	2	21	0.02	<0.01	0.22	0.06	<0.01
							0.03	<0.01	0.26	0.08	<0.01
		穀粒		302[EC]	2	0[*]	0.41	<0.01	0.17	0.09	<0.01
							0.30	<0.01	0.15	0.09	<0.01
						14[*]	0.16	<0.01	0.13	0.07	<0.01
							0.13	<0.01	0.15	0.07	<0.01
						21	0.11	<0.01	0.15	0.08	<0.01
							0.13	<0.01	0.15	0.08	<0.01
						28	0.13	<0.01	0.14	0.08	<0.01
							0.11	<0.01	0.15	0.08	<0.01
						35	0.08	<0.01	0.16	0.10	<0.01
							0.07	<0.01	0.15	0.10	<0.01
	Alturas(露地)	穀粒		296[EC]	2	21	0.09	<0.01	0.05	0.01	<0.01
							0.17	<0.01	0.05	0.01	<0.01
米国2015年	GA Gore(露地)	穀粒		302[EC]	2	21	0.08	<0.01	0.11	0.07	<0.01
							0.11	<0.01	0.13	0.07	<0.01
	TV8848(露地)	穀粒		302[EC]	2	21	0.02	<0.01	0.27	0.18	<0.01
							0.05	<0.01	0.23	0.17	<0.01
	Elgin(露地)	穀粒		303[EC]	2	21	0.12	<0.01	0.34	0.13	<0.01
							0.16	<0.01	0.35	0.13	<0.01
	Roane(露地)	穀粒		296[EC]	2	21	0.03	<0.01	0.26	0.06	<0.01
							0.03	<0.01	0.26	0.06	<0.01
							0.07	<0.01	0.26	0.05	<0.01
	LA841(露地)	穀粒		299[EC]	2	21	0.36	<0.01	0.73	0.24	<0.01
							0.17	NA	0.98	NA	NA

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
	Prosper(露地)	穀粒		295EC	2	20*	0.07	<0.01	0.34	0.09	<0.01
							0.07	<0.01	0.28	0.09	<0.01
	Divide(露地)	穀粒		303EC	2	21	0.09	<0.01	0.08	0.03	<0.01
							0.06	<0.01	0.08	0.03	<0.01
	TAM 113(露地)	穀粒		299EC	2	20*	0.04	<0.01	0.03	0.01	<0.01
							0.03	<0.01	0.03	0.01	<0.01
	TAM 111(露地)	穀粒		302EC	2	21	0.02	<0.01	0.06	0.02	<0.01
							0.02	<0.01	0.06	0.02	<0.01
	TAM 112(露地)	穀粒		300EC	2	21	0.02	<0.01	0.12	0.03	<0.01
							0.03	NA	NA	NA	NA
	LCS Wizard(露地)	穀粒		297EC	2	21	0.14	<0.01	0.08	0.02	<0.01
							0.10	NA	NA	NA	NA
							0.12	<0.01	0.11	0.02	<0.01
カナダ2015年	March-well(露地)	穀粒		303EC	2	21	0.10	<0.01	0.09	0.02	<0.01
							0.11	<0.01	0.10	0.02	<0.01
	AC Carber-ry(露地)	穀粒		295EC	2	21	0.09	<0.01	0.07	0.01	<0.01
							0.09	<0.01	0.07	0.01	<0.01
		穀粒		303EC	2	21	0.11	<0.01	0.09	0.02	<0.01
							0.12	NA	NA	NA	NA
	Cardale(露地)	穀粒		300EC	2	21	0.08	<0.01	0.60	0.22	<0.01
							0.10	<0.01	0.74	0.26	<0.01
	AC Vespar(露地)	穀粒		302EC	2	21	0.13	<0.01	0.35	0.11	<0.01
							0.08	NA	NA	NA	NA
	Harvest(露地)	穀粒		304EC	2	21	0.08	<0.01	0.07	0.02	<0.01
							0.09	NA	NA	NA	NA
	Cardale(露地)	穀粒		299EC	2	21	0.07	<0.01	0.07	0.02	<0.01
							0.08	NA	NA	NA	NA
	Brandon(露地)	穀粒		305EC	2	21	0.09	<0.01	0.23	0.06	<0.01
							0.10	NA	NA	NA	NA

EC：10%乳剤茎葉散布、NA:未分析又は試料なし
・農薬の使用時期（PHI）が、申請された使用方法から逸脱している場合は、該当箇所に*を付した。

作物名：大麦

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2014年	AC Mi-noa(露地)	穀粒	10	302EC	2	21	0.19	<0.01	0.14	0.09	<0.01
							0.21	<0.01	0.15	0.08	<0.01
	Robust(露地)	穀粒		303EC	2	0*	0.22	<0.01	0.62	0.14	0.02
							0.19	NA	0.58	NA	NA
						14*	<0.01	<0.01	0.63	0.15	0.02
							<0.01	NA	0.50	NA	NA
						21	<0.01	<0.01	0.62	0.15	0.02
							<0.01	NA	0.61	NA	NA
						28	<0.01	<0.01	0.62	0.14	0.02
							<0.01	NA	0.62	NA	NA
						35	<0.01	<0.01	0.62	0.15	0.02
							<0.01	NA	0.58	NA	NA
	Haybet(露地)	穀粒		300EC	2	21	0.38	<0.01	0.31	0.03	<0.01
							0.35	NA	NA	NA	NA
	Baron-ess(露地)	穀粒		307EC	2	21	0.27	<0.01	0.06	0.01	<0.01
							0.23	NA	NA	NA	NA
米国2015年	Helena barley(露地)	穀粒		301EC	2	21	0.84	<0.01	0.13	0.02	<0.01
							0.75	NA	NA	NA	NA
カナダ2015年	Newdale(露地)	穀粒		302EC	2	21	0.51	<0.01	0.24	0.06	<0.01
							0.45	<0.01	0.26	0.06	<0.01
	CDC Austen-son(露地)	穀粒		289EC	2	21	1.95	<0.01	0.62	0.17	<0.01
							1.39	<0.01	0.55	0.16	<0.01
		穀粒		303EC	2	21	0.65	<0.01	0.84	0.27	0.02
							0.77	<0.01	0.91	0.26	0.02
	Coaltion(露地)	穀粒		304EC	2	21	0.37	<0.01	0.12	0.04	<0.01
							0.31	<0.01	0.12	0.04	<0.01
	Conlon(露地)	穀粒		309EC	2	21	0.48	<0.01	0.77	0.19	<0.01
							0.64	<0.01	0.74	0.17	<0.01

EC：10%乳剤茎葉散布、NA:未分析又は試料なし
・農薬の使用時期（PHI）が、申請された使用方法から逸脱している場合は、該当箇所に*を付した。

作物名：飼料用とうもろこし

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2014年	232180(露地)	子実	20	302[EC]	2	21	<0.01	<0.01	0.21	<0.01	0.01
							<0.01	<0.01	0.19	<0.01	0.01
	Dekalb(露地)	子実		305[EC]	2	21	<0.01	<0.01	0.35	<0.01	0.09
							<0.01	<0.01	0.36	<0.01	0.09
	DEK 49-94RIB(露地)	子実		297[EC]	2	21	<0.01	<0.01	0.08	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.08	<0.01	<0.01
	DKC33-53RIBAF2(露地)	子実		297[EC]	2	21	<0.01	<0.01	0.14	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.14	<0.01	<0.01
	2Y188(露地)	子実		302[EC]	2	21	<0.01	<0.01	0.33	<0.01	0.05
							<0.01	<0.01	0.40	<0.01	0.05
	DKC 49-29 RIB(露地)	子実		300[EC]	2	21	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
	G96A69-3111(露地)	子実		295[EC]	2	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Pioneer P1105 AM(露地)	子実		298[EC]	2	20*	<0.01	<0.01	0.09	<0.01	0.02
							<0.01	<0.01	0.09	<0.01	0.02
	DKC 38-03 RIB(露地)	子実		304[EC]	2	21	<0.01	<0.01	0.13	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.14	<0.01	<0.01
	PO876 CHR(露地)	子実		300[EC]	2	21	<0.01	<0.01	0.33	<0.01	0.02
							<0.01	<0.01	0.30	<0.01	0.02
	DK 1431(露地)	子実		302[EC]	2	0*	<0.01	<0.01	0.07	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.07	<0.01	<0.01
						14*	<0.01	<0.01	0.09	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.09	<0.01	<0.01

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
						21	<0.01	<0.01	0.09	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.08	<0.01	<0.01
						28	<0.01	<0.01	0.09	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.08	<0.01	<0.01
						35	<0.01	<0.01	0.09	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.09	<0.01	<0.01
		子実		303[EC]	2	21	<0.01	<0.01	0.07	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.07	<0.01	<0.01
	Pioneer 9834 (露地)	子実		300[EC]	2	21	<0.01	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
	Pioneer P1498 AM (露地)	子実		303[EC]	2	21	<0.01	<0.01	0.07	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.08	<0.01	<0.01
	Pioneer P1360 HR (露地)	子実		302[EC]	2	21	<0.01	<0.01	0.09	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.09	<0.01	<0.01
	P1498 AM (露地)	子実		299[EC]	2	21	<0.01	<0.01	0.10	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.11	<0.01	<0.01
	RL8899 YHB (露地)	子実		298[EC]	2	22	<0.01	<0.01	0.16	<0.01	0.06
							<0.01	<0.01	0.18	<0.01	0.06
	Dekalb DKC63-87 (露地)	子実		301[EC]	2	21	<0.01	<0.01	0.12	<0.01	0.03
							<0.01	<0.01	0.14	<0.01	0.03
	DK 59-90 RIB (露地)	子実		299[EC]	2	19*	<0.01	<0.01	0.20	<0.01	0.01
							<0.01	<0.01	0.20	<0.01	0.02
	P1395 AM (露地)	子実		299[EC]	2	22	<0.01	<0.01	0.12	<0.01	0.03
							<0.01	<0.01	0.12	<0.01	0.03

EC：10%乳剤茎葉散布、
・農薬の使用時期（PHI）が、申請された使用方法から逸脱している場合は、該当箇所に*を付した。

作物名：ソルガム

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2014年	53-67(露地)	穀粒	9	298EC	2	22	0.49	<0.01	0.08	0.05	0.03
							0.34	<0.01	<0.01	0.05	0.05
	L655(露地)	穀粒		300EC	2	21	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.02
							<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.02
	85Y40(露地)	穀粒		303EC	2	21	0.46	<0.01	<0.01	0.02	0.02
							0.36	<0.01	<0.01	0.02	0.02
	M3838C(露地)	穀粒		300EC	2	21	0.27	0.02	0.04	0.10	0.10
							0.34	0.02	0.10	0.11	0.10
	DKS29-28(露地)	穀粒		302EC	2	21	0.76	<0.01	0.09	0.08	<0.01
							0.79	<0.01	0.11	0.10	<0.01
	DKS51-01(露地)	穀粒		311EC	2	21	0.22	<0.01	0.02	0.01	<0.01
							0.26	<0.01	0.02	0.02	<0.01
	A1005964(露地)	穀粒		300EC	2	21	0.56	<0.01	0.07	0.04	<0.01
							0.48	<0.01	0.08	0.04	<0.01
	DKS44-20(露地)	穀粒		296EC	2	21	0.18	<0.01	0.06	0.02	<0.01
							0.18	<0.01	0.05	0.02	<0.01
	H-390W(露地)	穀粒		302EC	2	0*	1.03	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							1.00	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
						14*	1.16	<0.01	0.02	0.01	<0.01
							1.25	<0.01	0.02	0.01	<0.01
						21	1.03	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							1.09	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
						28	1.22	<0.01	0.02	0.01	<0.01
							1.11	<0.01	0.02	0.01	<0.01
						35	1.18	<0.01	0.02	0.01	<0.01
							1.13	<0.01	0.02	0.01	<0.01

EC：10%乳剤茎葉散布

・農薬の使用時期（PHI）が、申請された使用方法から逸脱している場合は、該当箇所に*を付した。

作物名：スイートコーン

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2014年	BC-0805(露地)	子実	13	456EC	3	21	<0.01	<0.01	0.17	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.18	<0.01	<0.01
	Precious Gem(露地)	子実		449EC	3	21	<0.01	<0.01	0.15	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.15	<0.01	<0.01
	Passion Ⅱ(露地)	子実		448EC	3	20	<0.01	<0.01	0.30	<0.01	0.03
							<0.01	<0.01	0.30	<0.01	0.03
		子実		459EC	3	21	<0.01	<0.01	0.18	<0.01	0.02
							<0.01	<0.01	0.19	<0.01	0.03
	NK-199(露地)	子実		449EC	3	21	<0.01	<0.01	0.06	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.06	<0.01	<0.01
	Over-land(露地)	子実		454EC	3	21	<0.01	<0.01	0.08	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.09	<0.01	<0.01
	Ambro-sia(露地)	子実		449EC	3	21	<0.01	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
		子実		452EC	3	21	<0.01	<0.01	0.12	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.14	<0.01	<0.01
		子実		452EC	3	0*	<0.01	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
						14	<0.01	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
						21	<0.01	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
						28	<0.01	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
						35	<0.01	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
	276 A(露地)	子実		452EC	3	21	<0.01	<0.01	0.08	<0.01	<0.01
							0.02	<0.01	0.08	<0.01	<0.01
	Silver Queen(露地)	子実		449EC	3	21	<0.01	<0.01	0.11	<0.01	0.01
							<0.01	<0.01	0.11	<0.01	0.01

実施場所 (国) 実施年	品種 (栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
カナダ 2014 年	Honey and Cream (露地)	子実		480[EC]	3	21	<0.01	<0.01	0.08	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.08	<0.01	<0.01
カナダ 2015 年	Mirai 148-4 (露地)	子実		451[EC]	3	22	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01

EC：10%乳剤茎葉散布
分析部位：子実は全て穂軸付きが用いられた
・農薬の使用時期（PHI）が、申請された使用。方法から逸脱している場合は、該当箇所に*を付した。

作物名：大豆

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2014年	HBK 7028(露地)	子実	20	305EC	2	21	<0.01	<0.01	0.32	0.04	0.08
							0.01	<0.01	0.32	0.04	0.08
	Asgrow AG 7231(露地)	子実		304EC	2	21	0.10	<0.01	0.12	<0.01	0.01
							0.02	<0.01	0.12	0.01	0.01
	P95 Y70(露地)	子実		301EC	2	21	0.31	<0.01	0.36	<0.01	0.03
							0.30	<0.01	0.33	<0.01	0.02
		子実		301EC	2	21	<0.01	<0.01	0.03	0.02	0.02
							<0.01	<0.01	0.03	0.02	0.02
		子実		304EC	2	21	0.05	<0.01	0.15	<0.01	0.02
							0.04	<0.01	0.15	<0.01	0.02
	Terral Rev 56R63(露地)	子実		298EC	2	21	0.03	<0.01	0.27	0.02	0.03
							0.03	<0.01	0.26	0.02	0.03
	11R08 RR2Y(露地)	子実		309EC	2	21	<0.01	<0.01	0.09	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.10	<0.01	<0.01
	P05T 24R PC35(露地)	子実		305EC	2	21	<0.01	<0.01	0.03	0.02	0.01
							<0.01	<0.01	0.04	0.02	0.02
	SO2 M9(露地)	子実		305EC	2	0*	0.20	<0.01	0.43	0.03	0.06
							0.22	<0.01	NA	0.02	0.06
						7*	<0.01	<0.01	0.11	0.03	0.07
							<0.01	<0.01	0.13	0.03	0.08
						14*	0.01	<0.01	0.10	0.03	0.07
							<0.01	<0.01	0.12	0.03	0.08
						21	<0.01	<0.01	0.13	0.04	0.08
							<0.01	<0.01	0.12	0.03	0.08
						28	<0.01	<0.01	0.15	0.03	0.09
							<0.01	<0.01	0.16	0.03	0.09
	NT0090 RR(露地)	子実		302EC	2	21	<0.01	<0.01	0.03	<0.01	0.01
							<0.01	<0.01	0.03	<0.01	0.01

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
	92Y75(露地)	子実		299EC	2	0*	<0.01	<0.01	0.09	<0.01	<0.01
							0.02	<0.01	0.10	<0.01	<0.01
						7*	0.01	<0.01	0.14	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.14	<0.01	<0.01
						14*	<0.01	<0.01	0.12	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.10	<0.01	<0.01
						21	<0.01	<0.01	0.13	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.12	<0.01	<0.01
						28	<0.01	<0.01	0.13	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.13	<0.01	<0.01
		子実		301EC	2	21	<0.01	<0.01	0.03	<0.01	0.01
							<0.01	<0.01	0.04	<0.01	0.01
		子実		302EC	2	21	<0.01	<0.01	0.04	0.01	0.02
							<0.01	<0.01	0.04	0.01	0.02
	A1024341(露地)	子実		307EC	2	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	48E3 RR(露地)	子実		300EC	2	21	<0.01	<0.01	0.06	0.01	0.02
							<0.01	<0.01	0.06	0.01	0.02
	NK 584-P4(露地)	子実		298EC	2	21	<0.01	<0.01	0.05	0.02	0.03
							<0.01	<0.01	0.05	0.02	0.03
	5N479 R2(露地)	子実		299EC	2	21	<0.01	<0.01	0.07	0.07	0.06
							<0.01	<0.01	0.06	0.05	0.05
	HBK RY 4620(露地)	子実		306EC	2	21	<0.01	<0.01	0.09	<0.01	0.02
							<0.01	<0.01	0.08	<0.01	0.02
	P31T 11R(露地)	子実		298EC	2	21	0.01	<0.01	0.03	<0.01	0.02
							0.01	<0.01	0.03	<0.01	0.02
	不明(露地)	子実		299EC	2	21	<0.01	<0.01	0.06	0.04	0.06
							<0.01	<0.01	0.07	0.04	0.07

EC：10%乳剤茎葉散布、NA:未分析又は試料なし
・農薬の使用時期（PHI）が、申請された使用方法から逸脱している場合は、該当箇所に*を付した。

作物名：いんげんまめ

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2014年	CA Red Kidney(露地)	子実	10	452EC	3	21	<0.01	<0.01	0.16	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	NA	NA	NA
	Great north-ern(露地)	子実		451EC	3	21	0.02	<0.01	0.07	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	<0.01	NA	NA
	Taylor Pinto Bean(露地)	子実		461EC	3	21	<0.01	0.02	0.28	<0.01	<0.01
							0.02	NA	NA	NA	NA
	Red Kidney(露地)	子実		445EC	3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	NA	NA	NA
	Blue lake 274 bean(露地)	子実		458EC	3	21	<0.01	<0.01	0.10	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	NA	NA	NA
米国2015年	Pinto field bean(露地)	子実		452EC	3	21	<0.01	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	NA	NA	NA
	Pinto Ⅲ(露地)	子実		436EC	3	0*	0.03	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
							0.03	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
						7*	<0.01	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
						14*	<0.01	<0.01	0.09	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.11	<0.01	<0.01
						21	0.01	<0.01	0.19	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.07	<0.01	<0.01
						28	<0.01	<0.01	0.14	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.17	<0.01	<0.01
	Buster Pinto Bean(露地)	子実		452EC	3	21	<0.01	<0.01	0.10	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	NA	NA	NA

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
カナダ 2015 年	Wind-breaks (露地)	子実		451[EC]	3	21	0.03	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
							0.07	NA	NA	NA	NA
	Wind-breaker Pin-to Beans (露地)	子実		450[EC]	3	21	<0.01	<0.01	0.13	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	NA	NA	NA

EC：10%乳剤茎葉散布、NA:未分析又は試料なし

・農薬の使用時期（PHI）が、申請された使用方法から逸脱している場合は、該当箇所に*を付した。

作物名：未成熟いんげんまめ

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2014年	Carson(露地)	さや付き	6	452EC	3	21	<0.01	<0.01	0.07	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	0.09	NA	NA
	Caprice(露地)	さや付き		449EC	3	21	<0.01	<0.01	0.18	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	0.21	NA	NA
	Buffalo bean(露地)	さや付き		451EC	3	21	<0.01	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	0.04	NA	NA
	Bush blue lake(露地)	さや付き		456EC	3	21	<0.01	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	0.05	NA	NA
	Carson bush wax(露地)	さや付き		467EC	3	0*	0.02	<0.01	0.06	<0.01	<0.01
							0.02	<0.01	0.06	<0.01	<0.01
						7*	<0.01	<0.01	0.07	<0.01	<0.01
							0.04	<0.01	0.08	<0.01	<0.01
						14*	0.02	<0.01	0.07	<0.01	<0.01
							0.02	<0.01	0.06	<0.01	<0.01
						21	<0.01	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
							0.02	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
						28	0.03	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
							0.02	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
米国2015年	Blue lake 274 bean(露地)	さや付き		456EC	3	21	<0.01	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	0.03	NA	NA
	Jackson Wonder Lima bean(露地)	さやなし		456EC	3	21	<0.01	<0.01	0.92	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.09	<0.01	<0.01
		さやな		449EC	3	21	<0.01	<0.01	0.26	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.31	<0.01	<0.01

実施場所 (国) 実施年	品種 (栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
		し									
		さやなし		451[EC]	3	0*	<0.01	<0.01	1.10	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	1.09	<0.01	<0.01
						7*	<0.01	0.02	0.66	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.92	<0.01	0.02
						14*	<0.01	<0.01	0.62	<0.01	0.01
							<0.01	<0.01	1.09	<0.01	0.02
						21	<0.01	<0.01	1.34	<0.01	0.01
							<0.01	<0.01	1.32	<0.01	0.02
						28	<0.01	<0.01	1.30	<0.01	0.04
							<0.01	<0.01	1.14	0.01	0.04
	Ford-hook 242 Bush Beans (露地)	さやなし		449[EC]	3	21	0.02	<0.01	0.11	<0.01	<0.01
							0.01	<0.01	0.13	<0.01	<0.01
	Roma (露地)	さやなし		445[EC]	3	21	<0.01	<0.01	0.06	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.06	<0.01	<0.01
	King-stonGreen Baby Li-ma (露地)	さやなし		451[EC]	3	21	<0.01	<0.01	0.11	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.13	<0.01	<0.01

EC：10%乳剤茎葉散布、NA:未分析又は試料なし

・農薬の使用時期（PHI）が、申請された使用方法から逸脱している場合は、該当箇所に*を付した。

作物名：えんどう

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2014年	4010 Forage Pea(露地)	子実	8	460EC	3	21	0.02	<0.01	0.99	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	1.01	NA	NA
	954-Genie(露地)	子実		450EC	3	21	0.08	<0.01	2.16	<0.01	0.05
							0.10	NA	2.42	NA	NA
米国2015年	Oregon Trail Peas(露地)	子実		449EC	3	21	0.01	<0.01	3.82	<0.01	0.04
							0.01	NA	3.60	NA	NA
	Aus-trian Winter Peas(露地)	子実		451EC	3	21	0.02	<0.01	1.80	<0.01	0.02
							0.02	NA	1.74	NA	NA
	Ban-ner peas(露地)	子実		455EC	3	0*	0.02	<0.01	1.34	<0.01	<0.01
							0.02	<0.01	1.30	<0.01	<0.01
						7*	<0.01	<0.01	1.74	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	1.70	<0.01	<0.01
						14*	<0.01	<0.01	1.74	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	1.79	<0.01	<0.01
						21	<0.01	<0.01	2.03	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	1.79	<0.01	<0.01
						28	<0.01	<0.01	1.53	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	1.66	<0.01	<0.01
	Col-um-bia(露地)	子実		453EC	3	21	0.01	<0.01	1.80	<0.01	0.02
							0.01	NA	1.74	NA	NA
カナダ2015年	Mead-ow peas(露地)	子実		455EC	3	21	0.02	<0.01	1.59	<0.01	<0.01
							0.02	NA	1.70	NA	NA
	Treas-ure Peas(露地)	子実		451EC	3	21	0.01	<0.01	0.90	<0.01	0.02
							0.01	<0.01	0.94	<0.01	0.02

EC：10%乳剤茎葉散布、NA:未分析又は試料なし
・農薬の使用時期（PHI）が、申請された使用方法から逸脱している場合は、該当箇所に*を付した。

作物名：未成熟えんどう

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2014年	Knight(露地)	さやなし	9	454[EC]	3	21	<0.01	<0.01	1.12	<0.01	0.02
							<0.01	NA	0.73	NA	NA
		さや付き				21	<0.01	<0.01	0.86	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	0.81	NA	NA
		さやなし		457[EC]	3	21	<0.01	<0.01	0.39	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	0.76	NA	NA
		さや付き				21	<0.01	<0.01	0.38	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	NA	NA	NA
	Oregon Sugar Pod Ⅱ(露地)	さやなし		454[EC]	3	21	<0.01	<0.01	1.36	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	1.32	NA	NA
		さや付き				21	<0.01	<0.01	0.53	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	0.44	NA	NA
	Alaska Garden Pea(露地)	さやなし		459[EC]	3	21	<0.01	<0.01	0.71	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	0.85	NA	NA
		さや付き				21	0.02	<0.01	0.53	<0.01	<0.01
							0.03	NA	0.68	NA	NA
米国2015年	Wando Pea(露地)	さやなし		444[EC]	3	21	<0.01	<0.01	0.69	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	0.72	NA	NA
		さや付き				21	<0.01	<0.01	0.33	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	NA	NA	NA

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
	Naches pea(露地)	さやなし		451[EC]	3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	0.24	NA	NA
		さや付き				21	<0.01	<0.01	0.29	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	NA	NA	NA
	Super sugar snap(露地)	さやなし		448[EC]	3	0*	0.04	<0.01	0.33	<0.01	<0.01
							0.07	<0.01	0.28	<0.01	<0.01
						7*	<0.01	<0.01	0.36	<0.01	<0.01
							0.02	<0.01	0.34	<0.01	<0.01
						14*	<0.01	<0.01	0.32	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.34	<0.01	<0.01
						21	<0.01	<0.01	0.22	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.24	<0.01	<0.01
						28	<0.01	<0.01	0.29	<0.01	<0.01
							NA	NA	NA	NA	NA
		さや付き				0*	0.98	<0.01	0.17	<0.01	<0.01
							1. 29	<0.01	0.14	<0.01	<0.01
						7*	0.41	<0.01	0.13	<0.01	<0.01
							0.18	<0.01	0.13	<0.01	<0.01
						14*	0.23	<0.01	0.12	<0.01	<0.01
							0.07	<0.01	0.12	<0.01	<0.01
						21	0.10	<0.01	0.11	<0.01	<0.01
							0.05	<0.01	0.11	<0.01	<0.01
						28	0.04	<0.01	0.10	<0.01	<0.01
							0.06	<0.01	0.10	<0.01	<0.01
カナダ 2015 年	Home-steader peas(露地)	さやなし		456[EC]	3	21	<0.01	<0.01	0.80	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.96	<0.01	<0.01

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
		さや付き				21	0.02	<0.01	0.69	<0.01	<0.01
							0.02	NA	0.53	NA	NA
	Mr. Big (露地)	さやなし		453[EC]		21	<0.01	<0.01	0.37	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.36	<0.01	<0.01
		さや付き				21	0.02	<0.01	0.15	<0.01	<0.01
							0.03	NA	NA	NA	NA

EC：10%乳剤茎葉散布、NA:未分析又は試料なし

・農薬の使用時期（PHI）が、申請された使用方法から逸脱している場合は、該当箇所に*を付した。

作物名：レンズ豆

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
カナダ2015年	CDC Imvincible(露地)	子実	3	449EC	3	0*	0.97	<0.01	0.71	<0.01	0.01
							1.22	<0.01	0.55	<0.01	0.01
						7*	0.91	<0.01	0.69	<0.01	0.02
							0.93	<0.01	0.64	<0.01	0.01
						14*	1.43	<0.01	0.78	<0.01	0.02
							0.85	<0.01	0.88	<0.01	0.02
						21	0.70	<0.01	0.58	<0.01	<0.01
							0.65	<0.01	0.76	<0.01	0.01
						28	0.48	<0.01	0.80	<0.01	0.02
							0.61	<0.01	0.90	<0.01	0.02
		子実		447EC	3	21	0.13	<0.01	0.78	<0.01	<0.01
							0.14	<0.01	1.01	<0.01	0.01
米国2015年	不明(露地)	子実		453EC	3	21	0.06	<0.01	2.16	0.01	0.03
							0.06	<0.01	2.44	0.01	0.04

EC：10%乳剤茎葉散布

・農薬の使用時期（PHI）が、申請された使用方法から逸脱している場合は、該当箇所に*を付した。

作物名：らっかせい

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2014年	Bailey(露地)	子実	12	598EC	3	14	<0.01	<0.01	0.30	<0.01	0.03
							<0.01	<0.01	0.27	<0.01	0.03
	Georgia 06G(露地)	子実		600EC	3	14	<0.01	<0.01	<0.25	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	8.88	0.18	0.90
				601EC	3	14	<0.01	<0.01	4.37	0.17	0.48
							<0.01	<0.01	3.99	0.16	0.44
				600EC	3	13*	<0.01	<0.01	3.46	0.126	0.44
							<0.01	<0.01	4.45	0.122	0.56
				593EC	3	14	<0.01	<0.01	0.40	<0.01	0.08
							<0.01	<0.01	0.33	0.010	0.07
				597EC	3	14	<0.01	<0.01	0.19	<0.01	0.04
							<0.01	<0.01	0.24	<0.01	0.04
				596EC	3	8*	<0.01	<0.01	3.38	0.04	0.33
							0.01	<0.01	3.90	0.04	0.37
						10*	<0.01	<0.01	3.66	0.05	0.36
							<0.01	<0.01	3.81	0.04	0.35
						14	<0.01	<0.01	3.28	0.04	0.34
							<0.01	<0.01	3.30	0.04	0.36
						17	<0.01	<0.01	3.79	0.05	0.41
							<0.01	<0.01	3.25	0.04	0.363
						22	<0.01	<0.01	3.53	0.05	0.42
							<0.01	<0.01	3.65	0.041	0.45
	Georgia 09B(露地)	子実		599EC	3	14	<0.01	<0.01	0.46	<0.01	0.23
							<0.01	<0.01	0.49	<0.01	0.21
		子実		593EC	3	14	<0.01	<0.01	<0.25	<0.01	0.05
							<0.01	<0.01	<0.25	<0.01	0.05
	Georgia 09G(露地)	子実		597EC	3	14	<0.01	<0.01	1.32	0.02	0.13
							<0.01	<0.01	1.48	0.03	0.16

実施場所 (国) 実施年	品種 (栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
	Tam-nut OL06 (露地)	子実		587[EC]	3	15	<0.01	<0.01	0.70	<0.01	0.06
							<0.01	<0.01	0.55	<0.01	0.06
	ACI149 (露地)	子実		588[EC]	3	14	<0.01	<0.01	<0.25	<0.01	0.12
							<0.01	<0.01	<0.25	<0.01	0.12

EC：10%乳剤茎葉散布

・農薬の使用時期（PHI）が、申請された使用方法から逸脱している場合は、該当箇所に*を付した。

作物名：ばれいしょ

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国 2015 年	Dark Red Nor-land (露地)	塊茎	20	464EC	3	7	<0.01	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	NA	NA	NA
	Reba (露地)	塊茎		454EC	3	0*	<0.01	<0.01	0.10	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	NA	NA	NA
						3*	<0.01	<0.01	0.18	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	NA	NA	NA
						6*	<0.01	<0.01	0.11	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	NA	NA	NA
						10	<0.01	<0.01	0.13	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	NA	NA	NA
						14	<0.01	<0.01	0.15	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	NA	NA	NA
	Wa-neta (露地)	塊茎		467EC	3	7	<0.01	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	NA	NA	NA
	Red Nor-land (露地)	塊茎		451EC	3	7	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	NA	NA	NA
	Yukon Gold (露地)	塊茎		454EC	3	7	<0.01	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	NA	NA	NA
		塊茎		455EC	3	7	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	NA	NA	NA
	Red Pon-tiac (露地)	塊茎		448EC	3	7	<0.01	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	NA	NA	NA
		塊茎		449EC	3	7	<0.01	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	NA	NA	NA
	Elkton (露地)	塊茎		447EC	3	7	<0.01	<0.01	0.23	<0.01	0.03
							<0.01	NA	NA	NA	NA
	Kenne beck	塊茎		442EC	3	7	<0.01	<0.01	0.11	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	NA	NA	NA

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
	(露地)	塊茎		458EC	3	0*	0.02	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							0.03	NA	NA	NA	NA
						3*	0.02	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
							0.01	NA	NA	NA	NA
						7	0.02	<0.01	0.09	<0.01	<0.01
							0.01	NA	NA	NA	NA
						10	0.01	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
							0.03	NA	NA	NA	NA
						14	0.03	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
							0.05	NA	NA	NA	NA
	Atlantic (露地)	塊茎		452EC	3	7	<0.01	<0.01	0.07	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	NA	NA	NA
		塊茎		454EC	3	7	<0.01	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	NA	NA	NA
	Contennial Russet (露地)	塊茎		457EC	3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	NA	NA	NA
	Red La Soda (露地)	塊茎		448EC	3	7	<0.01	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	NA	NA	NA
	Russet Burbank (露地)	塊茎		451EC	3	6*	<0.01	<0.01	0.07	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	NA	NA	NA
	Standard Russet Norkotah (露地)	塊茎		454EC	3	6*	<0.01	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	NA	NA	NA
カナダ 2015 年	Wisconsin Norland (露地)	塊茎		455EC	3	6*	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	NA	NA	NA
	Russet Burbank (露地)	塊茎		449EC	3	7	<0.01	<0.01	0.17	<0.01	<0.01
							<0.01	NA	NA	NA	NA

EC：10%フロアブル剤茎葉散布、NA:未分析又は試料なし
・農薬の使用時期（PHI）が、申請された使用方法から逸脱している場合は、該当箇所に*を付した。

作物名：てんさい

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2014年	不明(露地)	塊根	13	300EC	2	14*	0.58	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.57	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						21	0.40	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.40	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						28	0.17	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.37	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		塊根		318EC	2	14*	0.09	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.06	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
						21	0.05	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.06	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
						28	0.03	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		塊根		299EC	2	21	0.03	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.02	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
	48607 TT(露地)	塊根		303EC	2	21	0.02	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
		塊根		307EC	2	21	0.04	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.05	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
		塊根		300EC	2	21	0.09	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							0.09	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
		塊根		299EC	2	21	0.32	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.23	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
	Phoe-nix(露地)	塊根		299EC	2	21	0.08	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							0.07	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
	Beta 2028(露地)	塊根		302EC	2	21	0.04	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.04	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
米国2015年	SX1521WRR(露地)	塊根		298EC	2	21	0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.06	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
カナダ2015	47RR75(露地)	塊根		307EC	2	21	0.03	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

実施場所 (国) 実施年 年	品種 (栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
	9103 RR (露地)	塊根		306[EC]	2	21	0.15	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							0.15	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
		塊根		299[EC]	2	21	0.11	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
							0.13	<0.01	0.05	<0.01	<0.01

EC：10%乳剤茎葉散布

・農薬の使用時期（PHI）が、申請された使用方法から逸脱している場合は、該当箇所に*を付した。

作物名：さとうきび

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国 2017年 2018年	2143 (露地)	果実	8	151[EC]	2	14	0.37	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.38	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	CPCL 00-4111 (露地)			153～155[EC]			1.67[a]	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.27[a]	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	CP 961252 (露地)			146～152[EC]			0.42	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.41	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	HoCP 96-540 (露地)			157～161[EC]			0.33	<0.01	0.017	<0.01	<0.01
							0.39	<0.01	0.014	<0.01	<0.01
	L01-299 (露地)			157～168[EC]		13	0.13[a]	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.82[a]	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	540 (露地)			151～155[EC]		4*	0.13[a]	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							1.05[a]	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						9*	0.25	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.40	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						14	0.24	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.37	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						19	0.06	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.09	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						24	0.10	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.12	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	3388 (露地)			148～153[EC]		14	0.25	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.25	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	7052 (露地)			149～153[EC]			0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

EC：100 g ai/L 乳剤茎葉散布
・農薬の使用時期（PHI）が、申請された使用方法から逸脱している場合は、該当箇所に*を付した。

作物名：にんじん

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2016年	Caracas(露地)	根	5	150EC	3	7	0.24	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.19	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
	Danvers 126(露地)			154～158EC			0.13	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.16	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Nantindo(露地)			149～156EC		6*	0.17	<0.01	0.08	<0.01	<0.01
							0.14	<0.01	0.07	<0.01	<0.01
	Caracas(露地)			149～152EC		7	0.12	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.12	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
	Imperator(露地)			150～151EC			0.11	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.09	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
米国2017年	CA 25(露地)		1	149～151EC			<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
米国2016年	Red Cored Chantenay(露地)		5	150～152EC			<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
	Romance F1(露地)			147～155EC			0.12	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.10	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Danvers(露地)			150～154EC			0.08	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Nelson(露地)			150～155EC			0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Scarlet Nantes/ Red Cored Chantenay(露地)			152～155EC		3*	0.22	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							0.24	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
						5*	0.21	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							0.19	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
						7	0.23	<0.01	0.01	<0.01	<0.01

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
							0.20	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
						10	0.22	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.22	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
						14	0.24	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.23	<0.01	0.02	<0.01	<0.01

EC：100 g ai/L 乳剤茎葉散布
LOD = 0.002 mg/kg; LOQ = 0.01 mg/kg
・農薬の使用時期（PHI）が、申請された使用方法から逸脱している場合は、該当箇所に*を付した。

作物名：ラディッシュ

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2016年	Crunchy Royal(露地)	葉	7	150～151EC	3	7	2.9	<0.01	<0.01	<0.01	0.01
							3.6	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
		根					0.03	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							0.04	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
		葉		149～150EC			8.5	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							7.4	<0.01	0.01	<0.01	0.010
		根					0.05	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
	Early Scarlot Globe(露地)	葉		141～149EC			5.0	<0.01	<0.01	<0.01	0.01
							4.8	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
		根					0.14	<0.01	0.07	<0.01	<0.01
							0.12	<0.01	0.08	<0.01	<0.01
	Sparkler White Tip(露地)	葉		150～155EC		8	3.2	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
							3.2	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
		根					0.10	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.12	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
	Cherry Bell(露地)	葉		147～154EC		7	1.1	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							1.1	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
		根					0.07	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.09	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
	Rudolf OG(露地)	葉		148～150EC			4.9	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							5.3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		根					0.36	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							0.40	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
	Celesta(露地)	葉		150～154EC		3*	0.39	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.38	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		根					<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
		葉				5*	0.30	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.35	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		根					<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		葉				7	0.37	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.37	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		根					<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		葉				10	0.36	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.38	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		根					<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		葉				14	0.26	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.34	<0.01	0.011	<0.01	<0.01
		根					<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

EC：100 g ai/L 乳剤茎葉散布

・農薬の使用時期（PHI）が、申請された使用方法から逸脱している場合は、該当箇所に*を付した。

作物名：かぶ

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2016年	Purple Top(露地)	葉	5	149～155EC	3	7	3.2	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							3.1	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
	Purple Top White Globe OG(露地)			150～155EC			6.9	<0.01	0.05	<0.01	0.02
							7.2	<0.01	0.06	<0.01	0.02
	Purple Top(露地)			150～152EC			7.6	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							6.9	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
	Purple Top(露地)			150～152EC			5.7	<0.01	0.04	<0.01	0.03
							5.5	<0.01	0.04	<0.01	0.03
	Purple Top(露地)			149～152EC		3*	8.8	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							7.9	<0.01	0.06	<0.01	<0.01
						5*	9.1	<0.01	0.07	<0.01	0.01
							12	<0.01	0.07	<0.01	0.01
						7	9.0	<0.01	0.07	<0.01	0.01
							11	<0.01	0.08	<0.01	0.02
						10	9.0	<0.01	0.07	<0.01	0.02
							9.1	<0.01	0.08	<0.01	0.02
						14	5.8	<0.01	0.09	<0.01	0.03
							6.7	<0.01	0.09	<0.01	0.03

EC：100 g ai/L 乳剤茎葉散布

・農薬の使用時期（PHI）が、申請された使用方法から逸脱している場合は、該当箇所に*を付した。

作物名：たまねぎ

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2016年	Stuttgarter(露地)	鱗茎	13	152～157SC	3	7	0.10	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
							0.08	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
	Ringmaster(露地)			151～155SC		7	0.10	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.11	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
	Red Candy Apple(露地)			153～154SC		6*	0.03	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.04	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
	White Sweet Spanish(露地)			145～153SC		7	0.06	<0.01	0.09	<0.01	<0.01
							0.04	<0.01	0.08	<0.01	<0.01
	Safrane(露地)			147～156SC		8	0.07	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.11	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
	Yellow(露地)			156SC		0*	0.15	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							0.13	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
						3*	0.19	<0.01	0.06	<0.01	<0.01
							0.07	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
						7	0.08	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
							0.14	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
						10	0.07	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
							0.07	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
						15	0.06	<0.01	0.06	<0.01	<0.01
							0.04	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
	Dixondale Candies(露地)			149～153SC		8	0.11	<0.01	0.09	<0.01	<0.01
							0.08	<0.01	0.09	<0.01	<0.01

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
	White Bermuda(露地)			149～151SC		7	0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
	Marenge(露地)			150～153SC		7	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Candy Case(露地)			150～152SC		7	<0.01	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
	Nunhems Vaquero(露地)			144～155SC		8	0.03	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Sedona(露地)			152～154SC		7	0.06	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Vaquero(露地)			151～156SC		7	0.04	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
							0.03	<0.01	0.04	<0.01	<0.01

SC：100 g ai/L フロアブル剤茎葉散布

・農薬の使用時期（PHI）が、申請された使用方法から逸脱している場合は、該当箇所に*を付した。

作物名：ねぎ

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2016年	Feast(露地)	全体	5	154～156SC	3	7	0.29	<0.01	0.03	<0.01	0.04
							0.27	<0.01	0.03	<0.01	0.03
	Ring-master(露地)			147～195SC			0.40	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.43	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
	White Spear(露地)			148～150SC			2.2	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							1.9	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Super Star Case(露地)			149～151SC		0*	1.7	<0.01	0.07	<0.01	0.05
							1.5	<0.01	0.07	<0.01	0.05
						3*	0.96	<0.01	0.08	<0.01	0.07
							1.3	<0.01	0.09	<0.01	0.06
						7	0.47	<0.01	0.07	<0.01	0.07
							0.31	<0.01	0.07	<0.01	0.07
						10	0.14	<0.01	0.06	<0.01	0.06
							0.23	<0.01	0.07	<0.01	0.04
						14	0.15	<0.01	0.05	<0.01	0.05
							0.14	<0.01	0.05	<0.01	0.07
	Parade(露地)			147～195SC		7	0.12	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							0.10	<0.01	0.04	<0.01	0.01

SC：100 g ai/L フロアブル剤茎葉散布

・農薬の使用時期（PHI）が、申請された使用方法から逸脱している場合は、該当箇所に*を付した。

作物名：結球レタス

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2018年	Butter-head(露地)	外葉付き	8	155～157SC	3	0	1.6	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							2.5	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		外葉無し					1.5	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							1.6	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Deuce(露地)	外葉付き		147～152SC			0.20	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.44	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		外葉無し					<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
	Regency(露地)	外葉付き		151～152SC			1.3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							1.7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		外葉無し					0.13	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		外葉付き		150～154SC			0.77	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							1.0	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		外葉無し					0.06	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		外葉付き		150～151SC		0	1.9	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							2.4	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						3	1.8	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							1.3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

実施場所 (国) 実施年	品種 (栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
						5	0.79	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.95	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						7	1.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							1.2	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						10	1.4	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							1.3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Vanden-berg (露地)	外葉付き		151 ～ 154[SC]		0	1.6	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.96	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				149[SC]			0.35	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.19	<0.01	0.010	<0.01	<0.01
	Great Lakes 659 (露地)	外葉付き		149 ～ 150[SC]			0.09	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.15	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

SC：400 g ai/L フロアブル剤茎葉散布

作物名：非結球レタス

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2018年	Summer Star(露地)	茎葉	8	152～159SC	3	0	3.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							2.9	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Batavian Bergam's Green(露地)			149～152SC			8.3	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
							4.4	<0.01	<0.01	<0.01	0.01
	Green Star(露地)			149～152SC			4.4	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							4.4	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Starfighter(露地)			149～151SC			4.3	<0.01	<0.01	<0.01	0.01
							4.1	<0.01	<0.01	<0.01	0.01
				148～154SC			2.8	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							2.0	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Romaine(露地)			149SC			2.1	<0.01	<0.01	<0.01	0.03
							2.4	<0.01	<0.01	<0.01	0.03
	Red Salad Bowl(露地)			149～150SC			7.0	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
							7.4	<0.01	0.01	<0.01	0.03
	Big Star(露地)			151～152SC			2.8	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
							2.5	<0.01	<0.01	<0.01	0.01

SC：400 g ai/L フロアブル剤茎葉散布

作物名：ほうれんそう

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2018年	Bloomsdale Long Standing(露地)	茎葉	8	148～152SC	3	0	13	<0.01	0.01	<0.01	0.01
							11	<0.01	0.01	<0.01	0.01
	SV3580(露地)			148～155SC			5.3	<0.01	0.03	<0.01	0.02
							5.0	<0.01	0.03	<0.01	0.02
	Hybrid Savoyed Spinach Emperor F1(露地)			151～152SC			18	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							16	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
	Bloomsdale Long Standing(露地)			150～155SC			12	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							12	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Bloomsdale(露地)			150～151SC		0	12	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							10	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						3	8.5	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							7.2	<0.01	<0.01	<0.01	0.01
						5	9.2	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							9.8	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
						6	7.9	<0.01	0.02	<0.01	0.01
							7.6	<0.01	0.01	<0.01	0.011
						9	8.0	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							6.0	<0.01	0.01	<0.01	0.01
	Shasta(露地)			149～156SC		0	3.7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							3.8	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Bloomsdale(露地)			150～151SC			4.6	<0.01	0.02	<0.01	0.02
							4.6	<0.01	0.02	<0.01	0.02

実施場所 (国) 実施年	品種 (栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
	Racoon (露地)			151 ～ 154[SC]			6.2	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							3.5	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

SC：400 g ai/L フロアブル剤茎葉散布

作物名：マスタードグリーン

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2018年	Southern Giant Curled(露地)	茎葉	4	149～156[SC]	3	0	12	<0.01	0.07	<0.01	0.01
							12	<0.01	0.09	<0.01	0.01
	Florida Broad-leaf(露地)			149～150[SC]			5.3	<0.01	0.07	<0.01	<0.01
							4.7	<0.01	0.07	<0.01	<0.01
	Savanna(露地)			143～149[SC]			3.9	<0.01	0.13	<0.01	<0.01
							4.3	<0.01	0.15	<0.01	<0.01
	Florida Broad-leaf(露地)			150～151[SC]			7.9	<0.01	0.06	<0.01	0.01
							8.6	<0.01	0.05	<0.01	0.01

SC：400 g ai/L フロアブル剤茎葉散布

作物名：チェリートマト

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2016年	Super-sweet 100(露地)	果実	3	127～148EC	3	0	0.36	<0.01	0.03	<0.01	0.04
							0.37	<0.01	0.04	<0.01	0.05
	Tami G(露地)			148～150EC			0.15	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							0.11	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Naomi(露地)			146～147EC			0.45	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.36	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						3	0.35	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.27	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						5	0.30	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.36	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						7	0.22	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.31	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						10	0.20	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

EC：100 g ai/L 乳剤茎葉散布

作物名：トマト

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2016年	POLBIG F1(露地)	果実	16	155～157EC	3	0	0.18	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.11	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
	Red Bounty(露地)			155～157EC			0.13	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
							0.16	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
	Celebrity(露地)			155～157EC			0.19	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.11	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Red Beauty(露地)			155～157EC			0.27	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.23	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
	Super Fantastic(露地)			155～157EC			0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.03	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Mountain Spring(露地)			155～157EC			0.07	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
							0.03	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
	Celebrity(露地)			155～157EC			0.21	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.17	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
	Brush Early Girl(露地)			155～157EC			0.10	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.12	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
	Roma(露地)			155～157EC			0.10	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.09	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	BHN 594(露地)			155～157EC			0.10	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.06	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Big Beef(露地)			155～157EC			0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Celebrity F1(露地)			155～157EC			0.04	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Quality(露地)			155～157EC			0.21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.13	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
	Ace(露地)			155～157[EC]			0.11	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.07	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	SUN 6366(露地)			155～157[EC]			0.50	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							0.25	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
	HM 3884(露地)			155～157[EC]			0.24	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.21	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
						3	0.09	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.07	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
						5	0.07	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.06	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
						7	0.06	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.07	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
						10	0.04	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							0.08	<0.01	0.01	<0.01	<0.01

EC：100 g ai/L 乳剤茎葉散布

作物名：ピーマン

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2016年	Green Pepper(露地)	果実	9	152～153EC	3	0	0.21	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							0.20	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
	Alle-glance(露地)			151～152EC			0.05	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							0.05	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
	Double-up(露地)			150～153EC			0.07	<0.01	0.06	<0.01	<0.01
							0.06	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
	Excur-sion(露地)			150～153EC			0.05	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							0.04	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
	Revelu-tion(露地)			150～153EC			0.23	<0.01	0.08	<0.01	<0.01
							0.21	<0.01	0.08	<0.01	<0.01
	California Wonder(露地)			154～155EC			0.47	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.39	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
	Cypress(露地)			153EC			0.34	<0.01	0.06	<0.01	<0.01
							0.26	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
	Lady Bell(露地)			152～156EC			0.84	<0.01	0.10	<0.01	<0.01
							0.62	<0.01	0.09	<0.01	<0.01
	California Wonder(露地)			151～152EC			0.06	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
							0.07	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
						3	0.09	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							0.03	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
						5	0.04	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							0.05	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
						7	0.03	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
							0.04	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
						10	0.02	<0.01	0.07	<0.01	<0.01
							0.03	<0.01	0.05	<0.01	<0.01

EC：100 g ai/L 乳剤茎葉散布

作物名：トウガラシ

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2016年	Mucho Macho(露地)	果実	3	150～153EC	3	0	0.26	<0.01	0.12	<0.01	0.02
							0.27	<0.01	0.12	<0.01	0.02
	Chingon(露地)			151～152EC			0.90	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
							0.31	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
	TAM(露地)			150～154EC			0.15	<0.01	0.05	<0.01	0.01
							0.23	<0.01	0.05	<0.01	0.01
						3	0.25	<0.01	0.06	<0.01	0.01
							0.23	<0.01	0.06	<0.01	0.01
						5	0.19	<0.01	0.06	<0.01	0.01
							0.17	<0.01	0.07	<0.01	0.01
						7	0.23	<0.01	0.06	<0.01	0.01
							0.18	<0.01	0.07	<0.01	0.01
						10	0.21	<0.01	0.07	<0.01	0.01
							0.15	<0.01	0.07	<0.01	0.01

EC：100 g ai/L 乳剤茎葉散布

作物名：きゅうり

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2016年	Space Master(露地)	果実	9	148～149SC	3	0	0.03	<0.01	0.10	<0.01	<0.01
							0.02	<0.01	0.12	<0.01	<0.01
	SV4719 CS F1(露地)			149～154SC			0.04	<0.01	0.11	<0.01	<0.01
							0.03	<0.01	0.16	<0.01	<0.01
	Park's Select Slicer(露地)			149～151SC			0.12	<0.01	0.12	<0.01	0.010
							0.07	<0.01	0.15	<0.01	0.01
	Marketmore 76(露地)			149～150SC			0.03	<0.01	0.07	<0.01	<0.01
							0.01	<0.01	0.09	<0.01	<0.01
				150～152SC			0.02	<0.01	0.10	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.12	<0.01	<0.01
	Stonewall G4 F1(露地)			150～152SC			0.02	<0.01	0.11	<0.01	<0.01
							0.03	<0.01	0.13	<0.01	<0.01
	Poinsett 76(露地)			149～150SC			0.04	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.04	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
	Kirby(露地)			155～157SC			0.02	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							0.04	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
	Lancer 152(露地)			150～152SC			0.03	<0.01	0.16	<0.01	<0.01
							0.03	<0.01	0.28	<0.01	<0.01
						3	0.02	<0.01	0.19	<0.01	<0.01
							0.02	<0.01	0.20	<0.01	<0.01
						7	<0.01	<0.01	0.29	<0.01	0.01
							<0.01	<0.01	0.25	<0.01	0.01
						10	<0.01	<0.01	0.24	<0.01	0.01
							<0.01	<0.01	0.24	<0.01	0.01

SC：400 g ai/L フロアブル剤茎葉散布

作物名：サマースカッシュ

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2016年	Multipik F1(露地)	果実	8	152～153SC	3	0	0.04	<0.01	0.11	<0.01	0.01
							0.06	<0.01	0.11	<0.01	0.02
	Early Prolific Straight neck(露地)			150～151SC			0.04	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							0.05	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
	Early Summer Crook neck(露地)			149～152SC			0.09	<0.01	0.06	<0.01	<0.01
							0.08	<0.01	0.06	<0.01	<0.01
	Yellow Crook neck OG(露地)			150～151SC			0.05	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
							0.04	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
	Spineless Beauty(露地)			149～151SC			0.09	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.09	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
	Black Beauty(露地)			150～152SC			0.04	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.04	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
	Scallop, Early White Bush, Patty Pan(露地)			151～155SC			<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
	Early Prolific Straight neck(露地)			149～150SC			<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						3	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.02	<0.01	0.01
						7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
							<0.01	<0.01	0.01	<0.01	0.04

実施場所 (国) 実施年	品種 (栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
						10	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	0.02
							<0.01	<0.01	0.03	<0.01	0.02

SC：400 g ai/L フロアブル剤茎葉散布

作物名：マスクメロン

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2016年	Athena(露地)	果実	8	150～151SC	3	0	0.15	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							0.17	<0.01	0.05	<0.01	0.01
	Hales Best(露地)			149～150SC			0.13	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.08	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Earli-champ F1(露地)			149～152SC			0.20	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
							0.23	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
	Athena(露地)			150～152SC			0.12	<0.01	0.05	<0.01	0.02
							0.09	<0.01	0.05	<0.01	0.02
	Primo(露地)			146～151SC			0.11	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.11	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Hale's Best Jumbo(露地)			150～151SC			0.13	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
							0.16	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
				148～151SC			0.27[a]	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.15[a]	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
				151～154SC			0.15	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.18	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						3	0.17	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						7	0.09	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							0.07	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						10	0.13	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							0.09	<0.01	0.01	<0.01	<0.01

SC：400 g ai/L フロアブル剤茎葉散布

[a]：同じ試料の複数回分析による平均

作物名：オレンジ

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国 2016 年	Valencia (露地)	果実	12	460[EC]	3	0	0.15	<0.01	0.13	0.01	0.03
							0.13	<0.01	0.12	0.01	0.03
				460[EC]		0	0.18	<0.01	0.10	0.01	0.03
							0.16	<0.01	0.10	0.01	0.03
		果実		459[EC]	3	0	0.17	<0.01	0.04	<0.01	0.01
							0.13	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
				462[EC]		0	0.16	<0.01	0.05	<0.01	0.01
							0.19	<0.01	0.05	<0.01	0.01
		果実		443[EC]	3	0	0.21	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							0.17	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				447[EC]		0	0.16	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		果実		457[EC]	3	0	0.17	<0.01	0.06	<0.01	0.02
							0.22	<0.01	0.06	<0.01	0.02
				455[EC]		0	0.16	<0.01	0.08	0.01	0.03
							0.14	<0.01	0.11	0.02	0.04
	Navel (露地)	果実		452[EC]	3	0	0.15	<0.01	0.08	<0.01	0.03
							0.19	<0.01	0.09	0.01	0.04
				457[EC]		0	0.21	<0.01	0.11	0.02	0.05
							0.20	<0.01	0.11	0.02	0.05
		果実		454[EC]	3	0	0.19	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							0.19	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
				455[EC]		0	0.20	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.20	<0.01	0.02	<0.01	0.01
	Hamlin (露地)	果実		444[EC]	3	0	0.45	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							0.48	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
				448[EC]		0	0.15	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							0.18	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
		果実		448[EC]	3	0	0.30	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.20	<0.01	0.02	<0.01	<0.01

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
						7	0.35	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							0.22	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
						14	0.43	<0.01	0.03	<0.01	0.02
							0.33	<0.01	0.03	<0.01	0.01
						21	0.34	<0.01	0.03	<0.01	0.02
							0.35	<0.01	0.03	<0.01	0.01
						28	0.30	<0.01	0.03	<0.01	0.01
							0.33	<0.01	0.04	<0.01	0.02
				455[EC]		0	0.22	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.23	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
						7	0.19	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							0.21	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
						14	0.19	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.15	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
						21	0.14	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							0.17	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
						28	0.13	<0.01	0.02	<0.01	0.01
							0.12	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
	Atwood(露地)	果実		449[EC]	3	0	0.21	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							0.28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				451[EC]		0	0.13	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							0.13	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
	Werley(露地)	果実		452[EC]	3	0	0.21	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							0.25	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
				453[EC]		0	0.14	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
							0.18	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
米国2016～2017年	Atwood(露地)	果実		449[EC]	3	0	0.16	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.13	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				447[EC]		0	0.15	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.15	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

実施場所 (国) 実施年	品種 (栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国 2017 年	Valencia (露地)	果実		447[EC]	3	0	0.30	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
							0.36	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
				452[EC]		0	0.17	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
							0.18	<0.01	0.03	<0.01	<0.01

EC：10%乳剤茎葉散布

作物名：グレープフルーツ

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2016年	Flame(露地)	果実	6	452EC	3	0	0.14	<0.01	0.06	<0.01	0.01
							0.24	<0.01	0.08	<0.01	0.02
				457EC		0	0.24	<0.01	0.08	<0.01	0.02
							0.23	<0.01	0.07	<0.01	0.01
	Ray Red(露地)	果実		444EC	3	0	0.13	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.13	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
				444EC		0	0.12	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.11	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
	Rio Red(露地)	果実		466EC	3	0	0.19	<0.01	0.13	0.01	0.03
							0.18	<0.01	0.14	0.01	0.03
				463EC		0	0.11	<0.01	0.12	0.01	0.03
							0.12	<0.01	0.14	0.02	0.04
	Melo-gold(露地)	果実		450EC	3	0	0.12	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.08	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
				454EC		0	0.07	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.07	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
米国2016～2017	Melo-gold(露地)	果実		454EC	3	0	0.20	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.13	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				454EC		0	0.07	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.07	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Ray Ruby(露地)	果実		451EC	3	0	0.20	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						7	0.20	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.18	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
						14	0.13	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.16	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
						21	0.12	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							0.10	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						28	0.13	<0.01	0.010	<0.01	<0.01
							0.08	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
		果実		451[EC]	3	0	0.13	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.15	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						7	0.10	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.10	<0.01	0.010	<0.01	<0.01
						14	0.10	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.10	<0.01	0.010	<0.01	<0.01
						21	0.06	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.07	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						28	0.07	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.06	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

EC：10%乳剤茎葉散布

作物名：レモン

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2016年	Meyer(露地)	果実	6	452EC	3	0	0.28	<0.01	0.04	<0.01	0.02
							0.25	<0.01	0.05	<0.01	0.02
				454EC		0	0.38	<0.01	0.05	<0.01	0.02
							0.27	<0.01	0.04	<0.01	0.01
	Bearss(露地)	果実		454EC	3	0	0.35	<0.01	0.02	<0.01	0.02
							0.32	<0.01	0.02	<0.01	0.02
				445EC		0	0.32	<0.01	0.02	<0.01	0.02
							0.24	<0.01	0.03	<0.01	0.02
	Lisbon(露地)	果実		449EC	3	0	0.33	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.26	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
				453EC		0	0.23	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.19	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
		果実		450EC	3	0	0.48	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							0.39	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				456EC		0	0.32	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.33	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
米国2017年	Lisbon(露地)	果実		447EC	3	0	0.59	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.62	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
				450EC		0	0.19	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.24	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		果実		450EC	3	0	0.43	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.31	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						7	0.29	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.24	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						14	0.25	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.29	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						21	0.28	0.02	<0.01	<0.01	<0.01
							0.20	0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						28	0.24	0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.18	0.01	<0.01	<0.01	<0.01

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
		果実		448[EC]	3	0	0.16	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.18	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						7	0.10	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						14	0.11	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.10	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						21	0.06	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.07	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						28	0.07	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.07	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

EC：10%乳剤茎葉散布

作物名：りんご

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2014年	Cortland(露地)	果実	15	451SC	3	0	0.49	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.42	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
				448SC		0	0.28	<0.01	0.04	<0.01	0.02
							0.27	<0.01	0.04	<0.01	0.02
		果実		458SC	3	0	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
				459SC		0	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.02	<0.01	0.01
	Green-ing(露地)	果実		448SC	3	0	0.30	<0.01	0.05	<0.01	0.01
							0.30	<0.01	0.04	<0.01	0.01
				454SC		0	0.26	<0.01	0.07	<0.01	0.02
							0.28	<0.01	0.08	<0.01	0.02
	Rome(露地)	果実		452SC	3	0	0.38	<0.01	0.06	<0.01	0.02
							0.46	<0.01	0.07	<0.01	0.03
						3	0.27	<0.01	0.07	<0.01	0.02
							0.30	<0.01	0.07	<0.01	0.03
						7	0.36	<0.01	0.07	<0.01	0.03
							0.28	<0.01	0.07	<0.01	0.02
						14	0.17	<0.01	0.07	<0.01	0.02
							0.16	<0.01	0.08	<0.01	0.02
						21	0.18	<0.01	0.08	<0.01	0.02
							0.19	<0.01	0.08	<0.01	0.03
				449SC		0	0.33	<0.01	0.07	<0.01	0.03
							0.37	<0.01	0.07	<0.01	0.03
						3	0.19	<0.01	0.07	<0.01	0.03
							0.18	<0.01	0.07	<0.01	0.03
						7	0.19	<0.01	0.07	<0.01	0.03
							0.27	<0.01	0.08	<0.01	0.03
						14	0.18	<0.01	0.07	<0.01	0.03
							0.13	<0.01	0.07	<0.01	0.02

実施場所 (国) 実施年	品種 (栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
						21	0.15	<0.01	0.08	<0.01	0.02
							0.12	<0.01	0.06	<0.01	0.02
	Golden Delici-ous (露地)	果実		447SC	3	0	0.24	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				450SC		0	0.17	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.12	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Granny Smith (露地)	果実		453SC	3	0	0.32	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.19	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						0	0.32	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.54	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		果実		453SC	3	0	0.41	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.37	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				447SC		0	0.32	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.29	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Gala (露地)	果実		449SC	3	0	0.60	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							0.50	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
				451SC		0	0.38	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
							0.32	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
	Brae-burn (露地)	果実		453SC	3	0	0.30	<0.01	0.04	<0.01	0.01
							0.30	<0.01	0.04	<0.01	0.01
						3	0.19	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
							0.29	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
						7	0.19	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
							0.28	<0.01	0.04	<0.01	0.01
						14	0.19	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
							0.25	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
						21	0.17	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
							0.11	<0.01	0.04	<0.01	0.01
				456SC		0	0.19	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
							0.25	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
						3	0.16	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
							0.17	<0.01	0.03	<0.01	<0.01

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
						7	0.12	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
							0.14	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
						14	0.11	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							0.11	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
						21	0.14	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
							0.12	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
	Red Delicious (露地)	果実		449SC	3	0	0.46	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.44	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				452SC		0	0.27	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.35	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
米国2015年	Rome (露地)	果実		451SC	3	0	0.39	<0.01	0.10	0.01	0.04
							0.47	<0.01	0.13	0.01	0.04
				447SC		0	0.33	<0.01	0.16	0.02	0.05
							0.27	<0.01	0.17	<0.01	0.05
	Jonathon (露地)	果実		455SC	3	0	0.37	<0.01	0.07	<0.01	0.04
							0.36	<0.01	0.08	<0.01	0.05
				452SC		0	0.30	<0.01	0.03	<0.01	0.03
							0.29	<0.01	0.03	<0.01	0.03
カナダ2015年(露地)	Northern Spyes (露地)	果実		438SC	3	0	0.16	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.16	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				445SC		0	0.16	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.13	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Ida Red (露地)	果実		428SC	3	0	0.26	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.26	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				439SC		0	0.18	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.15	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Gala (露地)	果実		446SC	3	0	0.48	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.46	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				429SC		0	0.38	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.55	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

SC：40%フロアブル剤茎葉散布

作物名：なし

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2014年	Bart-lett(露地)	果実	9	450SC	3	0	0.29	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							0.30	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				457SC		0	0.27	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.27	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
		果実		457SC	3	0	0.35	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.33	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				453SC		0	0.27	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.23	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		果実		451SC	3	0	0.28	<0.01	<0.01	<0.01	0.01
							0.36	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				453SC		0	0.32	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.27	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Parker(露地)	果実		437SC	3	0	<0.01	<0.01	0.03	<0.01	0.01
							<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
				442SC		0	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
	Olym-pic(露地)	果実		450SC	3	0	0.28	<0.01	0.07	<0.01	0.02
							0.40	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
				450SC		0	0.21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.24	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	20th Cen-tu-ry(露地)	果実		446SC	3	0	0.10	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.19	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						3	0.14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.18	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						7	0.31	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.53	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						14	0.39	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.65	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						21	0.30	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.39	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
				445SC		0	0.25	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.50	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						3	0.26	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.54	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						7	0.32	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.37	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						14	0.89	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.46	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						21	0.26	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.24	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	D' Anjou (露地)	果実		455SC	3	0	0.46	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.34	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				449SC		0	0.24	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.26	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
カナダ 2015年	Bosc (露地)	果実		439SC	3	0	0.72	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.79	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				435SC		0	0.72	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							1.12	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
	Bart-lett (露地)	果実		442SC	3	0	0.67	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.79	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				434SC		0	0.48	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.56	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

SC：40%フロアブル剤茎葉散布

作物名：おうとう

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2014年	Skeena(露地)	果実	4	456SC	3	0	0.93	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							0.98	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
				454SC		0	1.14	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							0.96	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
米国2015年	Royal Hazel(露地)	果実		446SC	3	0	0.33	<0.01	0.10	0.01	<0.01
							0.56	<0.01	0.12	<0.01	<0.01
				445SC		0	1.05	<0.01	0.08	<0.01	<0.01
							1.10	<0.01	0.12	0.01	<0.01
	Tulare(露地)	果実		451SC	3	0	0.93	<0.01	0.24	<0.01	<0.01
							1.06	<0.01	0.25	<0.01	<0.01
				451SC		0	0.88	<0.01	0.24	<0.01	<0.01
							0.96	<0.01	0.37	<0.01	<0.01
	Rainier(露地)	果実		451SC	3	0	0.65	<0.01	1.12	0.03	0.05
							0.60	<0.01	1.08	0.03	0.06
						3	0.36	<0.01	0.79	0.02	0.03
							0.57	<0.01	1.17	0.04	0.06
						7	0.49	<0.01	1.08	0.03	0.06
							0.46	<0.01	1.04	0.03	0.05
						14	0.27	<0.01	1.21	0.03	0.05
							0.33	<0.01	0.94	0.03	0.05
						21	0.27	<0.01	1.06	0.03	0.05
							0.20	<0.01	0.80	0.02	0.04
				452SC	3	0	1.10	<0.01	1.35	0.03	0.06
							0.78	<0.01	1.22	0.03	0.05
						3	0.52	<0.01	1.16	0.03	0.06
							0.86	<0.01	0.95	0.03	0.05
						7	0.42	<0.01	1.24	0.03	0.04
							0.39	<0.01	0.82	0.03	0.04
						14	0.59	<0.01	1.03	0.04	0.06
							0.26	<0.01	0.75	0.03	0.04

実施場所 (国) 実施年	品種 (栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
						21	0.36	<0.01	1.28	0.04	0.06
							0.29	<0.01	1.05	0.03	0.05

SC：40%フロアブル剤茎葉散布

作物名：タルトチェリー

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2014年	Balaton(露地)	果実	4	448SC	3	0	1.23	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							1.66	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
				453SC		0	2.29	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							1.80	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
米国2015年	Montmorency(露地)	果実		452SC	3	0	0.99	<0.01	0.26	0.04	0.16
							0.91	<0.01	0.31	0.04	0.17
				454SC		0	1.38	<0.01	0.34	0.05	0.16
							1.39	<0.01	0.33	0.04	0.14
	Meteor(露地)	果実		462SC	3	0	0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.03	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				459SC		0	0.03	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.02	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
カナダ2015年	North Star(露地)	果実		452SC	3	0	1.43	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							1.66	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				462SC		0	2.07	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							2.43	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

SC：40%フロアブル剤茎葉散布

作物名：もも

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2014年	Virgil(露地)	果実	13	452SC	3	0	0.43	<0.01	0.18	0.01	0.02
							0.32	<0.01	0.19	0.01	0.03
				449SC		0	0.49	<0.01	0.13	<0.01	0.02
							0.46	<0.01	0.14	<0.01	0.02
	Encor(露地)	果実		455SC		0	0.33	<0.01	0.09	<0.01	0.02
							0.36	<0.01	0.10	0.01	0.02
				452SC		0	0.39	<0.01	0.16	0.01	0.01
							0.37	<0.01	0.21	0.01	0.02
	Tyler(露地)	果実		458SC		0	0.32	<0.01	0.11	0.01	0.02
							0.32	<0.01	0.12	0.01	0.02
				449SC		0	0.40	<0.01	0.16	0.01	0.02
							0.43	<0.01	0.17	0.01	0.02
	John Boy(露地)	果実		455SC		0	0.32	<0.01	2.04	0.12	0.18
							0.26	<0.01	2.42	0.10	0.18
				459SC		0	0.63	<0.01	1.59	0.08	0.14
							0.56	<0.01	1.82	0.10	0.14
	Late Ross(露地)	果実		451SC		0	0.29	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
							0.28	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
				452SC		0	0.64	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
							0.79	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
	Ross(露地)	果実		454SC		0	0.39	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							0.61	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
				450SC		0	0.92	<0.01	0.05	<0.01	0.01
							1.00	<0.01	0.05	<0.01	0.01
	Glow-ing Star(露地)	果実		453SC		0	0.34	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							0.19	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
				453SC		0	0.35	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
							0.36	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
米国2015年	Haw-thorne(露地)	果実		458SC		0	0.37	<0.01	0.28	0.02	0.04
							0.41	<0.01	0.30	0.02	0.04

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
				457SC		0	0.49	<0.01	0.07	<0.01	<0.01
							0.54	<0.01	0.08	<0.01	0.01
	June Prince (露地)	果実		451SC	3	0	0.39	<0.01	1.24	0.06	0.11
							0.30	<0.01	1.20	0.06	0.10
				457SC		0	0.48	<0.01	0.88	0.05	0.08
							0.45	<0.01	0.89	0.06	0.09
		果実		453SC		0	0.32	<0.01	0.13	<0.01	<0.01
							0.49	<0.01	0.14	<0.01	<0.01
						3	0.19	<0.01	0.12	<0.01	<0.01
							0.20	<0.01	0.13	<0.01	<0.01
						7	0.12	<0.01	0.14	<0.01	<0.01
							0.17	<0.01	0.13	<0.01	<0.01
						14	0.07	<0.01	0.14	<0.01	<0.01
							0.08	<0.01	0.13	<0.01	<0.01
				454SC		0	0.36	<0.01	0.13	<0.01	<0.01
							0.31	<0.01	0.12	<0.01	<0.01
						3	0.25	<0.01	0.14	<0.01	<0.01
							0.20	<0.01	0.13	<0.01	<0.01
						7	0.12	<0.01	0.12	<0.01	<0.01
							0.14	<0.01	0.10	<0.01	<0.01
						14	0.11	<0.01	0.10	<0.01	<0.01
							0.07	<0.01	0.10	<0.01	<0.01
	Red Haven (露地)	果実		445SC	3	0	0.25	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
							0.19	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
				444SC		0	0.87	<0.01	0.06	<0.01	<0.01
							1.04	<0.01	0.07	<0.01	<0.01
カナダ 2015 年	Glow-ing Star (露地)	果実		458SC	3	0	0.57	<0.01	0.68	0.01	0.04
							0.53	<0.01	0.39	0.01	0.04
				459SC		0	0.67	<0.01	0.37	0.01	0.05
							0.73	<0.01	0.49	0.02	0.05
	Brigh-ton	果実		452SC	3	0	0.27	<0.01	0.44	0.01	0.02
						5	1.34	<0.01	2.74	0.24	0.14

実施場所 (国) 実施年	品種 (栽培形態) (露地)	分析部位	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
				566[SC]		0	0.63	<0.01	0.61	0.02	0.03
						5	0.36	<0.01	0.55	0.02	0.04

SC：40%フロアブル剤茎葉散布

作物名：プラム

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2014年	Shiro(露地)	果実	10	450SC	3	0	0.33	<0.01	0.23	<0.01	0.01
							0.31	<0.01	0.23	<0.01	0.01
				445SC		0	0.28	<0.01	0.13	<0.01	<0.01
							0.24	<0.01	0.10	<0.01	<0.01
	Black Ice(露地)	果実		437SC	3	0	<0.01	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
				438SC		0	0.01	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
	French(露地)	果実		446SC	3	0	0.03	<0.01	0.11	<0.01	0.02
							0.02	<0.01	0.11	<0.01	0.02
				444SC		0	0.03	<0.01	0.12	<0.01	0.03
							0.03	<0.01	0.13	<0.01	0.03
		果実		445SC	3	0	0.23	<0.01	0.07	<0.01	0.01
							0.18	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
				445SC		0	0.29	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
							0.31	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
	Ange-leno(露地)	果実		454SC	3	0	0.20	<0.01	0.18	<0.01	<0.01
							0.20	<0.01	0.11	<0.01	0.02
						3	0.23	<0.01	0.22	<0.01	<0.01
							0.19	<0.01	0.22	<0.01	<0.01
						7	0.17	<0.01	0.22	<0.01	<0.01
							0.13	<0.01	0.23	<0.01	<0.01
						14	0.11	<0.01	0.23	<0.01	<0.01
							0.08	<0.01	0.25	<0.01	<0.01
						21	0.12	<0.01	0.25	<0.01	<0.01
							0.07	<0.01	0.25	<0.01	<0.01
				450SC		0	0.14	<0.01	0.14	<0.01	<0.01
							0.14	<0.01	0.14	<0.01	<0.01
						3	0.17	<0.01	0.16	<0.01	<0.01
							0.15	<0.01	0.15	<0.01	<0.01

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
						7	0.12	<0.01	0.15	<0.01	<0.01
							0.12	<0.01	0.15	<0.01	<0.01
						14	0.10	<0.01	0.16	<0.01	<0.01
							0.12	<0.01	0.15	<0.01	<0.01
						21	0.07	<0.01	0.15	<0.01	<0.01
							0.10	<0.01	0.17	<0.01	<0.01
米国2015年	Yummy Beaut(露地)	果実		461SC	3	0	0.07	<0.01	0.40	<0.01	<0.01
							0.06	<0.01	0.43	<0.01	<0.01
				455SC		0	0.14	<0.01	0.32	<0.01	<0.01
							0.11	<0.01	0.32	<0.01	<0.01
	Early Italian(露地)	果実		447SC	3	0	0.25	<0.01	0.27	<0.01	<0.01
							0.26	<0.01	0.27	<0.01	<0.01
				452SC		0	0.18	<0.01	0.19	<0.01	<0.01
							0.20	<0.01	0.19	<0.01	<0.01
カナダ2015年	German(露地)	果実		449SC	3	0	0.84	<0.01	0.09	<0.01	<0.01
							0.96	<0.01	0.08	<0.01	<0.01
				452SC		0	1.05	<0.01	0.09	<0.01	<0.01
							0.91	<0.01	0.09	<0.01	<0.01
	Italian(露地)	果実		446SC	3	0	0.66	<0.01	0.06	<0.01	<0.01
							0.83	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
				460SC		0	0.95	<0.01	0.05	<0.01	<0.01
							1.01	<0.01	0.06	<0.01	<0.01
	PR HI(露地)	果実		457SC	3	0	0.30	<0.01	0.20	<0.01	<0.01
							0.21	<0.01	0.18	<0.01	<0.01
				444SC		0	0.38	<0.01	0.23	<0.01	<0.01
							0.35	<0.01	0.22	<0.01	<0.01

SC：40%フロアブル剤茎葉散布

作物名：ブラックベリー

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2016年	Navaho(露地)	果実	6	149～151SC	3	0	0.30	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							0.20	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
	Un-known(露地)			147～154SC			0.79	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							0.63	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
	Arden(露地)			151～152SC			1.11[a]	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							1.32[a]	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
	Kotata(露地)			148～149SC			1.62	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							1.03	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
	Chester(露地)			150～151SC			1.11	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							1.48	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Triple Crown(露地)			150SC			0.46	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							0.24	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
						1	0.38	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							0.24	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
						3	0.34	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							0.16	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
						7	0.08	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.10	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
						10	0.13	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							0.10	<0.01	0.02	<0.01	<0.01

SC：400 g ai/L フロアブル剤茎葉散布

[a]：同じ試料の複数回分析による平均。

作物名：ブルーベリー

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2016年	Patriot(露地)	果実	9	152～157SC	3	0	0.69	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.46	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Blue Ray(露地)			142～149SC			0.78	<0.01	<0.01	<0.01	0.01
							0.75	<0.01	<0.01	<0.01	0.01
	Dixie(露地)			146～147SC			0.72	<0.01	0.02	<0.01	0.09
							0.63	<0.01	0.01	<0.01	0.07
	Rebel(露地)			149～151SC			0.61	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.41	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Ochlockonee Rabbiteye(露地)			149～150SC			0.05	<0.01	<0.01	<0.01	0.01
							0.06	<0.01	<0.01	<0.01	0.01
	North Blue(露地)			146～157SC			0.23	<0.01	<0.01	<0.01	0.03
							0.12	<0.01	<0.01	<0.01	0.03
	Spartan(露地)			150～156SC			0.68	<0.01	<0.01	<0.01	0.01
							0.44	<0.01	<0.01	<0.01	0.01
	Duke(露地)			147～149SC			3.07	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							3.24	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Draper(露地)			150～151SC			0.71[a]	<0.01	<0.01	<0.01	0.01
							0.76[a]	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
						1	0.52	<0.01	<0.01	<0.01	0.01
							0.48	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
						3	0.29	<0.01	<0.01	<0.01	0.01
							0.31	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
						7	0.14	<0.01	<0.01	<0.01	0.03
							0.11	<0.01	<0.01	<0.01	0.02

実施場所 (国) 実施年	品種 (栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
						10	0.06	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
							0.07	<0.01	<0.01	<0.01	0.02

SC：400 g ai/L フロアブル剤茎葉散布

[a]：同じ試料の複数回分析による平均。

作物名：いちご

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国 2016 年	Lamora (露地)	果実	11	149～151SC	3	0	0.13	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.16	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Radiant (露地)			148～152SC			0.43	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
							0.45	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
	EVIE 2 (露地)			147～150SC			0.44	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							0.56	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
	Kent (露地)			150～155SC			0.07	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.09	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
	Apline (露地)			149～152SC			<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
	San Andreas (露地)			150～151SC			0.43	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							0.43	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
	Seascape (露地)			148～150SC			0.59	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
							0.64	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
				147～149SC			1.01[a]	NA	NA	NA	NA
							1.09[a]	NA	NA	NA	NA
	San Andreas (露地)			151～152SC			0.30	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							0.28	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
				155～158SC			0.22	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.25	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Alpine (露地)			150～152SC			<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
						1	<0.01	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
						3	<0.01	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01

実施場所 (国) 実施年	品種 (栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
						7	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
						10	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01

SC：400 g ai/L フロアブル剤茎葉散布、NA：未分析

[a]：同じ試料の複数回分析による平均。

作物名：ぶどう

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2014年	Ca-yuga white(露地)	果実	13	449SC	3	14	0.69	<0.01	0.06	<0.01	0.06
							0.63	<0.01	0.05	<0.01	0.06
						21	0.76	<0.01	0.06	<0.01	0.07
							0.73	<0.01	0.06	<0.01	0.08
				454SC		14	0.83	<0.01	0.04	<0.01	0.05
							0.82	<0.01	0.04	<0.01	0.04
						21	0.78	<0.01	0.04	<0.01	0.04
							0.75	<0.01	0.06	<0.01	0.06
	Corot noir(露地)	果実		449SC	3	0*	0.28	<0.01	0.02	<0.01	0.04
							0.34	<0.01	0.02	<0.01	0.05
						3*	0.27	<0.01	0.02	<0.01	0.05
							0.31	<0.01	0.02	<0.01	0.04
						7*	0.25	<0.01	0.03	<0.01	0.06
							0.22	<0.01	0.03	<0.01	0.05
						14	0.20	<0.01	0.02	<0.01	0.06
							0.19	<0.01	0.03	<0.01	0.05
						21	0.17	<0.01	0.03	<0.01	0.05
							0.20	<0.01	0.03	<0.01	0.05
				454SC		0*	0.60	<0.01	0.03	<0.01	0.06
							0.54	<0.01	0.03	<0.01	0.06
						3*	0.74	<0.01	0.03	<0.01	0.06
							0.54	<0.01	0.03	<0.01	0.06
						7*	0.49	<0.01	0.03	<0.01	0.05
							0.46	<0.01	0.03	<0.01	0.05
						14	0.30	<0.01	0.03	<0.01	0.05
							0.20	<0.01	0.03	<0.01	0.04
						21	0.24	<0.01	0.03	<0.01	0.05
							0.21	<0.01	0.03	<0.01	0.05
	Thompson	果実		460SC	3	14	0.18	<0.01	0.02	<0.01	0.01
							0.28	<0.01	0.02	<0.01	<0.01

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
	seed-less (露地)					21	0.17	<0.01	0.02	<0.01	0.01
							0.12	<0.01	0.02	<0.01	0.02
				448SC		14	0.84	<0.01	0.03	<0.01	0.02
							0.60	<0.01	0.03	<0.01	0.02
						21	0.53	<0.01	0.02	<0.01	0.02
							0.36	<0.01	0.03	<0.01	0.02
				459SC	3	14	0.74	<0.01	0.04	<0.01	0.05
							0.63	<0.01	0.03	<0.01	0.06
						21	0.42	<0.01	0.04	<0.01	0.05
							0.35	<0.01	0.03	<0.01	0.06
				448SC		14	0.31	<0.01	0.03	<0.01	0.04
							0.39	<0.01	0.03	<0.01	0.05
						21	0.28	<0.01	0.04	<0.01	0.04
							0.53	<0.01	0.04	<0.01	0.05
	Syrah noir (露地)	果実		457SC	3	14	0.38	<0.01	0.02	0.03	0.07
							0.33	<0.01	0.02	0.03	0.07
						21	0.32	<0.01	0.02	0.03	0.07
							0.29	<0.01	0.02	0.03	0.07
				450SC		14	0.38	<0.01	0.01	0.03	0.02
							0.38	<0.01	<0.01	0.03	0.02
						21	0.32	<0.01	<0.01	0.03	0.02
							0.25	<0.01	<0.01	0.03	0.02
	Cab-net (露地)	果実		460SC	3	14	0.47	<0.01	0.02	<0.01	0.05
							0.56	<0.01	0.02	<0.01	0.05
						21	0.56	<0.01	0.02	<0.01	0.05
							0.69	<0.01	0.02	<0.01	0.04
				468SC		14	1.04	<0.01	0.03	0.01	0.12
							1.01	<0.01	0.03	0.01	0.10
						21	0.95	<0.01	0.03	0.01	0.10
							0.84	<0.01	0.02	0.01	0.10
	Crim-son	果実		449SC	3	14	0.29	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.33	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
	(露地)					21	0.45	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.37	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				447SC		14	0.22	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.34	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						21	0.08	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		果実		451SC	3	14	0.41	<0.01	0.02	<0.01	0.04
							0.55	<0.01	0.03	<0.01	0.04
						21	0.31	<0.01	0.02	<0.01	0.04
							0.31	<0.01	0.03	<0.01	0.04
				449SC		14	0.41	<0.01	0.02	<0.01	0.04
							0.50	<0.01	0.03	<0.01	0.04
						21	0.42	<0.01	0.03	<0.01	0.05
							0.33	<0.01	0.02	<0.01	0.04
		果実		457SC	3	14	0.09	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
							0.13	<0.01	<0.01	<0.01	0.03
						21	0.08	<0.01	<0.01	<0.01	0.03
							0.06	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
				452SC		14	0.32	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
							0.36	<0.01	<0.01	<0.01	0.03
						21	0.27	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
							0.30	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
	Ala-cante (露地)	果実		448SC	3	0*	0.29	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						3*	0.20	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.24	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						7*	0.19	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.18	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						14	0.19	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.12	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						21	0.13	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.13	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
		果実		454SC	3	0*	0.28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.40	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						3*	0.30	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.32	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						7*	0.36	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.36	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						14	0.25	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.40	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						21	0.23	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
							0.26	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	Char-donnay(露地)	果実		448SC	3	14	1.10	<0.01	0.03	<0.01	0.02
							1.03	<0.01	0.03	<0.01	0.02
						21	0.66	<0.01	0.03	<0.01	0.02
							0.86	<0.01	0.03	<0.01	0.02
				452SC		14	0.81	<0.01	0.04	<0.01	0.02
							0.99	<0.01	0.04	<0.01	0.01
						21	0.58	<0.01	0.04	<0.01	0.02
							0.86	<0.01	0.05	<0.01	0.02
		果実		452SC	3	14	0.23	<0.01	0.04	<0.01	0.08
							0.30	<0.01	0.04	<0.01	0.08
						21	0.33	<0.01	0.04	<0.01	0.09
							0.23	<0.01	0.04	<0.01	0.09
				446SC		14	0.38	<0.01	0.05	<0.01	0.09
							0.43	<0.01	0.05	<0.01	0.09
						21	0.22	<0.01	0.05	<0.01	0.08
							0.25	<0.01	0.05	<0.01	0.09
カナダ2014年	Con-corde(露地)	果実		449SC	3	14	0.63	<0.01	0.03	<0.01	0.04
							0.70	<0.01	0.03	<0.01	0.04
						21	NA	NA	NA	NA	NA
							NA	NA	NA	NA	NA
				441SC		14	0.45	<0.01	0.03	<0.01	0.03
							0.44	<0.01	0.04	<0.01	0.04

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
						21	NA	NA	NA	NA	NA
							NA	NA	NA	NA	NA

SC：40%フロアブル剤茎葉散布、NA:試料なし（風害のため採取できず）

・農薬の使用時期（PHI）が、申請された使用方法から逸脱している場合は、該当箇所に*を付した。

作物名：バナナ

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
ブラジル2017年	Nanica(露地)	果肉－袋あり	1	140SC	5	0	<0.01	<0.01	0.04	<0.01	0.02
						1	<0.01	<0.01	0.04	<0.01	0.02
						3	0.04	<0.01	0.03	<0.01	0.02
						7	<0.01	<0.01	0.04	<0.01	0.02
		果肉－袋なし				0	0.01	<0.01	0.02	<0.01	0.02
						1	0.10	<0.01	0.03	<0.01	0.02
						3	0.01	<0.01	0.03	<0.01	0.02
						7	0.21	<0.01	0.04	<0.01	0.02
		果皮－袋あり				0	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	0.03
						1	0.05	<0.01	0.02	<0.01	0.03
						3	0.45	<0.01	0.01	<0.01	0.04
						7	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	0.03
		果皮－袋なし				0	0.24	<0.01	0.01	<0.01	0.04
						1	0.84	<0.01	0.01	<0.01	0.03
						3	0.16	<0.01	0.01	<0.01	0.03
						7	1.62	<0.01	0.02	<0.01	0.04
		全果－袋あり				0	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	0.01
						1	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	0.01
						3	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	0.01
						7	<0.01	<0.01	0.03	<0.01	0.02
		全果－袋なし				0	0.37	<0.01	0.02	<0.01	0.02
						1	0.65	<0.01	0.02	<0.01	0.03
						3	0.26	<0.01	0.02	<0.01	0.02
						7	0.44	<0.01	0.02	<0.01	0.03
ブラジル2017年	Prata(露地)	果肉－袋あり	1	140SC	5	0	<0.01	<0.01	0.03	<0.01	0.01
						1	<0.01	<0.01	0.03	<0.01	0.02

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
						3	<0.01	<0.01	0.04	<0.01	0.02
						7	<0.01	<0.01	0.03	<0.01	0.02
		果肉 – 袋なし				0	0.21	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
						1	0.13	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
						3	0.19	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
						7	0.06	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
		果皮 – 袋あり				0	0.01[a]	<0.01	0.02	<0.01	0.03
						1	0.06[a]	<0.01	0.01	<0.01	0.04
						3	0.01	<0.01	0.02	<0.01	0.04
						7	0.03	<0.01	0.02	<0.01	0.05
		果皮 – 袋なし				0	0.62[a]	<0.01	<0.01	<0.01	0.013
						1	0.81[a]	<0.01	0.02	<0.01	0.01
						3	1.5[a]	<0.01	0.02	<0.01	0.02
						7	0.65	<0.01	0.01	<0.01	0.02
		全果 – 袋あり				0	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	0.02
						1	<0.01	<0.01	0.03	<0.01	0.02
						3	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	0.03
						7	<0.01	<0.01	0.03	<0.01	0.02
		全果 – 袋なし				0	0.74	<0.01	0.04	<0.01	0.01
						1	0.44	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
						3	0.59	<0.01	0.03	<0.01	0.01
						7	0.55	<0.01	0.04	<0.01	0.02
ブラジル 2017 年	Prata (露地)	果肉 – 袋あり	1	140[SC]	5	0	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		果肉 – 袋なし				0	0.03	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
						1	0.03	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
						3	0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						7	0.04	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
		果皮 – 袋あり				0	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						1	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01
						3	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		果皮 –				0	0.74	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
		袋なし				1	0.65	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						3	0.81	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						7	0.93	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		全果 – 袋あり				0	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						1	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						7	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		全果 – 袋なし				0	0.47	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
						1	0.32	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
						3	0.40	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
						7	0.54	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
ブラジル 2017 年		果肉 – 袋あり	1	140[SC]	5	0	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
						0/7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		果肉 – 袋なし				0	0.04	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
						0/7	0.02	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
		果皮 – 袋あり				0	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01
						0/7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
		果皮 – 袋なし				0	0.55	<0.01	<0.01	<0.01	0.04
						0/7	0.15	<0.01	<0.01	<0.01	0.03
		全果 – 袋あり				0	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						0/7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		全果 – 袋なし				0	0.47	<0.01	0.02	<0.01	0.01
						0/7	0.28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
ブラジル 2017 年	Nanica (露地)	果肉 – 袋あり	1	140[SC]	5	0	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
						0/7	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
		果肉 – 袋なし				0	<0.01	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
						0/7	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
		果皮 – 袋あり				0	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						0/7	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		果皮 – 袋なし				0	0.09	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
						0/7	0.08	<0.01	<0.01	<0.01	0.01
		全果 – 袋あり				0	<0.01	<0.01	0.03	<0.01	0.01
						0/7	<0.01	<0.01	0.03	<0.01	0.01
		全果 – 袋なし				0	0.03[a]	<0.01	0.02	<0.01	0.01
						0/7	0.04[a]	<0.01	0.02	<0.01	0.01

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
エクアドル 2017 年	Valery (露地)	果肉 – 袋あり	1	140SC	5	0	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
						1	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
						3	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
						7	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
		果肉 – 袋なし				0	0.05	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
						1	0.05	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
						3	0.03	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
						7	0.05	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
		果皮 – 袋あり				0	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
						1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
						3	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
						7	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
		果皮 – 袋なし				0	0.43	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
						1	0.49	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
						3	0.38	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
						7	0.78	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
		全果 – 袋あり				0	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	0.01
						1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01
						3	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	0.01
						7	0.01	<0.01	0.01	<0.01	0.01
		全果 – 袋なし				0	0.19	<0.01	0.02	<0.01	0.02
						1	0.34	<0.01	0.01	<0.01	0.01
						3	0.57	<0.01	0.02	<0.01	0.02
						7	0.37	<0.01	0.03	<0.01	0.02
ブラジル 2017 年	Williams (露地)	果肉 – 袋あり	1	140SC	5	0	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
						0/7	<0.01	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
		果肉 – 袋なし				0	0.05	<0.01	0.02	<0.01	0.01
						0/7	0.09	<0.01	0.04	<0.01	0.01
		果皮 – 袋あり				0	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						0/7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		果皮 – 袋なし				0	0.50	<0.01	<0.01	<0.01	0.01
						0/7	0.61	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		全果 – 袋あり				0	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	0.01
						0/7	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	0.02
		全果 –				0	0.35	<0.01	0.03	<0.01	0.03

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
		袋なし				0/7	0.19	<0.01	0.02	<0.01	0.03
コロンビア 2017 年	Valery (露地)	果肉 – 袋あり	1	140SC	5	0	0.03[a]	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		果肉 – 袋なし				0	0.11	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
						1	0.06	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
						3	0.09	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
						7	0.14	<0.01	0.02	<0.01	0.01
		果皮 – 袋あり				0	0.15	<0.01	<0.01	<0.01	0.01
						1	0.07	<0.01	<0.01	<0.01	0.01
						3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01
						7	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		果皮 – 袋なし				0	0.52	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
						1	0.30	<0.01	<0.01	<0.01	0.01
						3	0.51	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
						7	0.47	<0.01	<0.01	<0.01	0.03
		全果 – 袋あり				0	0.16[a]	<0.01	0.01	<0.01	0.01
						1	0.03	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						3	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						7	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		全果 – 袋なし				0	0.14	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
						1	0.24[a]	<0.01	0.02	<0.01	0.01
						3	0.16	<0.01	0.01	<0.01	0.02
						7	0.17	<0.01	0.01	<0.01	0.01
ブラジル 2017 年	Williams (露地)	果肉 – 袋あり	1	140SC	5	0	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						0/7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		果肉 – 袋なし				0	0.04	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
						0/7	0.06	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
		果皮 – 袋あり				0	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						0/7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		果皮 – 袋なし				0	0.21	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
						0/7	0.24	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
		全果 – 袋あり				0	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
						0/7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
		全果 – 袋なし				0	0.16	<0.01	0.01	<0.01	0.02
						0/7	0.11	<0.01	0.01	<0.01	0.01
ブラジル 2017 年	Williams (露地)	果肉 – 袋あり	1	140[SC]	5	0	0.09	<0.01	0.01	<0.01	0.01
						0/7	< 0.01	<0.01	0.01	<0.01	0.01
		果肉 – 袋なし				0	< 0.01	<0.01	0.03	<0.01	0.02
						0/7	0.01	<0.01	0.03	<0.01	0.02
		果皮 – 袋あり				0	0.66	<0.01	<0.01	<0.01	0.03
						0/7	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	0.03
		果皮 – 袋なし				0	0.07[a]	<0.01	<0.01	<0.01	0.05
						0/7	0.16[a]	<0.01	<0.01	<0.01	0.04
		全果 – 袋あり				0	0.04	<0.01	0.01	<0.01	0.02
						0/7	0.01	<0.01	0.01	<0.01	0.02
		全果 – 袋なし				0	0.12	<0.01	0.02	<0.01	0.03
						0/7	0.05	<0.01	0.03	<0.01	0.04

SC：400 g ai/L フロアブル剤茎葉散布
[a]：同じ試料の複数分析平均
PHI：0/7 は最終処理後、室温で 7 日間保存

作物名：ひまわり

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2016年	Cobalt II(露地)	種子	10	147～149EC	2	20*	0.05	<0.01	0.17	0.53	0.01
							0.06	<0.01	0.47	0.51	0.01
	Sierra(露地)			153～154EC		22	<0.01	<0.01	0.05	0.04	<0.01
							<0.01	<0.01	0.06	0.04	<0.01
	RH1121(露地)			149～155EC		21	0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.02	0.01	<0.01
				151～157EC			<0.01	<0.01	0.02	0.02	<0.01
							<0.01	<0.01	0.02	0.02	<0.01
	Cobalt II(露地)			150EC			<0.01	<0.01	0.02	0.02	<0.01
							<0.01	<0.01	0.02	0.02	<0.01
	8N668S(露地)			150EC			0.08	<0.01	0.04	0.06	<0.01
							0.04	<0.01	0.06	0.07	<0.01
	8105N(露地)			151～155EC		18*	0.01	<0.01	0.06	0.06	<0.01
							0.01	<0.01	0.06	0.06	<0.01
	Falcon(露地)			150～154EC		20*	0.04	<0.01	0.23	0.22	<0.01
							0.06	<0.01	0.28	0.24	<0.01
				152～155EC		21	0.04	<0.01	0.06	0.05	<0.01
							0.05	<0.01	0.05	0.04	<0.01
	RH1121(露地)			146～149EC		14*	<0.01	<0.01	0.06	0.13	<0.01
							<0.01	<0.01	0.09	0.17	<0.01
						22	<0.01	<0.01	0.11	0.18	<0.01
							<0.01	<0.01	0.11	0.18	<0.01
						28	<0.01	<0.01	0.09	0.14	<0.01
							<0.01	<0.01	0.14	0.19	<0.01
						35	<0.01	<0.01	0.12	0.16	<0.01
							<0.01	<0.01	0.11	0.16	<0.01

EC：100 g ai/L 乳剤茎葉散布
・農薬の使用時期（PHI）が、申請された使用方法から逸脱している場合は、該当箇所に*を付した。

作物名：わた

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2017年	ST 6182GLT(露地)	綿実	12	146～150[EC]	3	33	0.02	<0.01	2.98	0.02	0.42
							0.05	<0.01	3.45	0.03	0.50
	Stoneville 4949 GLT(露地)			149[EC]		30	0.05	<0.01	0.26	<0.01	0.05
							0.06	<0.01	0.24	<0.01	0.05
	CG3475B2XF(露地)			147～149[EC]		29	0.03	<0.01	0.68	<0.01	0.13
							0.03	<0.01	0.73	<0.01	0.13
	DP 1639B2XF(露地)			151～154[EC]		30	<0.01	<0.01	0.96	<0.01	0.17
							0.01	<0.01	0.50	<0.01	0.19
	DP 1044B2RF(露地)			150～155[EC]		28	0.06	<0.01	0.19	<0.01	0.07
							0.04	<0.01	0.21	<0.01	0.08
	Next Gen 4545(露地)			148[EC]		30	0.03	<0.01	0.10	<0.01	0.03
							0.03	<0.01	0.09	<0.01	0.03
	DP1622 B2XF(露地)			149～150[EC]			0.16	<0.01	0.13	<0.01	0.03
							0.08	<0.01	0.13	<0.01	0.03
		繰り綿副産物					1.47	<0.01	0.03	<0.01	0.03
							1.64	<0.01	0.04	<0.01	0.04
	Enlist WideStrike PHY300 W3F3(露地)	綿実		148～149[EC]		29	0.12	<0.01	0.10	<0.01	<0.01
							0.08	<0.01	0.10	<0.01	0.01
		繰り綿副産物					3.80	<0.01	0.01	0.01	0.03
							3.15	<0.01	0.01	<0.01	0.03

実施場所 (国) 実施年	品種 (栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
	FM 2007 GLT (露地)	綿実		148 ～ 151[EC]		31	0.10	<0.01	0.26	<0.01	0.07
							0.10	<0.01	0.28	<0.01	0.07
		繰り綿副産物					4.14	<0.01	<0.01	0.02	0.10
							4.02	<0.01	<0.01	0.02	0.10
	FM 1911 GLT (露地)	綿実		149 ～ 150[EC]			0.07	<0.01	0.73	<0.01	0.16
							0.02	<0.01	0.72	<0.01	0.16
	DP358RF Pima (露地)			145 ～ 150[EC]		29	0.04	<0.01	0.08	<0.01	0.01
							0.07	<0.01	0.09	<0.01	0.01
	PHY 704 WRF Acala (露地)			143 ～ 152[EC]		30	<0.01	<0.01	0.25	<0.01	0.03
							<0.01	<0.01	0.26	<0.01	0.03

EC：100 g ai/L 乳剤茎葉散布

作物名：なたね

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2014年	Flint(露地)	種子	13	299EC	2	21	0.27	<0.01	2.39	0.02	0.13
							0.23	0.01	0.16	0.02	0.26
	5440(露地)	種子		305EC	2	7*	0.21	<0.01	0.82	0.01	0.03
							0.41	<0.01	0.81	0.01	0.03
						10*	0.21	<0.01	0.83	0.01	0.02
							0.38	<0.01	0.80	0.02	0.03
						14*	0.39	<0.01	0.81	0.01	0.03
							0.20	<0.01	0.63	0.01	0.03
						21	0.78	<0.01	0.79	0.02	0.02
							0.70	<0.01	0.97	0.02	0.02
						28	0.47	<0.01	0.72	0.02	0.03
							0.35	<0.01	0.75	0.02	0.03
		種子		300EC	2	21	0.04	<0.01	0.37	<0.01	0.02
							0.04	<0.01	0.37	<0.01	0.02
	L252(露地)	種子		302EC	2	21	0.01	<0.01	0.39	<0.01	0.03
							0.01	<0.01	0.34	<0.01	0.02
	09H7757(露地)	種子		294EC	2	20*	0.06	<0.01	0.64	<0.01	0.01
							0.05	<0.01	0.81	<0.01	0.01
	V1037(露地)	種子		309EC	2	22	0.05	<0.01	0.73	<0.01	0.03
							0.04	<0.01	0.69	<0.01	0.03
米国2015年	L252(露地)	種子		302EC	2	21	0.07	<0.01	0.38	<0.01	<0.01
							0.05	<0.01	0.35	<0.01	<0.01
カナダ2015年	Can-terra 1970(露地)	種子		304EC	2	21	0.12	<0.01	1.00	0.01	0.08
							0.11	<0.01	1.09	<0.01	0.05
	Liberty Link L252(露地)	種子		327EC	2	21	0.01	<0.01	0.13	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.17	<0.01	<0.01
	Round Ready 45H31	種子		300EC	2	21	0.03	0.02	0.24	<0.01	<0.01
							0.05	<0.01	0.23	<0.01	<0.01

実施場所 (国) 実施年	品種 (栽培形態) (露地)	分析部位	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
		種子		295[EC]	2	21	<0.01	<0.01	1.12	0.01	0.03
							<0.01	<0.01	1.26	0.01	0.04
	Round Ready D7454 (露地)	種子		300[EC]	2	21	0.32	0.02	0.58	<0.01	0.01
							0.18	<0.01	0.57	<0.01	0.02
		種子		305[EC]	2	21	0.13	<0.01	0.85	<0.01	0.02
							0.16	<0.01	0.85	<0.01	0.02

EC：10%乳剤茎葉散布

・農薬の使用時期（PHI）が、申請された使用方法から逸脱している場合は、該当箇所に*を付した。

作物名：ペカン

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国2014年	Sumner(露地)	仁	5	455SC	3	13*	<0.01	<0.01	0.56	0.06	0.13
							<0.01	<0.01	0.48	0.05	0.13
				452SC		13*	<0.01	<0.01	0.89	0.07	0.18
							<0.01	<0.01	0.78	0.05	0.14
		仁		447SC	3	0*	<0.01	<0.01	0.70	0.05	0.16
							<0.01	<0.01	0.68	0.05	0.16
						3*	<0.01	<0.01	0.62	0.05	0.14
							<0.01	<0.01	0.51	0.06	0.15
						7*	<0.01	<0.01	0.64	0.06	0.16
							<0.01	<0.01	0.65	0.06	0.17
						15	<0.01	<0.01	0.58	0.05	0.14
							<0.01	<0.01	0.59	0.05	0.13
						21	<0.01	<0.01	0.66	0.06	0.14
							<0.01	<0.01	0.68	0.06	0.14
		仁		447SC	3	0*	<0.01	<0.01	0.48	0.05	0.15
							<0.01	<0.01	0.56	0.06	0.16
						3*	<0.01	<0.01	0.47	0.05	0.15
							<0.01	<0.01	0.53	0.06	0.16
						7*	<0.01	<0.01	0.47	0.06	0.16
							<0.01	<0.01	0.49	0.06	0.16
						15	<0.01	<0.01	0.64	0.06	0.18
							<0.01	<0.01	0.63	0.06	0.17
						21	<0.01	<0.01	0.54	0.07	0.15
							<0.01	<0.01	0.57	0.07	0.15
	Caddo(露地)	仁		456SC	3	14	<0.01	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.04	<0.01	<0.01
				447SC		14	<0.01	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
	Merra-mec	仁		446SC	3	13*	<0.01	<0.01	NA	0.02	0.04
							<0.01	<0.01	0.16	0.02	0.04

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
	(露地)			446[SC]		13*	<0.01	<0.01	0.10	0.02	0.04
							<0.01	<0.01	0.10	0.02	0.04
	Kanza (露地)	仁		449[SC]	3	15	0.01	<0.01	0.04	<0.01	0.01
							<0.01	<0.01	0.04	<0.01	0.01
				454[SC]		15	<0.01	<0.01	0.07	<0.01	0.02
							<0.01	<0.01	0.07	<0.01	0.02

SC：40%フロアブル剤茎葉散布

・農薬の使用時期（PHI）が、申請された使用方法から逸脱している場合は、該当箇所に*を付した。

作物名：ピスタチオ

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国 2014 年	Ker-man (露地)	仁	3	445SC	3	14	0.06	<0.01	<0.2	<0.01	<0.01
							0.03	<0.01	<0.2	<0.01	<0.01
				444SC		14	<0.01	<0.01	<0.2	<0.01	0.01
							0.01	<0.01	<0.2	<0.01	<0.01
				451SC	3	14	<0.01	<0.01	<0.2	<0.01	0.02
							<0.01	<0.01	<0.2	<0.01	0.02
				458SC		14	<0.01	<0.01	<0.2	<0.01	0.03
							0.01	<0.01	0.22	<0.01	0.03
	Pio-neer (露地)	仁		453SC	3	0*	<0.01	<0.01	0.64	<0.01	0.05
							<0.01	<0.01	0.82	<0.01	0.06
						3*	0.06	<0.01	0.69	<0.01	0.06
							<0.01	<0.01	0.43	<0.01	0.04
						7*	<0.01	<0.01	0.41	<0.01	0.04
							<0.01	<0.01	0.37	<0.01	0.04
						14	<0.01	<0.01	0.36	<0.01	0.04
							<0.01	<0.01	0.37	<0.01	0.05
						21	0.01	<0.01	0.29	<0.01	0.04
							0.01	<0.01	0.28	<0.01	0.04
		仁		454SC	3	0*	<0.01	<0.01	0.67	<0.01	0.04
							0.01	<0.01	0.40	<0.01	0.04
						3*	0.04	<0.01	0.32	<0.01	0.04
							0.02	<0.01	0.42	<0.01	0.05
						7*	<0.01	<0.01	0.43	<0.01	0.04
							<0.01	<0.01	0.42	<0.01	0.04
						14	<0.01	<0.01	0.32	<0.01	0.04
							<0.01	<0.01	0.34	<0.01	0.04
						21	0.01	<0.01	0.38	<0.01	0.05
							0.01	<0.01	0.38	<0.01	0.05

SC：40%フロアブル剤茎葉散布

・農薬の使用時期（PHI）が、申請された使用方法から逸脱している場合は、該当箇所に*を付した。

作物名：アーモンド

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
米国 2014 年	Non-pa-reil(露地)	仁		445SC	3	14	<0.01	<0.01	<0.4	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	<0.4	<0.01	<0.01
				445SC		14	<0.01	<0.01	<0.4	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	<0.4	<0.01	<0.01
		仁		452SC	3	14	<0.01	<0.01	<0.4	<0.01	0.01
							<0.01	<0.01	<0.4	<0.01	0.01
				448SC		14	<0.01	<0.01	<0.4	<0.01	0.01
							<0.01	<0.01	<0.4	<0.01	0.01
	Fritz(露地)	仁		458SC	3	0*	<0.01	<0.01	1.86	0.02	0.03
							<0.01	<0.01	2.12	0.02	0.04
						3*	<0.01	0.01	2.24	0.02	0.03
							<0.01	<0.01	2.16	0.02	0.03
						7*	<0.01	<0.01	2.31	0.03	0.05
							<0.01	<0.01	2.39	0.03	0.06
						14	<0.01	0.01	2.10	0.03	0.03
							<0.01	<0.01	1.94	0.03	0.03
						21	<0.01	<0.01	1.70	0.03	0.03
							<0.01	<0.01	2.13	0.03	0.03
		仁		462SC	3	0*	<0.01	<0.01	3.14	0.02	0.04
							<0.01	<0.01	3.07	0.03	0.04
						3*	<0.01	0.03	2.43	0.02	0.04
							<0.01	0.03	2.41	0.02	0.04
						7*	<0.01	<0.01	2.46	0.04	0.06
							<0.01	<0.01	2.34	0.03	0.06
						14	<0.01	<0.01	2.64	0.03	0.03
							<0.01	<0.01	2.42	0.03	0.03
						21	<0.01	<0.01	2.96	0.04	0.04
							<0.01	<0.01	2.96	0.03	0.04
		仁		454SC	3	14	<0.01	<0.01	1.36	0.02	0.02
							<0.01	<0.01	1.33	0.02	0.02

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
				452SC		14	0.02	<0.01	1.88	0.02	0.03
							0.02	<0.01	1.64	0.03	0.03
	Monterey(露地)	仁		449SC	3	15	<0.01	<0.01	<0.4	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	<0.4	<0.01	<0.01
				454SC		15	<0.01	<0.01	<0.4	<0.01	<0.01
							<0.01	<0.01	<0.4	<0.01	<0.01

SC：40%フロアブル剤茎葉散布

作物名：コーヒー豆

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha)	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg)				
							メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
ブラジル2015年	Catucaí(露地)	豆	5	134～138$^{S}_{C1}$	3	15	0.01	<0.01	0.28	<0.01	0.02
						30	<0.01	<0.01	0.34	<0.01	0.02
						45	<0.01	<0.01	0.33	<0.01	0.02
						60	0.02	<0.01	0.3	<0.01	0.02
	Catucaí(露地)			141～146$^{S}_{C1}$		15	0.01	<0.01	0.44	<0.01	0.03
						30	<0.01	<0.01	0.35	<0.01	0.02
						45	<0.01	<0.01	0.41	<0.01	0.02
						60	<0.01	<0.01	0.31	<0.01	0.02
	Mundo Novo(露地)			136～137$^{S}_{C1}$		15	0.13	<0.01	0.23	0.03	0.03
						30	0.10	<0.01	0.25	0.05	0.03
						45	0.07	<0.01	0.35	0.04	0.04
						60	0.05	<0.01	0.37	0.03	0.04
	Mundo Novo(露地)			135～137$^{S}_{C1}$		15	<0.01	<0.01	0.26	<0.01	0.01
						30	<0.01	<0.01	0.27	<0.01	0.01
						45	<0.01	<0.01	0.28	<0.01	0.02
						60	<0.01	<0.01	0.30	<0.01	0.01
	Catucaí(露地)			140～146$^{S}_{C1}$		15	0.01	<0.01	0.31	<0.01	0.02
						30	<0.01	<0.01	0.08	<0.01	<0.01
						45	<0.01	<0.01	0.23	<0.01	0.01
						60	<0.01	<0.01	0.29	<0.01	0.01
ブラジル2016年	Catuaí(露地)	豆	5	166～171$^{S}_{C2}$	3	15	<0.01				
						30	<0.01				
						45	<0.01				
						60	<0.01				
	Oblata(露地)			163～173^{S}		15	<0.01				
						30	<0.01				

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha) C2	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg) メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
						45	<0.01				
						60	<0.01				
	Tupi(露地)			162～171S C2		15	<0.01				
						30	<0.01				
						45	<0.01				
						60	<0.01				
	Catuaí(露地)			161～180S C2		15	<0.01				
						30	0.01				
						45	<0.01				
						60	<0.01				
				157～167S C2		15	<0.01				
						30	0.01				
						45	<0.01				
						60	<0.01				
ブラジル2017年	Obatã(露地)	豆	5	155～158S C3	3	15	<0.01				
						30	<0.01				
						45	0.01				
						60	0.01				
				153～156S C3		15	<0.01				
						30	0.03				
						45	0.02				
						60	<0.01				
	Tupi(露地)			154～160S C3		15	0.01				
						30	0.01				
						45	0.01				
						60	0.02				
	Catuaí			158		15	0.02				

実施場所(国)実施年	品種(栽培形態) (露地)	分析部位	試験ほ場数	使用量(g ai/ha) ～162[SC3]	回数(回)	PHI(日)	残留値(mg/kg) メフェントリフルコナゾール	F001	F029	F030	F031
						30	0.01				
						45	0.02				
						60	0.02				
				158～162[SC3]		15	0.01				
						30	<0.01				
						45	0.01				
エクアドル 2017 年	Robusta Tropical (露地)	豆	1	160[SC2]	3	15	0.53	<0.01	0.10	<0.01	0.01
						30	0.30	<0.01	0.10	<0.01	<0.01
						45	0.18	<0.01	0.14	<0.01	0.01
						60	0.33	<0.01	0.28	<0.01	0.06
			1			15	0.34	<0.01	0.45	<0.01	0.08
						30	0.10	<0.01	0.19	<0.01	0.03
						45	0.07	<0.01	0.34	<0.01	0.05
						60	0.14	<0.01	0.17	<0.01	0.03
コロンビア 2017 年	Castillo (露地)	豆	1	160[SC2]		15	0.02	<0.01	0.06	<0.01	<0.01
						30	0.01	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
						45	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
						60	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
			1			15	0.02	<0.01	0.03	<0.01	<0.01
						30	<0.01	<0.01	0.06	<0.01	<0.01
						45	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
						60	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01

SC1：133 g ai/L フロアブル剤茎葉散布（89 g/L のフルキサピロキサド、178 g/L のピラクロストロビン含む）、
SC2：200 g ai/L フロアブル剤茎葉散布（200 g/L のピラクロストロビン含む）、
SC3：200 g ai/L フロアブル剤茎葉散布（200 g/L のフルキサピロキサド含む）

＜別紙５：畜産物残留試験成績＞

① 泌乳牛 –投与期間–

乳汁及び組織中の残留値（μg/g）

用量		1.57 mg/kg 飼料相当						7.49 mg/kg 飼料相当						49.0 mg/kg 飼料相当					
試料	試料採取日	メフェントリフルコナゾール	F001	F022	F029	F030	F031	メフェントリフルコナゾール	F001	F022	F029	F030	F031	メフェントリフルコナゾール	F001	F022	F029	F030	F031
乳汁 [a]	投与3～28日	<0.01	0.02 (0.02)	/	0.01 (0.02)	ND	ND	0.01 (0.01)	0.03 (0.05)	/	<0.01	ND	ND	0.06 (0.11)	0.11 (0.14)	0.01 (0.01)	0.01 (0.01)	ND	ND
乳脂肪	投与21日	<0.01	0.01 (0.01)	<0.01	<0.01	ND	ND	0.05 (0.06)	0.02 (0.03)	0.01 (0.01)	<0.01	ND	ND	0.42 (0.46)	0.09 (0.09)	0.06 (0.07)	<0.01	ND	ND
無脂肪乳	投与21日	<0.01	0.02 (0.02)	/	<0.01	ND	ND	<0.01	0.03 (0.04)	/	<0.01	ND	ND	0.01 (0.02)	0.13 (0.13)	/	<0.01	ND	ND
筋肉 [b]	投与28日 [c]	<0.01	0.01 (0.01)	/	0.04 (0.06)	<0.01	ND	<0.01	0.03 (0.03)	/	0.05 (0.06)	<0.01	ND	0.07 (0.11)	0.11 (0.11)	<0.01	0.06 (0.07)	<0.01	ND
肝臓		0.03 (0.03)	0.01 (0.02)	/	0.14 (0.17)	<0.01	ND	0.15 (0.18)	0.03 (0.03)	<0.01	0.17 (0.22)	<0.01	ND	0.99 (1.40)	0.12 (0.12)	0.02 (0.02)	0.22 (0.23)	<0.01	ND
腎臓		0.01 (0.01)	0.01 (0.02)	/	0.04 (0.05)	0.01 (0.02)	ND	0.05 (0.07)	0.03 (0.03)	<0.01	0.05 (0.07)	0.01 (0.01)	ND	0.29 (0.51)	0.09 (0.12)	0.02 (0.02)	0.05 (0.07)	0.01 (0.02)	ND
腎周囲脂肪		0.02 (0.02)	<0.01	/	<0.01	<0.01	ND	0.05 (0.06)	0.01 (0.02)	<0.01	0.02 (0.02)	<0.01	ND	0.65 (0.90)	0.02 (0.03)	0.08 (0.09)	0.01 (0.01)	<0.01	ND
腸間膜脂肪		0.02 (0.02)	<0.01	/	<0.01	<0.01	ND	0.05 (0.08)	0.01 (0.01)	0.01 (0.01)	0.02 (0.02)	<0.01	ND	0.53 (0.57)	0.02 (0.04)	0.08 (0.09)	0.01 (0.02)	<0.01	ND
皮下脂肪		0.02 (0.02)	<0.01	/	0.01 (0.02)	<0.01	ND	0.02 (0.04)	0.02 (0.02)	<0.01	0.02 (0.04)	<0.01	ND	0.48 (0.78)	0.03 (0.07)	0.05 (0.08)	0.02 (0.02)	<0.01	ND

注）数値は 3 例の平均値、（）:最大値、/：該当なし、ND：検出されず
F001、F030 及び F031 は投与 5～28 日の平均値、F022 は投与 21 日の分析値
[a]：投与期間中、午前、午後の 2 回/日に採取された平均値を示す。
[b]：腰部及び後肢筋の等量混合試料、[c]：最終投与 22～24 時間後

-投与期間（続き）-

乳汁及び組織中の残留値（μg/g）

用量		141 mg/kg 飼料相当						148 mg/kg 飼料相当					
試料	試料採取日	メフェントリフルコナゾール	F001	F022	F029	F030	F031	メフェントリフルコナゾール	F001	F022	F029	F030	F031
乳汁[a]	投与 3～28 日	0.20 (0.35)	0.27 (0.33)		0.01 (0.01)	ND	ND	0.23 (0.37)	0.22 (0.32)	0.02 (0.02)	0.01 (0.02)	<0.01	ND
乳脂肪	投与 21 日	1.23 (1.95)	0.23 (0.29)		<0.01	ND	ND	1.46 (2.16)	0.18 (0.21)	0.10 (0.11)	<0.01	ND	ND
無脂肪乳	投与 21 日	0.07 (0.10)	0.24 (0.31)		0.02 (0.04)	ND	ND	0.04 (0.07)	0.23 (0.23)		0.02 (0.03)	ND	ND
筋肉[b]	投与 28 日[c]	0.16 (0.22)	0.28 (0.33)	0.02 (0.02)	0.18 (0.26)	<0.01	ND						
肝臓		3.03 (3.58)	0.26 (0.30)	0.04 (0.04)	0.65 (0.78)	<0.01	ND						
腎臓		1.29 (1.88)	0.28 (0.39)	0.04 (0.04)	0.19 (0.23)	0.03 (0.04)	ND						
腎周囲脂肪		1.71 (2.29)	0.11 (0.19)	0.16 (0.21)	0.06 (0.08)	<0.01	ND						
腸間膜脂肪		1.16 (1.87)	0.11 (0.25)	0.13 (0.20)	0.02 (0.03)	<0.01	ND						
皮下脂肪		0.59 (1.20)	0.17 (0.28)	0.07 (0.13)	0.06 (0.09)	<0.01	ND						

注）数値は 3 例の平均値、():最大値、/：該当なし、ND：検出されず
F001、F030 及び F031 は投与 5～28 日の平均値、F022 は投与 21 日の分析値
[a]：投与期間中、午前、午後の 2 回/日に採取された平均値を示す。
[b]：腰部及び後肢筋の等量混合試料 、[c]：最終投与 22～24 時間後

- 消失期間 -

乳汁及び組織中の残留値（μg/g）

用量	148 mg/kg 飼料相当（休薬 3 日）						148 mg/kg 飼料相当（休薬 7 日）						148 mg/kg 飼料相当（休薬 14 日）					
試料	メフェントリフルコナゾール	F001	F022	F029	F030	F031	メフェントリフルコナゾール	F001	F022	F029	F030	F031	メフェントリフルコナゾール	F001	F022	F029	F030	F031
乳汁 [a]	<0.01	0.15 (0.17)	/	/	/	/	<0.01	0.05	/	/	/	/	<0.01	/	/	/	/	/
筋肉 [b]	0.06	0.14	<0.01	0.05	<0.01	ND	<0.01	0.05	<0.01	0.04	ND	ND	ND	0.02	<0.01	0.08	<0.01	ND
肝臓	0.89	0.17	0.02	0.23	<0.01	ND	0.02	0.05	ND	0.22	<0.01	ND	<0.01	0.02	0.01	0.40	<0.01	ND
腎臓	0.28	0.14	0.01	0.06	<0.01	ND	<0.01	0.04	<0.01	0.08	<0.01	ND	ND	0.01	<0.01	0.12	0.02	ND
腎周囲脂肪	0.54	<0.01	0.10	<0.01	ND	ND	0.02	<0.01	0.05	<0.01	ND	ND	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	ND	ND
腸間膜脂肪	2.25	0.09	0.15	0.02	<0.01	ND	0.02	<0.01	0.05	<0.01	ND	ND	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	ND	ND
皮下脂肪	1.47	0.04	0.11	<0.01	ND	ND	0.32	0.01	0.07	<0.01	ND	ND	0.02	<0.01	0.02	0.01	ND	ND

注）数値は 1 例の値

[a]：投与期間中、午前、午後の 2 回/日に採取され、休薬 3 日は 2 例の平均値

[b]：腰部及び後肢筋の等量混合試料

/：該当なし、ND：検出されず

①産卵鶏　－ 投与期間 －

卵及び組織中の残留値（μg/g）

用量		0.18 mg/kg 飼料相当						1.7 mg/kg 飼料相当					
試料	試料採取日	メフェントリフルコナゾール	F001	F022	F029	F030	F031	メフェントリフルコナゾール	F001	F022	F029	F030	F031
卵[a]	投与 14～33 日		<0.01	<0.01				<0.01	0.01 (0.01)	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
卵黄	投与 24 日												
卵白													
筋肉	投与 34 日[b]	<0.01	<0.01	<0.01	0.02 (0.02)	<0.01	<0.01	<0.01	0.01 (0.01)	<0.01	0.02 (0.02)	<0.01	<0.01
肝臓		<0.01	<0.01	<0.01	0.02 (0.03)	<0.01	<0.01	0.01 (0.02)	0.01 (0.02)	0.02 (0.02)	0.02 (0.03)	<0.01	<0.01
脂肪(腹腔内)		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.03 (0.04)	<0.01	<0.01	<0.01
皮膚(脂肪付き)		<0.01	<0.01	0.01 (0.02)	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02 (0.02)	<0.01	<0.01	<0.01

注）数値は 3 亜群（4 例/亜群）の平均値、 ( ):亜群別最大値

[a]：投与期間中、午前、午後の 2 回/日に採取され、平均値を示す。

[b]：最終投与 3 時間（0.18 mg/kg 飼料相当及び 1.7 mg/kg 飼料相当投与群）又は 5 時間（5.1 mg/kg 飼料及び 17.3 mg/kg 飼料相当投与群）以内に採取

/：該当なし

－ 投与期間（続き） －

卵及び組織中の残留値（μg/g）

用量		5.1 mg/kg 飼料相当						17.3 mg/kg 飼料相当					
試料	試料採取日	メフェントリフルコナゾール	F001	F022	F029	F030	F031	メフェントリフルコナゾール	F001	F022	F029	F030	F031
卵[a]	投与 14～33 日	<0.01	0.02 (0.03)	0.02 (0.02)	<0.01	<0.01	<0.01	0.03 (0.04)	0.08 (0.10)	0.07 (0.09)	<0.01	<0.01	<0.01
卵黄	投与 24 日							0.08 (0.09)	0.05 (0.05)	0.02 (0.02)	0.02 (0.03)	<0.01	<0.01
卵白								<0.01	0.08 (0.09)	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
筋肉	投与 34 日[b]	<0.01	0.03 (0.04)	<0.01	0.02 (0.02)	<0.01	<0.01	0.02 (0.03)	0.10 (0.11)	0.03 (0.04)	0.02 (0.02)	<0.01	<0.01
肝臓		0.02 (0.02)	0.03 (0.03)	0.03 (0.03)	0.03 (0.03)	<0.01	<0.01	0.10 (0.20)	0.10 (0.12)	0.15 (0.20)	0.02 (0.03)	<0.01	<0.01
脂肪(腹腔内)		0.02 (0.03)	<0.01	0.07 (0.07)	<0.01	<0.01	<0.01	0.17 (0.25)	<0.01	0.31 (0.36)	<0.01	<0.01	<0.01
皮膚(脂肪付き)		0.01 (0.01)	0.01 (0.02)	0.04 (0.04)	<0.01	<0.01	<0.01	0.10 (0.15)	0.04 (0.04)	0.18 (0.19)	<0.01	<0.01	<0.01

注）数値は 3 亜群（4 例/亜群）の平均値、( ):亜群別最大値

[a]：投与期間中、午前、午後の 2 回/日に採取され、平均値を示す。

[b]：最終投与 3 時間（0.18 mg/kg 飼料相当及び 1.7 mg/kg 飼料相当投与群）又は（5 時間 5.1 mg/kg 飼料相当及び 17.3 mg/kg 飼料相当投与群）以内に採取

/：該当なし

- 消失期間 -

卵及び組織中の残留値（μg/g）

用量 （試料採取日）	17.2 mg/kg 飼料相当 (投与終了時)						17.2 mg/kg 飼料相当 (休薬 2 日)					
試料	メフェントリフルコナゾール	F001	F022	F029	F030	F031	メフェントリフルコナゾール	F001	F022	F029	F030	F031
卵 [a]	0.03 (0.04)	0.07 (0.09)	0.06 (0.08)	<0.01	<0.01	<0.01	0.02 (0.03)	0.07 (0.07)	0.06 (0.07)	<0.01	<0.01	<0.01
筋肉							<0.01	0.02	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
肝臓							<0.01	0.02	0.02	0.03	<0.01	<0.01
脂肪(腹腔内)							<0.01	<0.01	0.06	<0.01	<0.01	<0.01
皮膚(脂肪付き)							<0.01	<0.01	0.04	<0.01	<0.01	<0.01
用量 （試料採取日）	17.2 mg/kg 飼料相当 (休薬 7 日)						17.2 mg/kg 飼料相当 (休薬 14 日)					
試料	メフェントリフルコナゾール	F001	F022	F029	F030	F031	メフェントリフルコナゾール	F001	F022	F029	F030	F031
卵 [a]	<0.01	<0.01	0.01 (0.01)	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
筋肉	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
肝臓	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
脂肪(腹腔内)	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
皮膚(脂肪付き)	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

注）数値は 1 亜群（4 例）の分析値、( ):亜群別最大値、ただし、
[a]：投与期間中、午前、午後の 2 回/日に採取され、投与終了時及び休薬 2 日は 3 亜群（12 例）、休薬 7 日は 2 亜群（8 例）の平均値
/：該当なし

＜別紙６：推定摂取量＞

農畜産物名	残留値 (mg/kg)	国民平均 (体重：55.1 kg)		小児(1～6 歳) (体重：16.5 kg)		妊婦 (体重：58.5 kg)		高齢者 (体重：56.1 kg)	
		ff (g/人/日)	摂取量 (μg/人/日)	ff (g/人/日)	摂取量 (μg/人/日)	ff (g/人/日)	摂取量 (μg/人/日)	ff (g/人/日)	摂取量 (μg/人/日)
りんご	0.372	24.2	9.00	30.9	11.5	18.8	6.99	32.4	12.1
日本なし	0.200	6.4	1.28	3.4	0.68	9.1	1.82	7.8	1.56
西洋なし	0.200	0.6	0.12	0.2	0.04	0.1	0.02	0.5	0.10
もも	0.020	3.4	0.07	3.7	0.07	5.3	0.11	4.4	0.09
ネクタリン	0.280	0.1	0.03	0.1	0.03	0.1	0.03	0.1	0.03
うめ	0.765	1.4	1.07	0.3	0.23	0.6	0.46	1.8	1.38
おうとう	0.832	0.4	0.33	0.7	0.58	0.1	0.08	0.3	0.25
ぶどう	1.50	8.7	13.1	8.2	12.3	20.2	30.3	9.0	13.5
牛・筋肉と脂肪	2.53	15.3	38.7	9.7	24.6	20.9	52.9	9.9	25.1
牛・肝臓	3.63	0.1	0.36	0.0	0.00	1.4	5.08	0.0	0.00
牛・腎臓	1.93	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
牛・その他食用部分	3.63	0.5	1.81	0.0	0.00	3.4	12.3	0.4	1.45
豚・筋肉と脂肪	2.53	42.0	106	33.4	84.6	43.2	109	30.6	77.5
豚・肝臓	3.63	0.1	0.36	0.5	1.81	0.0	0.00	0.1	0.36
豚・腎臓	1.93	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
豚・その他食用部分	3.63	0.6	2.18	0.3	1.09	0.1	0.36	0.4	1.45
その他陸棲哺乳類・筋肉と脂肪と肝臓と腎臓と食用部分	3.63	0.4	1.45	0.1	0.36	0.4	1.45	0.4	1.45
鶏・筋肉と脂肪	0.06	18.7	1.05	13.6	0.76	19.8	1.11	13.9	0.78
鶏・肝臓	0.04	0.7	0.03	0.5	0.02	0.0	0.00	0.8	0.03
鶏・腎臓	0.04	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
鶏・その他食用部分	0.06	1.9	0.11	1.2	0.07	2.9	0.16	1.4	0.08
その他家きん・筋肉と脂肪と肝臓と腎臓と食用部分	0.06	0.1	0.01	0.0	0.00	0.0	0.00	0.1	0.01

農畜産物名	残留値 (mg/kg)	国民平均 (体重：55.1 kg)		小児(1～6 歳) (体重：16.5 kg)		妊婦 (体重：58.5 kg)		高齢者 (体重：56.1 kg)	
		ff (g/人/日)	摂取量 (μg/人/日)	ff (g/人/日)	摂取量 (μg/人/日)	ff (g/人/日)	摂取量 (μg/人/日)	ff (g/人/日)	摂取量 (μg/人/日)
乳	0.35	264	92.4	332	116	365	128	216	75.6
合計			271		256		351		214

・農産物の残留値は、申請されている使用時期・回数による各試験区のうち平均残留値の最大値を用いた。
・「ff」：平成 17～19 年の食品摂取頻度・摂取量調査（参照 97）の結果に基づく食品摂取量（g/人/日）
・「摂取量」：残留値及び農畜産物摂取量から求めたメフェントリフルコナゾールの推定摂取量（μg/人/日）
・『牛・筋肉と脂肪』『牛・肝臓』『牛・腎臓』及び『乳』については、飼料として利用される作物におけるメフェントリフルコナゾールの残留値を考慮して、畜産物残留試験［6．（2）①］における 141 mg/kg 飼料相当投与群におけるメフェントリフルコナゾールの最大値及び代謝物 F022 の最大値（換算係数 1.15）の合量を用いた。（参照：別紙 5、参照 96）
・『豚・筋肉と脂肪』『豚・肝臓』及び『豚・腎臓』については、それぞれ『牛・筋肉と脂肪』『牛・肝臓』及び『牛・腎臓』の値を用いた。
・『牛・その他食用部分』『豚・その他食用部分』及び『その他陸棲哺乳類・筋肉と脂肪と肝臓と腎臓と食用部分』については、牛に係る推定摂取量の算出に用いた残留値のうち最大値を用いた。
・『鶏・筋肉と脂肪』『鶏・肝臓』及び『鶏卵』については、飼料として利用される作物におけるメフェントリフルコナゾールの残留値を考慮して、畜産物残留試験［6．（2）②］における 1.7 mg/kg 飼料相当投与群におけるメフェントリフルコナゾールの最大値及び代謝物 F022 の最大値（換算係数 1.15）の合量を用いた。なお、『鶏卵』については、残留値が定量限界未満であったため、推定摂取量の計算に用いなかった。（参照：別紙 5、参照 96）
・『鶏・腎臓』、『鶏・その他食用部分』及び『その他家きん・筋肉と脂肪と肝臓と腎臓と食用部分』については、鶏の推定摂取量の算出に用いた残留値のうち最大値を用いた。

＜参照＞

1. 食品健康影響評価について（令和元年 5 月 22 日付け厚生労働省発生食 0522 第 9 号）
2. 概要書　メフェントリフルコナゾール（殺菌剤）（平成 30 年 8 月 2 日）：BASF ジャパン株式会社、一部公表
3. 14C-BAS 750 F (14C-chlorophenyl and trifluoromethylring-U-14C labels): Study on Kinetics and Excretion in Wistar Rats after Single and Reated Oral Administration（GLP 対応）、WIL Research Europe B.V.、2015 年、未公表
4. ^{14}C-BAS 750 F (triazole-3(5)-C14):Study on the Biokinetics in rats（GLP 対応）、BASF SE Experimental Toxicology and Ecology、2016 年、未公表
5. Excretion and metabolism of 14C-BAS 750 F (Reg.No 5834378) afer oral administration in rats（GLP 対応）、BASF SE Crop Protection Ecology and Environmental Analytics、2016 年、未公表
6. ^{14}C-BAS 750 F: Study on Plasma Kinetics in C57BL/6JRj mice（GLP 対応）、Quotient Bioresearch(Rushden) Ltd.、BASF SE Crop Protection Ecology and Environmental Analytics、2014 年、未公表
7. The Metabolism of [14C]-Reg.No 5834378 (BAS 750 F) in Lactating Goats（GLP 対応）、Quotient Bioresearch(Rushden)Ltd.、BASF SE Crop Protection Ecology and Environmental Analytics、2015 年、未公表
8. The Metabolism of [14C]-Reg.No 5834378 (BAS 750 F) in Laying Hens（GLP 対応）、Quotient Bioresearch(Rushden)Ltd.、BASF SE Crop Protection Ecology and Environmental Analytics、2015 年、未公表
9. Metabolism of 14C LS5834378 in wheat（GLP 対応）、BASF SE Crop Protection Ecology and Environmental Analytics、2015 年、未公表
10. Metabolism of 14C-BAS 750 F in soybean（GLP 対応）、BASF SE Crop Protection Ecology and Environmental Analytics、2015 年、未公表
11. Metabolism of 14C-BAS 750 F in grape（GLP 対応）、BASF SE Crop Protection Ecology and Environmental Analytics、2015 年、未公表
12. Aerobic soil metabolism of BAS 750 F（GLP 対応）、BASF SE Crop Protection Ecology and Environmental Analytics、2015 年、未公表
13. Aerobic soil metabolism of trifluoromethylphenyl-labeled BAS 750 F（GLP 対応）、BASF SE Crop Protection Ecology and Environmental Analytics、2015 年、未公表
14. BAS 750 F:Aqueous Hydrolysis at Four Different pH Values（GLP 対応）、BASF SE Crop Protection Ecology and Environmental Analytics、2015 年、未公表
15. Aqueous Photolysis of ^{14}C-BAS 750 F（GLP 対応）、BASF Crop Protection、2015 年、未公表

16. Magnitude of the Residues of BAS 750 F in/on Grapes（GLP 対応）、American Agricultural Services,Inc.、BASF Crop Protection、2016 年、未公表
17. Magnitude of the Residues of BAS 750 F in Cereal Grains Following Applications of BAS 750 01 F（GLP 対応）、Stewart Agricultural Research Services, Inc.、BASF Crop Protection、2016 年、未公表
18. Magnitude of the Residues of BAS 750 F in Sweet Corn Following Applications of BAS 750 01 F（GLP 対応）、Stewart Agricultural Research Services, Inc.、BASF Crop Protection、2016 年、未公表
19. Magnitude of the Residues of BAS 750 F in Legumes(Crop Groups 6 and 7) Following Applications of BAS 750 01 F（GLP 対応）、Landis International, Inc.、BASF Crop Protection、2016 年、未公表
20. Magnitude of the Residues of BAS 750 F in Soybean Following Applications of BAS 750 01 F（GLP 対応）、Landis International, Inc.、BASF Crop Protection、2016 年、未公表
21. Magnitude of the Residues of BAS 750 F in Sugar beet Following Applications of BAS 750 01 F（GLP 対応）、SGS North America, Inc.、BASF Crop Protection、2016 年、未公表
22. Magnitude and Decline of the Residues of BAS 750 F in Peanut Following Applications of BAS 750 01 F（GLP 対応）、Eurofins Agroscience Services, Inc.、BASF Crop Protection、2016 年、未公表
23. Magnitude of the Residues of BAS 750 F in Canola Following Applications of BAS 750 01 F（GLP 対応）、Precision Study Management.、BASF Crop Protection、2016 年、未公表
24. Magnitude of the Residues of BAS 750 F in Pome Fruits(Crop Group11)（GLP 対応）、Landis International, Inc.、BASF Crop Protection、2016 年、未公表
25. Magnitude of the Residues of BAS 750 F in Tree Nut Raw Agricultural Commodities（GLP 対応）、The Carringers, Inc.、BASF Crop Protection、2016 年、未公表
26. Magnitude of the Residues of BAS 750 F in Stone Fruits(Crop Group12)（GLP 対応）、Landis International, Inc.、BASF Crop Protection、2016 年、未公表
27. Magnitude of the Residues of BAS 750 F in Potates Following Treatment with BAS 750 01 F（GLP 対応）、Precision Study Management.、BASF Crop Protection、2016 年、未公表
28. The Magnitude of Residues of BAS 750 F in Citrus Crop Goup 10（GLP 対応）、Analytical Bio-Chemistry Laboratories, Inc.、BASF Crop Protection、2017 年、未公表
29. Magnitude of Residues in Milk and Tissues of Dairy Cows Following Multiple Oral Administrations of BAS 750 F（GLP 対応）、Charles River Laboratories

Edinburgh Ltd、2015（修正 2016）年、未公表
30. Magnitude of Residues in Tissues and Eggs of Laying Hens Following Multiple Oral Administrations of BAS 750 F（GLP 対応）、SGS INSTITUT FRESENIUS GmbH、2015 年、未公表
31. BAS 750 F Acute oral toxicity study in rats(Including analytical report)（GLP 対応）、Bioassay, Labor fuer biologische Analytik GmbH、2013 年、未公表
32. BAS 750 F Acute dermal toxicity study in rats(Including analytical report)（GLP 対応）、Bioassay, Labor fuer biologische Analytik GmbH、2013 年、未公表
33. BAS 750 F Acute inhalation toxicity study in Wistar rats-4-hour dust exposure(head-nose only)（GLP 対応）、BASF SE Experimental Toxicology and Ecology、2014 年、未公表
34. Metabolite F022 Acute oral toxicity study in rats(Including concentration control analysis and homogeneity control analysis)（GLP 対応）、Bioassay, Labor fuer biologische Analytik GmbH、2015 年、未公表
35. BAS 750 F Acute oral neurotoxicity study in Wistar rats Administration by gavage（GLP 対応）、BASF SE Experimental Toxicology and Ecology、2015 年、未公表
36. BAS 750 F Acute dermal irritation/corrosion in rabbits（GLP 対応）、Bioassay, Labor fuer biologische Analytik GmbH、2013 年、未公表
37. BAS 750 F Acute eye irritation in rabbits（GLP 対応）、Bioassay, Labor fuer biologische Analytik GmbH、2013 年、未公表
38. BAS 750 F - Test for Skin Sensitization using the Guinea Pig Maximization Test(GPMT)(Including Analytical Report)（GLP 対応）、Frey-Tox GmbH、2013 年、未公表
39. BAS 750 F Repeated dose 90-day oral toxicity study in Wistar rats Administration via the diet（GLP 対応）、BASF SE Experimental Toxicology and Ecology、2015 年、未公表
40. 90-day oral dietary toxicity study with BAS 750 F in C57BL/6JRj mice(Including analytical report & amendment)（GLP 対応）、WIL Research Europe B.V.、2015 年、未公表
41. BAS 750 F Repeated-dose 90-day oral toxicity study in Beagle dogs Oral administration(capsule)（GLP 対応）、BASF SE Experimental Toxicology and Ecology、2015 年、未公表
42. BAS 750 F Repeated-dose 28-day dermal toxicity study in Wistar rats（GLP 対応）、BASF SE Experimental Toxicology and Ecology、2015 年、未公表
43. Metabolite F022 Repeated-dose 28-day toxicity study in C57BL/6JRj mice Administration via the diet(Including analytical report)（GLP 対応）、BASF SE

Experimental Toxicology and Ecology、2016 年、未公表
44. BAS 750 F Repeated-dose 12-month toxicity study in Beagle dogs Oral administration(Capsule)（GLP 対応）、BASF SE Experimental Toxicology and Ecology、2016 年、未公表
45. BAS 750 F Combined Chronic Toxicity /Carcinogenicity Study in Wistar Rats Administration via the Diet up to 24 Months(Including historical control data)（GLP 対応）、BASF SE Experimental Toxicology and Ecology、2016 年、未公表
46. 18-MONTH CARCINOGENICITY STUDY WITH BAS 750 F IN MALE AND FEMALE C57BL/6JRJ MICE(Including historical control data and analytical report)（GLP 対応）、WIL Research Europe B.V.、2015 年、未公表
47. BAS 750 F Two Generation Reproductive Toxicity Study in Wistar Rats Administration via the Diet（GLP 対応）、BASF SE Experimental Toxicology and Ecology、2015 年、未公表
48. BAS 750 F Prenatal Developmental Toxicity Study in Wistar Rats Oral Administration(Gavage)（GLP 対応）、BASF SE Experimental Toxicology and Ecology、2015 年、未公表
49. BAS 750 F Prenatal Developmental Toxicity Study in New Zealand White Rabbits- Oral Administration(Gavage)(Including Amendment No.1)（GLP 対応）、BASF SE Experimental Toxicology and Ecology、2015（修正 2016）年、未公表
50. BAS 750 F SALMONELLA TYPHIMURIUM/ESCHERICHIA COLI REVERSE MUTATION ASSAY(Including Analytical report)（GLP 対応）、BASF SE Experimental Toxicology and Ecology、2014 年、未公表
51. BAS 750 F SALMONELLA TYPHIMURIUM /ESCHERICHIA COLI REVERSE MUTATION ASSAY（GLP 対応）、BASF SE Experimental Toxicology and Ecology、2015 年、未公表
52. BAS 750 F: IN VITRO CELL MUTATION ASSAY AT THE THYMIDINE KINASE LOCUS($TK^{+/-}$) IN MOUSE LYMPHOMA L5178Y CELLS（GLP 対応）、Harlan Cytotest Cell Research GmbH(Haarlan CCR)、2013 年、未公表
53. BAS 750 F In vitro Cell Mutation Assay at the Thymidine Kinase Locus($TK^{+/-}$) in Mouse Lymphoma L5178Y Cells、Envigo CRS GmbH、2015 年、未公表
54. BAS 750 F IN VITRO MICRONUCLEUS ASSAY IN V79 Cells (CYTOKINESIS BLOCK METHOD)（GLP 対応）、BASF SE Experimental Toxicology and Ecology、2014 年、未公表
55. BAS 750 F Micronucleus Test In Human Lymphocytes In Vitro（GLP 対応）、Envigo CRS GmbH、2015 年、未公表
56. BAS 750 F MICRONUCLEUS TEST IN BONE MARROW CELLS OF THE

MOUSE（GLP 対応）、BASF SE Experimental Toxicology and Ecology、2014 年、未公表
57. METABOLITE F022 SALMONELLA TYPHIMURIUM/ESCHERICHIA COLI REVERSE MUTATION ASSAY(Including Analytical Report)（GLP 対応）、BASF SE Experimental Toxicology and Ecology、2015 年、未公表
58. METABOLITE F022 IN VITRO GENE MUTATION TEST IN L5178Y MOUSE LYMPHOMA CELLS (TK$^{+/-}$ LOCUS ASSAY, MICROWELL VERSION)（GLP 対応）、BASF SE Experimental Toxicology and Ecology、2015 年、未公表
59. Metabolite F022: Micronucleus Test In Human Lymphocytes In Vitro（GLP 対応）、Envigo CRS GmbH、2015 年、未公表
60. 平成 17～19 年の食品摂取頻度・摂取量調査（薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会資料、2014 年 2 月 20 日）
61. 食品安全委員会：農薬評価書　トリアゾール共通代謝物、2018 年、公表
62. EFSA : Peer review of the pesticide risk assessment of the active substace BAS 750 F (mefentrifluconazole) : EFSA Journal、16(7) : 5379、2018 年
63. US EPA : Federal Register : “mefentrifluconazole” 84(125) : 30939～30946、2019 年
64. US EPA : Decision Memorandum : Mefentrifluconazole. Human health risk assessment for the section 3 registration action of the new active ingredient、2019 年
65. 食品健康影響評価の結果の通知について（令和 2 年 1 月 14 日付け府食第 597 号）
66. 食品、添加物等の規格基準（昭和 34 年厚生省告示第 370 号）の一部を改正する件（令和 2 年 11 月 16 日付け令和 2 年厚生労働省告示第 356 号）
67. 食品健康影響評価について（令和 4 年 8 月 24 日付け厚生労働省発生食 0824 第 8 号）
68. メフェントリフルコナゾール（殺菌剤）の試験成績の概要及び考察（令和 3 年 12 月 9 日）：BASF ジャパン株式会社、一部公表
69. Adsorption/Desorption Behavior of 14C-BAS750F on Different US, Japanese and European Soils（GLP 対応）、BASF S.A. Global Environmental and Consumer Safety Laboratory、2016 年、未公表
70. フロアブル土壌残留試験（畑地）、株式会社日曹分析センター小田原事業所、2018 年、未公表
71. フロアブル りんご作物残留試験（GLP 対応）、一般社団法人日本植物防疫協会、2018a 年、未公表
72. フロアブル りんご作物残留試験（GLP 対応）、一般社団法人日本植物防疫協会、2019 年、未公表
73. フロアブル 日本なし作物残留試験（GLP 対応）、一般社団法人日本植物防疫協

会、2018b 年、未公表
74. フロアブル 日本なし作物残留試験（GLP 対応）、一般社団法人日本植物防疫協会、2018a 年、未公表
75. フロアブル もも作物残留試験（GLP 対応）、一般社団法人日本植物防疫協会、2018c 年、未公表
76. フロアブル もも作物残留試験（GLP 対応）、一般社団法人日本植物防疫協会、2018b 年、未公表
77. フロアブル ネクタリン作物残留試験、株式会社日曹分析センター、2018a 年、未公表
78. フロアブル おうとう作物残留試験、株式会社日曹分析センター、2018b 年、未公表
79. フロアブル うめ作物残留試験（GLP 対応）、一般社団法人日本植物防疫協会、2018d 年、未公表
80. フロアブル ぶどう作物残留試験（GLP 対応）、一般社団法人日本植物防疫協会、2018e 年、未公表
81. Magnitude of the Residue of BAS 750 F in Carrot and Radish Following Applications of BAS 750 03 F（GLP 対応）. Precision Study Management. 2018 年、未公表
82. Magnitude of the Residue of BAS 750 F in/on Turnip Tops Following Applications of BAS 750 03 F（GLP 対応）. Precision Study Management. 2018 年、未公表
83. Magnitude of the Residue of BAS 750 F in/on Bulb Vegetables Following Applications of BAS 750 02 F（GLP 対応）. SynTech Research Laboratory Services, LLC.. 2018 年、未公表
84. Magnitude of the Residues of BAS 750 F in Leafy Vegetables Raw Agricultural Commodities Following Applications of BAS 750 02 F（GLP 対応）. The Carringers, Inc.. 2019 年、未公表
85. Magnitude and Decline of BAS 750 F Residues Following Applications of BAS 750 03 F to Fruiting Vegetables (Crop Group 8)（GLP 対応）. Eurofins Agroscience Services, LLC. 2018 年、未公表
86. Magnitude of the Residues of BAS 750 F in Cucurbit Vegetables Raw Agricultural Commodities Following Applications of BAS 750 02 F（GLP 対応）. The Carringers, Inc.. 2017 年、未公表
87. Magnitude of the Residue of BAS 750 F in or on Berries and Small Fruits Raw Agricultural Commodities. Precision Study Management（GLP 対応）. 2018 年、未公表
88. Magnitude of the Residue of BAS 750 F in Sunflower Seeds Following Applications of BAS 750 03 F（GLP 対応）. knoell USA, LLC. 2019 年、未公表

89. Magnitude of BAS 750 F Residues Following Applications of BAS 750 03 F to Cotton（GLP 対応）. Eurofins Agroscience Services, LLC. 2018 年、未公表
90. Magnitude and Decline of the Residues of BAS 750 F and Metabolites in Sugarcane Following Treatment with BAS 750 03 F（GLP 対応）. Eurofins EAG Agroscience, LLC. 2019 年、未公表
91. Residue study of mefentrifluconazole in banana bagged and unbagged (whole fruit, pulp and peel) after treatment with BAS 750 02 F under field conditions in Brazil, Colombia and Ecuador（GLP 対応）. BASF S.A. Global Environmental and Consumer Safety Laboratory. 2019 年、未公表
92. Residue study of BAS 750 F, fluxapyroxad and pyraclostrobin in coffee (beans), after treatment with BAS 753 02 F, under field conditions in Brazil（GLP 対応）. BASF S.A. Global Laboratory of Environment and Food Safety. 2016 年、未公表
93. Residue study of BAS 750 F and Pyraclostrobin in coffee (beans), after treatment with BAS 751 01 F, under field conditions in Brazil（GLP 対応）. BASF S.A. Global Environmental and Consumer Safety Laboratory. 2017 年、未公表
94. Residue study of mefentrifluconazole and fluxapyroxad in coffee (beans), after treatment with BAS 752 01 F, under field conditions in Brazil（GLP 対応）. BASF S.A. Global Environmental and Consumer Safety Laboratory. 2018 年、未公表
95. Residue study of mefentrifluconazole in coffee (beans), after treatment with BAS 751 01 F under field conditions in Ecuador and Colombia（GLP 対応）. BASF S.A. Global Environmental and Consumer Safety Laboratory. 2019 年、未公表
96. US EPA：Memorandum：Mefentrifluconazole. Petition for the Establishment of Permanent Tolerances and Registration for Use on Root and Tuber Vegetables (Crop Group 1B), Leaves Of Root and Tuber Vegetables (Crop Group 2), Leafy Vegetables (Crop Group 4-16), Fruiting Vegetables (Crop Group 8-10), Cucurbit Vegetables (Crop Group 9), Berries (Subgroups 13-07A, 13-07B, and 13-07G), Grasses (Crop Group 17), Non-Grass Animal Feeds (Crop Group 18), Sunflower (Crop Group 20B), and Cotton (Crop Group 20C). Summary of Analytical Chemistry and Residue Data、2020 年
97. 平成 17～19 年の食品摂取頻度・摂取量調査（薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会資料、2014 年 2 月 20 日）